OKI

ユーザーズマニュアル

とことん使いこなそう

便利な機能/本体の設定編

MC852dn
MC862dn
MC862dn-T

目次

1
いろいろなプリントのしかた

注

- この章では、Windows では［ワードパッド］、Mac OS X では［テキストエディット］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタードライバーやユーティリティーの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタードライバーやユーティリティーのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

コンピューターから印刷するときの便利な機能

この節では、コンピューターから印刷するときの便利な機能を説明します。

参照

● プリンタードライバーの各設定項目の詳しい説明は、ドライバーのオンラインヘルプを参照してください。

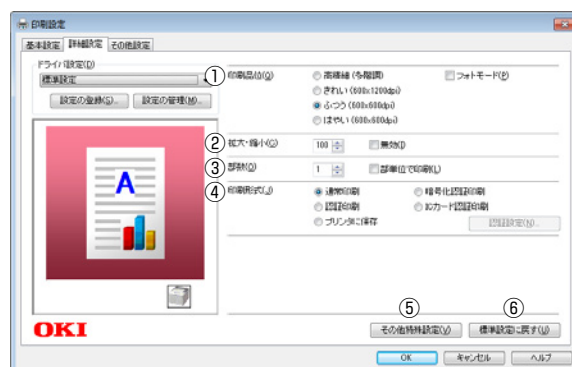
機能の説明

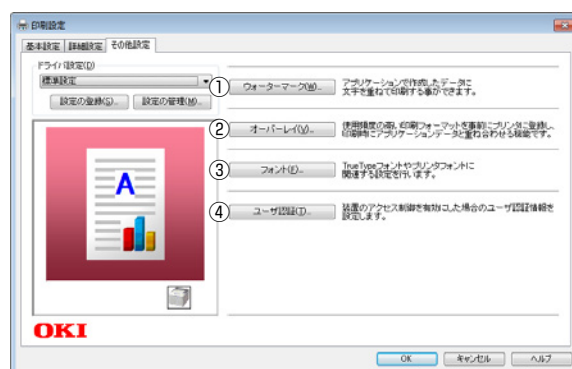
Windows 用には PCL、PS の 2 種類のプリンタードライバー、Mac OS X 用には PS の 1 種類のプリンタードライバーがあります。プリンタードライバーによって、機能が異なります。

Windows PCL プリンタードライバーの機能

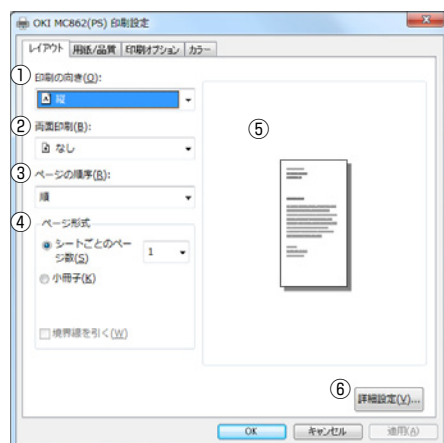
[基本設定] タブ

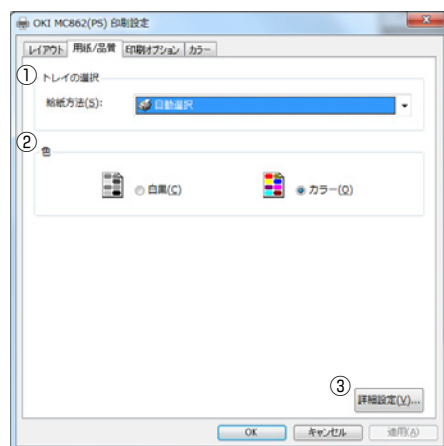
	項目	説明
①	用紙サイズ	用紙のサイズを指定します。
②	給紙方法	用紙を給紙するトレイを指定します。
③	用紙厚	用紙の厚さを指定します。
④	レイアウトタイプ	マルチページ印刷、製本印刷、ポスター印刷などを指定します。
⑤	両面印刷	用紙の両面に印刷するときに指定します。
⑥	印刷の向き	印刷の向きを指定します。
⑦	カラー・モノクロ設定	カラーで印刷するか、モノクロで印刷するか指定します。
⑧	バージョン情報	プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。
⑨	標準設定に戻す	タブ内の設定を初期値に戻します。

[詳細設定] タブ

	項目	説明
①	印刷品位	印刷するときの解像度を指定します。
②	拡大・縮小	印刷するときの拡大 / 縮小率を指定します。
③	部数	印刷する部数を指定します。
④	印刷形式	印刷の形式を指定します。
⑤	その他特殊設定	その他のいくつかの印刷設定ができます。
⑥	標準設定に戻す	タブ内の設定を初期値に戻します。

[その他設定] タブ

	項目	説明
①	ウォーターマーク	スタンプ印刷をしたいときに設定します。
②	オーバーレイ	オーバーレイ印刷をしたいときに設定します。
③	フォント	TrueType フォントやプリンターフォントについて設定します。
④	ユーザ認証	ユーザー認証印刷を設定します。

Windows PS プリンタードライバーの機能

[レイアウト] タブ

	項目	説明
①	印刷の向き	印刷の向きを指定します。
②	両面印刷	両面印刷するときに指定します。
③	ページの順序	印刷する文書のページの順序を指定します。
④	ページ形式	1 枚の用紙に印刷するページ数や小冊子印刷を指定します。
⑤	プレビュー画面	印刷結果のイメージを表示します。
⑥	詳細設定	印刷品質や用紙サイズについて、より細かな設定ができます。

[用紙 / 品質] タブ

	項目	説明
①	トレイの選択	用紙を給紙するトレイを変更します。
②	色	カラー印刷、モノクロ印刷を指定します。
③	詳細設定	印刷品質や用紙サイズについて、より細かな設定ができます。

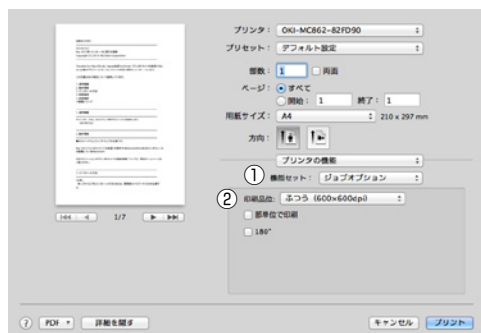
[印刷オプション] タブ

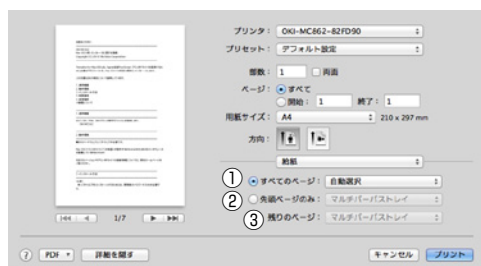
	項目	説明
①	印刷品位	印刷するときの解像度を指定します。
②	印刷形式	印刷形式や印刷する部数を指定します。
③	ウォーターマーク	スタンプ印刷をしたいときに設定します。
④	オーバーレイ	オーバーレイ印刷をしたいときに設定します。
⑤	その他	その他の印刷設定ができます。
⑥	ユーザー認証	ユーザー認証印刷を設定します。
⑦	バージョン情報	プリンタードライバーのバージョンを表示します。
⑧	標準	タブ内の設定を初期値に戻します。

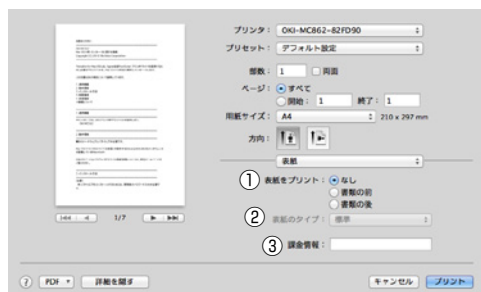
[カラー] タブ

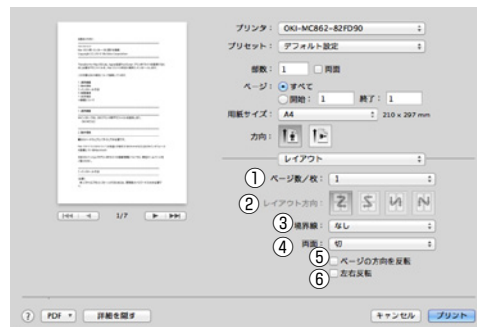
	項目	説明
①	印刷モード	カラー印刷に関する色の調整などを指定します。
②	トナーセーブ	トナーを節約して印刷します。
③	その他	その他の印刷設定ができます。
④	色見本の印刷	色見本印刷ユーティリティを起動します。
⑤	標準	タブ内の設定を初期値に戻します。

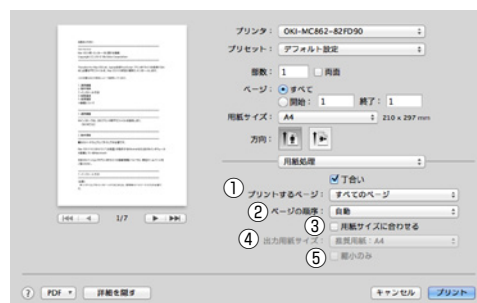
Mac OS X PS プリンタードライバーの機能

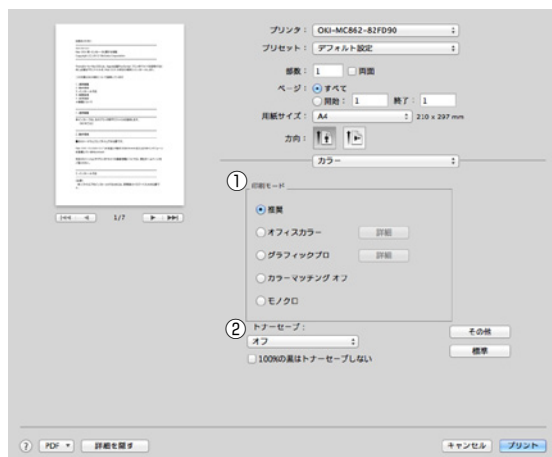
［プリンタ機能］パネル

	項目	説明
①	機能セット	色々な機能を設定します。
②	設定項目	機能セットに応じた設定項目を指定します。

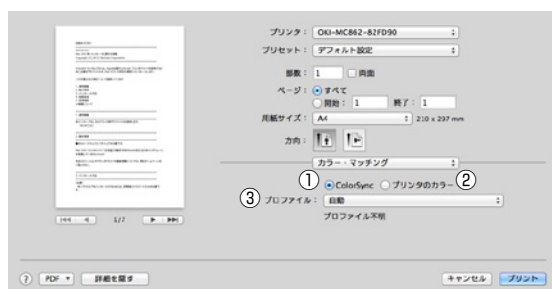
［給紙］パネル

	項目	説明
①	すべてのページ	給紙するトレイを指定します。［自動選択］を指定すると、自動でトレイを選択します。
②	先頭ページのみ	先頭ページを指定したトレイから印刷したいときに選択します。
③	残りのページ	残りのページを指定したトレイから印刷します。

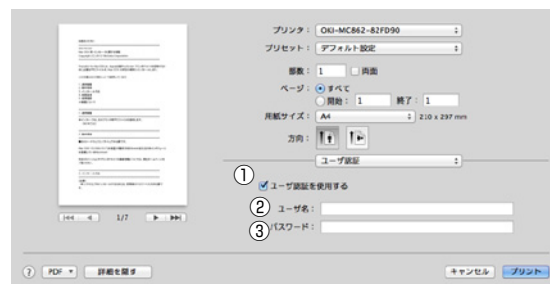
［表紙］パネル

	項目	説明
①	表紙をプリント	表紙印刷を指定します。
②	表紙のタイプ	表紙印刷するときの文字列を指定します。
③	課金情報	この機能は利用できません。

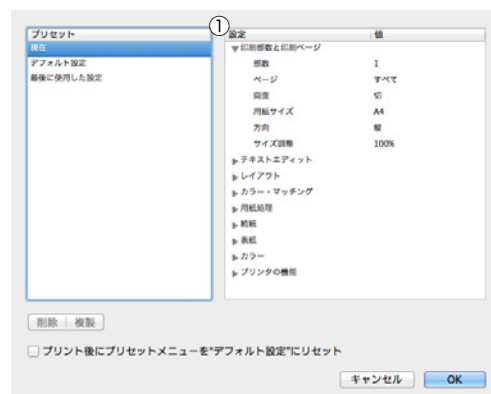
［レイアウト］パネル

	項目	説明
①	ページ数 / 枚	1 枚の紙に印刷したいページ数を選択します。
②	レイアウト方向	1 枚の紙に複数ページを印刷するときのレイアウトを指定します。
③	境界線	1 枚の紙に複数ページを印刷するときの境界線を指定します。
④	両面	両面印刷するときに指定します。
⑤	ページの方向を反転	ページの方向を反転して印刷したいときにチェックします。
⑥	左右反転	左右を反転して印刷したいときにチェックします。

［用紙処理］パネル

	項目	説明
①	プリントするページ	印刷するページを指定します。
②	ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
③	用紙サイズに合わせる	用紙サイズに合わせて印刷します。設定によっては、正しく印刷されないことがあります。
④	出力用紙サイズ	出力する用紙のサイズに合わせて拡大・縮小印刷したいときに指定します。
⑤	縮小のみ	出力する用紙のサイズに合わせて縮小印刷のみしたいときに指定します。

[カラー] パネル

	項目	説明
①	印刷モード	カラー印刷に関する色の調整などを指定します。
②	トナーセーブ	トナーを節約して印刷したいときに設定します。

[カラー・マッチング] パネル

	項目	説明
①	ColorSync	ColorSync 機能の指定を行います。
②	プリンタのカラー	プリンターでカラーマッチングを行います。
③	プロファイル	プロファイルを指定します。

[ユーザー認証] パネル

	項目	説明
①	ユーザ認証を使用する	ユーザー認証機能を使用するか否かを選択します。
②	ユーザ名	ユーザー認証に使用するときに設定します。
③	パスワード	ユーザー認証に使用するパスワードを入力します。

[一覧] パネル

	項目	説明
①	機能	機能設定の一覧を表示します。▶をクリックすると、詳細を表示します。 一覧表示は、OS X 10.7 では [プリセット] メニュー内に表示されます。

メモ

- ここでは、Windows ではメモ帳、Mac OS X ではテキストエディットを例に説明しています。お使いのアプリケーションやプリンタードライバーのバージョンによって、記載と異なることがあります。

参照

- プリンタードライバーの各設定項目の詳しい説明は、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

いろいろな用紙に印刷する

はがき、往復はがき、封筒に印刷する

メモ

- 使用できるはがき・封筒の種類については、セットアップ編「使用できる用紙の種類」をご覧ください。

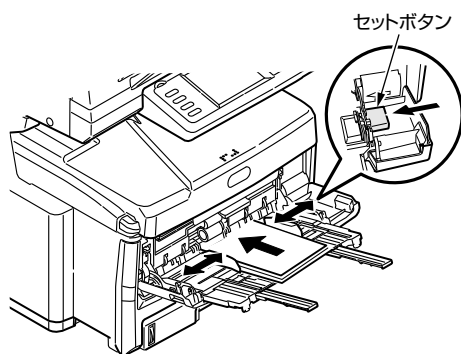
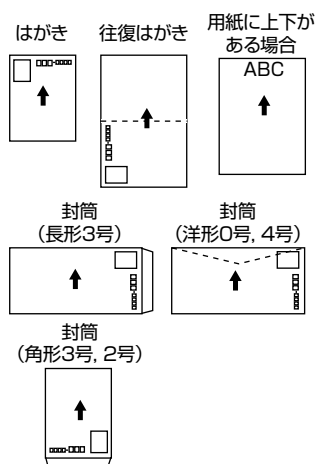
1 MP トレイ（マルチパーパストレイ）に用紙をセットし、セットボタンを押します。

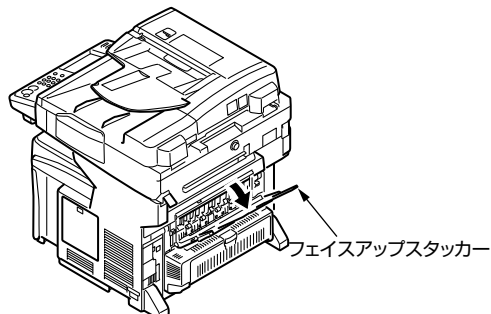
はがき、往復はがき、封筒は MP トレイから印刷します。

メモ

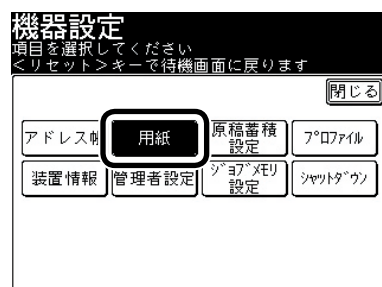
- MP トレイから手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくは基本操作編「MP トレイから印刷する」をご覧ください。

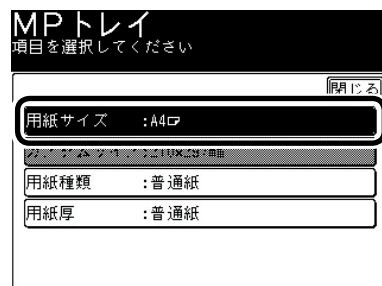
注

- はがき、往復はがき、封筒は用紙トレイからの印刷や、両面印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。
- 角形 2 号封筒は 1 枚ずつセットして手差しで印刷してください。

- 用紙のセット方向

2 フェイスアップスタッカーを開きます。

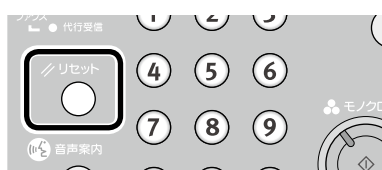
はがき、往復はがき、封筒はフェイスアップスタッカー（印刷面が上）に排出します。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。

(1) 操作パネルの<機器設定>キーを押します。

(2) ［用紙］を押します。

(3) ［MP トレイ］を押します。

(4) ［用紙サイズ］を押します。

(5) [▼] を押し、MP トレイ 2/3 画面を表示します。

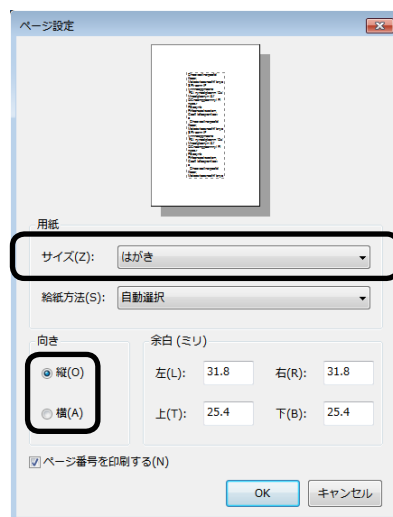
(6) [はがき] を選択し、[確定] を押します。

(7) <リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタードライバーで [用紙サイズ]、[給紙方法] を選択し、印刷します。

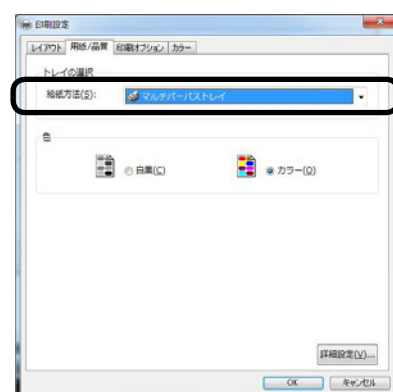
■Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

2 [サイズ] で [はがき]、[往復はがき] または [封筒※ (※は封筒の種類)]、[向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

3 [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

4 [詳細設定] をクリックします。

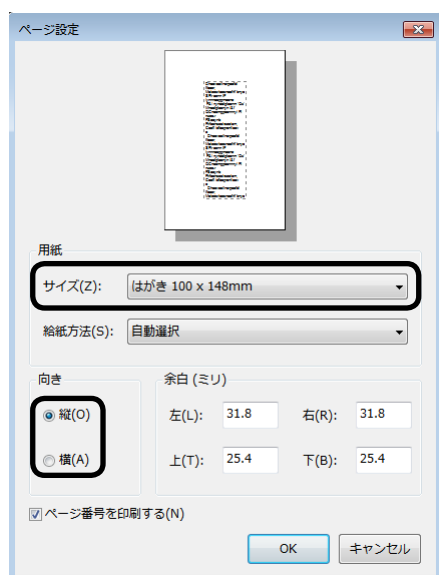
5 [用紙 / 品質] タブの [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択し、[OK] をクリックします。

メモ

- [封筒※ (※は封筒の種類)] で、縦長 (長形でフラップ (のりしろ) が上になる向き) に印刷する場合、「ページ設定」画面の [印刷の向き] で [横] を選択します。
- [封筒※ (※は封筒の種類)] で、横長 (長形でフラップ (のりしろ) が右側になる向き) に印刷する場合、「ページ設定」画面の [印刷の向き] で [縦] を選択します。「印刷」画面の [用紙 / 品質] タブの [詳細設定] をクリックして [180°] で [回転あり] を選択します。

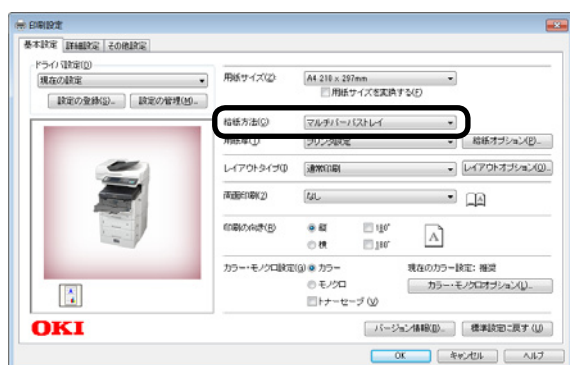
6 「印刷」画面で [印刷] をクリックし、印刷します。

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

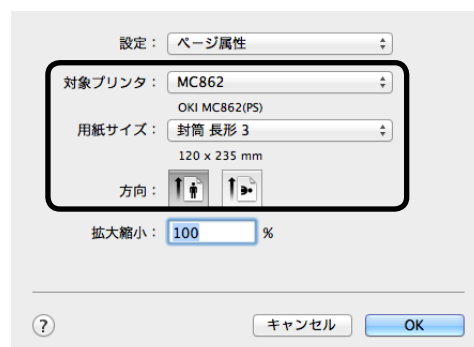
2 ［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒※（※は封筒の種類)］、［向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

4 ［詳細設定］をクリックします。

5 ［基本設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

6 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

2 ［対象プリンタ］でプリンターの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒※（※は封筒の種類)］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

4 ［プリンタ］でプリンターの機種名が選択されていることを確認します。

5 ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

メモ

- ［封筒※（※は封筒の種類)］で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［プリンタの機能］パネルの［印刷オプション］機能セットで［180°］にチェックを付けます。
- ［封筒※（※は封筒の種類)］で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。
- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

6 ［プリント］をクリックし、印刷します。

ラベル紙、OHP フィルムに印刷する

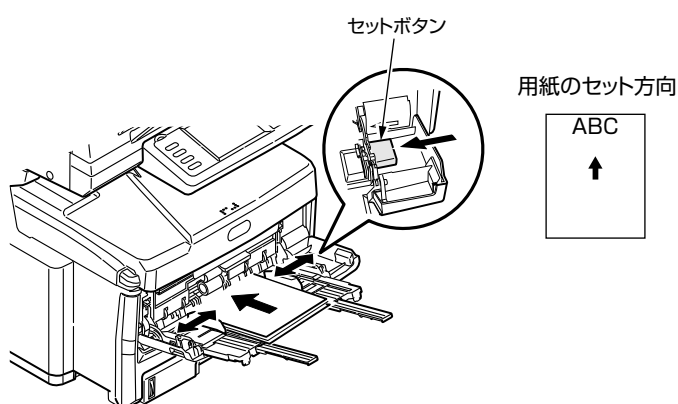
メモ

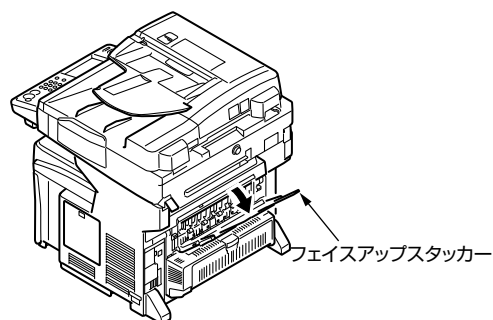
- 使用できるラベル紙･OHP フィルムの種類については、セットアップ編「使用できる用紙の種類」をご覧ください。

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

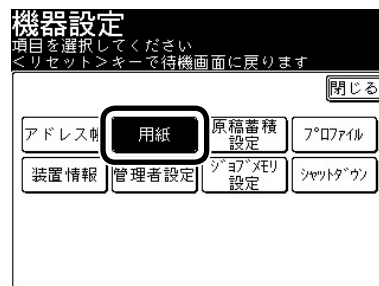
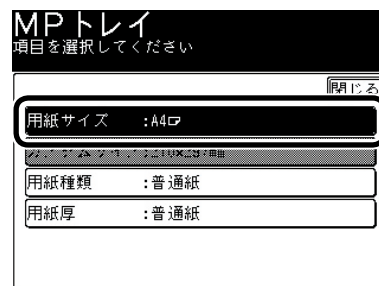
ラベル紙、OHP フィルムは MP トレイ（マルチパーパストレイ）から印刷します。

メモ

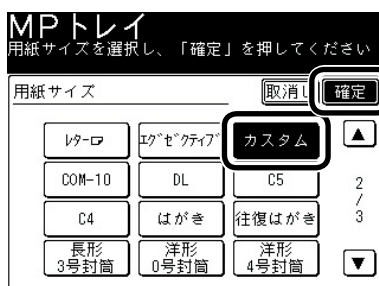
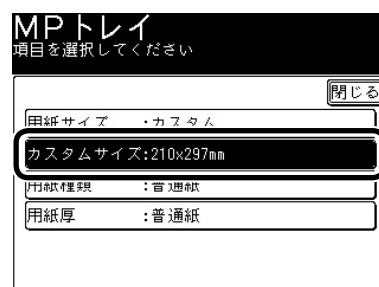
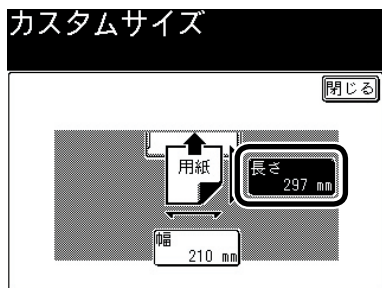
- MP トレイから手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくは基本操作編「MP トレイから印刷する」をご覧ください。
- ラベル紙、OHP フィルムは用紙トレイからの印刷や、両面印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

2 フェイスアップスタッカーを開きます。

ラベル紙、OHP フィルムはフェイスアップスタッカーに排出します。

3 操作パネルで用紙サイズと用紙種類を設定します。

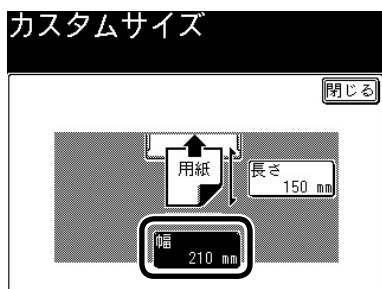
(1) <機器設定>キーを押します。

(2) ［用紙］を押します。

(3) ［MP トレイ］を押します。

(4) ［用紙サイズ］を押します。

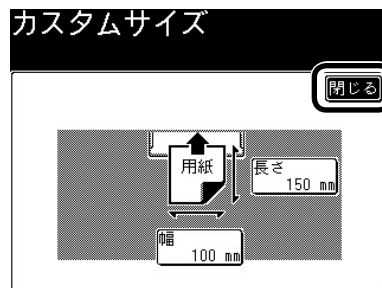
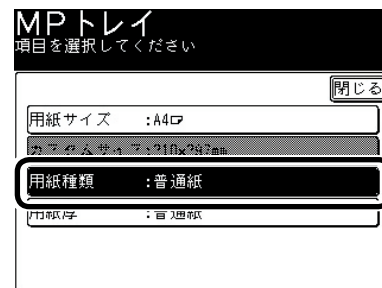
(5) ［▼］を押し、MP トレイ 2/3 画面を表示します。

(6) ［カスタム］を選択し、［確定］を押します。

(7) ［カスタムサイズ］を押します。

(8) ［長さ］を押します。

(9) テンキーまたは［▼］［▲］で長さを入力します。

(10) サイズを入力後、［確定］を押します。

(11) ［幅］を押します。

(12) テンキーまたはカーソルキーで幅を入力します。

(13) サイズを入力後、［確定］を押します。

(14) ［閉じる］を押します。

(15) ［用紙種類］を押します。

(16) ［OHP］を押し、［確定］を押します。

(17) <リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタードライバーで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

■Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

2 [サイズ] で [A4] または [レター]、[向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

3 [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

4 [詳細設定] をクリックします。

5 [用紙 / 品質] タブの [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択し、[OK] をクリックします。

6 「印刷」画面で [印刷] をクリックし、印刷します。

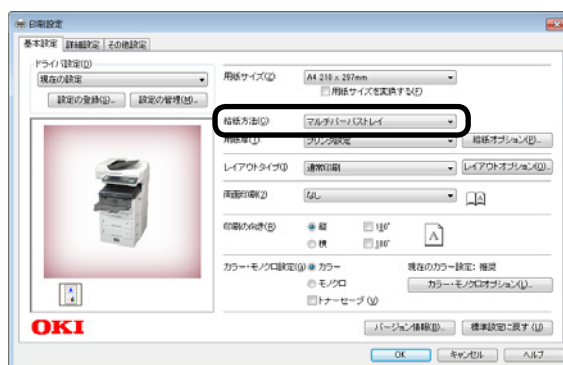
■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

2 [サイズ] で [A4] または [レター]、[向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

3 [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

4 [詳細設定] をクリックします。

5 [基本設定] タブの [給紙方法] で [マルチパーパストレイ] を選択し、[OK] をクリックします。

6 「印刷」画面で [OK] または [印刷] をクリックし、印刷します。

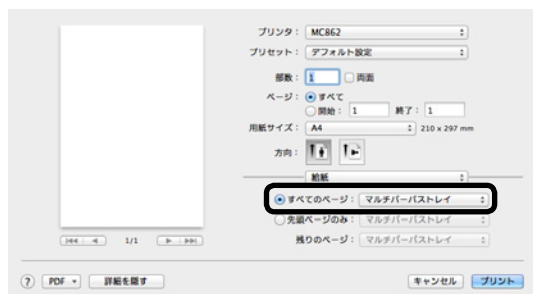
■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

2 ［対象プリンタ］でプリンターの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

4 ［プリンタ］でプリンターの機種名が選択されていることを確認します。

5 ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

6 ［プリント］をクリックし、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ / 長尺印刷）

独自の用紙サイズをプリンタードライバーに登録し、印刷するときに指定します。

［設定できるサイズ］
幅　：64 ～ 297mm
長さ：105 ～ 1200mm

［用紙トレイから給紙できるサイズ］

	トレイ 1	トレイ 2, 3
幅	：105 ～ 297mm	148 ～ 297mm
長さ	：148 ～ 431.8mm	182 ～ 431.8mm

［両面印刷できるサイズ］
幅　：148 ～ 297mm
長さ：182 ～ 431.8mm

注

- 長さが 432mm を超える用紙の印刷（長尺印刷）は、フェイスアップスタッカーに排出してください。
- 用紙サイズは縦長に設定し、本機にセットしてください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 長さが 355.6mm を超える用紙の印刷品位は保証できません。
- MP トレイから給紙する場合、用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 用紙トレイ（トレイ 1、トレイ 2/3（MC852dn/MC862dn ではオプション））から給紙する場合は、本機の操作パネルで<機器設定>キーを押し、［用紙］-［トレイ 1］-［用紙サイズ］-［カスタム］と選択してください。
- 幅が 100mm 未満の用紙は紙づまりの原因になりますので、保証できません。
- 「給紙オプション」画面の［自動トレイ切り替え］は、初期設定では有効（チェック有り）になっています。印刷中に用紙が無くなると、別トレイから給紙することがあります。カスタムサイズ用紙を特定のトレイのみから印刷するときは、無効（チェックを外す）にしてください。

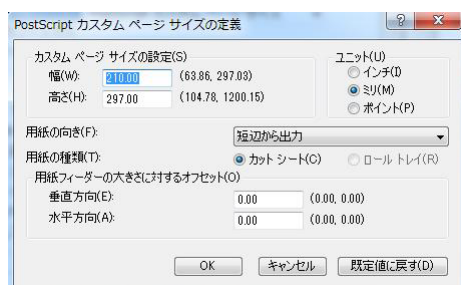
■Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC862(PS)］アイコンを右クリックし、［印刷設定］＞［OKI MC862(PS)］を選択します。

3 ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

4 ［用紙サイズ］をクリックし、ドロップダウンリストから［PostScript カスタムページサイズ］を選択します。

5 「PostScript カスタムページサイズの定義」画面で［幅］と［高さ］を入力します。

6 ［OK］をクリックします。

7 印刷したいファイルを開きます。

8 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

9 用紙サイズを指定します。

メモ

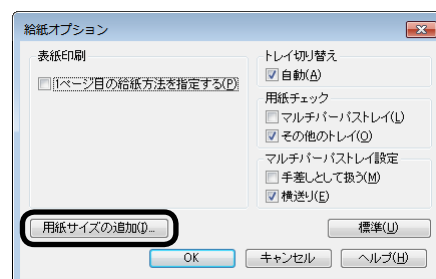
- PS プリンタードライバーで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で「ふつう」を設定すると正しく印刷できる場合があります。

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC862(PCL)］アイコンを右クリックし、［印刷設定］＞［OKI MC862(PCL)］を選択します。

3 ［基本設定］タブの［給紙オプション］をクリックします。

4 「給紙オプション」画面で［用紙サイズの追加］をクリックします。

5 「用紙サイズの追加」画面で［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

6 ［追加］をクリックします。

作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。合計 32 個まで定義できます。

7 印刷したいファイルを開きます。

8 登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

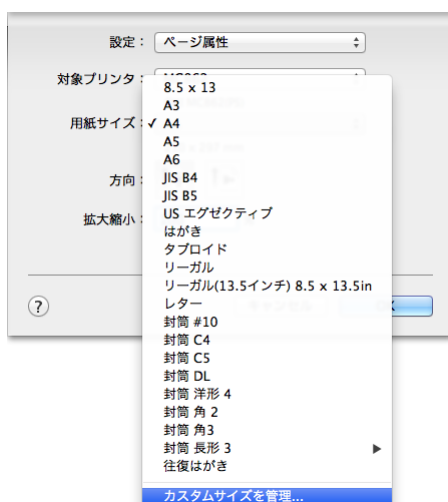
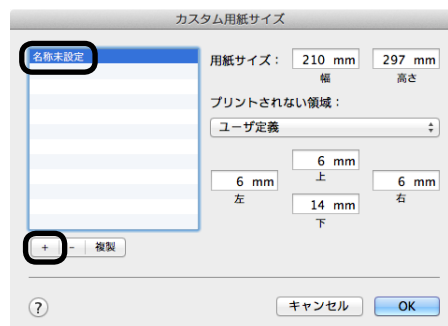
■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

! 注

● Mac OS X では、印刷可能な範囲を超えるカスタムサイズの入力が可能ですが、その場合は正しく印刷することができません。正しい範囲内の設定を行ってください。

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

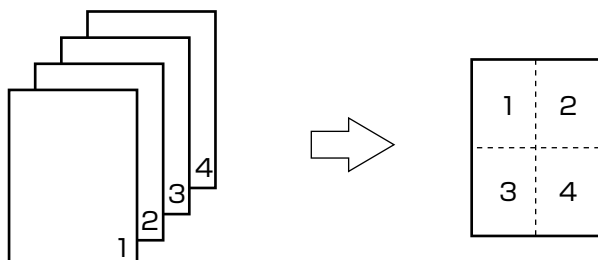
3 ［用紙サイズ］で［カスタムサイズを管理］を選択します。（Mac OS X 10.4 未満では［設定］で［カスタム用紙サイズ］をクリックします。）

4 「カスタム用紙サイズ」画面で［+］（Mac OS X 10.4 未満では［新規］）をクリックします。［名称未設定］をダブルクリックし、［カスタム用紙サイズ］の名前を入力します。ページサイズの［幅］、［高さ］を入力します。

5 ［OK］（Mac OS X 10.4 未満では［保存］）をクリックします。

作成した用紙は［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］リストの下の方に表示されます。

6 印刷します。

節約して印刷する

1 枚の用紙に複数のページを印刷する（マルチページ印刷）

複数ページのデータを 1 枚の用紙に縮小して印刷できます。

注

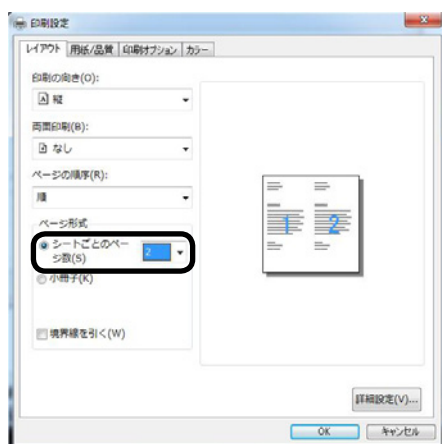
- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- Windows PCL プリンタードライバーではとじ代も設定できます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［レイアウト］タブの［シートごとのページ数］（Windows XP/Windows Server 2003 では［シートごとのページ］）から 1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。

メモ

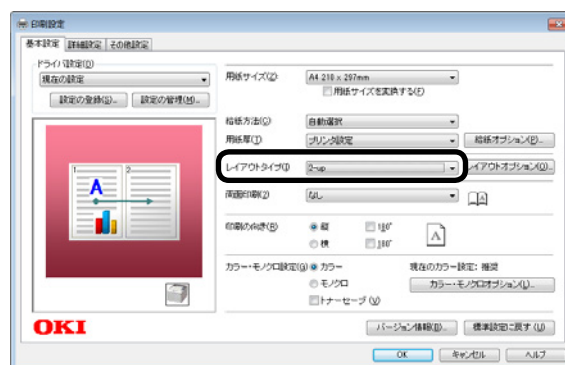
- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方は、必要に応じて、［境界線を引く］を設定してください。また、［詳細設定］-［シートごとのページレイアウト］でページ配置を変更することもできます。

■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

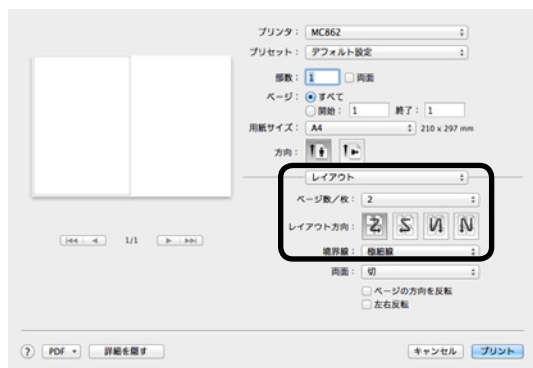
3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［基本設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

5 ［レイアウトオプション］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に 0 ～ 30mm まで設定できます。

■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［レイアウト］パネルの［ページ数 / 枚］、［レイアウト方向］、［境界線］を選択します。

メモ

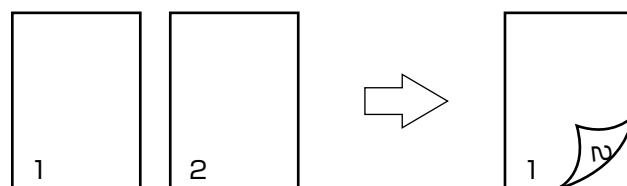
- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

両面印刷する

用紙の両面に印刷することができます。

両面印刷できる用紙サイズは A3、A4、A5、B5、レター、リーガル (13 インチ)、リーガル (13.5 インチ)、リーガル (14 インチ)、エグゼクティブおよびカスタムサイズです。A6 用紙は使用できません。

両面印刷できるカスタムサイズの幅と長さの範囲については、「任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ / 長尺印刷）」（P.22）をご覧ください。

両面印刷できる用紙の厚さは、64-105g/m^2（連量 55kg-90kg）です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使用しないでください。

注

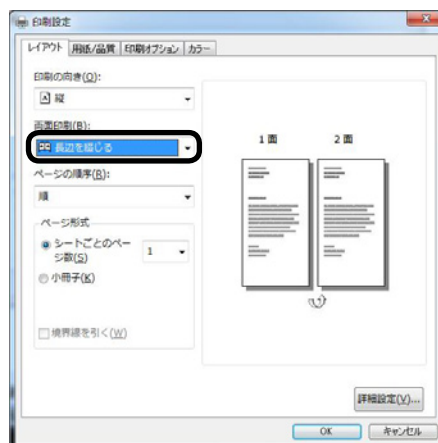
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

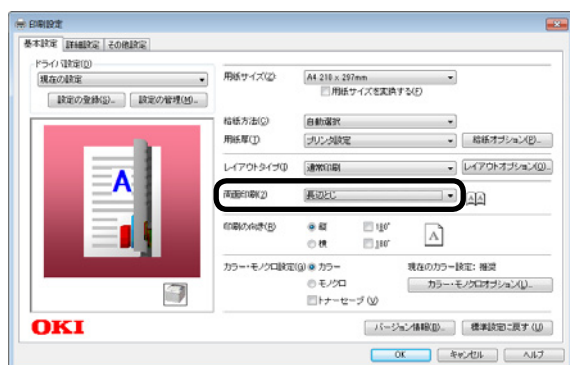
4 ［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

5 印刷します。

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

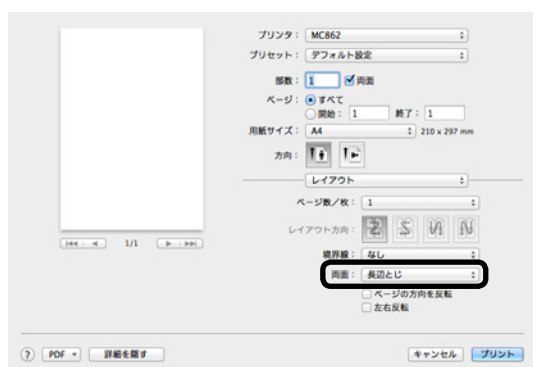
3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［基本設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

5 印刷します。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［レイアウト］パネルの［両面］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

4 印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

トナーを節約して試し印刷する

全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約して印刷します。同時に 100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。

トナーセーブをしても画像のバランスが失われにくくするために中間調を明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によってことなります。

! 注

- 100%黒の色には無効です。
- 印刷モードが［グレースケール］のときは有効になりません。
- PostScript で CMYK 印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYK で印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScript でグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIE カラースペースで印刷データを作成する OS やアプリケーションでは無効となります。

■Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［カラー］タブの［トナーセーブ］をチェックします。

5 印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 アクセス制御・ユーザー認証
付録
索引

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［基本設定］タブの［トナーセーブ］をチェックします。

5 印刷します。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［カラー］パネルの［トナーセーブ］にチェックします。

4 印刷します。

メモ

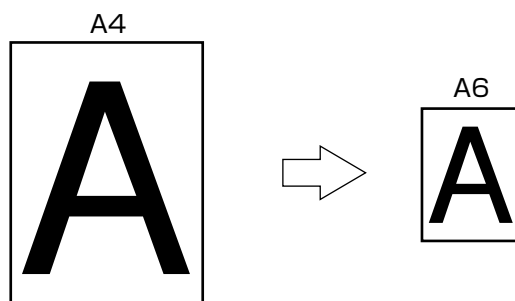
- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

大きさを変えて印刷する

ページを拡大 / 縮小する

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

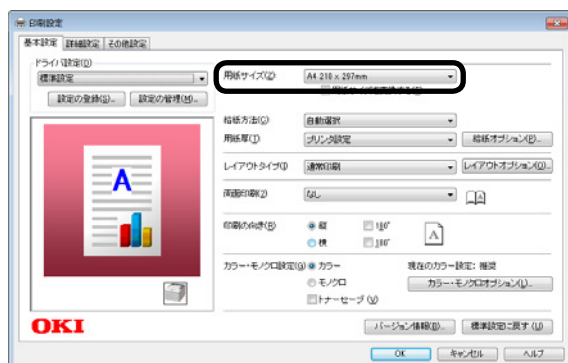
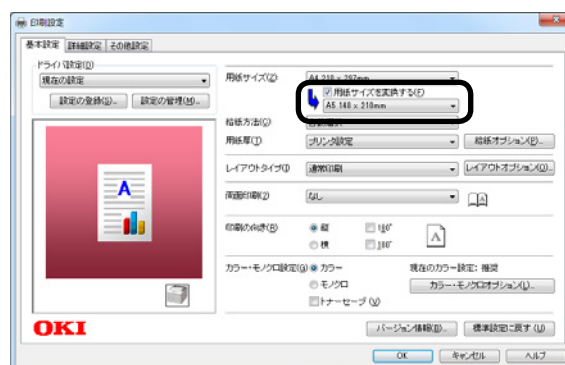
注

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Windows PS プリンタードライバー、Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。

■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

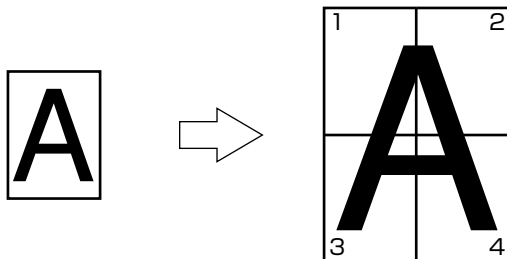
2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［基本設定］タブの［用紙サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。

5 ［用紙サイズを変換する］にチェックを付け、印刷したい用紙サイズを選択します。

6 印刷します。

複数枚の用紙に拡大して印刷する（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。

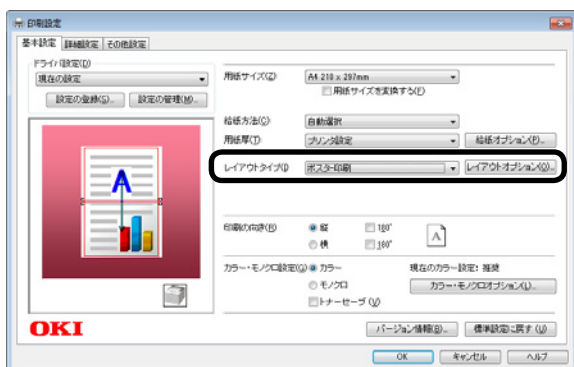
注

- Windows PCL プリンタードライバーのみで利用できます。
- NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合には、ポスター印刷を利用できません。
- ネットワーク共有でプリントサーバーを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合には、ポスター印刷を利用できません。
- ［ポスター印刷］が動作しない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダーの［OKI MC862 (PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［OKC04UPP］を選択してください。

■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

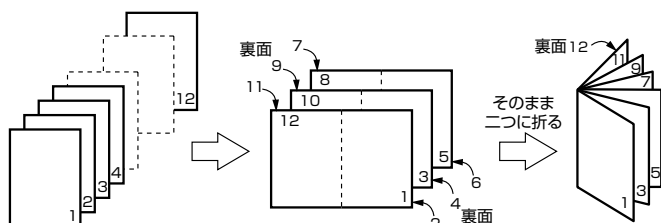
3 ［詳細設定］をクリックします。

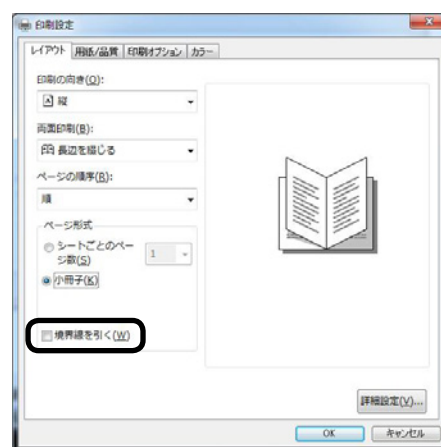
4 ［基本設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。

5 ［レイアウトオプション］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定できます。

小冊子用にページを並べ替えて印刷する（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成できます。

! 注

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。
- ［小冊子］印刷ができない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダーの［OKI MC862 (PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。
- ［小冊子］印刷では、ウォーターマークは正しく印刷できません。
- アプリケーション自身で PostScript データを生成する場合には、小冊子の指定は正常に動作しないことがあります。回避方法の有無はアプリケーションに依存します。お使いのアプリケーションのマニュアルをご確認ください。例えば Adobe Acrobat Professional または Adobe Reader では印刷ダイアログの詳細設定で、「画像として印刷」にチェックすることで小冊子の印刷が正常に動作するようになります。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. ［レイアウト］タブで［小冊子］を選択します。（Windows XP/Windows Server 2003 では、［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で［小冊子］を選択します。）
5. Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 をお使いの方は、必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。

6. ［詳細設定］をクリックし、［用紙サイズ］で実際に使用する用紙サイズを選択します。

メモ

- （例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合
  - ［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 で、右折の小冊子（ページ目を表にした時、右側が綴じ位置になる冊子）を作る場合、［詳細設定］の［小冊子綴じ］で［右の端］を選択します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能を設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

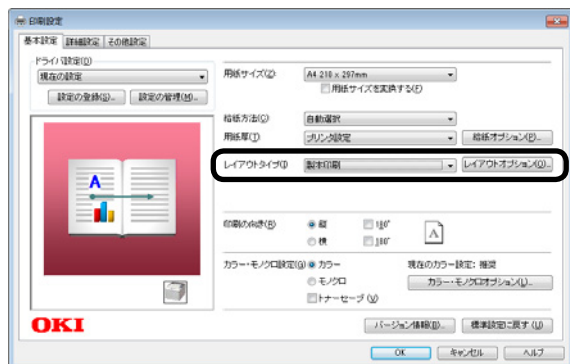
！注

- 以下の場合には、小冊子印刷を利用できません。
  - NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合
  - ネットワーク共有でプリントサーバーを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合
- ［製本印刷］が選択できない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダーの［OKI MC862 (PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［OKC04UPP］を選択してください。

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

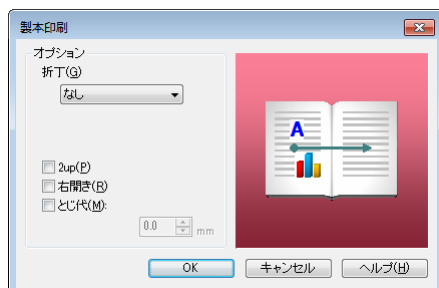
4 ［基本設定］タブの［レイアウトタイプ］で［製本印刷］を選択し、［レイアウトオプション］をクリックします。

5 「製本印刷」画面で、必要に応じて［折丁］、［2up］、［右開き］、［とじ代］を設定します。

● 折丁

製本するページの単位です。

● 右開き

小冊子が右開きになるよう印刷します。

メモ

- （例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合［基本設定］タブの［用紙サイズ］で［A4］を選択します。

きれいに印刷する

印刷品位（解像度）を変更する

初期設定では、「ふつう（600 × 600dpi）」に設定されています。お使いの環境に合わせて［印刷品位］を設定してください。

メモ

- PS プリンタードライバーで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で「ふつう」を設定すると正しく印刷できる場合があります。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［印刷オプション］タブの［印刷品位］を変更します。

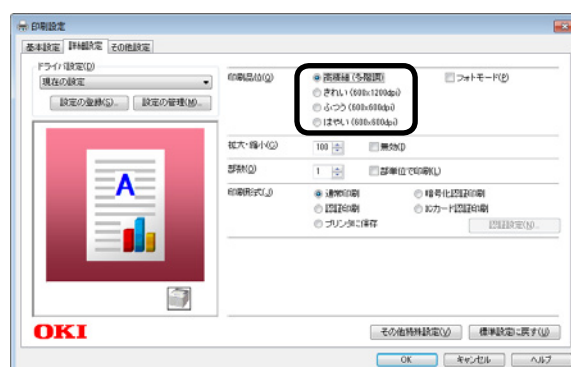
5 印刷します。

■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

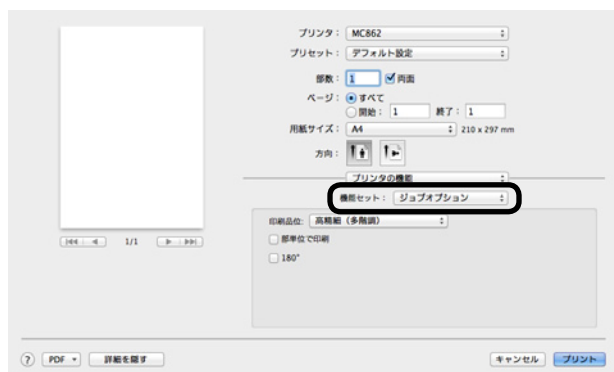
4 ［詳細設定］タブの［印刷品位］を変更します。

5 印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う設定の登録機能
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［プリンタの機能］パネルの機能セットで［ジョブオプション］を選択し、［印刷品位］を変更します。

4 印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

写真をより鮮明に印刷する（フォトモード）

写真などの画像を、より鮮明に印刷することができます。

注

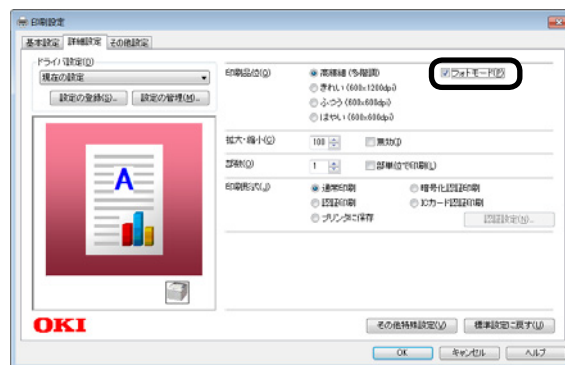
- Windows PS プリンタードライバー、Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［詳細設定］タブの［印刷品位］で［フォトモード］を選択します。

5 印刷します。

細線を補正する

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

メモ

- アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

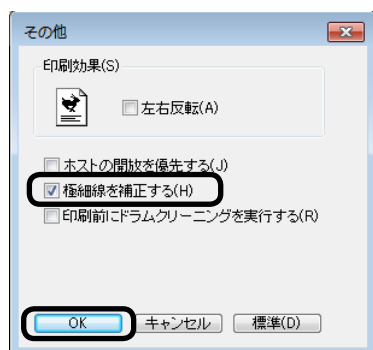
Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

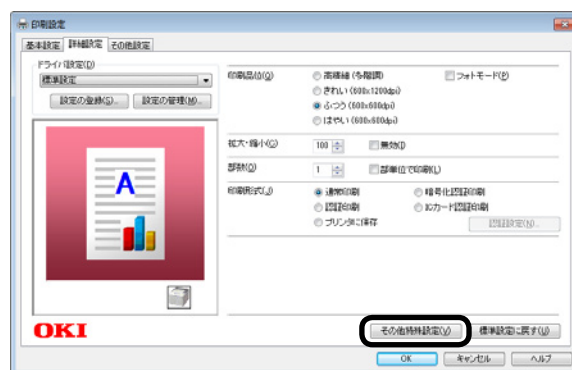
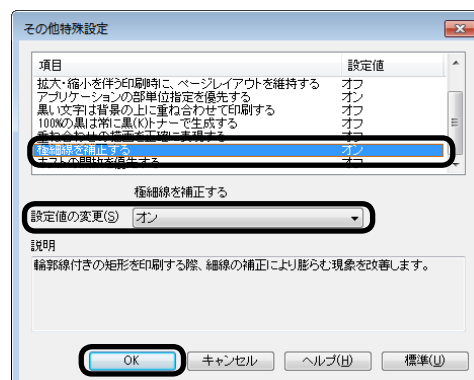
5 ［極細線を補正する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

6 印刷します。

Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［詳細設定］タブの［その他特殊設定］をクリックします。

5 ［極細線を補正する］を選択し、設定値の変更で［オン］を選択し、［OK］をクリックします。

6 印刷します。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［プリンタの機能］パネルの機能セットで［イメージオプション］を選択し、［極細線を補正する］にチェックを付けます。

4 印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

プリンターのフォントを使用する

TrueType フォントをプリンター内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

注

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタードライバーを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- Windows PS プリンタードライバーはコンピューターの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。

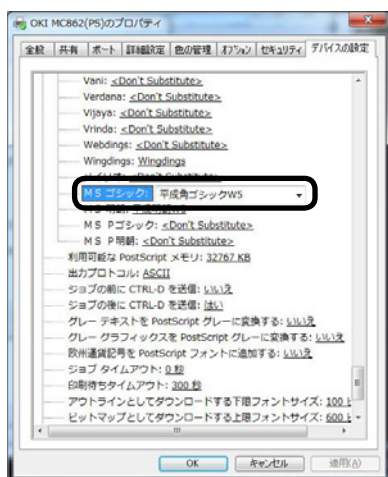
■Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC862(PS)］アイコンを右クリックし、［印刷設定］＞［OKI MC862(PS)］を選択します。

3 ［デバイスの設定］タブを選択します。

4 ［フォント代替表］で、TrueType フォントの代わりに使用するプリンターフォントを指定します。

フォントを指定するには、TrueType フォントをクリックし、代用するプリンターフォントをドロップダウンリストから選択します。

5 ［OK］をクリックします。

6 アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

7 ［詳細設定］をクリックします。

8 ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

9 ［TrueType フォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

10 印刷します。

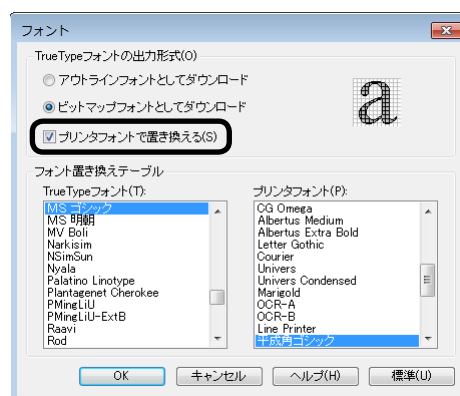
■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［その他設定］タブの［フォント］をクリックします。

5 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

6 ［フォント置き換えテーブル］で TrueType フォントをどのプリンターフォントに置き換えるかを指定します。

7 印刷します。

● 置き換えフォント一覧表

コンピューター側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator 等の表示		
中ゴシック BBB 中ゴシック BBB- 等幅 中ゴシック体 等幅ゴシック	ChuGothicBBB Medium ChuGothicBBB Medium Mono GothicBBB-Medium ―	TT TT PS PS	平成角ゴシック体 W5 平成角ゴシック体 W5 平成角ゴシック体 W5 平成角ゴシック体 W5
Osaka Osaka- 等幅	Osaka Regular Osaka Regular-Mono	TT TT	平成角ゴシック体 W5 平成角ゴシック体 W5
リュウミンライト -KL リュウミンライト -KL-等幅 細明朝体 等幅明朝	Ryumin Light KL Ryumin Light KL Mono Ryumin Light ―	TT TT PS PS	平成明朝体 W3 平成明朝体 W3 平成明朝体 W3 平成明朝体 W3
平成角ゴシック 平成明朝 本明朝 -M	HeiseiKakuGothic W5 HeiseiMincho W3 HonMincho-Medium	TT TT TT	平成角ゴシック体 W5 平成明朝体 W3 平成明朝体 W3
B 太ゴ B101 B 太ミン A101 見出ゴ MB31 見出ミン MA31	FutoGoB101-Bold FutoMinA101-Bold MidashiGo-MB31 MidashiMin-MA31	PS PS PS PS	平成角ゴシック体 W5 平成明朝体 W3 平成角ゴシック体 W5 平成明朝体 W3
丸ゴシック -M	MaruGothic-Medium	TT	―

TT：TrueType フォント
PS：PostScript フォント

コンピューターのフォントを使用する

TrueType フォントを画面表示のまま出力できます。

注

- 印刷時間が長くなることがあります。
- Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。

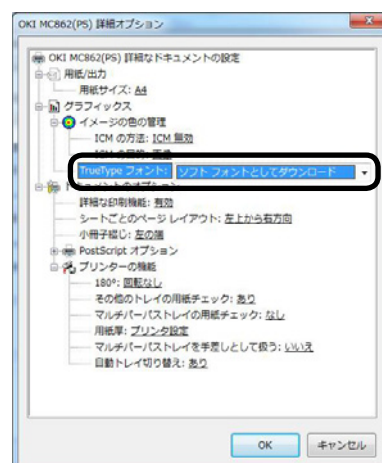
■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

5 ［TrueType フォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

6 印刷します。

■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

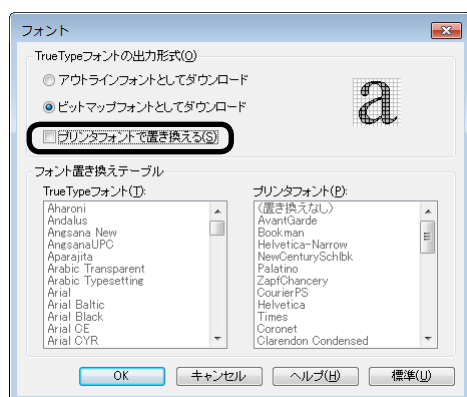
4 ［その他設定］タブの［フォント］をクリックします。

5 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

● アウトラインフォントとしてダウンロード

プリンターでフォントイメージを作成します。

● ビットマップフォントとしてダウンロード

プリンタードライバーでフォントイメージを作成します。

6 印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能を設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

印刷結果を人に見られないように印刷する

注

- IC カード認証印刷を利用するには、カード認証キット（オプション）が必要です。

パスワードを入力して印刷する（認証印刷）

印刷ジョブを本機のハードディスクに蓄えて、操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

注

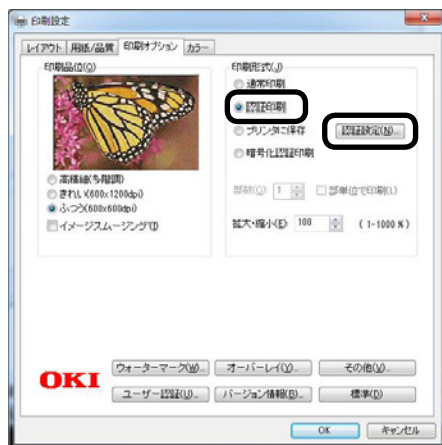
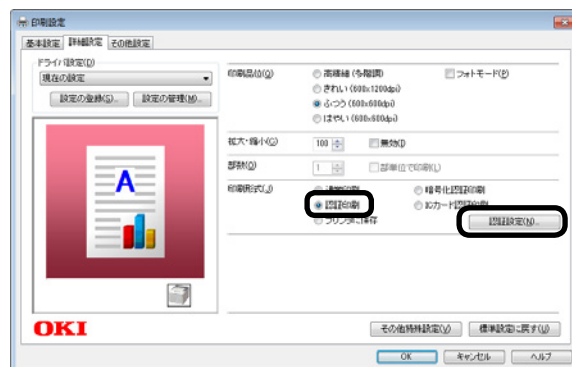
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示し、印刷は行われません。
- Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。

1 印刷したいファイルを開き、［認証印刷］を指定します。

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(3) ［詳細設定］をクリックします。

(4) PS ドライバーをお使いの場合は、［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択し、［認証設定］を選択します。
PCL ドライバをお使いの場合は、［詳細設定］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択し、［認証設定］を選択します。

（Windows 7 PS ドライバーの画面）

（Windows 7 PCL ドライバーの画面）

(5) 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

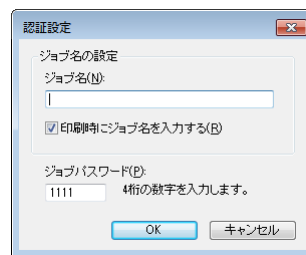
a 印刷時にジョブ名を入力する

印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

b ジョブパスワード

4 桁の数字で設定します。

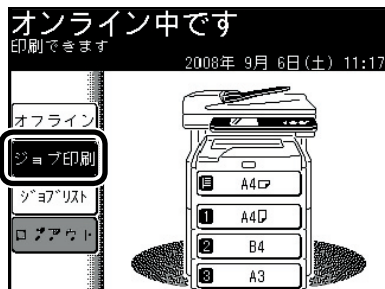
c ジョブ名

最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

(4) 印刷します。

［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

注

- 認証印刷ジョブを起動したユーザーが、そのジョブの存在を忘れた場合やパスワードを忘れてしまった場合には、装置のハードディスク内に放置されたままとなります。
ハードディスクに残ったままになっている認証印刷ジョブを削除したいときは、「■ Configuration Tool で認証印刷ジョブを削除する」へ進みます。認証印刷ジョブを削除できます。

2 本機の操作パネルからパスワードを入力し、印刷します。

(1) <プリンタ>キーを押します。

(2) ［ジョブ印刷］を押します。

(3) ［保存ジョブ］を押します。

(4) 印刷するジョブのパスワードをテンキーから４桁入力すると検索を開始します。

メモ

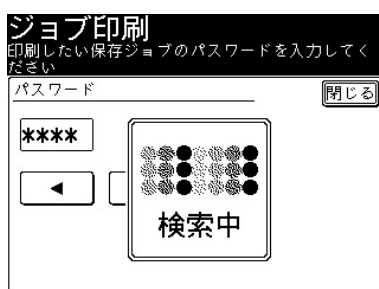
- 誤って入力した場合は、［クリア］を押し、設定しなおします。
- 検索をキャンセルしたい時は<ストップ>キーを押します。

(5) ［印刷］を押します。

メモ

- ［削除］を押すとジョブを削除できます。

(6) 印刷する部数をテンキーまたは［▲］,［▼］にて入力し、「確定」を押します。

参照

- Configuration Toolで認証印刷ジョブを削除できます。詳しくは、ユーティリティーソフトウェア編「ハードディスクから不要なジョブを削除する」をご覧ください。

機密文書を印刷する（暗号化認証印刷）

印刷ジョブを暗号化してから装置へ転送します。そのため、装置の通信過程やハードディスクから印刷データを盗聴された場合でも、印刷内容の漏洩を防止することができます。またセキュリティーをより強固にするため、ハードディスクにスプールされた印刷ジョブは、印刷されるか、一定期間が過ぎると自動的に削除されます。

印刷は、操作パネルでパスワードを入力してから印刷するため、印刷物の盗難を防止することもできます。

! 注

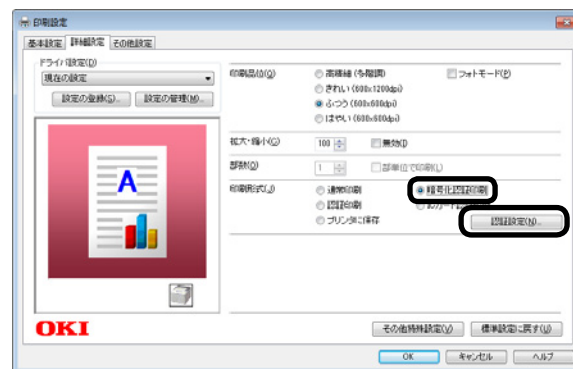
- Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。
- PCL ドライバーにおいて、ネットワーク共有でプリントサーバーを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合は、EMF 形式でスプールできないのでポスター印刷及び、製本印刷を行う事はできません。
- 印刷ジョブを保存する内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示し、印刷は行われません。
- 暗号化認証印刷を利用する際は、「ホストの開放を優先する」を無効にしてください。詳しくは「プリンターバッファーを使用する」(P.57)をご覧ください。
- Windows PS プリンタードライバーにおいて、Windows 7/ Windows Vista/Windows Server 2008 では、[デバイスの設定］タブの［暗号化認証印刷ジョブのみ印刷する］機能は利用できません。

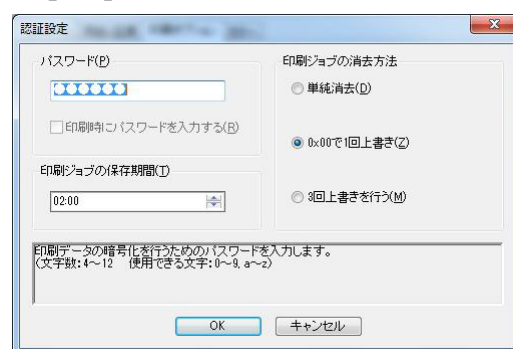
1 印刷したいファイルを開き、[暗号化認証印刷］を指定します。

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2)［詳細設定］をクリックします。

(3) PS ドライバーをお使いの場合は、[印刷オプション］タブの［印刷形式］で［暗号化認証印刷］を選択し、[認証設定］を選択します。
PCL ドライバをお使いの場合は、[詳細設定］タブの［印刷形式］で［暗号化認証印刷］を選択し、[認証設定］を選択します。

（Windows 7 PS ドライバーの画面）

（Windows 7 PCL ドライバーの画面）

(4)「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、[OK］をクリックします。

（Windows 7 PS プリンタードライバーの画面）

a パスワード

4 桁～ 12 桁の英数小文字で設定します。

b 印刷時にパスワードを入力する

印刷時にコンピューター上に、パスワードを入力する画面がでるようになります。

! 注

- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 PS ドライバーでは使用できません。

c 印刷ジョブの保存期間

本機のハードディスクに印刷ジョブの保存する期間を 5 分～ 23 時間 59 分の間で設定します。保存期間を過ぎた印刷ジョブは、自動的にハードディスクより削除されます。

d 印刷ジョブの消去方法

ハードディスクから印刷ジョブを削除する時の方法を指定します。

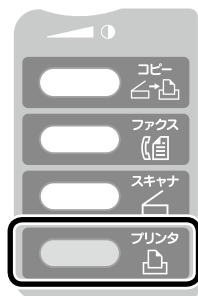
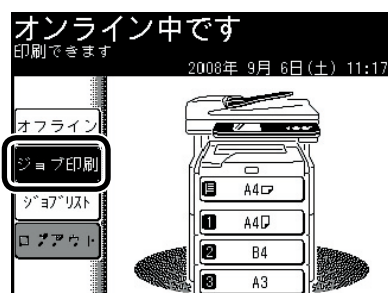
- 単純消去：印刷ジョブをファイルシステムより削除します。この削除方法は、ハードディスクから印刷ジョブを復元される恐れがありますが、もっとも短時間で削除されます。
- 0x00 で 1 回上書き：特定データで 1 回上書きした後、印刷ジョブを削除します。単純消去に比べ安全な消去方法ですが、特殊な方法で印刷ジョブを復元される恐れがあります。
- 3 回上書きを行う：印刷ジョブに 3 回データを上書きした後、削除します。もっとも安全な消去方法ですが、消去するための時間がかかります。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能やの設定の登録
6 カラー調整
7 レポート印刷/機能設定
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

(5) 印刷します。

[印刷時にパスワードを入力する] にチェックした場合、「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。

2 本機の操作パネルからパスワードを入力し、印刷します。

(1) <プリンタ>キーを押します。

(2) [ジョブ印刷] を押します。

(3) [暗号ジョブ] を押します。

(4) 印刷するジョブのパスワードをテンキーまたは入力画面から入力し、[確定] を押すと検索を開始します。

メモ

- 誤って入力した場合は、[クリア] を押し、設定しなおします。
- 検索をキャンセルしたい時は<ストップ>キーを押します。

(5) [印刷] を押します。

メモ

- [削除] を押すとジョブを削除できます。
  暗号ジョブの中で、入力されたパスワードと一致するものすべてが印刷されます。

メモ

- 暗号化認証印刷を実行した後、印刷に使用されたファイルは、指定された消去方法で消去されます。ファイルの消去中は、[ファイル消去中] のメッセージが表示されます。
- データの転送に失敗したり、データが改ざんされたことを検出した場合は、[無効なデータを受信しました] というメッセージを表示し、当該データを消去します。

便利な機能を使って印刷する

ページの順序を設定する

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

二通りの方法があります。

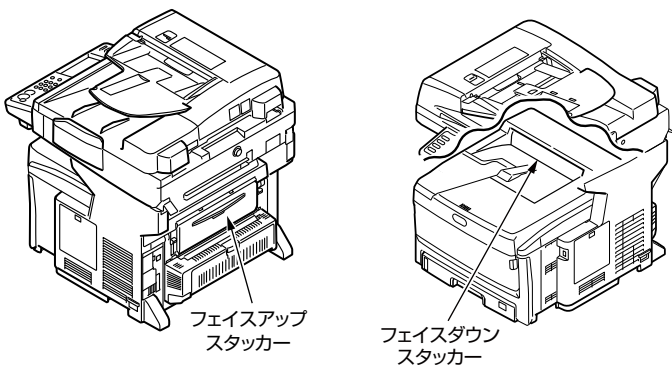
原稿と同順に排紙する

印刷面が下になって排出されます。

1 装置背面のフェイスアップスタッカーが閉じていることを確認します。

フェイスアップスタッカーが閉じているときは、フェイスダウンスタッカーに用紙を排出します

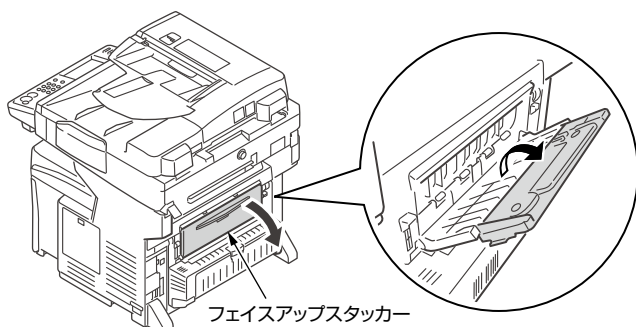
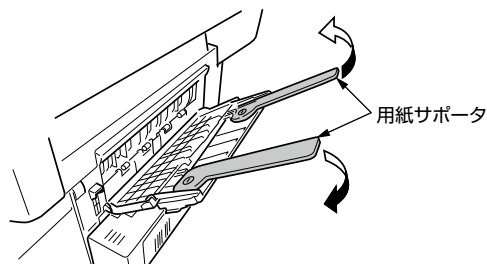
注

- 用紙厚が 129-200g/m^2（連量 111kg-172kg）の用紙、A6 サイズ、長さが 432mm を超えるカスタムサイズの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートは必ずフェイスアップスタッカーを開いてフェイスアップで排出してください。

原稿と逆順に排紙する

印刷面が上になって排出されます。

注

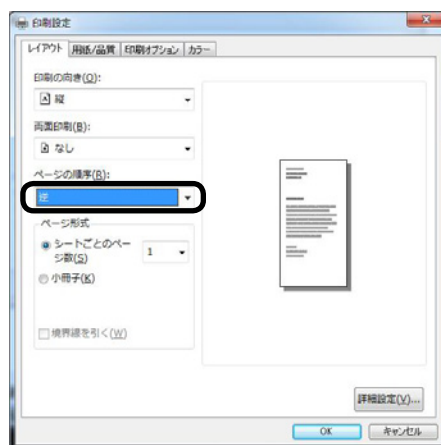
- Windows PCL プリンタードライバーでは利用できません。

1 装置背面のフェイスアップスタッカーを開きます。

2 用紙サポータを開きます。

■Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

5 印刷します。

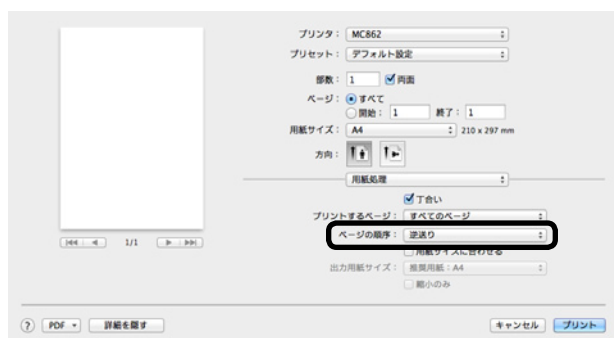
注

- ［ページの順序］項目が表示されない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダーの［OKI MC862(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［用紙処理］パネルの［ページの順序］で［逆送り］を選択します。

4 印刷します。

メモ

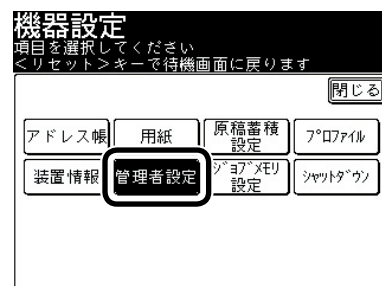
- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

トレイを自動的に選択する

プリンタードライバーで設定した用紙サイズに一致するトレイ（トレイ 1、トレイ 2/3（MC852dn/MC862dn ではオプション）、MP トレイ）を自動的に選択して印刷できます。

! 注

- 必ず用紙サイズダイヤルで用紙トレイの用紙サイズを合わせ、操作パネルでトレイ 1、トレイ 2/3（MC852dn/MC862dn ではオプション）、MP トレイの用紙サイズを設定してください。詳しくはセットアップ編「用紙のセットのしかた」をご覧ください。
- メニュー設定の「MP トレイ使い方」の初期値は、「使用しない」になっています。この場合、MP トレイは自動トレイ選択の対象になりません。

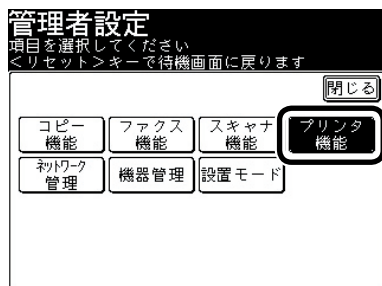
1 操作パネルで MP トレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

(1) <機器設定>キーを押します。

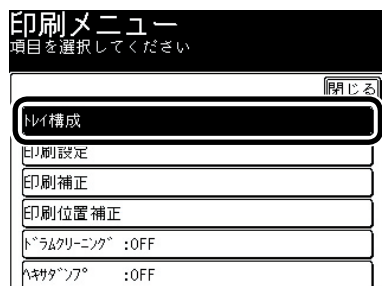
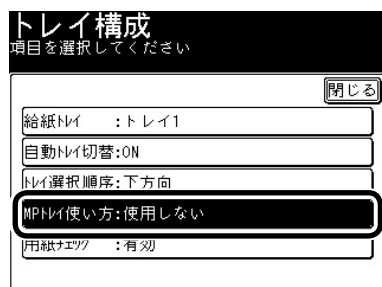
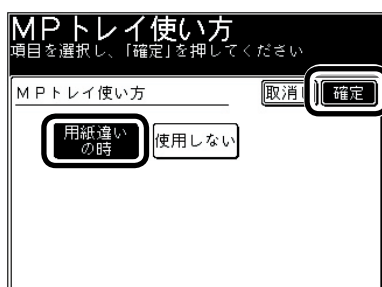
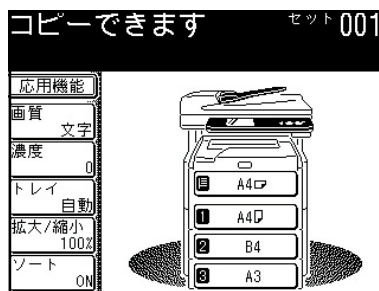
(2) ［管理者設定］を押します。

(3) 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

(4) ［プリンタ機能］を押します。

(5) ［印刷メニュー］を押します。

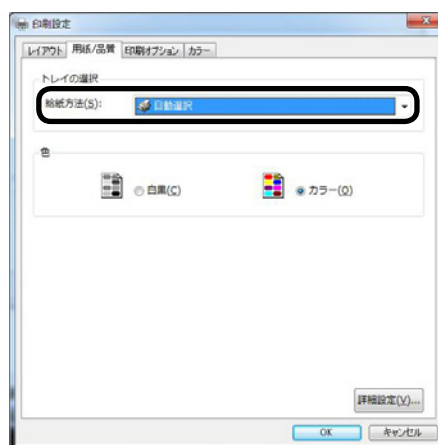
(6) ［トレイ構成］を押します。

(7) ［MP トレイの使い方］を押します。

(8) ［用紙違いの時］を選び、［確定］を押します。

(9) ＜リセット＞キーを押し、待機画面に戻ります。

2 プリンタードライバーで［給紙方法］を設定します。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

5 印刷します。

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

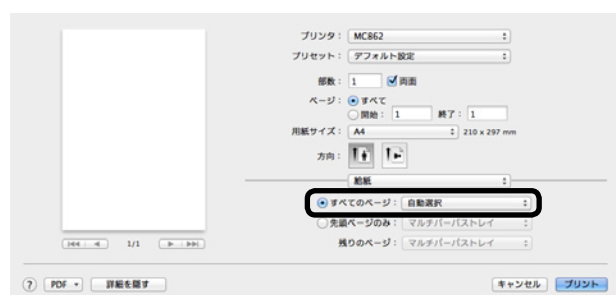
3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［基本設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［給紙］パネルで［すべてのページ］、［自動選択］を選択します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

表紙のみ別のトレイから印刷する

複数ページの印刷ジョブで 1 ページ目を別のトレイから給紙できます。 1 ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

注

- Windows PS プリンタードライバーでは利用できません。

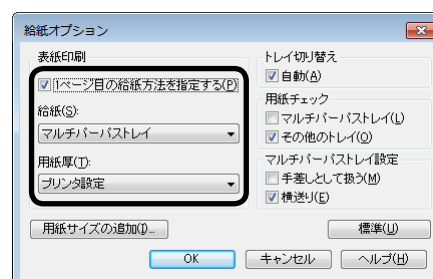
■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［基本設定］タブの［給紙オプション］をクリックします。

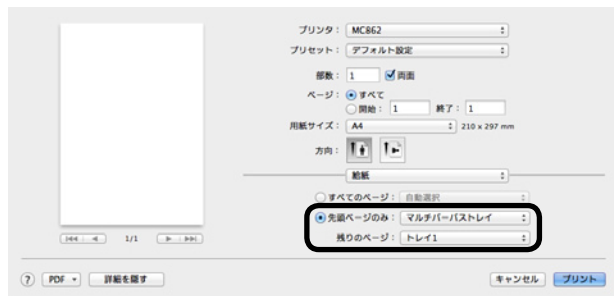
5 ［表紙印刷］の［1 ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定し、［OK］をクリックします。

6 印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 アクセス制御・ユーザー認証
付録
索引

■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

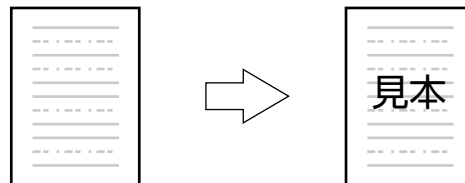
2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［給紙］パネルで［先頭ページのみ］をチェックし、［先頭ページのみ］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

スタンプを重ねて印刷する（ウォーターマーク）

アプリケーションから印刷される内容とは独立して［見本］や［社外秘］などの文字を重ね印刷できます。

注

- Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。
- 小冊子印刷では、ウォーターマークは正しく印刷されません。

■ Windows プリンタードライバーをお使いの方

注

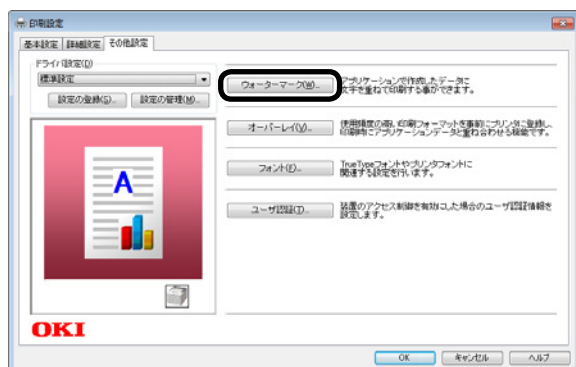
- PS プリンタードライバーの場合、初期設定ではウォーターマークは書類中の文字や図形の上に重なって印刷されます。文字や図形の下にウォーターマークを印刷したい場合は、［ウォーターマーク］ダイアログで［バックグラウンド］にチェックします。
- ［バックグラウンド］にチェックをすると、アプリケーションによってはウォーターマークが印刷されないことがあります。この場合は、［バックグラウンド］のチェックを外してください。

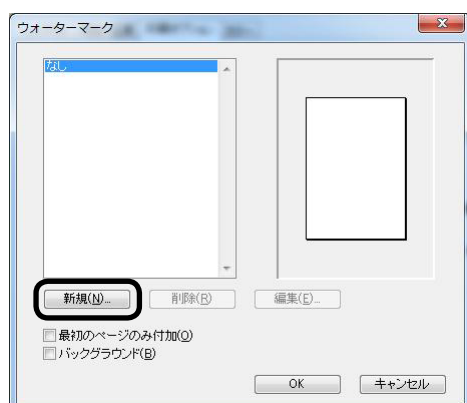
1 印刷したいファイルを開きます。

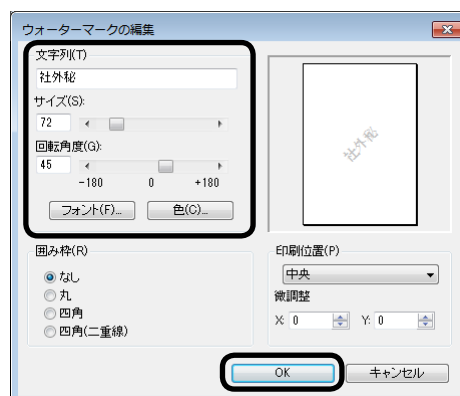
2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 PS ドライバーをお使いの場合は、[印刷オプション] タブの [ウォーターマーク] をクリックします。
PCL ドライバーをお使いの場合は、[その他設定] タブの [ウォーターマーク] をクリックします。

(Windows 7 PS ドライバーの画面)

(Windows 7 PCL ドライバーの画面)

5 [新規] をクリックします。

(Windows 7 PS ドライバーの画面)

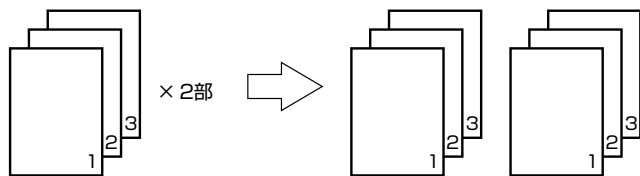
6 「ウォーターマークの編集」画面で [文字列] を入力し [サイズ] 他を設定します。

(Windows 7 PS ドライバーの画面)

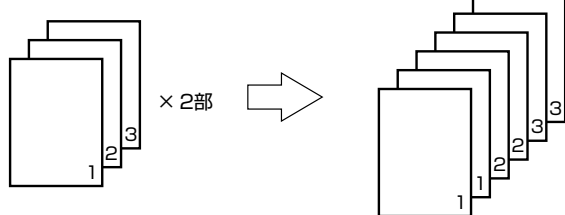
7 [OK] をクリックします。

8 印刷します。

部単位で印刷する

印刷ジョブを本機のメモリーに蓄えて部単位で印刷することができます。

部単位を指定して印刷した場合

部単位を指定せずに印刷した場合

注

- Mac OS X プリンタードライバーでは本機のメモリーを利用しないで印刷することもできます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

■Windows プリンタードライバーをお使いの方

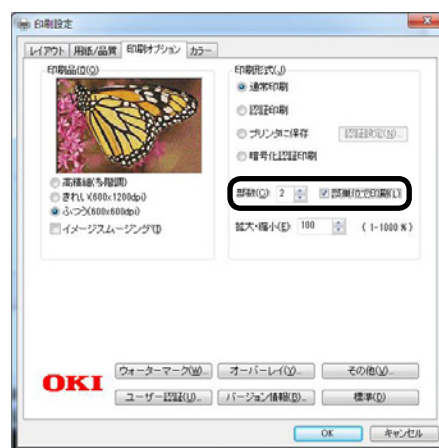
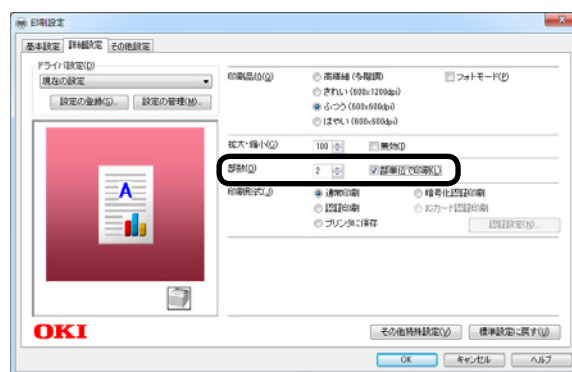
注

- PS プリンタードライバーを利用する場合、アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

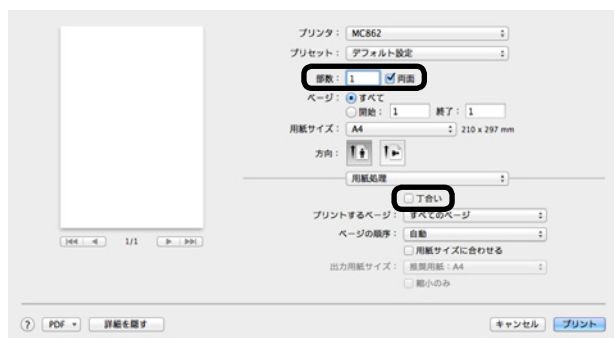
4 PS ドライバーをお使いの場合は、［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］にチェックを付けます。
PCL ドライバーをお使いの場合は、［詳細設定］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］にチェックを付けます。

（Windows 7 PS ドライバーの画面）

（Windows 7 PCL ドライバーの画面）

5 印刷します。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［用紙処理］パネル、または印刷ダイアログにある［丁合い］のチェックを外し、［部数］に印刷部数を入力します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

4 ［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットで［部単位で印刷］にチェックを付けます。

メモ

- ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］にチェックを付けると、本機のメモリーを利用しないで印刷します。

5 印刷します。

データを保存して繰り返し印刷する

印刷データを本機のハードディスクに保存し、操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返し印刷することができます。

! 注

- 印刷ジョブを保存する内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示し、印刷は行われません。
- Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。

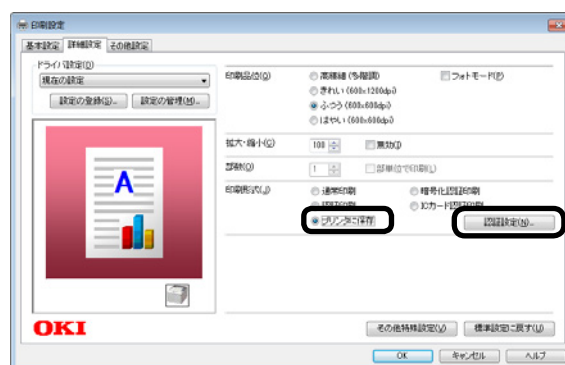
1 ジョブを本機に保存します。

(1) 印刷したいファイルを開きます。

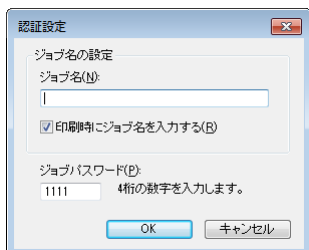
(2) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(3) ［詳細設定］をクリックします。

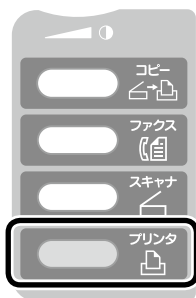
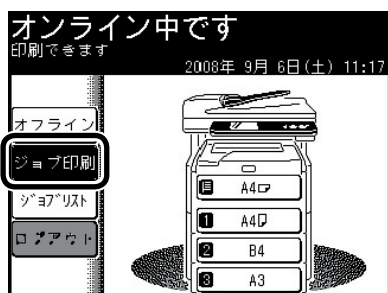
(4) PS ドライバーをお使いの場合は、［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択し、［認証設定］をクリックします。PCL ドライバーをお使いの場合は、［詳細設定］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択し、［認証設定］をクリックします。

（Windows 7 PS ドライバーの画面）

（Windows 7 PCL ドライバーの画面）

(5) 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

- 印刷時にジョブ名を入力する：印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
- ジョブパスワード：4 桁の数字で設定します。
- ジョブ名：最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

(6) 印刷します。

［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

2 本機の操作パネルからパスワードを入力し、印刷します。

(1) <プリンタ>キーを押します。

(2) ［ジョブ印刷］を押します。

(3) ［保存ジョブ］を押します。

(4) 印刷するジョブのパスワードをテンキーから 4 桁入力すると検索を開始します。

メモ

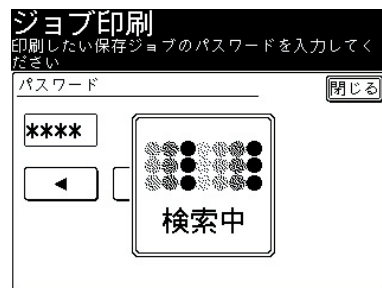
- 誤って入力した場合は、［クリア］を押し、設定しなおします。
- 検索をキャンセルしたい時は<ストップ>キーを押します。

(5) ［印刷］を押します。

メモ

- ［削除］を押すとジョブを削除できます。

(6) 印刷する部数をテンキーまたは［▲］,［▼］にて入力し、［確定］を押します。

参照

- Configuration Toolで認証印刷ジョブを削除できます。詳しくは、ユーティリティーソフトウェア編「ハードディスクから不要なジョブを削除する」をご覧ください。

登録したフォームで印刷する（オーバーレイ印刷）

本機に帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

注

- Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。
- Configuration Tool のセットアップについては、ユーティリティーソフトウェア編「Configuration Tool」をご覧ください。
- Windows PS プリンタードライバーではコンピューターの管理者の権限が必要です。

メモ

- オーバーレイは、フォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

■Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 フォームを作成し、本機に登録します。

詳しくは、ユーティリティーソフトウェア編「フォームを登録する（フォームオーバーレイ）」をご覧ください。

2 フォームをプリンタードライバーに登録し、印刷します。

(1) ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

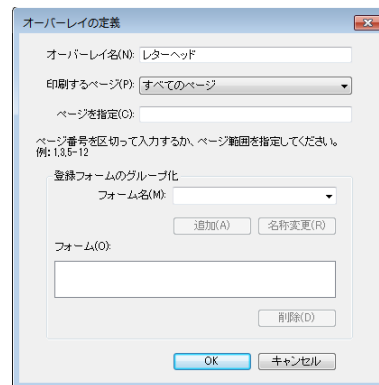
(2) ［OKI MC862(PS)］アイコンを右クリックし、［印刷設定］＞［OKI MC862(PS)］を選択します。

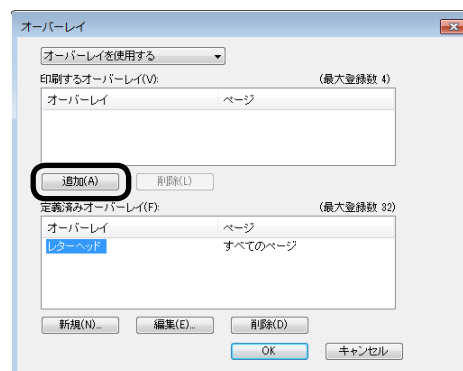
(3) ［印刷オプション］タブを選択します。

(4) ［オーバーレイ］をクリックします。

(5) ドロップダウンリストから［オーバーレイを使用する］を選択し、［新規］をクリックします。

(6) ［フォーム名］に Configuration Tool で登録したフォーム名を入力し、［追加］をクリックします。

(7) ［オーバーレイ名］を入力し、［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「ユーザページ設定」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

(8) ［OK］をクリックします。

(9) ［定義済みオーバーレイ］リストから使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

(10) ［OK］をクリックします。

(11) ［OK］をクリックして印刷設定ダイアログを閉じます。

(12) アプリケーションから印刷するファイルを開きます。

(13) 印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録設定
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 フォームを作成し、本機に登録します。

詳しくは、ユーティリティーソフトウェア編「フォームを登録する（フォームオーバーレイ）」をご覧ください。

2 フォームをプリンタードライバーに登録し、印刷します。

(1) 印刷したいファイルを開きます。

(2)［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

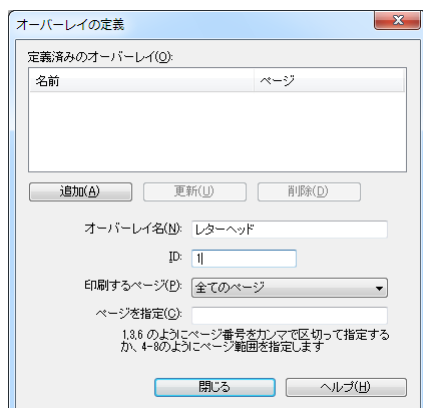
(3)［詳細設定］をクリックします。

(4)［その他設定］タブの［オーバーレイ］をクリックします。

(5)「オーバーレイ」画面の［オーバーレイを使用する］にチェックを付け、［オーバーレイの定義］をクリックします。

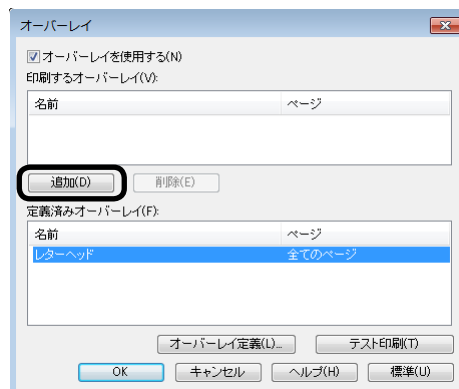
メモ

- オーバーレイはフォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つの ID（フォームファイル）を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

(6)［オーバーレイ名］を入力し、［ID］に Configuration Tool で登録したフォームの ID を入力します。

(7)［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

(8)［追加］をクリックします。

(9)［閉じる］をクリックします。

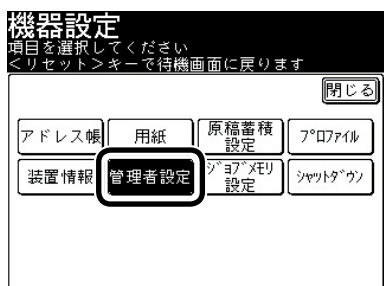
(10) 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

(11) 印刷します。

トレイを自動的に切り替える

トレイ 1、トレイ 2/3（MC852dn/MC862dn ではオプション）、MP トレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

! 注

- 必ず用紙サイズダイヤルで用紙トレイの用紙サイズを合わせ、操作パネルで用紙トレイの用紙厚、用紙種類と MP トレイの用紙サイズ、用紙厚、用紙種類を一致させてください。詳しくはセットアップ編「用紙のセットのしかた」をご覧ください。
- メニュー設定の「MP トレイ使い方」の初期値は、「使用しない」になっています。この場合、MP トレイは自動トレイ切り替えの対象になりません。

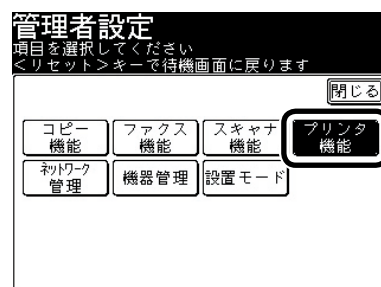
1 操作パネルで MP トレイ（マルチパーパストレイ）の使い方を設定します。

(1) ＜機器設定＞キーを押します。

(2)［管理者設定］を押します。

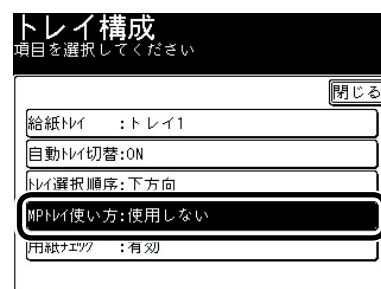
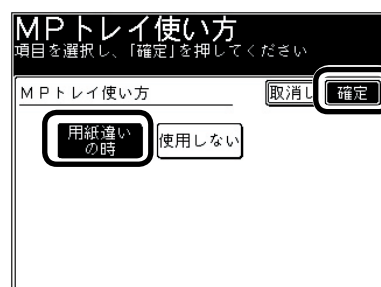
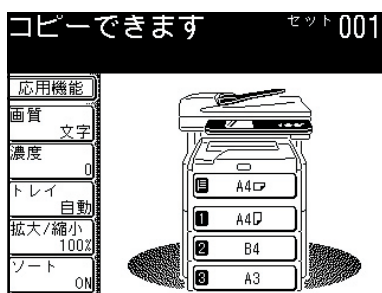
(3) 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

(4)［プリンタ機能］を押します。

(5)［印刷メニュー］を押します。

(6)［トレイ構成］を押します。

(7)［MP トレイの使い方］を押します。

(8)［用紙違いの時］を選び、［確定］を押します。

(9) <リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

2 プリンタードライバーで［自動トレイ切り替え］を設定します。

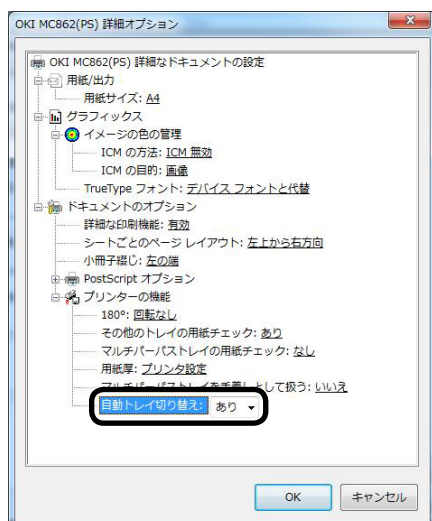
■Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

5 ［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

6 印刷します。

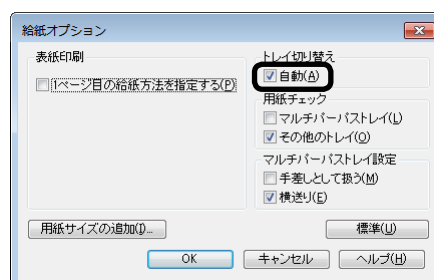
■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［基本設定］タブの［給紙オプション］をクリックします。

5 ［トレイ切り替え］の［自動］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

6 印刷します。

■Mac OS X 10.5 以降プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能パネルの［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

4 印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録設定
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 アクセス制限／ユーザー認証
付録
索引

■ Mac OS X 10.4 以前プリンタードライバーをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［エラー処理］パネルの［トレイの切り替え］で［同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える］を選択します。

4. 印刷します。

プリンターバッファーを使用する

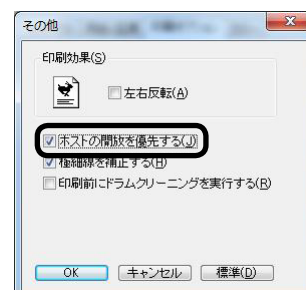
印刷ジョブを本機のハードディスクに蓄えて、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピューターを早く開放することができます。

注

- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、「ファイルシステムがいっぱいです」を表示し、印刷は行われません。
- スプールしない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。
- Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

5. ［ホストの開放を優先する］にチェックを付けます。

6. 印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

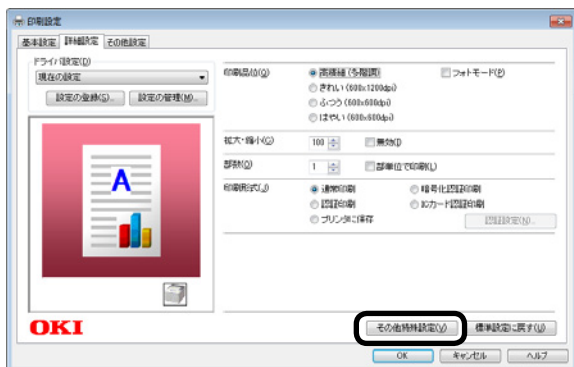
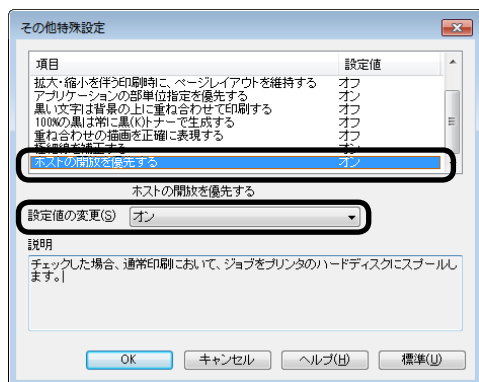
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

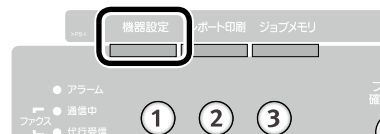
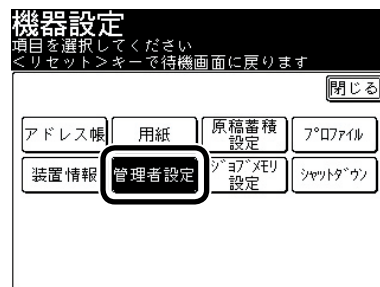
2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［詳細設定］タブの［その他特殊設定］をクリックします。

5 ［ホストの開放を優先する］を選択し、設定値の変更で［オン］を選択し、［OK］をクリックします。

6 印刷します。

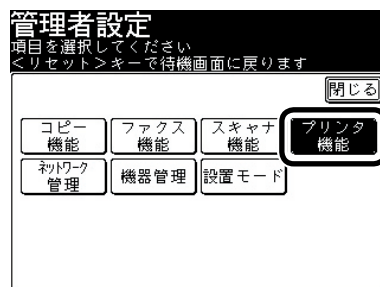
印刷速度を変更する

本機の操作パネルでモノクロ印刷速度を設定します。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

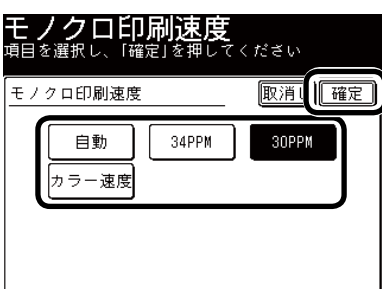
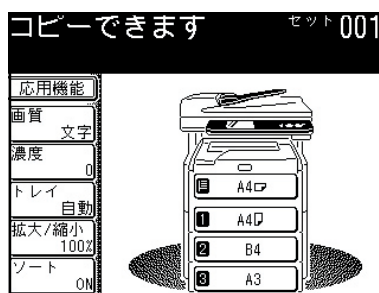
- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［プリンタ機能］を押します。

5 ［印刷メニュー］を押します。

6 ［印刷設定］を押します。

7 ［モノクロ印刷速度］を押します。

8 速度を選択し、［確定］を押します。

モノクロ印刷速度
項目を選択し、「確定」を押してください
モノクロ印刷速度 取消し 確定
自動 34PPM 30PPM
カラー速度

9 ＜リセット＞キーを押し、待機画面に戻ります。

●〈「自動」の場合〉
印刷速度とイメージドラム寿命がバランス良く動作するよう制御します。

通常は［自動］のままご利用ください。ジョブの先頭がモノクロページの場合に 30PPM で印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来るとカラーの印刷速度に下げてジョブの最後まで印刷します。

●〈「34PPM」の場合〉
モノクロの大量印刷に適しています。ジョブの先頭がモノクロページの場合に 34PPM で印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来るとカラーの印刷速度に下げてジョブの最後まで印刷します。［自動］、［カラー速度］、［30PPM］と比較し、モノクロ・カラーページが切り替わる際の待ち時間が長くなります。

●〈「30PPM」の場合〉
1 つのジョブ内でカラーページの後にモノクロページを大量に含むデータを印刷する場合に適しています。モノクロページは常に 30PPM、カラーページは常にカラーの印刷速度で印刷します。モノクロ・カラーページが切り替わる際に待ち時間が発生しますが、［自動］、［34PPM］、［カラー速度］と比較し、カラー（YMC）イメージドラムの寿命を延ばすことができます。

●〈「カラー速度」の場合〉
カラーの大量印刷に適しています。モノクロ・カラーページいずれの場合も常にカラーの印刷速度で印字しますのでモノクロ・カラーページの切り替わる際の待ち時間はありませんが、カラー（YMC）イメージドラムの寿命が短くなります。

メモ

- PPM とは 1 分間あたりの印刷枚数のことです。

印刷せずにファイルに出力する

印刷データを印刷せずに、ファイルに書き出して保存することができます。

注

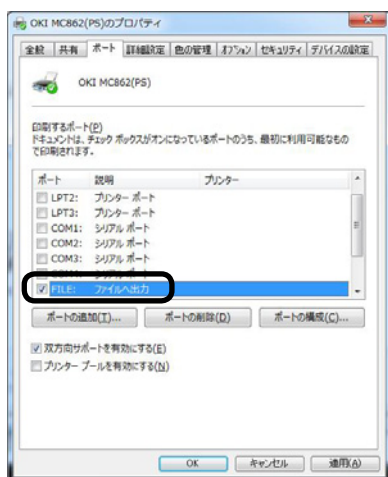
- コンピューターの管理者の権限が必要です。

■Windows プリンタードライバーをお使いの方

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC862（**）］（** は PS、PCL または FAX（プリンタードライバーの種類））アイコンを右クリックし、［印刷設定］＞［OKI MC862(**)］を選択します。

3 ［ポート］タブを選択します。

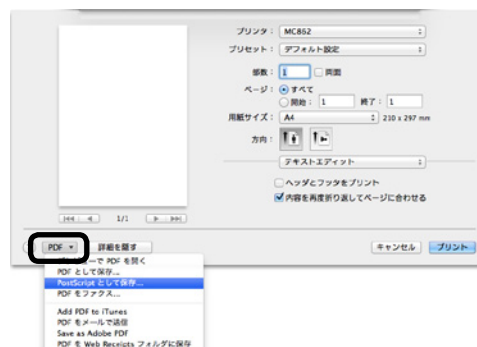
4 ポートの一覧から［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。

5 印刷をします。

6 ファイルの名前を入力し、［OK］をクリックします。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［PDF］をクリックし、保存方法を選択します。

4 ［名前］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

5 印刷します。

ポストスクリプトファイルをダウンロードする

ファイルに出力したポストスクリプトファイルなどを本機にダウンロードし、印刷することができます。

■OKI LPR ユーティリティ（Windows）を使う場合

注

- TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 ［リモートプリント］メニューの［ダウンロード ...］を選択します。

3 ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

ポストスクリプトエラーを印刷する

ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラー内容を印刷することができます。

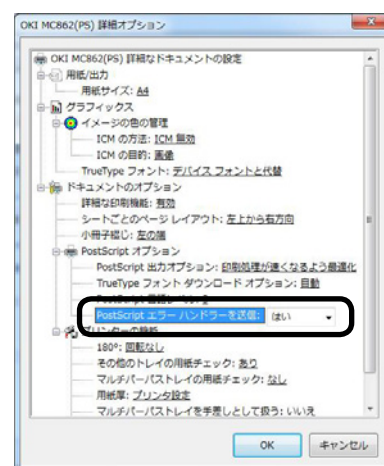
■Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

5 ［PostScript オプション］-［PostScript エラーハンドラを送信］で［はい］を選択します。

6 印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定/レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

！注

● Mac OS X 10.5 以降では、この機能は利用できません。

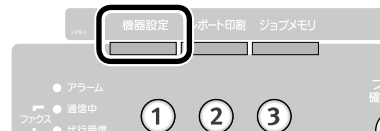
1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［エラー処理］パネルの［PostScript エラー］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

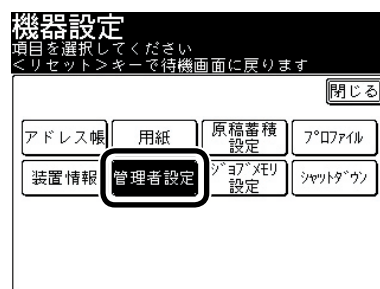
4 印刷します。

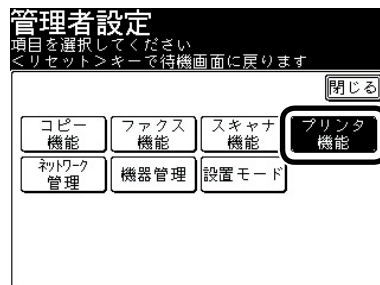
エミュレーションモードを変更する

プリンターとして使うときの動作モードを変更することができます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

● 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［プリンタ機能］を押します。

5 ［システム構成メニュー］を押します。

6 ［動作モード］を押します。

7 設定したい動作モードを選択し、［確定］を押します。

8 <リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

プリンタードライバーの設定を保存する

プリンタードライバーで設定した内容を保存することができます。

複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバー設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

注

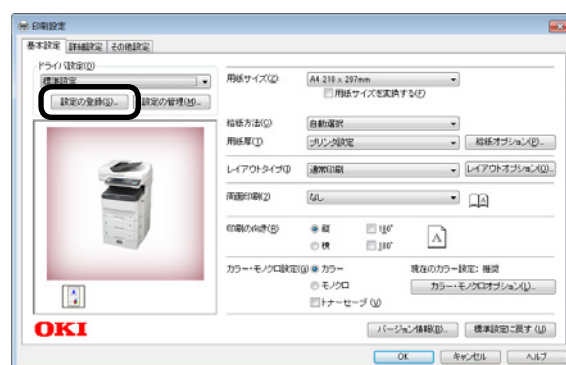
- Windows PS プリンタードライバー、ファクスドライバー、Mac OS X プリンタードライバーでは利用できません。

■Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC862(PCL)］アイコンを右クリックし、［印刷設定］＞［OKI MC862(PCL)］を選択します。

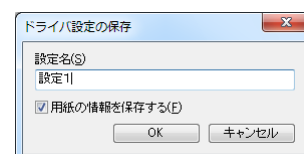
3 保存したい印刷設定を行います。

4 ［基本設定］タブの［ドライバ設定］で［設定の登録］をクリックします。

5 ［設定名］に設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- 「用紙の情報を保存する」にチェックをつけると、［設定］タブの用紙の設定も保存されます。
- 最大 14 個まで保存することができます。

6 ［OK］をクリックして印刷設定ダイアログを閉じます。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録や設定
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

保存した設定を呼び出して使う

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［基本設定］タブの［ドライバ設定］で、使用する設定を選択し、［OK］をクリックします。

4 印刷します。

プリンタードライバーの初期設定を変更する

よく使う機能を初期値に設定しておくと便利です。

■Windows プリンタードライバーをお使いの方

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC862（**)］（** は PS、PCL または FAX（プリンタードライバーの種類））アイコンを右クリックし、［印刷設定］＞［OKI MC862 (**)］を選択します。

3 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

■Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

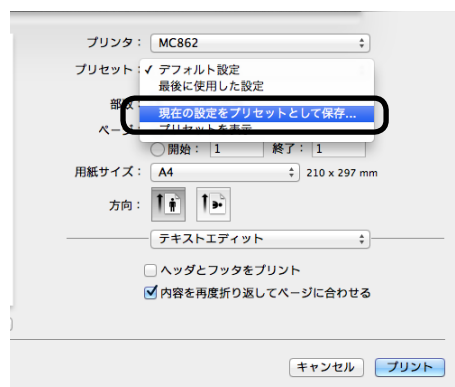
1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 各設定を変更します。

4 ［プリセット］で［別名で保存］を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、［OK］をクリックします。

5 ［キャンセル］をクリックします。

注

● 印刷時に［プリセット］で保存した設定名を選択してください。

プリンター・ファクスドライバーを削除またはアップデートする

プリンター・ファクスドライバーを削除する

■ Windows をお使いの方

! 注

- コンピューターの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC862（**）］（** は PS、PCL または FAX（ドライバーの種類））アイコンを右クリックし、［デバイスの削除］を選択します。

複数のプリンタードライバーから特定のプリンタードライバーを削除する場合は、［印刷キューの削除］＞［OKI MC862（**）］を選択します。

3 確認メッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

! 注

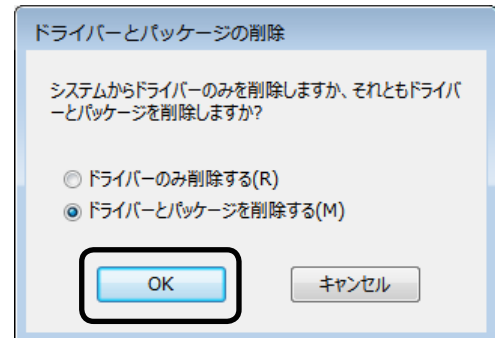
- デバイス使用中のメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動して、再度手順 1 ～ 2 を実行してください。

4 ［プリンターと FAX］のいずれかのアイコンを選択し、トップバーの［プリント サーバー プロパティ］をクリックします。

5 ［ドライバー］タブを選択します。

6 ［ドライバー設定の変更］が表示されている場合は、クリックします。

7 削除するドライバーを選択し、［削除］をクリックします。

8 ドライバーのみ、またはドライバーとパッケージをシステムから削除するかどうかをたずねるメッセージが表示されたら、ドライバーとパッケージの削除を選択し、［OK］をクリックします。

9 確認メッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

10 ［ドライバー パッケージの削除］ダイアログが表示されたら、［削除］＞［OK］をクリックします。

! 注

- 削除を拒否されたら、コンピューターを再起動して、再度手順 4 ～ 10 を実行してください。

11 ［プリント サーバーのプロパティ］ダイアログの［閉じる］をクリックします。

12 コンピューターを再起動します。

! 注

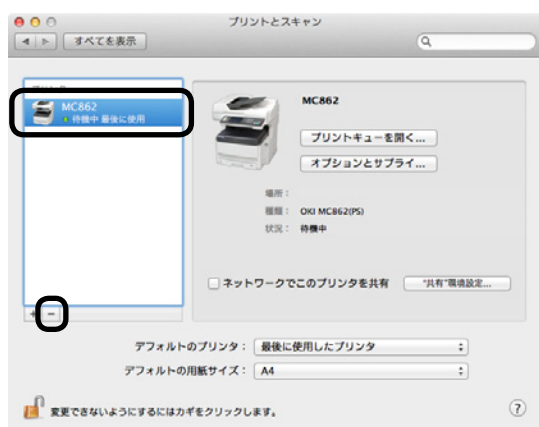
- プリンタードライバーと一緒にインストールされる Network Extension と色見本印刷ユーティリティは、プリンタードライバーの削除をしても削除されません。
Network Extension と色見本印刷ユーティリティを削除する場合は、［コントロールパネル］-［プログラムのアンインストール］から削除してください。

■ Mac OS X をお使いの方

1 プリンターリストからプリンター名を削除します。

❏ Mac OS X 10.5 以降プリンタードライバーをお使いの方

(1) [アップルメニュー] - [システム環境設定] を選択します。

(2) [プリントとスキャン]（Mac OS X 10.5 ～ 10.6 では［プリントとファクス］）をクリックします。プリンター名を選択し、[-] をクリックします。

(3) [システム環境設定] を閉じます。

❏ Mac OS X 10.4 以前のプリンタードライバーをお使いの方

(1) ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダー内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

(2) プリンター名を選択し、[削除] をクリックします。

(3) [プリンタリスト] を閉じます。

2 インストーラーで削除（アンインストール）します。

(1)「ソフトウェア DVD-ROM」を Macintosh にセットします。

(2) [OKI] アイコンをダブルクリックします。

(3) [Driver] フォルダーを開きます。

(4) [Uninstaller] をダブルクリックします。

(5) 画面の指示に従い、管理者パスワードを入力し、Uninstaller が終了するまで [OK] をクリックします。

(6) [終了] をクリックします。

(7)「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピュータから取り出します。

プリンター・ファクスドライバーをアップデートする

■ Windows をお使いの方

注

- コンピューターの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❑ ネットワーク接続の場合

1 「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。

2 [自動再生] が表示されたら、[Setup.exe の実行] をクリックします。

3 [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

4 「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。

5 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

6 利用する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

7 「ネットワーク接続」を選択し、「次に進む」をクリックします。

8 「カスタムインストール」をクリックします。

9 「個別画面に切り替える。」をクリックします。

10 インストールするドライバーをクリックします。

11 「インストールの事前確認」画面で [次へ] をクリックします。

12 「インストールの対象の確認」画面が表示された場合は、接続する装置を選択して、[次へ] をクリックします。

13 [新しいバージョンのドライバをインストールできます。続行しますか？ただし、「はい」を選択した場合、既存のプリンタアイコンと設定は削除されます。] で [はい] をクリックします。

注

- 複数の装置のドライバーをインストールしている場合、全ての装置のドライバーが削除されます。複数の装置のドライバーをインストールしている場合は再度インストールを行ってください。

14 「インストールの完了」画面で [完了] をクリックします

❑ USB 接続の場合

1 「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。

2 [自動再生] が表示されたら、[Setup.exe の実行] をクリックします。

3 [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

4 「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。

5 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

6 利用する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

7 「USB 接続」を選択し、「次に進む」をクリックします。

8 「カスタムインストール」をクリックします。

9 「個別画面に切り替える。」をクリックします。

10 インストールするドライバーをクリックします。

11 「インストールの事前確認」画面で [次へ] をクリックします。

12 [新しいバージョンのドライバをインストールできます。続行しますか？ただし、「はい」を選択した場合、既存のプリンタアイコンと設定は削除されます。] で [はい] をクリックします。

注

- 複数の装置のドライバーをインストールしている場合、全ての装置のドライバーが削除されます。複数の装置のドライバーをインストールしている場合は再度インストールを行ってください。

13 プリンターをコンピューターに接続して、プリンターの電源を入れることを促す画面が表示されたら、プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続し、プリンターの電源を入れます。

14 「インストールの完了」画面で [完了] をクリックします。

■ Mac OS X をお使いの方

1 ［プリンタリスト］から本機を削除し、インストーラーでプリンターソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンター・ファクスドライバーを削除する」（P.65）をご覧ください。

2 プリンターソフトウェアを再インストールします。詳しくは基本操作編「Mac OS X から印刷するための準備」をご覧ください。

UNIX、Linux で使用する

LPD プロトコルを利用する

TCP/IP の LPD プロトコル（lpr, lp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。lpr, lp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

■LPD について

LPD(Line Printer Daemon)はネットワーク上の装置に印刷するためのプロトコルです。

■論理プリンターについて

本機には 3 つの論理プリンターがあります。

論理プリンター	機　能
lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
euc	euc 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

注

- sjis, euc はポストスクリプトプリンターのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

装置名 : MC862
装置の IP アドレス : 192.168.0.2
MAC アドレス : 00:80:87:84:9C:9B

■UNIX を設定し印刷する

❏Sun Solaris2.6 および 8 の場合

注

- スーパーユーザーの権限が必要です。
- OpenWindows 上より Admintool を使ってリモートプリンターを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本機では利用できません。リモートプリンターの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.x はシステムの仕様上、リモートプリンターとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

1 UNIX に管理者（root）でログインします。

2 /etc/hosts ファイルに本機の IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

3 ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

4 プリントサーバーを登録します。

```
# lpadmin -p ML_lp -m netstandard -o
protocol=bsd -o dest=ML:lp -v /dev/null
```

注

- 「:」に続く「lp」が論理プリンターになります。
- 印刷するファイル形式によりプリンタータイプやファイル内容形式を設定する必要があります。詳細は OS 付属のマニュアルを参照ください。

5 プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

6 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

注

- バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d ML_lp -o nobanner
```

7 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

8 本機の状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

注

- UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

❏HP-UX9.X および 10.X の場合

注

- スーパーユーザーの権限が必要です。
- HP-UX9.03 を例にしています。

1 UNIX に管理者（root）でログインします。

2 /etc/hosts ファイルに本機の IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

3 ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

4 使用している HP-UX マシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

(1) プリンタースプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

(2) /etc/inetd.conf ファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/
rlpdaemon rlpdaemon -i
```

(3) inetd を再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

5 プリントキューを設定します。

```
#/usr/lib/lpadmin -pML_lp -mrmodel -ormML
-orplp -ocmrcmodel -osmrsmodel -ob3 -v/
dev/null
```

注

- 「-p」に続く「ML_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「ML」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンター名になります。

6 プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

7 プリンタースプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

8 印刷します。

```
# lp -d ML_lp〈ファイル名〉
```

9 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

10 本機の状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

注

- UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

FTP プロトコルを利用する

TCP/IP の FTP プロトコル（ftp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。

ftp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

■ FTP について

FTP(File Transfer Protocol)はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

■ 論理ディレクトリーについて

本機には 3 つの論理ディレクトリーがあります。

論理プリンター	機　能
/lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
/sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
/euc	euc 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

注

- sjis, euc はポストスクリプトプリンターのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

装置名	: MC862
装置の IP アドレス	: 192.168.0.2
MAC アドレス	: 00:80:87:84:9C:9B

■印刷する

1 本機にログインします。

! 注

- 「Name」と「Password」にどのような値を入力しても印刷可能です。ただし、「Name」が「root」の場合は「Password」が必要となります。
  初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。

```
#ftp 192.168.0.2
Connected to 192.168.0.2
220 EthernetBoard OkiLAN 8500e Ver 01.01
FTP Server.
User (192.168.0.2:none):root
331 Password required.
Password:
230 user Logged in.
Remote system type is FTP.
ftp>
```

2 転送先ディレクトリーへ移動します。

! 注

- ルートディレクトリーへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

3 転送モードを設定します。

! 注

- 転送モードには、ファイルの内容をそのまま出力する「BINARY モード」と、LF コードを CR+LF コードに変換する「ASCII モード」の 2 種類があります。プリンタードライバーで作成したファイルを転送する場合は、「BINARY モード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

4 印刷します。

例 1）印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例 2）印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

5 ログアウトします。

```
ftp> quit
```

メモ

- quote コマンドの「stat」を使って、クライアントの IP アドレス、ログインユーザー名、転送モードの 3 つの状態を確認することができます。また、stat の後に論理ディレクトリー（lp, sjis, euc）を指定すると、本機の状態を確認することができます。

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,0,3,5,112
User logged in: root
Transfer type: BINARY
Data connection: Closed.
211 End of status.
ftp>

ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

プリンター待機画面の設定項目一覧

<table>
<tr><th colspan="4">項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td colspan="4">オンライン</td><td>オンライン / オフラインを切替えます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ジョブ印刷</td><td rowspan="2">保存ジョブ
* このメニューに入るには、パスワードが必要です。</td><td rowspan="2">パスワード</td><td>印刷</td><td>ハードディスクに格納された認証印刷ジョブ（Secure Job）を印刷する際に使用します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>保存ジョブを削除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">暗号ジョブ
* このメニューに入るには、パスワードが必要です。</td><td rowspan="2">パスワード</td><td>印刷</td><td>ハードディスクに格納された暗号化認証印刷ジョブ（Encrypted Job）を印刷する際に使用します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>暗号ジョブを削除します。</td></tr>
<tr><td colspan="4">ジョブリスト</td><td>先順位の高いジョブリストを 100 件まで表示します。
ジョブを選択して処理を中止することが可能です。</td></tr>
</table>

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

2 いろいろなコピーのしかた

便利な機能を使ってコピーする

出力を並べ替える（ソート）

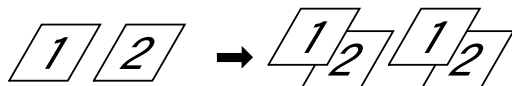
音声案内
操作案内（機能説明）

コピーをページ順にそろえることができます。コピーした後に手作業でページをそろえる手間が省けます。

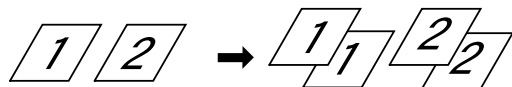
■操作の前に…

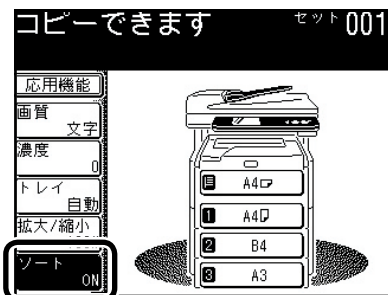
● ソートの初期値を設定できます。「[管理者設定] を押したとき」（P.241）の「コピー機能」をご覧ください。

■ソート ON

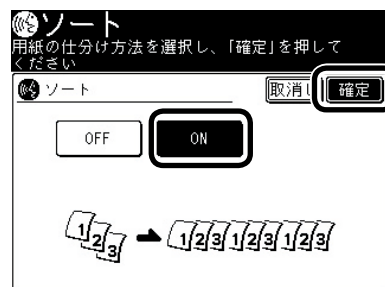
コピー部ごとに用紙を仕分けします。

■ソート OFF

原稿ごとに用紙を仕分けします。

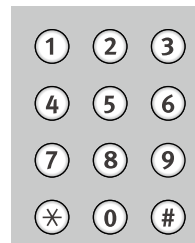
メモ

● オプションの増設メモリーを取り付けると、より大きなジョブを印刷できるようになります。

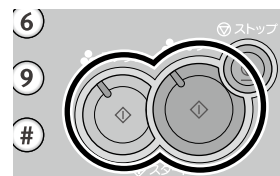
1 [ソート] を押します。

2 ソートを行う場合は [ON] を押し、[確定] を押します。

ソートが設定されます。

メモ

● <リセット>キーを押すと、ソート設定が解除されます。

3 テンキーで部数を入力します。

メモ

● 999 部までコピーできます。

4 原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

参照

● 継続読取を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。詳しくは、基本操作編「複数セットの原稿を 1 セットの原稿として読み取る（継続読取）」をご覧ください。

● 自動原稿送り装置とガラス面の混在コピーが可能です。詳しくは、基本操作編「自動原稿送り装置とガラス面を併用して原稿を読み取る（混在コピー）」をご覧ください。

印刷中に割り込んでコピーする（プリント中割込み）

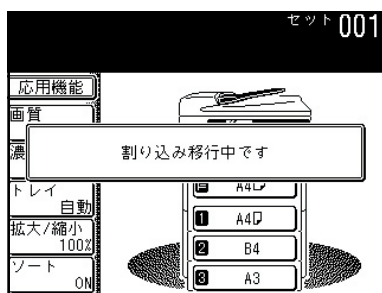
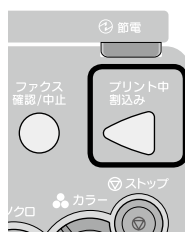
コンピューターから印刷しているとき、レポート印刷しているときに割り込むことができます。

! 注

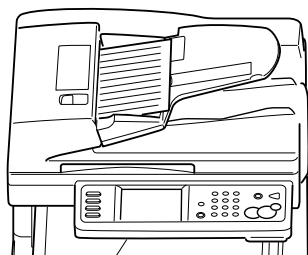
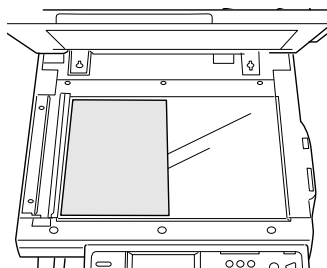
- コピー中、ファクス印刷中に割り込むことはできません。
  コピー待機画面以外では<プリント中割込み>キーは受け付けません。
  印刷しているジョブが停止するまでの間に、最大８枚の印刷を継続します。

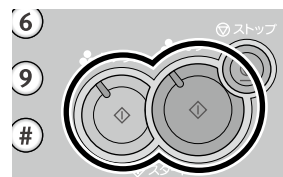
メモ

- 割り込みができなかったときは、もう一度<プリント中割込み>キーを押してください。

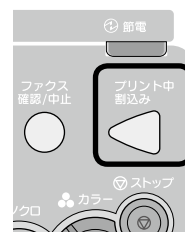
1 <プリント中割込み>キーを押します。

キーのランプが点灯します。

2 割り込んでコピーする原稿をセットします。

- 自動原稿送り装置

- ガラス面

3 コピーを行います。

<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

メモ

- 割り込みコピー中に<プリント中割込み>キーは受け付けません。中断したい場合は<ストップ>キーで割り込みコピーを中断してから、割り込みを解除してください。
- 一定期間操作が行われない場合には、割り込みモードを解除します。

4 コピー終了後、<プリント中割込み>キーを押します。

割り込む前の状態に戻ります。

メモ

- キーのランプが消灯します。

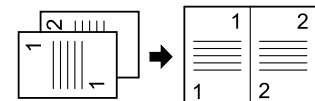
5 原稿を取り除きます。

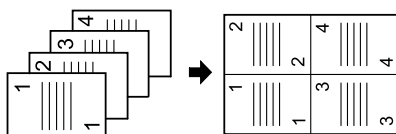
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

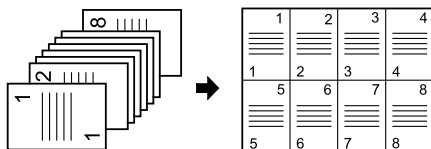
1 枚の用紙に複数のページをコピーする（集約）

音声案内
操作案内（機能説明）

複数枚の原稿を 1 枚の用紙にならべてコピーできます。

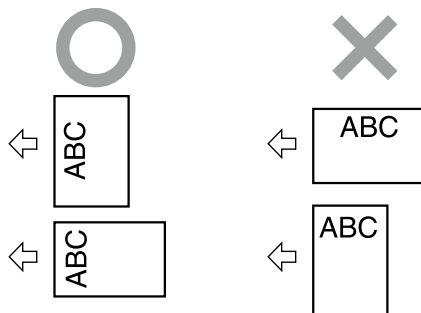
- 原稿 2 枚を 1 枚に

原稿の挿入方向

- 原稿 4 枚を 1 枚に

原稿の挿入方向

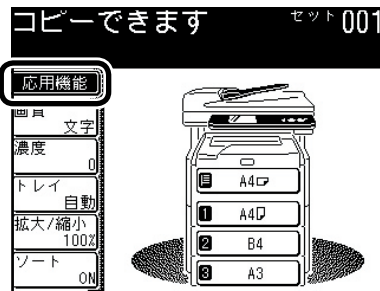
- 原稿 8 枚を 1 枚に

原稿の挿入方向

■操作の前に…

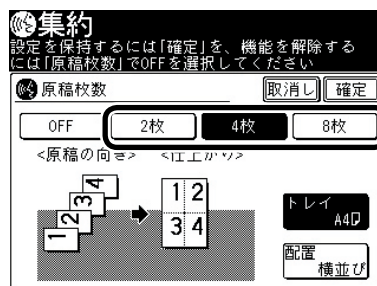
注

- 原稿は、必ず、先端から読み込むようにセットしてください。

- 1 枚の用紙にならべることができる枚数は 2、4、8 枚です。
- コピー倍率を設定していても、集約コピーを設定した時点で自動倍率に設定されます。倍率を設定したいときは、集約コピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿、及び倍率によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿枚数が設定した集約枚数より少ないとき、足りない分は白紙がコピーされます。
- 原稿は画面の表示どおりにセットしてください。

1 <コピー>キーを押します。

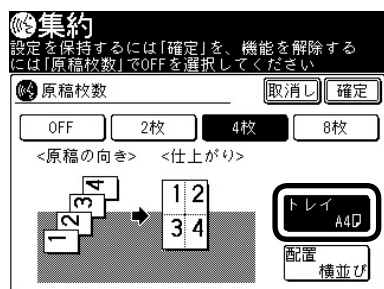
2 ［応用機能］を押します。

3 集約機能を設定します。

(1) ［集約］を押します。

(2) 1 枚の用紙に集約する原稿の枚数を選択します。

メモ

- コピー倍率は「自動」に設定されます。

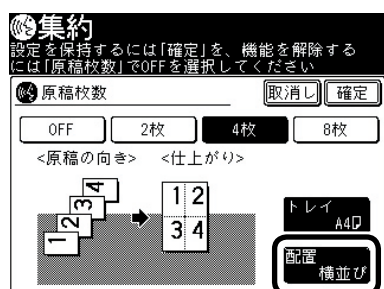
4 使用する用紙の入ったトレイを選択します。

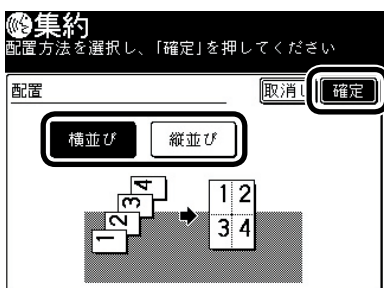
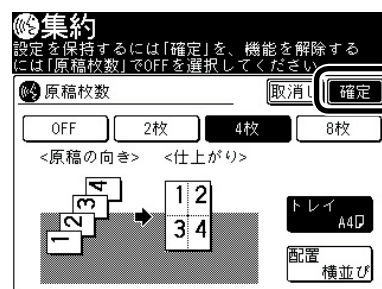
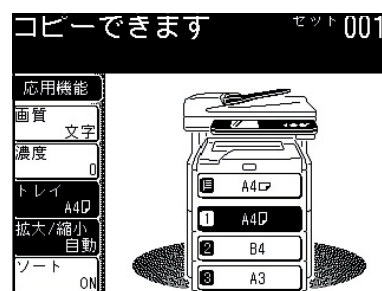
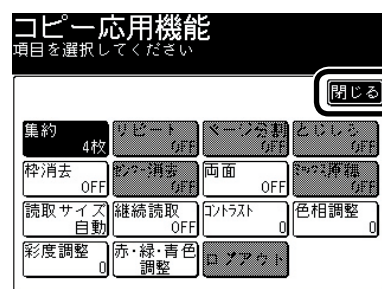
(1) 用紙を選択するときは［トレイ］を押します。

(2) 使用する用紙の入ったトレイを選択します。

(3)［確定］を押します。

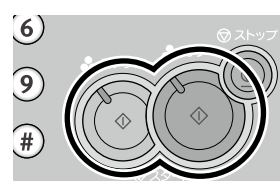
5 原稿の順番を並び替えます。

原稿枚数が４枚と８枚の場合、配置の横並び / 縦並びを設定できます。

(1) 原稿の位置を替えたいときは、［配置　横並び］を押します。

(2)［横並び］または［縦並び］を選択します。

(3)［確定］を押します。

6［確定］を押します。

7［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

- ＜リセット＞キーを押すと、集約コピー設定が解除されます。

8 原稿をセットし、＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

メモ

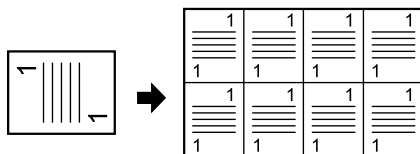
- 原稿は、画面の表示（原稿の向き）どおりにセットしてください。

参照

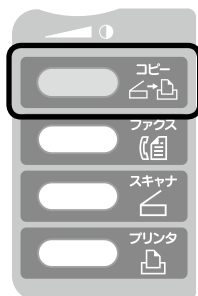
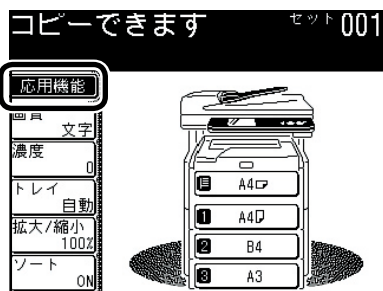
- 継続読取を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。詳しくは、基本操作編「複数セットの原稿を１セットの原稿として読み取る（継続読取）」をご覧ください。
- 自動原稿送り装置とガラス面の混在コピーが可能です。詳しくは、基本操作編「自動原稿送り装置とガラス面を併用して原稿を読み取る（混在コピー）」をご覧ください。

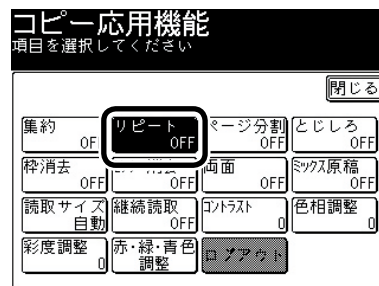
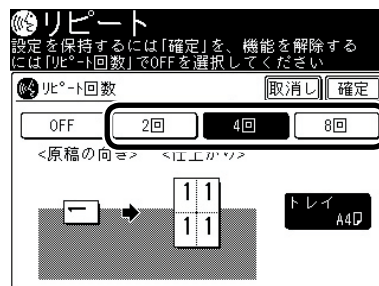
1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）

操作案内（機能説明）

1 枚の用紙に原稿を繰り返しコピーします。

■操作の前に…

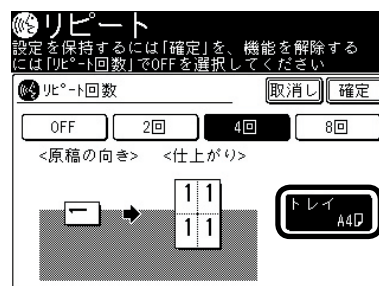
- 1 枚の用紙にならべることができる枚数は 2、4、8 枚です。
- コピー倍率を設定していても、リピートを設定した時点で自動倍率に設定されます。倍率を設定したいときは、リピートコピー設定後に倍率を設定してください。
- 用紙と原稿、及び倍率によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 原稿は画面の表示どおりにセットしてください。

1 ＜コピー＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 リピート機能を設定します。

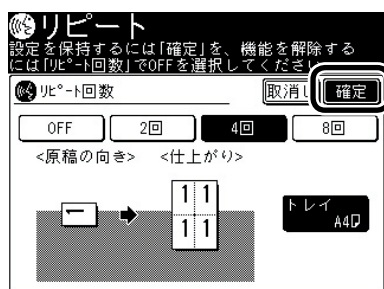
(1) ［リピート］を押します。

(2) リピートする回数を選択します。

メモ

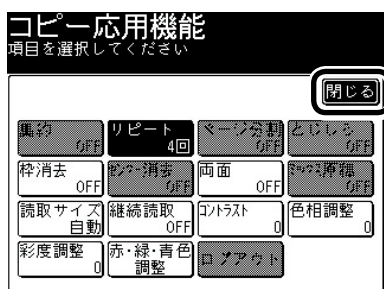
- コピー倍率は「自動」に設定されます。

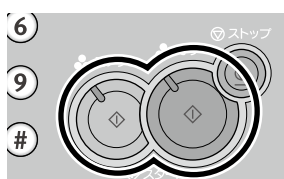
4 使用する用紙の入ったトレイを選択します。

(1) 用紙を選択するときは［トレイ］を押します。

(2) 使用する用紙の入ったトレイを選択します。

(3) ［確定］を押します。

(4)［確定］を押します。

5［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、リピートコピー設定は解除されます。

6 原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

メモ

- 原稿は、画面の表示（原稿の向き）どおりにセットしてください。

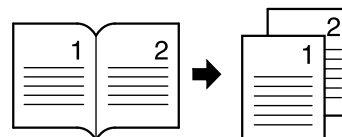
参照

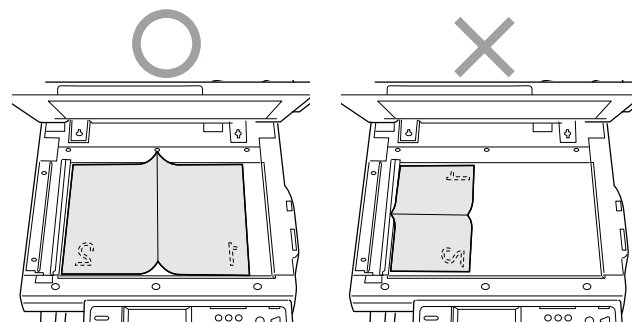
- 継続読取を設定し、原稿を複数部読み取ることができます。詳しくは、基本操作編「複数セットの原稿を 1 セットの原稿として読み取る（継続読取）」をご覧ください。
- 自動原稿送り装置とガラス面の混在コピーが可能です。詳しくは、基本操作編「自動原稿送り装置とガラス面を併用して原稿を読み取る（混在コピー）」をご覧ください。

2 ページを 1 枚ずつコピーする（ページ分割）

音声案内

操作案内（機能説明）

本などのとじた原稿の見開きページを、片面ずつ別々の用紙にコピーします。

■操作の前に…

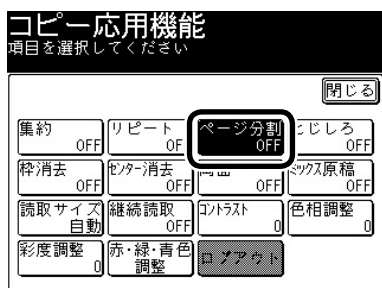
- 用紙と原稿、及び倍率によっては、コピーされた画像が欠けることがあります。
- 自動原稿送り装置は使用できません。ガラス面からのみコピーできます。
- 有効な原稿サイズは、A3、A4 ◿、B4 のみです。

- 読取サイズとトレイを設定することにより、タブロイド、レター◿の原稿も有効になります。
- 見開き原稿は左右にて裏返して、ガラス面にセットします。

1 <コピー>キーを押します。

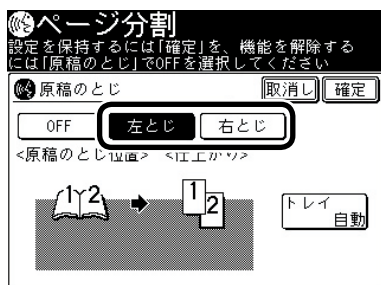
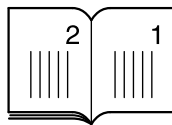
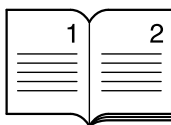
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

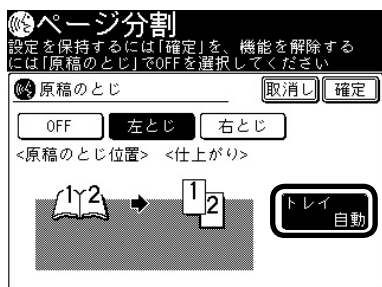
2 ［応用機能］を押します。

3 ページ分割機能を設定します。

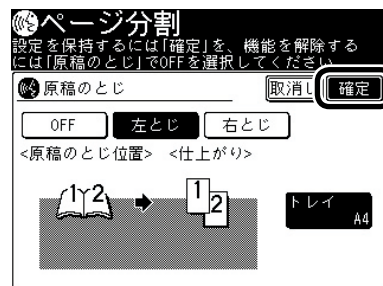
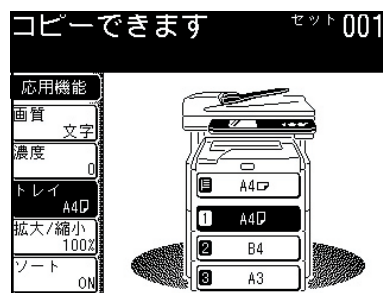
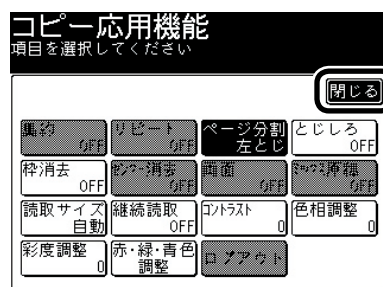
(1) ［ページ分割］を押します。

(2) セットする原稿のとじ方向を選択します。

左とじの原稿

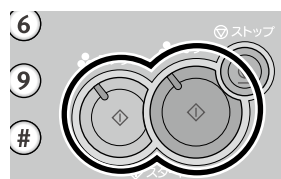
右とじの原稿

4 使用する用紙の入ったトレイを選択します。

(1) 用紙を選択するときは［トレイ］を押します。

(2) 使用する用紙の入ったトレイを選択します。

(3) ［確定］を押します。

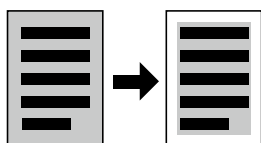
(4) ［確定］を押します。

5 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、ページ分割設定が解除されます。

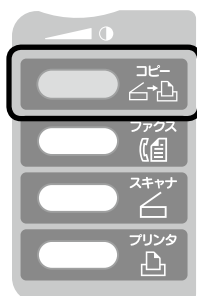
6 原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

原稿の影を消す（枠消去）

操作案内（機能説明）

原稿カバーを開けてコピーしたときや、本や雑誌をコピーしたときに、周囲に黒い影が出ます。この影を消してコピーすることができます。

枠消去

■操作の前に…

- 原稿の影を消す方法には、周囲を消す「枠消去」と中央部分を消す「センター消去」とがあります。周囲も中央も消したいときは、枠消去とセンター消去をそれぞれ設定してください。
- 常に枠消去／センター消去を ON にできます。「［管理者設定］を押したとき」（P.241）の「コピー機能」をご覧ください。

1 ＜コピー＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 枠消去機能を設定します。

(1) ［枠消去］を押します。

(2) ［ON］を押します。

(3) ［消し幅］を押します。

(4) テンキーまたは［▲］［▼］にて消去する範囲を設定します。

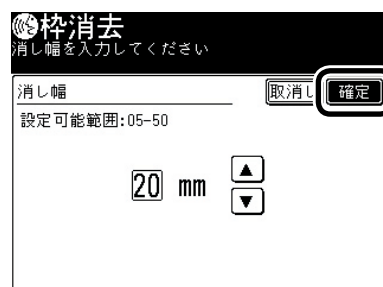
(5) ［確定］を押します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

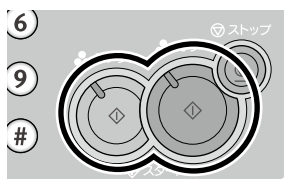
(6)［確定］を押します。

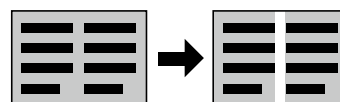
4［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

- ＜リセット＞キーを押すと、枠消去設定が解除されます。

5 原稿をセットし、＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

中央の影を消す（センター消去）

音声案内
操作案内（機能説明）

原稿カバーを開けてコピーしたときや、本や雑誌をコピーしたときに、中央に黒い影が出ます。この影を消してコピーすることができます。

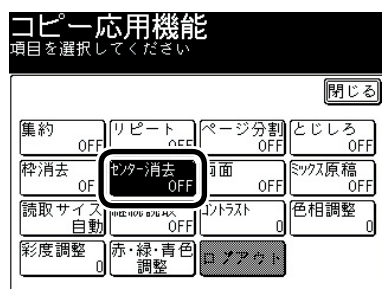
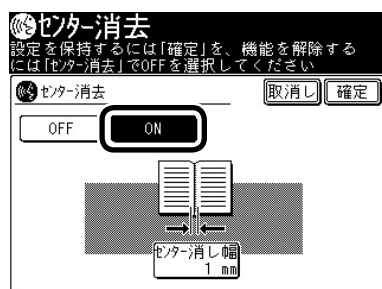
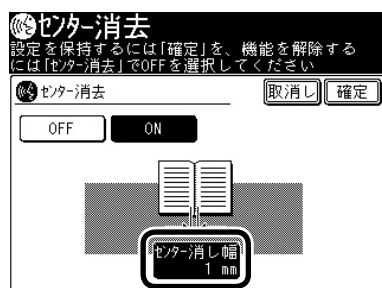
センター消去

■操作の前に…

- 原稿の影を消す方法には、周囲を消す「枠消去」と中央部分を消す「センター消去」とがあります。周囲も中央も消したいときは、枠消去とセンター消去をそれぞれ設定してください。
- 常に枠消去／センター消去を ON にできます。「［管理者設定］を押したとき」（P.241）の「コピー機能」をご覧ください。

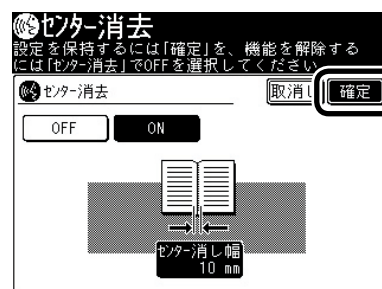
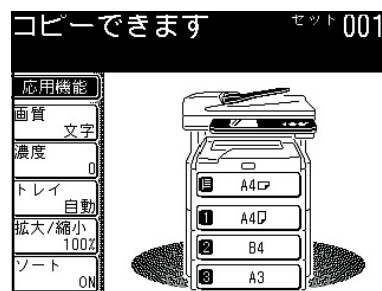
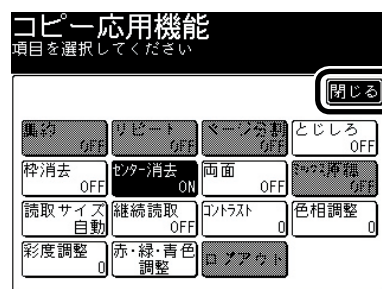
1 ＜コピー＞キーを押します。

2［応用機能］を押します。

3 センター消去機能を設定します。

(1) ［センター消去］を押します。

(2) ［ON］を押します。

(3) ［センター消し幅］を押します。

(4) テンキーまたは［▲］［▼］にて消去する範囲を設定します。

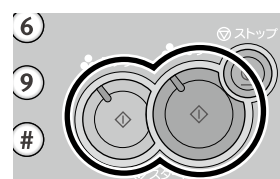
(5) ［確定］を押します。

(6) ［確定］を押します。

4 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

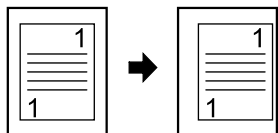
- <リセット>キーを押すと、センター消去設定が解除されます。

5 原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

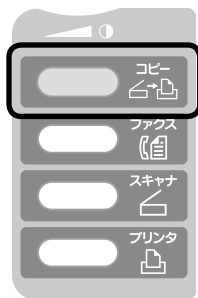
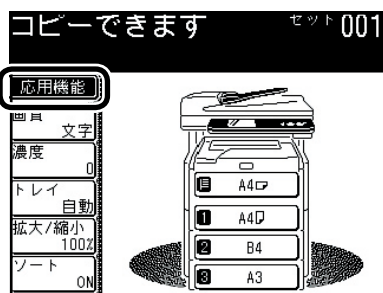
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

とじしろを設定する（とじしろ）

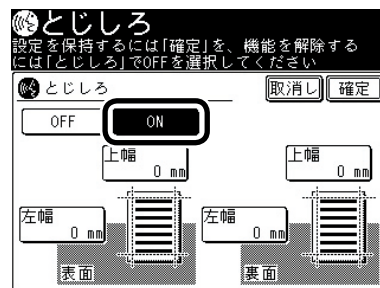
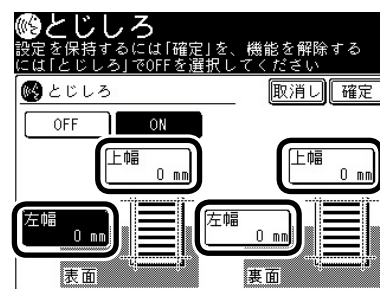
音声案内
操作案内（機能説明）

原稿を上下左右にずらしてコピーし、余白を付けます。原稿をとじたり、穴あけをしてファイルする場合に便利です。

■操作の前に…

- 設定分、画像をずらして余白を付けますので、原稿の一部が欠けてコピーされることがあります。
- 拡大または縮小コピーしても、とじしろの値は変わりません。
- 常にとじしろを ON にできます。「［管理者設定］を押したとき」（P.241）の「コピー機能」をご覧ください。

1 <コピー>キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 とじしろ機能を設定します。

(1) ［とじしろ］を押します。

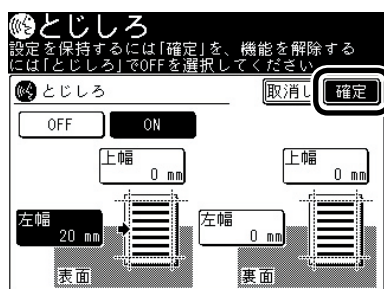
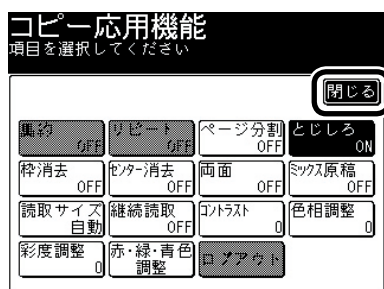
(2) ［ON］を押します。

(3) 設定したいとじしろの入力位置を選択します。

(4) テンキーまたは［▲］［▼］で余白量を入力します。

(5) ［確定］を押します。

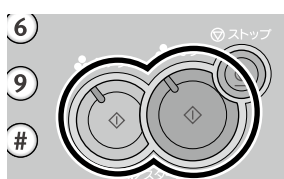
(6) 手順（3）～（5）を繰り返し、すべての余白量を入力します。

メモ

- すべてのとじしろが 0mm の場合、とじしろの設定は OFF になります。
  とじしろは、両面印刷時の表面設定と裏面設定は連動しないため、左右とじの場合、裏面の左右方向のみを逆方向に、上とじの場合、上下方向のみを逆方向に設定してください。

(7)［確定］を押します。

4［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、とじしろ設定が解除されます。

5 原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

サイズが異なる原稿をコピーする（ミックス原稿）

音声案内
操作案内（機能説明）

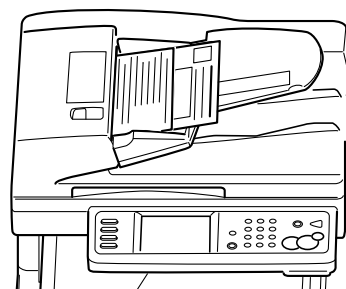
同じ幅で長さの違う原稿を一緒に自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にコピーできます。

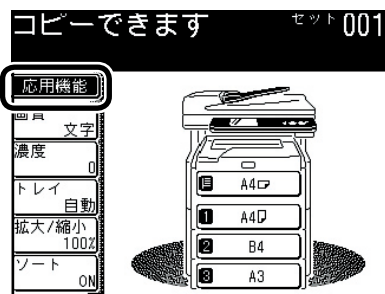
■操作の前に…

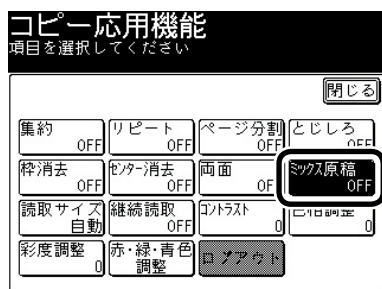
- 同時にセットできる原稿サイズは A3 と A4 ▯, B4 と B5 ▯, A4 ▭と A5 ▯ の組み合わせです。
- ミックス原稿を［ON］にすると、トレイ設定は自動になります。トレイを指定している場合は、ミックス原稿を設定できません。
- 拡大 / 縮小の設定が、100% か Fit 以外が設定されている場合も、ミックス原稿は設定できません。
- 枠消去及びセンター消去が設定されている場合は、ミックス原稿は設定できません。
- 2 種類の原稿を 2 種類の用紙に印刷するため、2 つのトレイの用紙を利用します。そのため、［機器設定］-［用紙］-［印刷トレイ指定］-［コピー］にて、2 つ以上のトレイが ON 設定になっていないと、ミックスコピーを行うことはできません。また、MP トレイの用紙を利用する場合には、上記設定を ON にして、MP トレイに用紙をセットしてから、ミックスコピーを起動します。

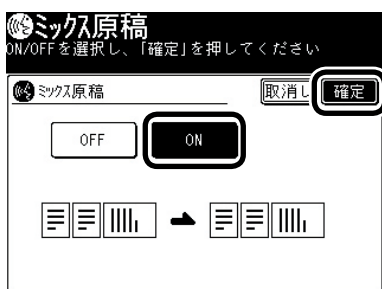
1 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

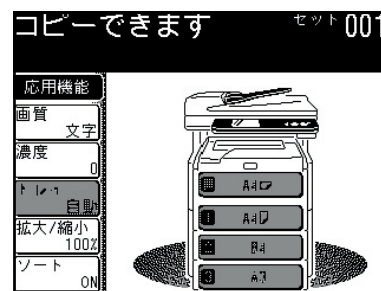
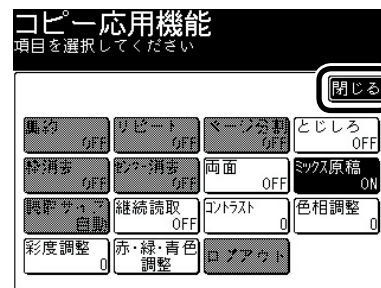
原稿を揃え、自動原稿送り装置にセットします。

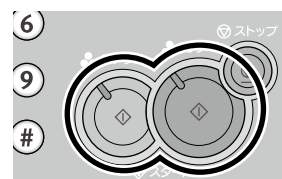
1 いろいろなプリントのしかた　2 いろいろなコピーのしかた　3 いろいろなファクスのしかた　4 いろいろなスキャンのしかた　5 よく使う機能や設定の登録　6 カラー調整　7 機能設定／レポート印刷　8 ユーザー認証・アクセス制御　付録　索引

2 <コピー>キーを押します。

3 ［応用機能］を押します。

4 ミックス原稿機能を設定します。

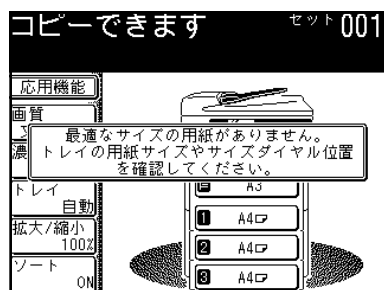
(1) ［ミックス原稿］を押します。

(2) ［ON］を押します。

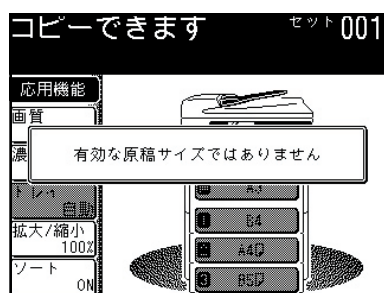
(3) ［確定］を押します。

5 ［閉じる］を押し、待機表示に戻します。

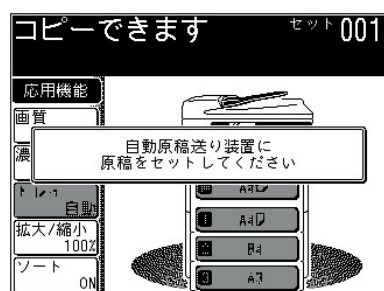
メモ

- <リセット>キーを押すと、ミックス原稿設定は解除されます。

6 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

■こんなときには？

ミックス原稿コピー時に表示されるメッセージについて

- ミックス原稿コピーを行った時、原稿に合った適切にコピーできる用紙がない場合や、普通紙以外の用紙が設定されている場合は、以下のように表示します。

ミックス原稿コピーは普通紙以外にはできません。原稿に合った普通紙の用紙をセットし直し、再操作してください。

- 自動原稿送り装置にミックスできない原稿がセットされた場合は、以下のように表示します。

同時にセットできる原稿サイズを確認してください。

- 自動原稿送り装置に原稿がセットされていない場合は、以下のように表示します。

自動原稿送り装置に原稿をセットし、再操作してください。

コピー機能組み合わせ一覧

この表では自動原稿送り装置を ADF と表記しています。

空白:同時設定可能、×:先に設定したものが有効、■:先に設定したものが有効（グレーアウトで選択不可)、■:同時設定不可、●:後から設定したものが有効、▲:自動に有効、△:ガラス面にセット時自動的に有効

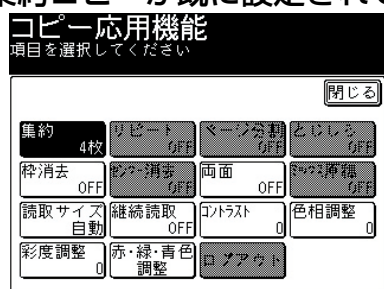
設定されている機能＼後から設定しようとする機能		部数	読取方法			読取サイズ			継続読取	用紙選択		給紙ユニット			用紙種類		倍率指定			回転	ソート		とじしろ	枠消去	センター消去	集約コピー			リピートコピー			ページ分割(ガラス面)	両面コピー		
			ガラス面	自動原稿送り装置	ADF・ガラス面混在(継続読取)	自動	指定	ミックス原稿(ADF)		自動用紙選択	手動用紙指定	MP トレイ	トレイ1	トレイ2、トレイ3	普通紙/再生紙	普通紙/再生紙以外	自動倍率	固定倍率	任意倍率(ズーム)		ソート OFF	ソート ON				原稿2枚→コピー1枚	原稿4枚→コピー1枚	原稿8枚→コピー1枚	2回	4回	8回		片面→両面	両面(ADF)→片面	両面(ADF)→両面
部数																																			
読取方法	ガラス面			●				■																										■	■
	自動原稿送り装置		×																													■			
	ADF/ガラス面混在(継続読取)							■																								■		■	■
読取サイズ	自動						●	●																											
	指定					●		●																											
	ミックス原稿（ADF）		■		■	×	×			▲	×					■	×		×					×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
継続読取																																			
用紙選択	自動用紙選択										●					■	●									●	●	●	●	●	●				
	手動用紙指定							×		●																									
給紙ユニット	MP トレイ												●	●																					
	トレイ 1											●		●																					
	トレイ 2、トレイ 3											●	●																						
用紙種類	普通紙 / 再生紙															●																			
	普通紙 / 再生紙以外							■		■					●																		*1		*1
倍率指定	自動倍率							×		●								●	●																
	固定倍率																●		●																
	任意倍率（ズーム）							×									●	●																	
回転																																			
ソート	ソート OFF																					●											●		●
	ソート ON																				●														
とじしろ																										×	×	×	×	×	×				
枠消去								×																											
センター消去								×																		×	×	×	×	×	×	×			
集約コピー	原稿 2 枚→コピー 1 枚							×	△	×							▲						×		×		●	●	×	×	×	×			
	原稿 4 枚→コピー 1 枚							×	△	×							▲						×		×	●		●	×	×	×	×			
	原稿 8 枚→コピー 1 枚							×	△	×							▲						×		×	●	●		×	×	×	×			
リピート	2 回							×		×							▲						×		×	×	×	×		●	●	×			
	4 回							×		×							▲						×		×	×	×	×	●		●	×			
	8 回							×		×							▲						×		×	×	×	×	●	●		×			
ページ分割（ガラス面）				×	×			×																	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×
両面	片面→両面							×	△							*1					×	▲										×		●	●
	両面（ADF）→片面		×		×																											×	●		●
	両面（ADF）→両面		×		×											*1					×	▲										×	●	●	

*1：用紙指定時は、指定された用紙が両面印刷不可能な場合、スタートキー押下を受け付けません。用紙自動時は、両面印刷不可能な用紙は対象外とします。各用紙種類別（用紙サイズ、用紙種類、用紙厚）の両面印刷可否については、セットアップ編「用紙種類ごとに選択できる給紙方法と排紙方法」を参照してください。

設定されている機能＼設定しようとする機能		<スタート>キー		画質				画質調整					
		カラー	モノクロ	文字	文字／写真	写真	高精細	背景・裏写り除去	濃度	コントラスト	彩度調整	色相調整	赤・緑・青色調整
<スタート>キー	カラー		×										
	モノクロ	×									×	×	×
画質	文字				●	●	●						
	文字 / 写真			●		●	●						
	写真			●	●		●						
	高精細			●	●	●							
画質調整	背景・裏写り除去												
	濃度												
	コントラスト												
	彩度調整		●										
	色相調整		●										
	赤・緑・青色調整		●										

機能を組み合わせられないとき

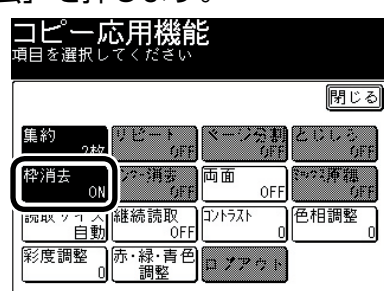
組み合わせて同時に使用できない応用コピーは、灰色で表示されます。

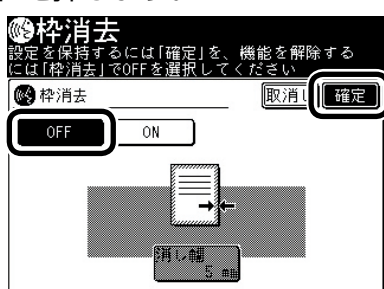
■【例】集約コピーが既に設定されているとき

組み合わせた応用機能を個別に取り消す

組み合わせた応用コピーのうち、一つを解除するには、各応用コピーの設定画面に入り、初期値に戻します。

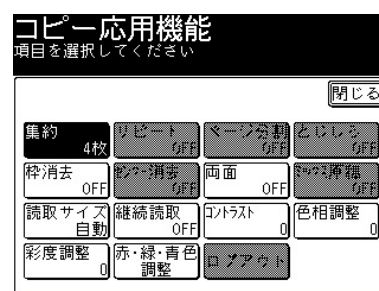
■【例】集約コピー、枠消去が設定されていて、枠消去だけを取り消すとき

1 ［応用機能］を押します。

2 ［枠消去］を押します。

3 ［OFF］を押します。

4 ［確定］を押します。

5 枠消去の設定が取り消されます。

■各機能別取消方法

注

- 個別に取り消した後、再設定が必要になる場合があります。

機　能	手　順
画質	［画質］→［文字／写真］,［自動］→［確定］
濃度	［濃度］→［0］→［確定］
トレイ	［トレイ］→［自動］→［確定］
拡大／縮小	［拡大／縮小］→［100%］→［確定］
ソート	［ソート］→［OFF］→［確定］
集約	［応用機能］→［集約］→［OFF］→［確定］
リピート	［応用機能］→［リピート］→［OFF］→［確定］
ページ分割	［応用機能］→［ページ分割］→［OFF］→［確定］
とじしろ	［応用機能］→［とじしろ］→［OFF］→［確定］
枠消去	［応用機能］→［枠消去］→［OFF］→［確定］
センター消去	［応用機能］→［センター消去］→［OFF］→［確定］
両面	［応用機能］→［両面］→［OFF］→［確定］
ミックス原稿	［応用機能］→［ミックス原稿］→［OFF］→［確定］
読取サイズ	［応用機能］→［読取サイズ］→［自動］→［確定］
継続読取	［応用機能］→［継続読取］→［OFF］→［確定］
コントラスト	［応用機能］→［コントラスト］→［0］→［確定］
色相調整	［応用機能］→［色相調整］→［0］→［確定］
彩度調整	［応用機能］→［彩度調整］→［0］→［確定］
赤・緑・青色調整	［応用機能］→［赤・緑・青色調整］→［0］→［確定］

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

コピー待機画面の設定項目一覧

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
応用機能	集約	原稿枚数	OFF 2 枚 4 枚 8 枚	複数枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめるレイアウトを設定します。
		トレイ	自動 MP ﾄﾚｲ ﾄﾚｲ 1 ﾄﾚｲ 2 ﾄﾚｲ 3	給紙トレイを選択します。
		配置（並び替え）	横並び 縦並び	配置方法を設定します。 原稿枚数が「OFF」または「2 枚」の時は設定出来ません。
	リピート	リピート回数	OFF 2 回 4 回 8 回	1 枚の用紙に同じ原稿を繰り返してコピーする回数を設定します。
		トレイ	自動 MP ﾄﾚｲ ﾄﾚｲ 1 ﾄﾚｲ 2 ﾄﾚｲ 3	給紙トレイを選択します。
	ページ分割	原稿のとじ	OFF 左とじ 右とじ	見開きページを 1 ページづつ別々の用紙にコピーする場合の閉じ方向を設定します。
		トレイ	自動 MP ﾄﾚｲ ﾄﾚｲ 1 ﾄﾚｲ 2 ﾄﾚｲ 3	給紙トレイを選択します。
	とじしろ	設定	ON OFF	とじしろの有効 / 無効を設定します。
		左幅（表面）	0 ～± 25mm （1mm/Step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch/Step）	表面のコピー出力画の右方向への移動幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
		上幅（表面）	0 ～± 25mm （1mm/Step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch/Step）	表面のコピー出力画の下方向への移動幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
		左幅（裏面）	0 ～± 25mm （1mm/Step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch/Step）	裏面のコピー出力画の右方向への移動幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
		上幅（裏面）	0 ～± 25mm （1mm/Step） 0 0 ～± 1.0inch （0.1inch/Step）	裏面のコピー出力画の下方向への移動幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
	枠消去	設定	ON OFF	本などの厚みのある原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。
		消し幅	5 ～ 50mm （1mm/Step） 0.2 ～ 2.0inch （0.1inch/Step）	枠消去の消し幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
応用機能	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm (1mm/Step) 0.1 ～ 2.0inch (0.1inch/Step)	センター消去の消し幅を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	両面	ｺﾋﾟｰ方法	OFF 片面 -> 両面 両面 -> 両面 両面 -> 片面	両面コピーの種類を設定します。
		とじ位置、原稿の閉じ	左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置を設定します。
	ﾐｯｸｽ原稿		ON OFF	大きさの違う原稿をそれぞれのサイズの用紙にコピーするか設定します。 ［トレイ設定］が「自動」の場合のみ設定可能です。
	読取サイズ		自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。
	継続読取		ON OFF	次原稿の有無を問い合わせるかを設定します。
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	画像のコントラストを設定します。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	カラー画像の色相を設定をします。
	彩度調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	カラー画像の彩度を設定します。
	赤・緑・青色調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
画質	画質	文字 文字 / 写真 写真 高精細	画質を設定します。
	背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	画像の背景(下地)色・裏写りが目立たないようにするか設定します。
濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	画像の濃度を設定します。
トレイ		自動 MP ﾄﾚｲ ﾄﾚｲ 1 ﾄﾚｲ 2 ﾄﾚｲ 3	給紙トレイを選択します。
拡大 / 縮小		自動 100% Fit 拡大： 141% 122% 115% 縮小： 86% 81% 70% +、-: 25% ～ 400%（任意）	拡大 / 縮小を設定します。
ソート		ON OFF	コピーをページ順にそろえるかを設定します。

コピー機能の機器設定

コピー機能の初期値を変更する

コピー機能の初期値や、コピーする原稿の種類や濃度の初期値を設定できます。よく使う機能は、初期値を変更しておくと、設定の手間が省けます。

参照

● コピー機能に関する設定の一覧は、「コピー機能組み合わせ一覧」(P.88)をご覧ください。

■ 操作の前に…

● 初期値とは、電源を入れたときや、<リセット>キーを押して待機画面に戻したときの状態をいいます。また、何も操作せずに一定時間放置すると初期値に戻ります。この機能は［画面自動リセット時間］で１分～10分まで設定でき、工場出荷時は３分に設定されています。

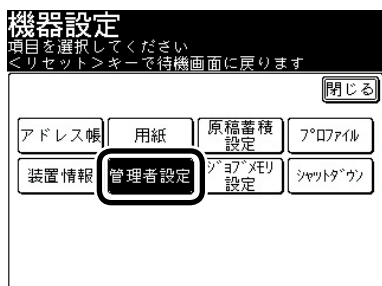
■ コピー機能設定例

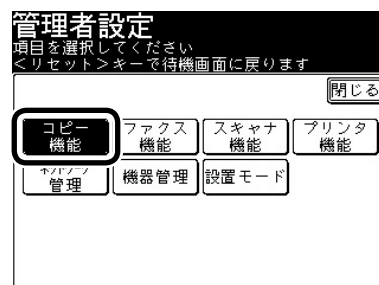
「画質」を設定する例を説明します。

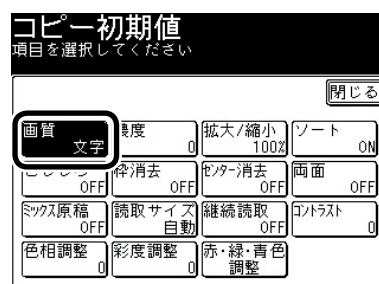
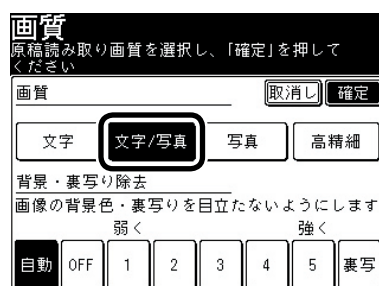
1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

● 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［コピー機能］を押します。

5 ［コピー初期値］を押します。

6 設定したい機能を、タッチパネルから選択します。

7 設定値を選択します。

8 [確定] を押すと選択した設定値がセットされ、コピー初期値またはその他の設定の画面に戻ります。

メモ

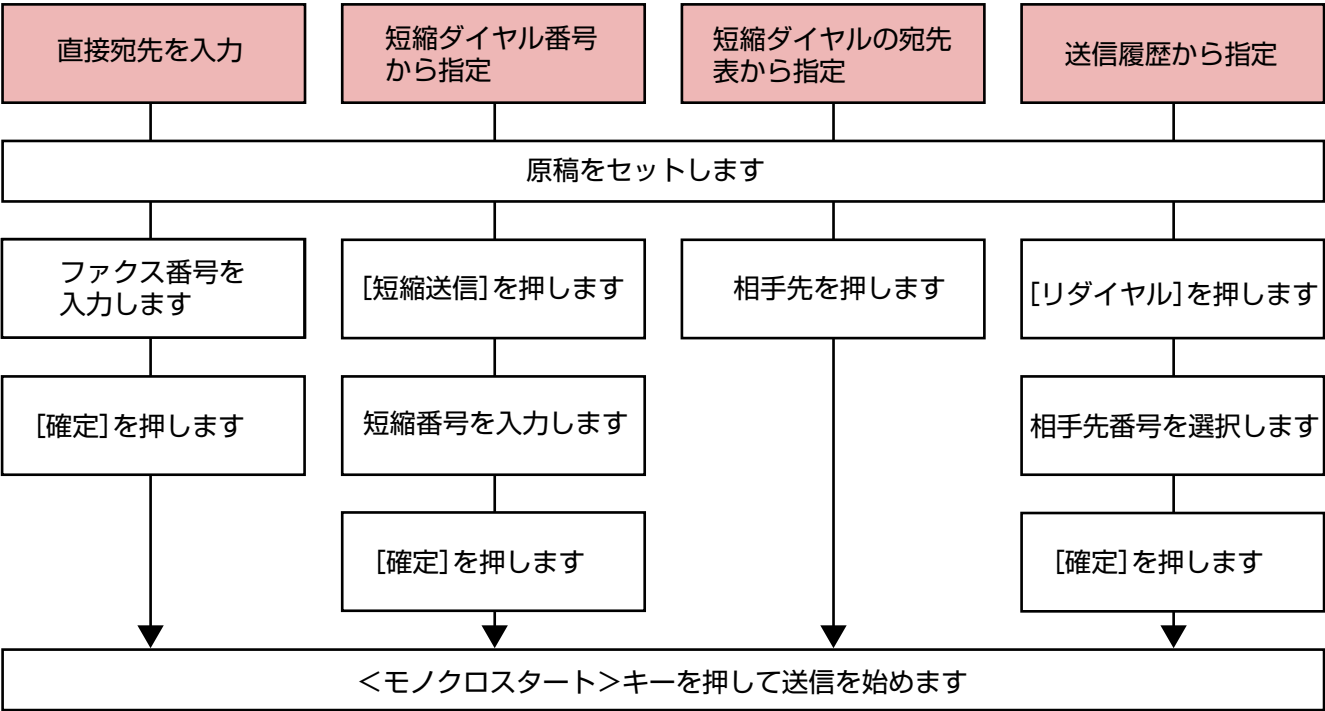
- 操作を終了するときは<リセット>キーを押します。

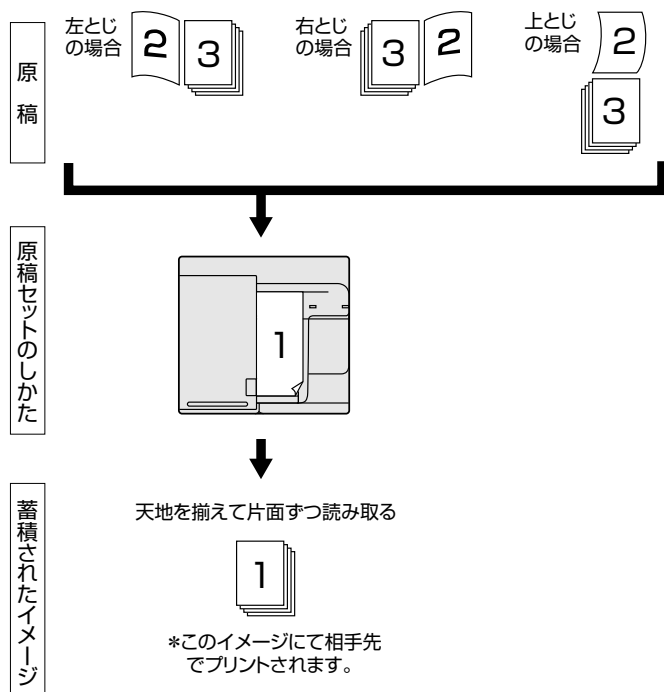
他の設定を続けて行えます。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

3 いろいろな ファクスのしかた

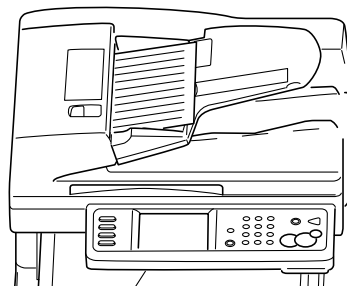
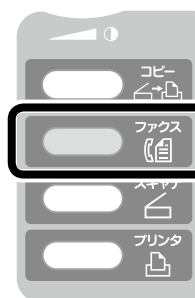
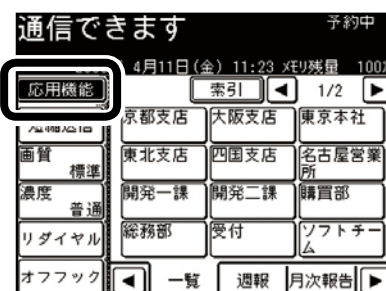
便利な機能を使ってファクス送信する

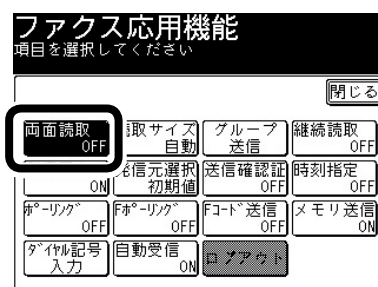
■宛先を指定する方法

両面原稿を読み取って送信する

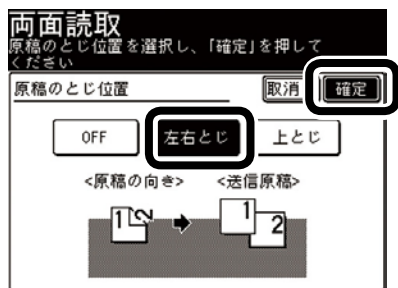
原稿のセット方法と相手先での印刷のされかた

メモ

- 原稿の向きと原稿に記載されている文字の向きによっては、受信した画がイメージ通りに印刷されないことがあります。この場合は、[応用機能] - [両面読取]で以下のように設定してください。
  - セットした原稿の文字が上を向いている場合は、[左右とじ]を選んでください。
  - セットした原稿の文字が横を向いている場合は、[上とじ]を選んでください。

両面原稿を送信する（両面読取）

1 自動原稿送り装置に原稿をセットします。

2 <ファクス>キーを押します。

3 [応用機能] を押します。

4 両面読取機能を設定します。

(1) [両面読取] を押します。

(2) 送信する原稿のとじ位置を選択します。

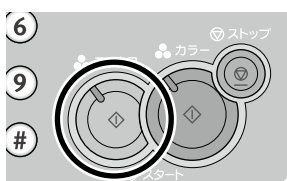
(3) ［確定］を押します。

両面読み取りが設定されます。

5 ［閉じる］を押します。

6 相手先を指定します。

参照

- 相手先の指定方法は以下の方法があります。
- 基本操作編「直接入力する」
- 基本操作編「短縮ダイヤルリストを使用する」
- 基本操作編「宛先表を使用する」
- 必要に応じて、画質や濃度を調整します。詳しくは、基本操作編「送信画質を設定する」、「送信濃度を設定する」をご覧ください。
- 送信の中止は基本操作編「ファクス送信を確認 / 中止する」を参照してください。

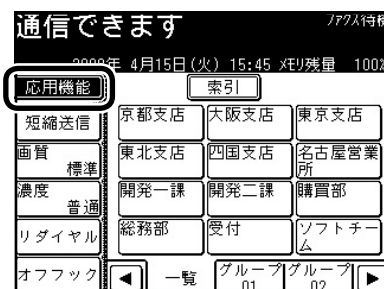
7 <モノクロスタート>キーを押します。両面原稿が読み取られ、送信を開始します。

自動原稿送り装置とガラス面を併用して原稿を読み取る（混在送信）

原稿は、ガラス面と自動原稿送り装置で読み込むことができます。両方の読み取り装置を使って、送り状と地図帳というような組み合わせの原稿を同時に送信することができます。

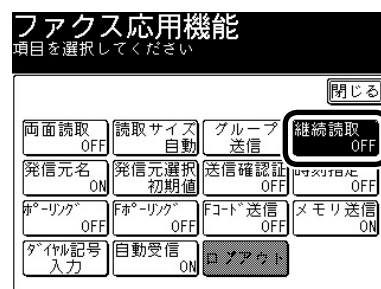
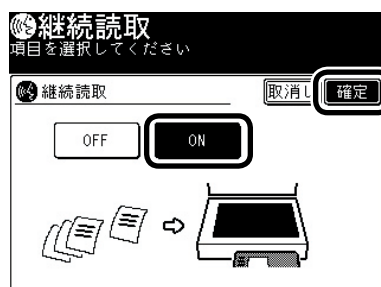
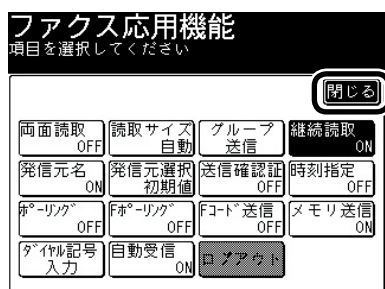
準備すること

以下の手順で継続読取を設定しておきます。

1 <ファクス>キーを押します。

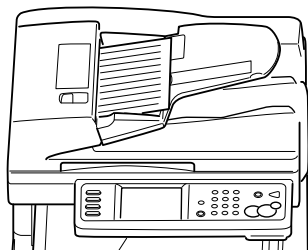
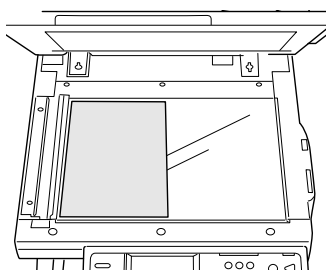
2 ［応用機能］を押します。

3 ［継続読取］を押します。

4 ［ON］を押して［確定］を押します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

5 ［閉じる］を押します。

自動原稿送り装置とガラス面を併用して原稿を読み取る

自動原稿送り装置またはガラス面に原稿をセットします。

1 自動原稿送り装置またはガラス面に原稿をセットします。

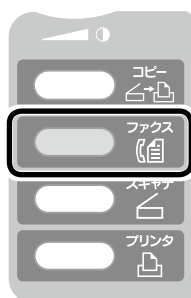
● 自動原稿送り装置

● ガラス面

参照

● 原稿セットのしかたについては、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 <ファクス>キーを押します。

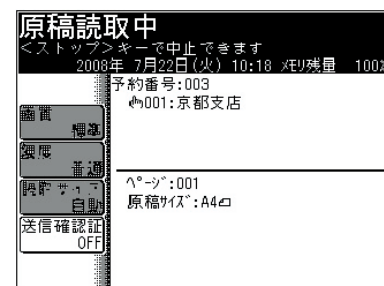
3 相手先を指定します。

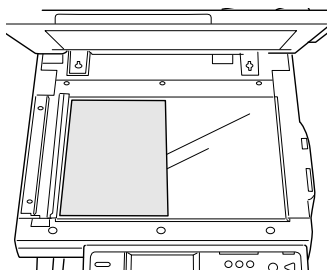
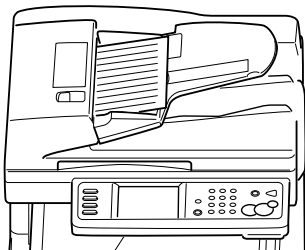
参照

● 相手先の指定方法は以下の方法があります。
- 基本操作編「直接入力する」
- 基本操作編「短縮ダイヤルリストを使用する」
- 基本操作編「宛先表を使用する」

4 <モノクロスタート>キーを押します。

注

● <カラースタート>キーは使用できません。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

5 「次の原稿をセットください」と表示されたら、ガラス面または自動原稿送り装置に次の原稿をセットします。

● ガラス面

● 自動原稿送り装置

6 ［次のページを読む］を押します。原稿の読み取りが始まります。

続けて送信する原稿がある場合は、手順 4 から操作を繰り返します。

7 全ての原稿を読み取り後、［送信開始する］を押します。送信を開始します。

メモ

● 読み取りを中止したいときは<ストップ>キーを押します。

参照

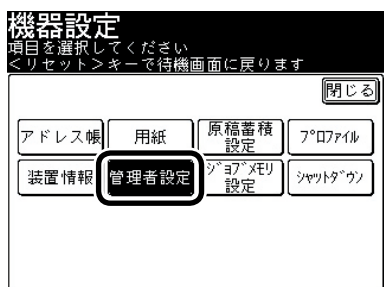
● 送信の中止については、基本操作編「ファクス送信を確認 / 中止する」をご覧ください。

局番を設定する（プレフィクス）

あらかじめ登録しておいた番号を、相手先番号につけて発信することができます。短縮ダイヤルの登録時にも使用できます。

局番を登録する

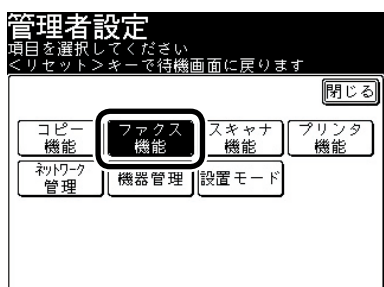
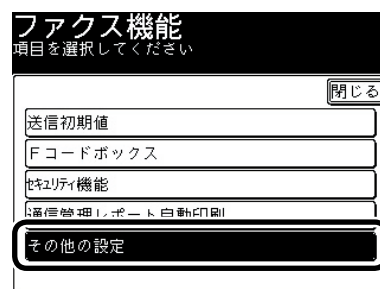
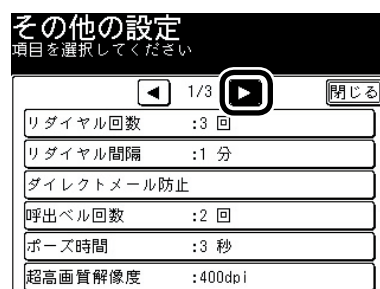
［プレフィクス］に登録する番号を設定します。

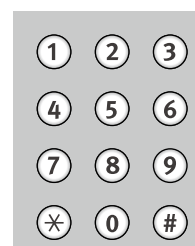
1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［その他の設定］を押します。

6 ［▶］を押します。

7 ［プレフィクス］を押します。

8 テンキーでプレフィクス番号を入力します。

9 ［確定］を押します。

メモ

- プレフィクス番号は 40 桁まで登録できます。
- 番号を間違えて入力したときは、［クリア］で消去してから入力し直します。

参照

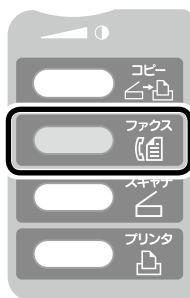
- 数字、#、*、ポーズなどのダイヤル記号も登録できます。ダイヤル記号については、基本操作編「ダイヤル記号について」をご覧ください。

ファクス送信時に局番を使用する

■操作の前に…

- テンキーを使用するときだけプレフィクス番号を利用できます。プレフィクス番号の後に、短縮ダイヤルを挿入することはできません。

1 原稿をセットします。

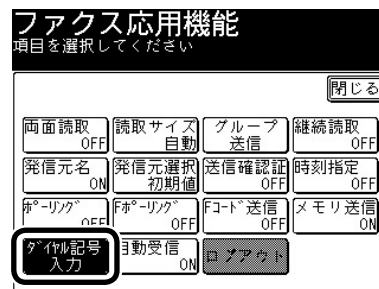
2 <ファクス>キーを押します。

3 必要に応じて送信画質・濃度の設定を行います。

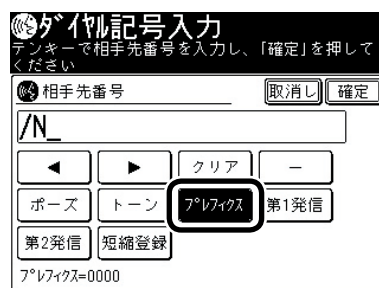
参照

- 詳しくは、基本操作編「送信画質を設定する」、「送信濃度を設定する」をご覧ください。

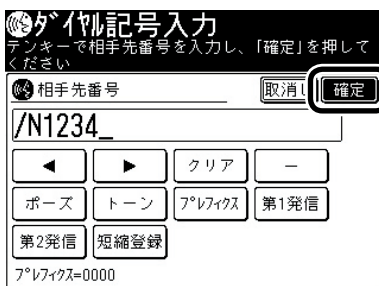
4 ［応用機能］を押します。

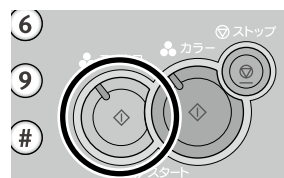
5 ファクス番号を入力します。

(1) ［ダイヤル記号入力］を押します。

(2) ［プレフィクス］を押します。

メモ

- プレフィクスを押すと「/N」と入力されます。

(3) テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

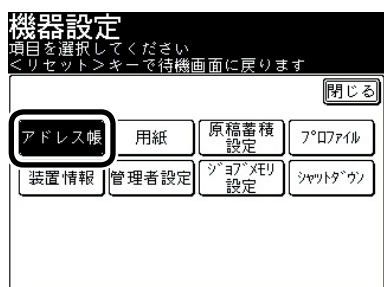
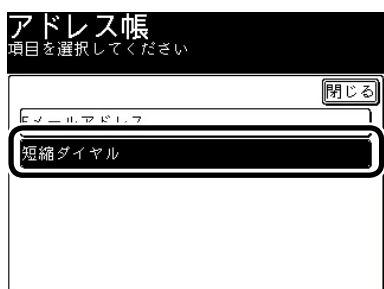
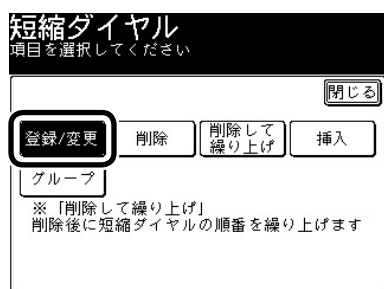
(4) ［確定］を押します。

6 <モノクロスタート>キーを押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

短縮ダイヤル番号の登録時に局番を使用する

プレフィクス番号を短縮ダイヤルに登録することができます。

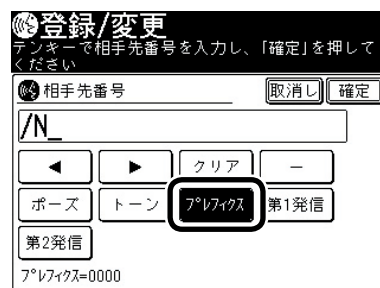
短縮ダイヤルの登録方法は、基本操作編「短縮ダイヤル」を参照してください。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

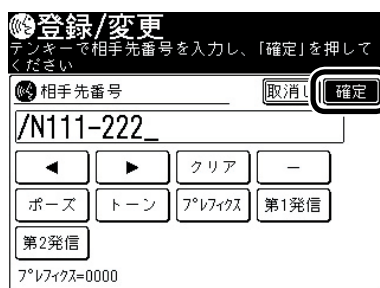
2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［登録／変更］を押します。

5 登録したい短縮ダイヤル番号を押します。

6 ファクス番号を入力します。

(1) ［プレフィクス］を押します。

メモ

- プレフィクスを押すと「/N」と入力されます。

(2) 続けて、テンキーで相手先番号を入力します。（40 桁まで）

(3) ［確定］を押します。

7 相手先名、読み仮名などを登録します。

参照

- 短縮ダイヤルの登録については、基本操作編「短縮ダイヤル」をご覧ください。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

各種の送信機能

多数の相手に一度に送信する

複数の宛先へ送信する（同報送信）

多数の相手へ 1 度の操作で送信する機能で、相手先ごとに繰り返して原稿を読み取る必要がなく、操作の手間が省けます。

■操作の前に…

- 相手先指定時に短縮ダイヤル、グループ、およびテンキー入力を組み合わせることにより、最大 530 宛先まで指定することができます。
- テンキー入力による指定は 30 宛先までです。

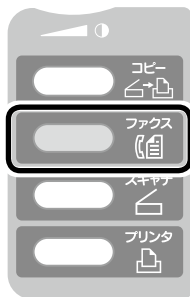
メモ

- 割り込み通信
  同報通信中に別の通信を割り込んで実行することができます。
  同報通信中に、リアルタイム送信、ポーリングを行うと、同報送信に割り込んで優先的に実行されます。急いで送信、ポーリングしたいときに便利です。ただし、ポーリングの場合は相手先が 1 宛先のときのみ優先的に実行されます。
  リアルタイム送信、ポーリングについては、基本操作編「送信方法を設定する（メモリー送信 / リアルタイム送信）」と「ポーリング通信をする」（P.109）をご覧ください。

1 原稿をセットします。

参照

- 原稿セットのしかたについては、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 <ファクス>キーを押します。

3 相手先のファクス番号を入力します。

- 【例】テンキーで入力した場合

メモ

- テンキーで指定した場合は、相手先指定後［確定］を押します。

参照

- 相手先の指定方法は以下の方法があります。
  - 基本操作編「直接入力する」
  - 基本操作編「短縮ダイヤルリストを使用する」
  - 基本操作編「宛先表を使用する」

- 【例】宛先表を用いて指定した場合

複数の宛先を選択していきます。

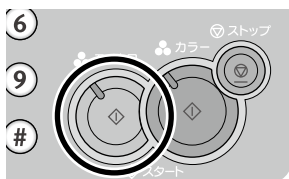
メモ

- 選択した相手先を解除するには、もう一度同じ相手先を押します。

4 手順 3 の操作を繰り返して、すべての相手先を入力します。

5 <モノクロスタート>キーを押します。

! 注

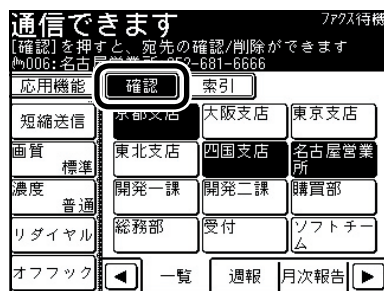
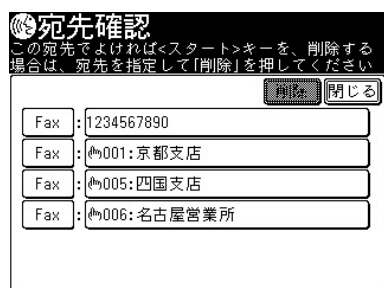
- <カラースタート>キーは使用できません。

メモ

- 同報宛先確認を ON に設定している場合は、宛先確認画面が表示されます。詳しくは、「同報宛先確認を設定する」を参照してください。
- 操作を中止するときは、<リセット>キーを押してください。
- 読み取りを中止するときは、<ストップ>キーを押してください。

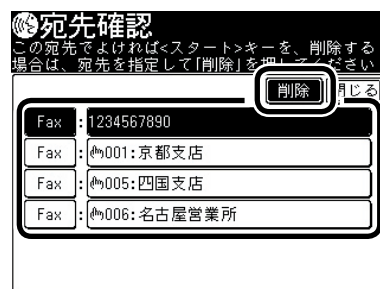
参照

- 原稿読み取り後は、<ファクス確認／中止>キーで削除、確認できます。詳しくは、基本操作編「ファクス送信を確認 / 中止する」をご覧ください。

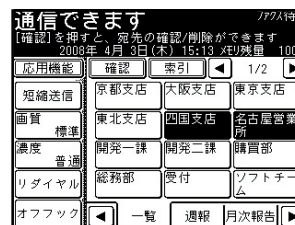
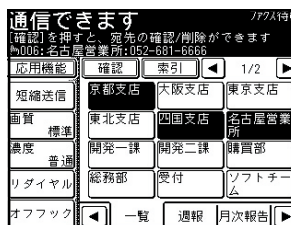
入力した相手先を確認 / 削除する

1 ［確認］を押します。

2 入力した相手先が表示されます。

3 入力した相手先を削除するには以下の操作を行います。

(1) 削除したい相手先を選択します。

(2) ［削除］を押すと選択された相手が削除されます。

■こんなときには？

- 宛先表を使って相手先を削除するには ...。

短縮ダイヤルの場合は、宛先表で削除したい相手先を押して選択を解除するだけで、同報の宛先から削除することができます。

グループを使用する（グループ送信）

複数の送り先を 1 つのグループに登録しておくと、原稿セットを 1 回するだけで複数の相手先へ送信できます。

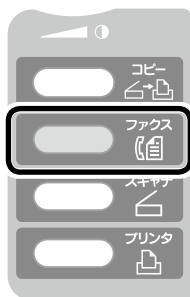
■操作の前に…

- この機能を使うには、短縮ダイヤルの登録のときに、あらかじめグループ番号の登録が必要です。詳しくは、基本操作編「短縮ダイヤル」をご覧ください。

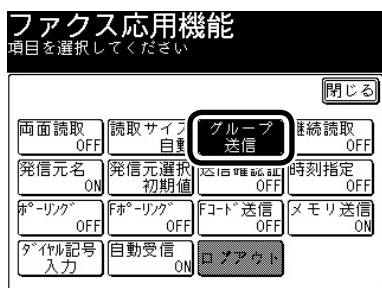
1 原稿をセットします。

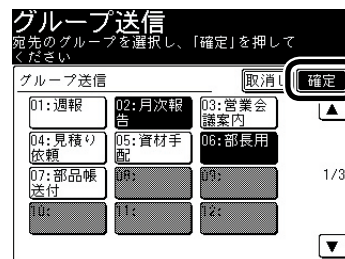
参照

- 原稿セットのしかたについては、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 <ファクス>キーを押します。

3 ［応用機能］を押します。

4 グループ送信機能を設定します。

(1) ［グループ送信］を押します。

(2) グループを指定します。複数のグループを指定することもできます。

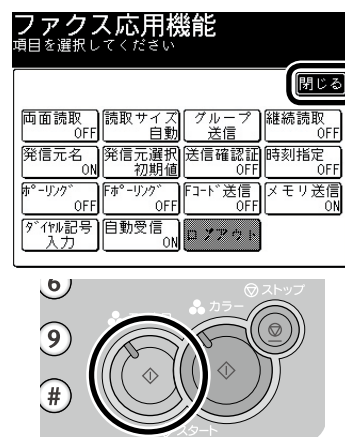
(3) ［確定］を押します。

メモ

- グループを押すと反転表示して選択します。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。

5 ［閉じる］を押して待機画面に戻ります。<モノクロスタート>キーを押します。

参照

- 原稿読み取り後は、<ファクス確認／中止>キーで削除、確認できます。詳しくは、基本操作編「ファクス送信を確認 / 中止する」をご覧ください。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

送信時刻を指定する（時刻指定）

通信の日時を指定する機能で、深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。

■操作の前に…

- 1 カ月先までの送信時刻を指定でき、最大 100 件分の通信予約ができます。時刻指定した文書はメモリーに蓄積され、指定した時刻になると通信が始まります。
- リアルタイム送信を指定すると、指定した時刻になるまで原稿がセットされたままになり、別の送信をすることができなくなります。
- 他の応用機能（同報送信、ポーリング、F コード送信、F コードポーリング）と組み合わせて指定することもできます。

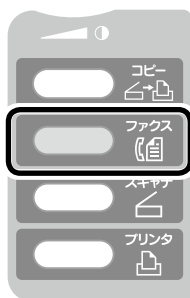
1 原稿をセットします。

参照

- 原稿セットのしかたについては、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 <ファクス>キーを押します。

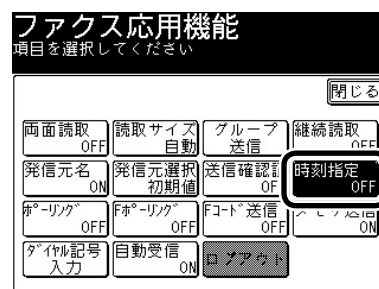
3 相手先を指定します。

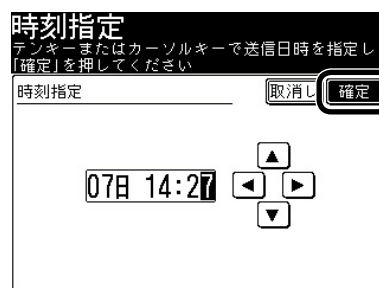
参照

- 相手先の指定方法は以下の方法があります。

- 基本操作編「直接入力する」
- 基本操作編「短縮ダイヤルリストを使用する」
- 基本操作編「宛先表を使用する」

4 ［応用機能］を押します。

5 時刻指定機能を設定します。

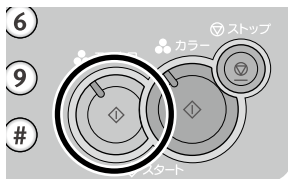
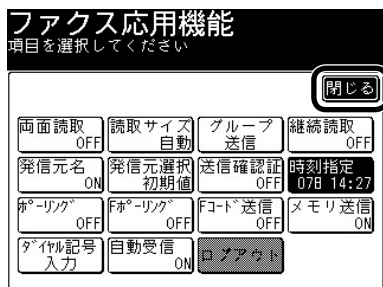
(1) ［時刻指定］を押します。

(2) 送信日時を入力します。

(3) ［確定］を押します。

メモ

- テンキーまたはカーソルキーで入力します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定/レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

6 ［閉じる］を押して待機画面に戻ります。<モノクロスタート>キーを押すと原稿読み取りを開始します。

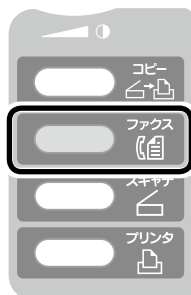
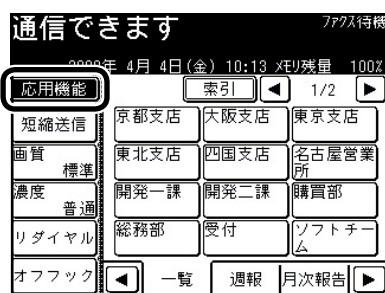
参照

● 原稿読み取り後は、<ファクス確認／中止>キーで削除、確認できます。詳しくは、基本操作編「ファクス送信を確認 / 中止する」をご覧ください。

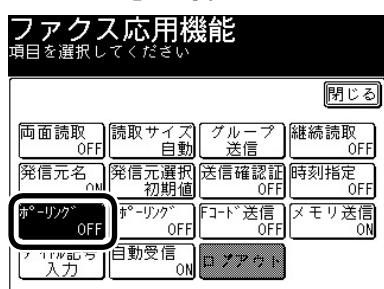
メモ

● 予約後に指定時刻を変更するには、予約した通信を消去して再度設定し直します。

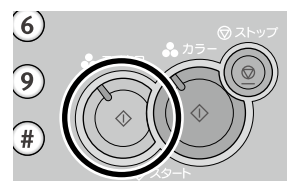
ポーリング通信をする

■ポーリング：
相手側にセットされている原稿を、こちら側から指示して送信させることができます。電話料金はこちら側（受信側）の負担になります。

1 ＜ファクス＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ポーリング機能を設定します。

(1) ［ポーリング］を押します。

(2) ポーリングを行うには［ON］を選択します。

(3) 選択後、［確定］を押します。

4 ［閉じる］を押して待機画面に戻ります。相手先を指定し、＜モノクロスタート＞キーを押します。

参照

- ＜モノクロスタート＞キーを押した後は、＜ファクス確認／中止＞キーで通信を中止できます。詳しくは、基本操作編「ファクス送信を確認 / 中止する」をご覧ください。

F コード通信をする

F コード送信とは

ITU-T（国際電気通信連合）の規格にしたがったサブアドレスやパスワードを利用して、通信する機能です。サブアドレスやパスワードが登録された F コードボックスを作成することで、メーカーや機種の枠を越えて親展通信、掲示板通信を利用できます。

メモ

- F コードボックスは 20 個まで登録できます。
- 1 つのボックスには 30 件まで原稿を蓄積できます。

サブアドレスとパスワード

サブアドレスは、メモリー内に設定されたさまざまな F コードボックスを区別するための番号です。（必ず登録します）

パスワードは、原稿をまちがって送受信しないための鍵となるものです。（必要に応じて登録します）

暗証番号とは

ボックスの登録変更やボックスに受信 / 蓄積した原稿の印字の際の鍵となるものです。（親展ボックスでは必ず登録する必要があります）

F コード通信で使用できる機能

サブアドレスやパスワードを利用すると、次のような機能を使用することができます。

■ F コード親展通信

通信相手に F コード親展ボックスが設定されているとき、そのボックスのサブアドレスと必要に応じてパスワードを指定することにより、親展通信ができるようになります。

親展受信側では、特定の暗証番号を入力しなければ受信文書を印刷できませんので、機密保護が必要な文書を送信する場合に便利です。

参照

- F コード親展送信をする場合：「サブアドレスを使用して送信する（F コード送信）」（P.116）をご覧ください。
- F コード親展受信した場合：「蓄積された原稿を印刷する」（P.119）をご覧ください。

■ F コード掲示板通信

通信相手に F コード掲示板が設定されているとき、掲示板のサブアドレスを指定することにより、掲示板へ原稿を送信したり、掲示板に蓄積されている原稿を取り出したり（ポーリング）することができます。（必要に応じてパスワードを指定できます）

参照

- 相手先の掲示板へ送信する場合：「サブアドレスを使用して送信する（F コード送信）」（P.116）をご覧ください。
- 相手先の掲示板に蓄積された原稿を取り出す場合：「サブアドレスを使用して受信する（F コードポーリング）」（P.117）をご覧ください。
- 自分の掲示板へ原稿を蓄積する場合：「掲示板ボックスに原稿を蓄積する」（P.118）をご覧ください。

F コードボックスを登録する（F コード親展通信）

F コード通信を利用するために F コードボックスを登録します。F コードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。

メモ

- サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
- 暗証番号を設定すると、特定の人以外に F コードボックスの操作をできなくすることができます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

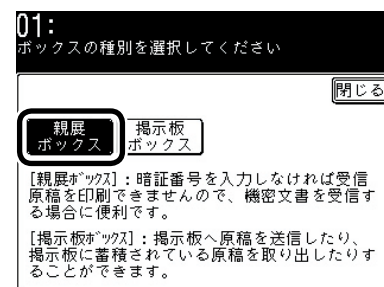
4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［F コードボックス］を押します。

6 ［登録／変更］を押します。

F コードボックス
項目を選択してください
閉じる
登録/変更
削除

7 登録したい F コードボックスを選択します。

8 ［親展ボックス］を押します。

9 サブアドレスを設定します。

(1) テンキーでサブアドレスを入力します。

(2) ［確定］を押します。

メモ

- サブアドレスは 20 桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
- 番号を間違えた場合は、［クリア］を押して正しい番号を入力し直してください。

10 暗証番号を設定します。

(1) テンキーで暗証番号（4 桁）を登録します。

注

- 暗証番号はどこにも表示されません。忘れないように控えておいてください。

(2) ［確定］を押します。

11 ボックス名を入力します。

(1) ［ボックス名］を押します。

(2) ボックス名を入力します。

(3) ［確定］を押します。

メモ

- 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。

参照

- 文字入力については、セットアップ編「操作パネルを使用して文字を入力する」をご覧ください。

12 パスワード、保存期間の設定は必要に応じて行います。

■パスワードを登録するとき

(1) ［パスワード］を押します。

(2) テンキーでパスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- パスワードは 20 桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
- パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

■保存期間を設定するとき

(1) ［保存期間］を押します。

メモ

- 保存期間
  親展原稿を保持する期間です（0 ～ 31 日）。0 日に設定したときは無期限に原稿を保持します。

(2) テンキーまたは［▲］［▼］で保存期間を入力し、［確定］を押します。

13 続けて他の F コードボックスを登録する場合は、［閉じる］を 3 回押し、手順 5 から操作を繰り返します。

メモ

- ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

F コードボックスを登録する（F コード掲示板通信）

F コード通信を利用するために F コードボックスを登録します。F コードボックスにはそれぞれのサブアドレスとパスワードを登録します。

メモ

- サブアドレスは必ず登録してください。パスワードは必要に応じて登録してください。
- 暗証番号を設定すると、特定の人以外に F コードボックスの操作をできなくすることができます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［F コードボックス］を押します。

6 ［登録／変更］を押します。

7 登録したいＦコードボックスを選択します。

8 ［掲示板ボックス］を押します。

9 テンキーでサブアドレスを入力し、［確定］を押します。

メモ

- サブアドレスは 20 桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
- 番号を間違えた場合は、［クリア］を押して正しい番号を入力し直してください。

10 ボックス名を入力します。

(1) ［ボックス名］を押します。

(2) ボックス名を入力します。

(3) ［確定］を押します。

メモ

- 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。

参照

- 文字入力については、セットアップ編「操作パネルを使用して文字を入力する」をご覧ください。

11 パスワード、受信禁止、同時印刷、上書き許可、送信後原稿消去、暗証番号の設定は必要に応じて行います。

■パスワードを登録するとき

(1) ［パスワード］を押します。

(2) テンキーでパスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- パスワードは 20 桁まで登録できます。数字、#、＊が登録できます。
- パスワードは必ずしも登録する必要はありません。他のボックスに同じパスワードを登録することもできます。

■ 受信禁止を設定するとき

(1) ［受信禁止］を押します。

メモ

● 受信禁止を ON にした場合は、ポーリング送信のみになります。

(2) ［ON］または［OFF］を選択し、［確定］を押します。

メモ

● 受信禁止を ON にすると同時印刷、上書き許可は OFF になり、設定できなくなります。

■ 同時印刷を設定するとき

注

● 受信禁止が ON のときは操作できません。

(1) ［同時印刷］を押します。

メモ

● 同時印刷を ON にした場合は、掲示板に受信した原稿を印刷します。

(2) ［ON］または［OFF］を選択し、［確定］を押します。

■ 上書き許可を設定するとき

(1) ［上書き許可］を押します。

メモ

● 上書き許可を ON にした場合は、前に蓄積されていた原稿は受信した原稿で上書きされます。

(2) ［ON］または［OFF］を選択し、［確定］を押します。

■ 送信後原稿消去を設定するとき

(1) ［▶］を押し、掲示板ボックス画面の［2/2］を表示し、［送信後原稿消去］を押します。

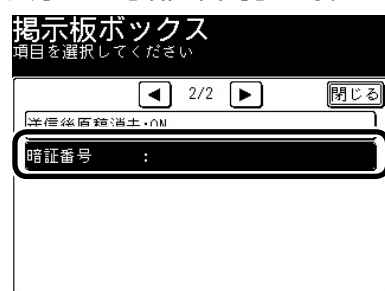
メモ

● 送信後原稿を消去 ON にした場合は、ポーリング送信後、原稿を消去します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

(2) ［ON］または［OFF］を選択し、［確定］を押します。

■ 暗証番号を登録するとき

(1) ［▶］を押し、掲示板ボックス画面の［2/2］を表示し、［暗証番号］を押します。

メモ

● 暗証番号は、蓄積原稿の印刷などをするときに入力が必要です。忘れないように控えておいてください。

(2) テンキーで暗証番号（4 桁）を入力し、［確定］を押します。

注

● 暗証番号はどこにも表示されません。忘れないように控えておいてください。

メモ

● 暗証番号を間違えたときは［クリア］で消去してから入力し直します。

12 続けて他の F コードボックスを登録する場合は、［閉じる］を 2 回押し、手順 5 から操作を繰り返します。

メモ

● <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

サブアドレスを使用して送信する（F コード送信）

サブアドレスとパスワードを入力することにより、F コード親展送信、F コード掲示板送信ができます。

■ 操作の前に…

● あらかじめ、相手機に登録されている機能のサブアドレスとパスワードを確認してください。

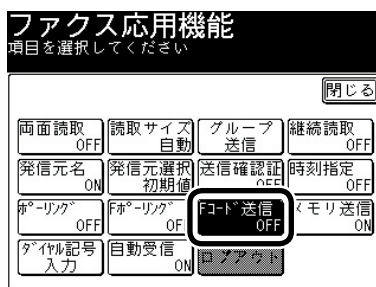
1 原稿をセットします。

参照

● 原稿セットのしかたについては、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 <ファクス>キーを押します。

3 ［応用機能］を押します。

4 ［F コード送信］を押します。

5 サブアドレスを設定します。

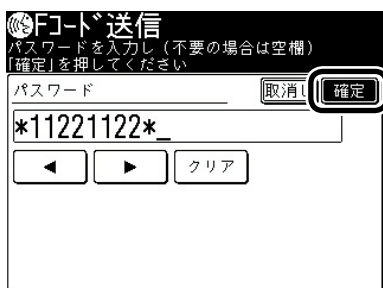
(1) テンキーで相手機に登録されている機能のサブアドレスを入力します。

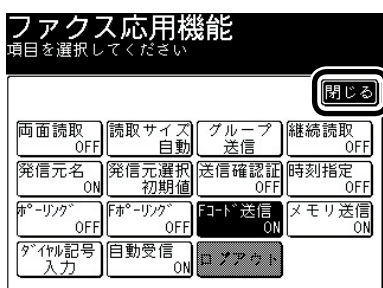
(2) ［確定］を押します。

6 パスワードを設定します。

(1) テンキーでパスワードを入力します。

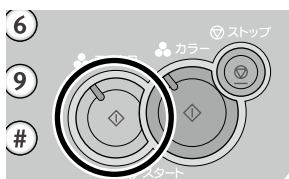
(2) ［確定］を押します。

メモ

- パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
- パスワードの必要がないときは、何も入力しないで［確定］を押し、手順 6 に進みます。

7 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

- もう一度［F コード送信］を押すと、手順 5 の画面になり、サブアドレス・パスワードを修正することができます。
- <リセット>キーを押すと F コード送信の設定を解除できます。

8 相手先のファクス番号を入力し、<モノクロスタート>キーを押します。

メモ

- テンキー、短縮ダイヤル、宛先表、グループが使用できます。
- 最大 530 宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は 30 宛先までです。）

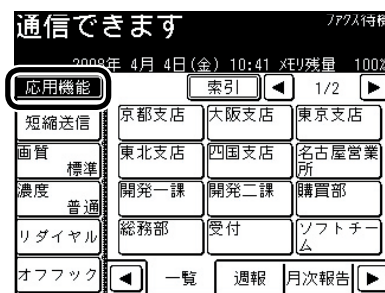
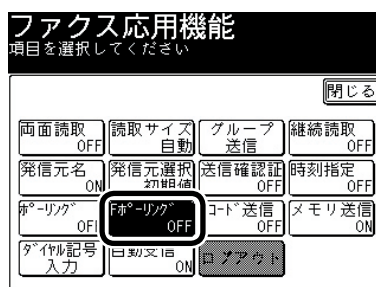
サブアドレスを使用して受信する（F コードポーリング）

相手機の掲示板に蓄積された原稿をサブアドレスとパスワードを入力することにより、取り出すこと（ポーリング）ができます。

■操作の前に…

- あらかじめ、相手機の掲示板のサブアドレスとパスワードを確認してください。

1 <ファクス>キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［F ポーリング］を押します。

4 サブアドレスを設定します。

(1) テンキーで掲示板のサブアドレスを入力します。

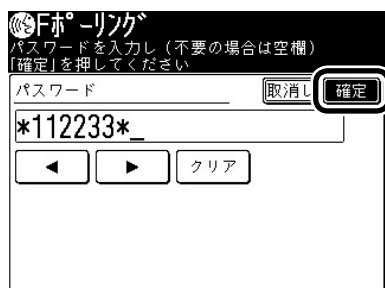
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う設定の登録
6 カラー調整
7 レポート印刷／機器設定
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

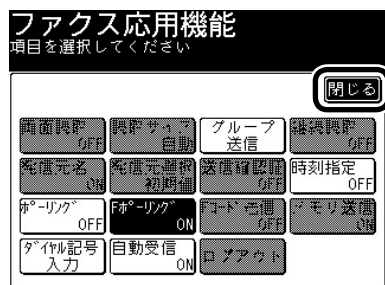
(2) ［確定］を押します。

5 パスワードを設定します。

(1) テンキーでパスワードを入力します。

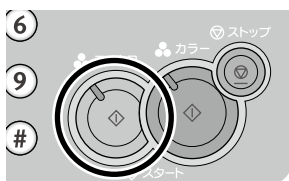
(2) ［確定］を押します。

メモ

- パスワードは 20 桁以内の数字、＊、＃が使用できます。
- パスワードの必要がないときは、何も入力しないで［確定］を押し、手順 5 に進みます。

6 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ

- もう一度［F ポーリング］を押すと、手順 4 の画面になり、サブアドレス・パスワードを修正することができます。
- <リセット>キーを押すと F ポーリングの設定を解除できます。

7 相手先のファクス番号を入力し、<モノクロスタート>キーを押します。

メモ

- テンキー、短縮ダイヤル、宛先表、グループが使用できます。
- 最大 530 宛先まで指定できます。（テンキー入力による指定は 30 宛先までです。）

掲示板ボックスに原稿を蓄積する

F コードを利用した掲示板に原稿を蓄積します。

1 つのボックスには 30 件まで原稿を蓄積できます。

■操作の前に…

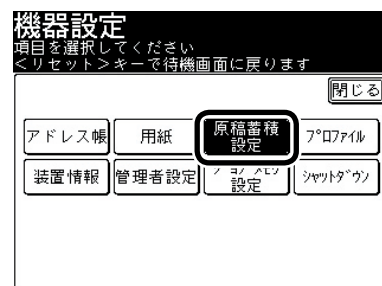
- F コードボックスに掲示板ボックスの登録が必要です。「F コードボックスを登録する（F コード掲示板通信）」（P.113）をご覧ください。

1 原稿をセットします。

参照

- 原稿セットのしかたについては、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

2 <機器設定>キーを押します。

3 ［原稿蓄積設定］を押します。

4 ［蓄積］を押します。

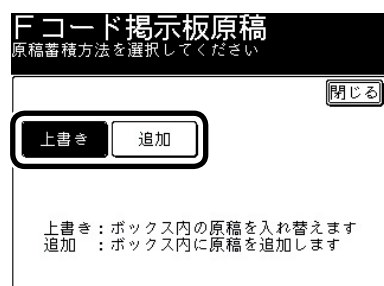
5 ［F コード掲示板原稿］を押します。

6 原稿を蓄積するＦコードボックスを選択します。

7 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（４桁）を入力します。

メモ

● 暗証番号が設定されていないときは、手順８に進みます。

8 原稿蓄積方法を選択します。

メモ

● 上書き

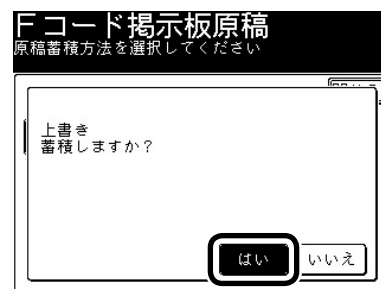
- ボックス内の原稿を入れ替えます。

● 追加

- ボックス内に原稿を追加します。

9 ［はい］を押します。

原稿の読み取りを開始します。

●【例】上書きの場合

メモ

● すでに 30 件の原稿が蓄積されているときに追加蓄積すると、「蓄積できません」と表示されます。

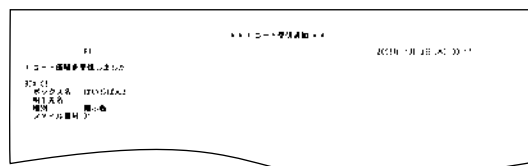
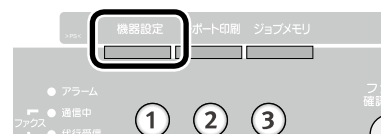
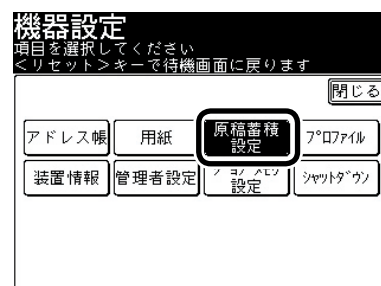
蓄積された原稿を印刷する

親展受信原稿、掲示板に受信した原稿および、掲示板に蓄積した原稿を印刷します。

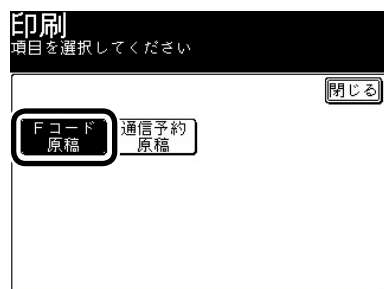
■操作の前に…

●Ｆコードボックスに原稿を受信した場合は、Ｆコード受信通知が印刷されます。記載されているボックス番号を確認し、蓄積原稿を印刷します。

● 親展受信の場合

● 掲示板に受信した場合

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［原稿蓄積設定］を押します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 レポート印刷／機能設定
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

3 ［印刷］を押します。

4 ［Ｆコード原稿］を押します。

5 印刷したい原稿が蓄積されているＦコードボックスを選択します。

6 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（４桁）を入力します。

メモ

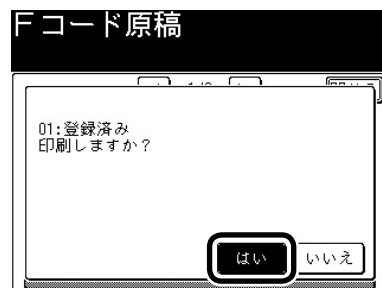
- 暗証番号が設定されていないときは、手順７に進みます。

7 ファイル番号を選択します。

メモ

- 「全登録済み原稿」を選択すると、このＦコードボックスに蓄積されているすべての原稿を印字します。
- 親展受信の場合、手順７はありません。

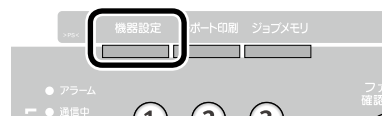
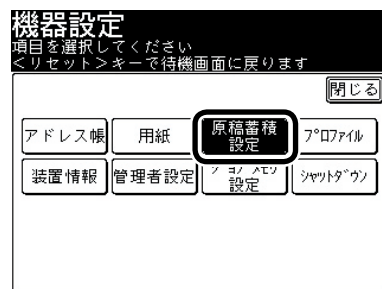
8 ［はい］を押します。

蓄積または受信した原稿を印刷します。

メモ

- 親展受信原稿は印刷すると自動的に消去されます。
- 掲示板に受信または蓄積した原稿は、印刷しても消去されません。

掲示板ボックスに蓄積された原稿を削除する

掲示板に蓄積した原稿を削除します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［原稿蓄積設定］を押します。

3 ［削除］を押します。

4 ［Fコード掲示板原稿］を押します。

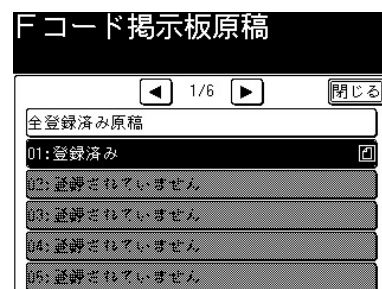
5 削除したい原稿が蓄積されているFコードボックスを入力します。

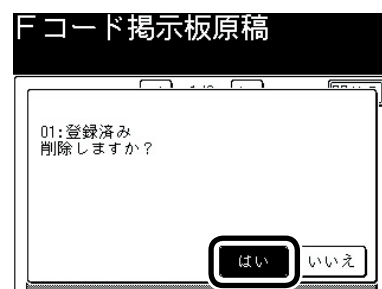
メモ

- ☐は原稿が蓄積されていることを示します。

6 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4桁）を入力します。

7 ファイル番号を選択します。

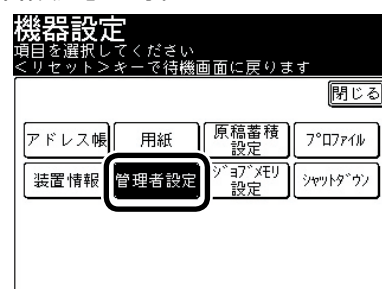
メモ

- 「全登録済み原稿」を選択すると、このファイル番号に蓄積されているすべての原稿を削除します。

8 削除する場合は、［はい］を押します。

Fコードボックスを削除する

注

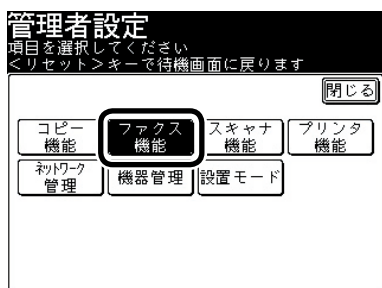
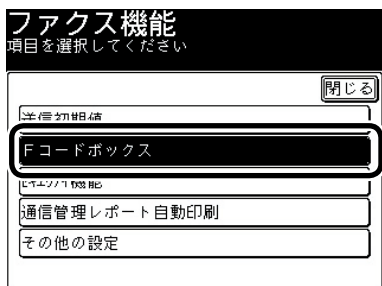
- 原稿が蓄積されているFコードボックスを削除することはできません。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは [aaaaaa] になっています。

4 [ファクス機能] を押します。

5 [F コードボックス] を押します。

6 [削除] を押します。

7 削除したい F コードボックスを選択します。

8 暗証番号が設定されているときは、テンキーで暗証番号（4 桁）を入力します。

メモ

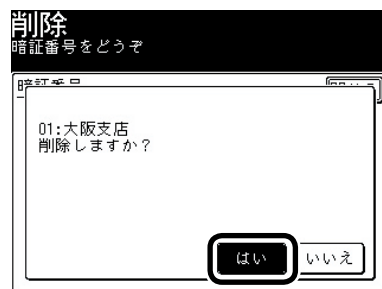
- 暗証番号が設定されていないときは、手順 9 に進みます。

9 削除してもよければ、[はい] を押します。

注

- 原稿が蓄積されている F コードボックスを削除することはできません。

メモ

- 削除を中止するときは [いいえ] を押します。

10 続けて他の F コードボックスを削除する場合は、手順 7 から操作を繰り返します。

メモ

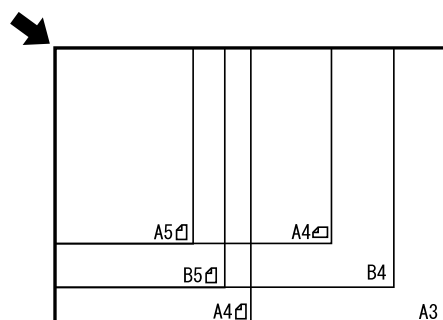
- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

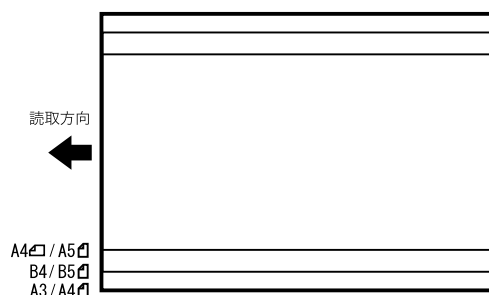
原稿の一部分だけを送信する（読取サイズ）

あらかじめ読取サイズを設定して送信することができます。原稿の一部を送信したいときや、原稿のサイズを指定したいときなどに便利です。（部分送信）

自動原稿送り装置から送信するときは、原稿幅の指定になります。

■ ガラス面

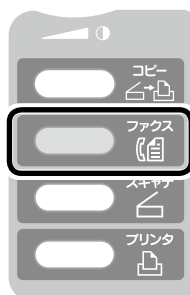
＊原稿セット基準位置が読み取りの基準になります。

- 設定したサイズ分だけ読み取ります。
- セット基準位置が読み取りの基準になります。

■ 自動原稿送り装置

- 設定したサイズの幅だけ読み取ります。
- 原稿の長さは、読み取った分だけ送信します。

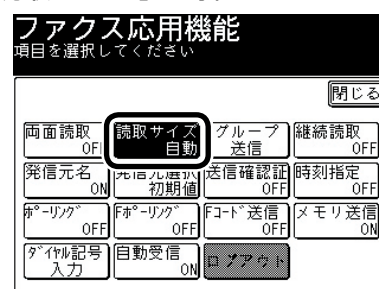
1 原稿をセットします。

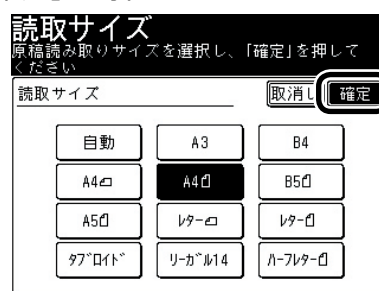
参照

- 原稿セットのしかたについては、セットアップ編「原稿について」をご覧ください。

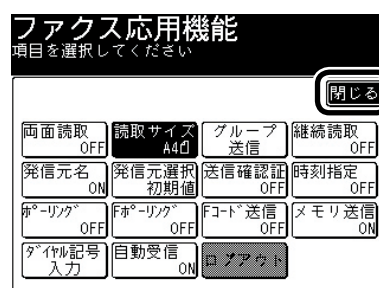
2 <ファクス>キーを押します。

3 ［応用機能］を押します。

4 読み取りサイズを設定します。

(1) ［読取サイズ］を押します。

(2) 読み取りたいサイズを選択します。

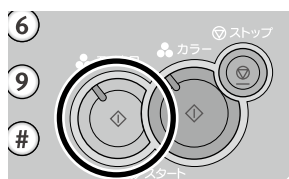
(3) ［確定］を押します。

読み取りサイズが設定されます。

(4) ［閉じる］を押します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録や設定
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制限
付録
索引

5 相手先を指定します。

参照

- 相手先の指定方法は以下の方法があります。
  - 基本操作編「直接入力する」
  - 基本操作編「短縮ダイヤルリストを使用する」
  - 基本操作編「宛先表を使用する」
- 必要に応じて、画質や濃度を調整します。詳しくは、基本操作編「送信画質を設定する」、「送信濃度を設定する」をご覧ください。
- 送信の中止は、基本操作編「ファクス送信を確認 / 中止する」を参照してください。

6 <モノクロスタート>キーを押します。設定した読み取りサイズの部分だけ送信します。

コンピューターからファクス送信する

ファクスドライバーを使うと、文書を印刷することが出来るアプリケーションから、ファクス送信することが出来ます。ファクスドライバーでは以下の事が出来ます。

- アプリケーションの印刷機能を使ったファクス送信
- ファクスドライバー電話帳へのファクス番号の登録・編集
- 送付状の付加 (宛先別、宛先毎共通)
- 電話帳のファクス番号のインポート、エクスポート

コンピューターからファクスを送信する

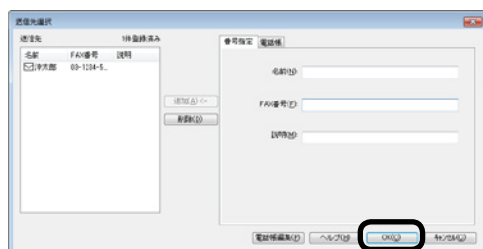
1 印刷したいファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューの [印刷]、プリンターの選択で [OKI MC862 (FAX)] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

3 送信先選択ダイアログが表示されますので、名前とファクス番号を入力し、追加ボタンをクリックします。

送信先は複数追加できます。

4 電話帳にファクス番号が登録してある場合は、「電話帳」タブをクリックし、電話帳から送信先を選んで [追加] をクリックします。

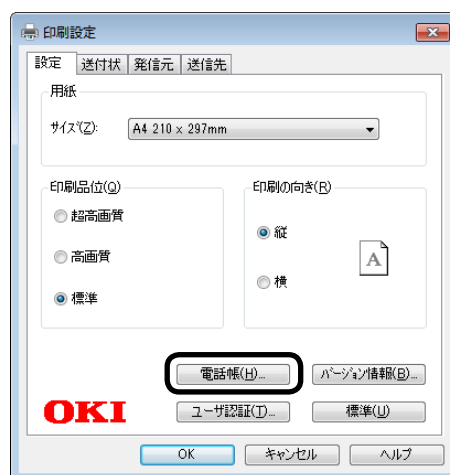
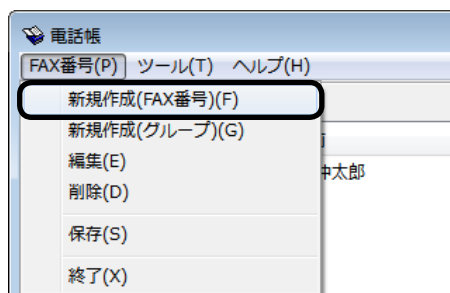
5 全ての送信先を追加したら、[OK] をクリックします。

ファクスの送信が開始されます。

電話帳にファクス番号を追加する

ファクスドライバーの電話帳を使うと、よく使う送信先を登録しておくことが出来ます。

1 [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。

2 [OKI MC862 (FAX)] アイコンを右クリックし、[印刷設定] > [OKI MC862 (FAX)] を選択します。

3 [設定] タブで [電話帳] をクリックします。

4 [FAX 番号] メニューの [新規作成 (FAX 番号)] を選択します。

5 [新規作成 (FAX 番号)] ダイアログで、[名前]、[FAX 番号]、「説明」を入力して [OK] をクリックします。

メモ

- 名前とファクス番号は必ず入力してください。説明は省略することが出来ます。
- ここで設定した名前とファクス番号は、送付状に印刷されます。

6 [FAX 番号] メニューから [保存] を選択します。

メモ

- 送信先は 1000 件まで登録することが出来ます。

注

- 同じ名前の送信先を二つ以上登録することは出来ません。同じファクス番号は名前が異なれば登録出来ます。

7 確認ウィンドウで [OK] をクリックします。

8 [FAX 番号] メニューから [終了] を選択します。

グループリストを登録する

グループを使うことで、複数の送信先にまとめてファクス送信することが出来ます。

1 [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。

2 [OKI MC862 (FAX)] アイコンを右クリックし、[印刷設定] ＞ [OKI MC862 (FAX)] を選択します。

3 [設定] タブで [電話帳] をクリックします。

4 [FAX 番号] メニューの [新規作成 (グループ)] を選択します。

5 「新規作成(グループ)」を設定します。

(1) [グループ名] にグループ名を入力します。

(2) 必要に応じて、[説明] にコメントを入力します。

(3) グループに登録する宛先を選択し、[追加] をクリックします。

6 必要に応じて、ファクス番号を直接登録します。

(1) [新規作成 (FAX 番号)] をクリックします。

(2) 「電話帳にファクス番号を追加する」(P.125) の手順 5 を実行します。

(3) 新規に登録したファクス番号を選択し、[追加] をクリックします。

7 ［OK］をクリックします。

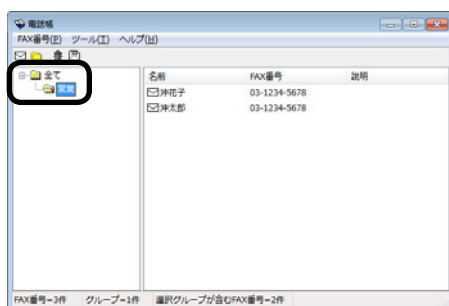
［電話帳］ダイアログの左の欄に、新しいグループが追加されます。グループを選択すると、グループに登録されているファクス番号がダイアログの右の欄に表示されます。

8 ［FAX 番号］メニューから［保存］を選択します。

9 確認ウィンドウで［OK］をクリックします。

10 ［FAX 番号］メニューから［終了］を選択します。

メモ

- グループには送信先を 100 件まで含める事が出来ます。グループは 100 個作成することが出来ます。

ファクスをグループに送信する

グループを登録しておくと、送信時に送信先をまとめて指定することが出来ます。

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択し、［OK］をクリックします。

3 ［送信先選択］ダイアログが表示されますので、［電話帳］タブをクリックし、送信したいグループを選択して［追加］をクリックすると、グループに含まれる送信先がまとめて追加されます。

4 全ての送信先を追加したら、［OK］をクリックします。

ファクスの送信が開始されます。

送付状を添付する

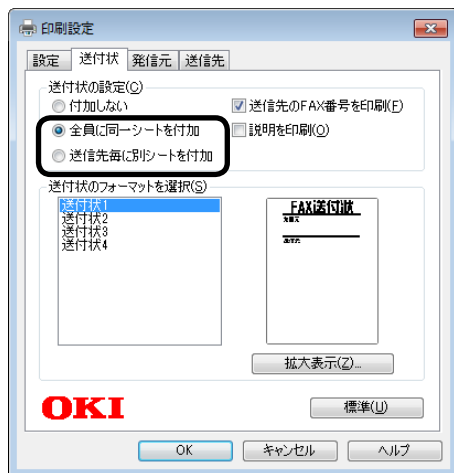
1 印刷したいファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

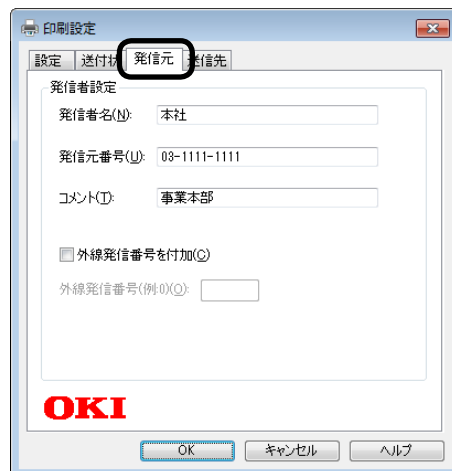
4 [送付状] タブをクリックし、[全員に同一シートを付加] または [送信先毎に別シートを付加] をクリックします。

[全員に同一シートを付加] を選択すると、送信先が複数有る場合には、一枚のシートに全送信先が印刷されます。

[送信先毎に別シートを付加] を選択すると、送信先が複数有る場合には、一枚にひとつの送信先が宛先毎に印刷されます。

5 [送付状のフォーマットを選択] のリストから、送付したい送付状のフォーマットを選択します。

メモ

- [拡大表示] ボタンをクリックすると、フォーマットが拡大して表示されます。
- [送信先の FAX 番号を印刷] をチェックすると、送付状に送信先のファクス番号が印刷されます。
- [説明を印刷] をチェックすると、送付状に送信先の説明が印刷されます。

6 [発信元] タブで発信元の名前とファクス番号、コメントを設定しておくと、送付状に発信元の名前とファクス番号、コメントが印刷されます。

注

- [全員に同一シートを付加] を選択して複数箇所に同時送信（同報送信）すると、全送信先名と送信先ファクス番号（設定されている場合のみ）および、電話帳の説明（設定されている場合のみ）が、同じ送付状に記載され、すべての送付先へ送られます。外部へ同時送信されるときにはご注意ください。

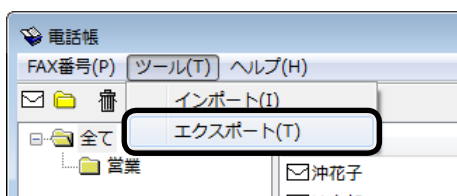
電話帳のデータをインポート / エクスポートする

インポート、エクスポート機能を使って、他のパソコンで作成された電話帳のファクス番号を使用することが出来ます。

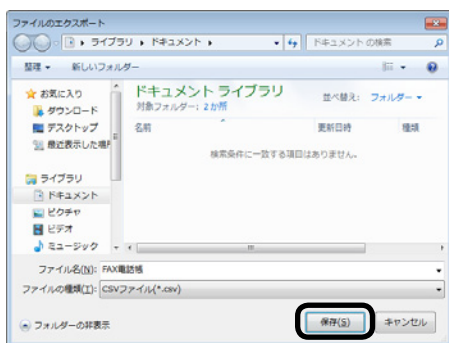
1 [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。

2 [OKI MC862（FAX）] アイコンを右クリックし、[印刷設定] > [OKI MC862（FAX）] を選択します。

3 [設定] タブで [電話帳] をクリックします。

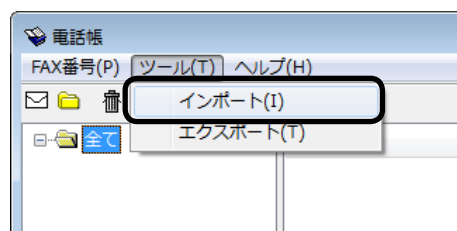
4 メニューの [ツール] - [エクスポート] をクリックします。

5 [ファイルのエクスポート] ダイアログで、ファイルの保存先を選択します。

6 ファイルの名前を [ファイル名] に入力し、[保存] をクリックします。

電話帳のデータが CSV ファイルとしてエクスポートされます。CSV ファイルでは、エントリは表示順に、カンマで区切って配置されます。名前、ファクス番号、説明の順番に保存されます。

7 電話帳を閉じます。

8 作成されたファイルを別のコンピューターにコピーします。

9 コピー先のコンピューターで手順 1 ～ 3 を繰り返し、電話帳を起動します。

10 [ツール] メニューから [インポート] を選択します。

11 [電話帳 インポート] ダイアログで、[CSV ファイルの選択] にコピーしたファイルを指定します。

12 [次へ] をクリックします。

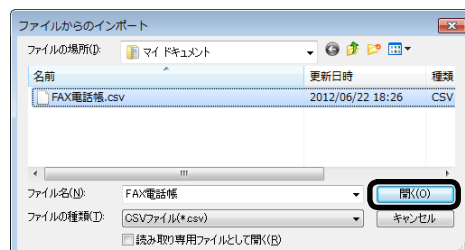
13 [FAX 番号] メニューから [保存] を選択します。

14 確認ウィンドウで [OK] をクリックします。

15 [FAX 番号] メニューから [終了] を選択します。

注

- グループの登録はエクスポートすることは出来ません。(グループに含まれる送信先はエクスポートされます。)
- インポートするファクスドライバーの電話帳に、同じ名前が既に含まれている場合はスキップされます。

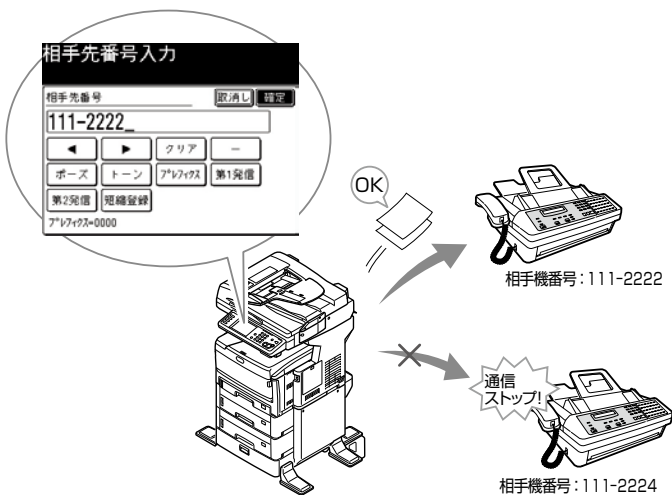
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う設定の登録機能
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

セキュリティ機能

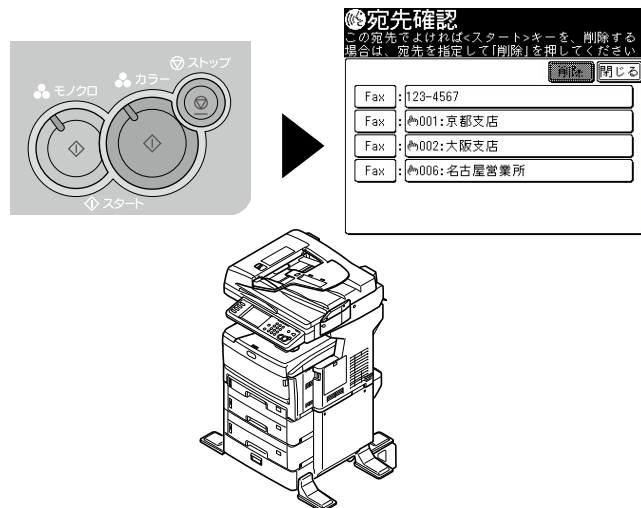
セキュリティ機能とその特長

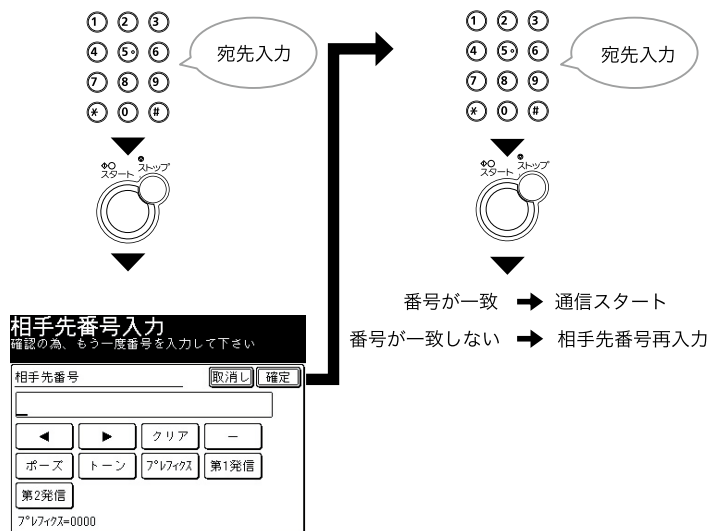
セキュリティ機能には以下の 3 つのメニューがあります。

- ID チェック送信
- 同報宛先確認
- ダイヤル 2 度押し

■ ID チェック送信とは

ID チェック送信を設定すると、ダイヤルしたファクス番号の下 4 桁と相手機に登録されているファクス番号の下4桁を照合し、一致した場合のみファクスを送信します。入力した番号と相手先に登録されているファクス番号の下 4 桁が一致しなかった場合は送信を中断するので、間違った相手先にファクスの内容が送信されることがありません。相手先番号と違ったファクスに間違って送信されるトラブルを減らすことができます。

■ 同報宛先確認とは

送信を始める前に、同報送信しようとしているすべての宛先を確認することができます。間違った相手先にファクスが送信されるのを防ぎます。

■ ダイヤル 2 度押しとは

送信を始める前に、テンキーで入力したファクス番号を再度入力することで入力間違いがないかどうかを確認できます。ファクス番号の入力ミスにより、間違った相手先にファクスが送信されるのを防ぎます。

※短縮ダイヤルを使って入力した宛先は対象外です。

より確実な通信のために

■ ID チェック送信について

ID チェック送信を行った場合で、通信エラーとなりファクスが送信できないのは以下の場合です。（エラーコード T.2.2）

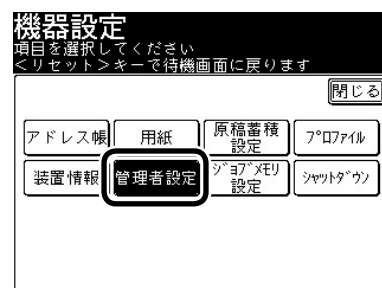
- 相手先に登録されているファクス番号の下４桁と、入力した番号の下４桁が一致しなかった場合
- 相手先にファクス番号が登録されていなかった場合

ID チェック送信を設定する

ID チェック送信を設定すると、ダイヤルするファクス番号の下４桁と相手機に登録されているファクス番号の下４桁を照合し、一致した場合のみファクスを送信します。

初期値は「OFF」です。

■ 操作の前に…

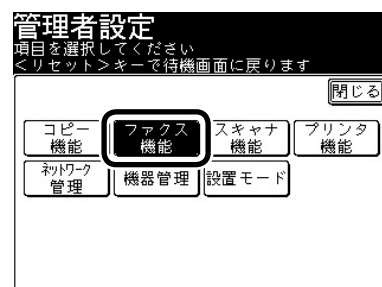
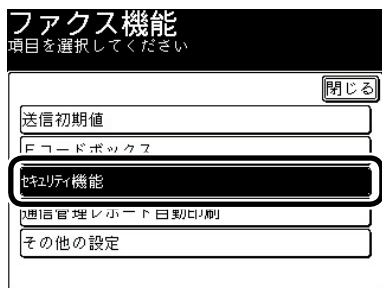
- ID チェック送信の ON または OFF を設定します。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

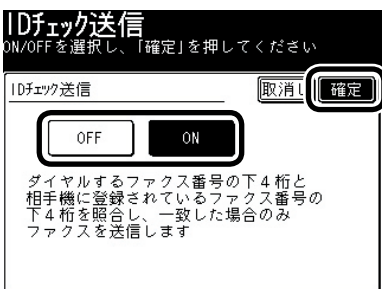
3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［セキュリティ機能］を押します。

6 ［ID チェック送信］を押します。

7 ID チェック送信をする場合は ON を、しない場合は OFF を選択します。

8 選択後、［確定］を押します。

9 ID チェック送信が設定されます。

ID チェック送信をする

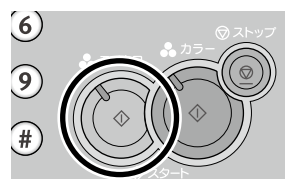
- ID チェック送信は手動送信では利用できません。
- 通常の送信方法で ID チェック送信ができます。

■操作の前に…

- ID チェック送信を［ON］に設定しておきます。

1 原稿をセットします。

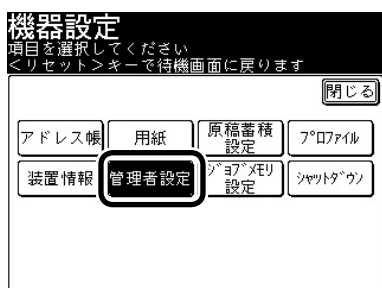
2 ＜ファクス＞キーを押します。

3 宛先をすべて入力し、＜モノクロスタート＞キーを押します。

同報宛先確認を設定する

同報宛先確認を ON に設定すると送信を始める前に、入力した相手先番号を確認する画面が出てきます。

初期値は「ON」です。

■ 操作の前に…

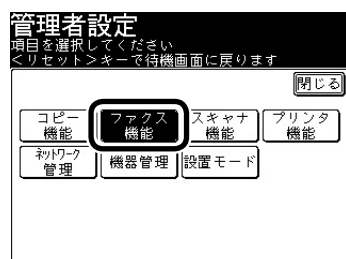
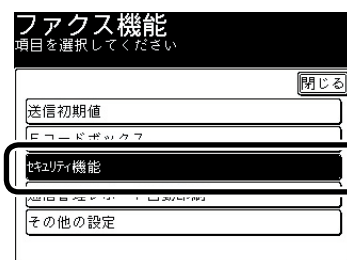
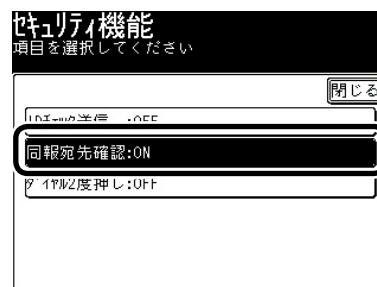
- 同報宛先確認の ON または OFF を設定します。

1 <機器設定>キーを押します。

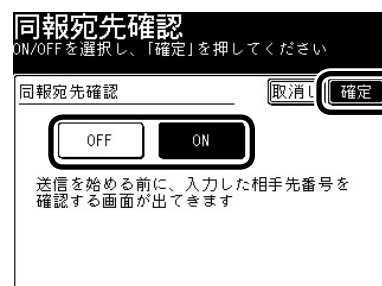
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［セキュリティ機能］を押します。

6 ［同報宛先確認］を押します。

7 同報宛先確認をする場合は ON を、しない場合は OFF を選択します。

8 選択後、［確定］を押します。

9 同報宛先確認が設定されます。

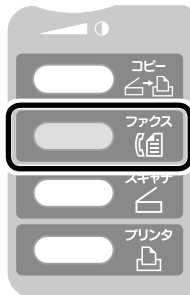
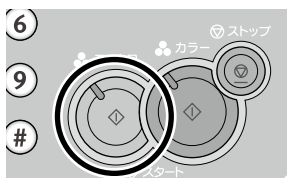
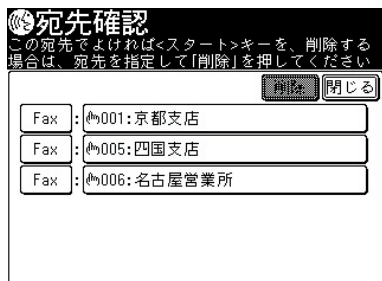
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録設定
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

同報宛先を確認する

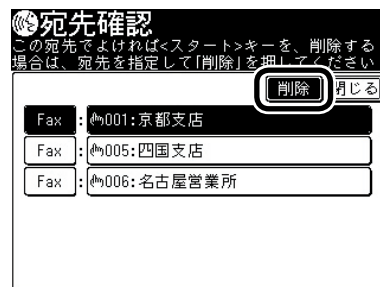
同報宛先確認ができるのは、宛先が複数あった場合だけです。

ダイヤル 2 度押し機能も ON に設定した場合は、先にダイヤル 2 度押しを確認し、その後に同報宛先の手順が始まります。

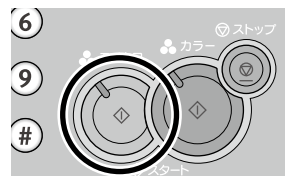
1 原稿をセットします。

2 <ファクス>キーを押します。

3 宛先をすべて入力し、<モノクロスタート>キーを押します。

4 同報宛先を確認する画面が表示されます。

5 入力した相手先を削除するには以下の操作を行います。

(1) 削除したい相手先を選択します。

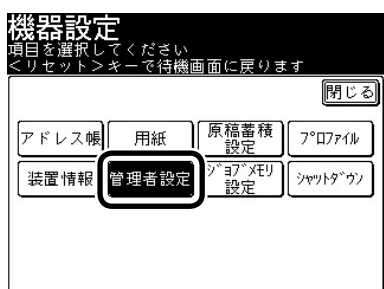
(2) ［削除］を押すと選択された相手先が削除されます。

メモ

- テンキーで入力したファクス番号が間違っていた場合は、相手先を削除してからもう一度送信をやり直してください。
- 6 件以上の同報宛先がある場合は［▲］または［▼］を押して、すべての宛先を確認してください。

6 <モノクロスタート>キーを押すと、送信が開始されます。

ダイヤル 2 度押しを設定する

ダイヤル 2 度押しを ON に設定すると、送信を始める前にテンキーで入力したファクス番号を再度入力する画面が出てきます。再度入力した番号が 1 度目に入力した番号と一致した場合のみ送信が始まります。

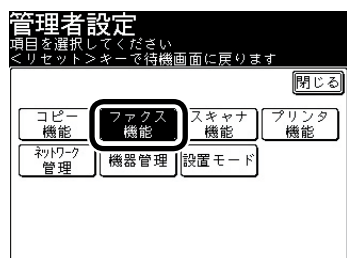
初期値は「OFF」です。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

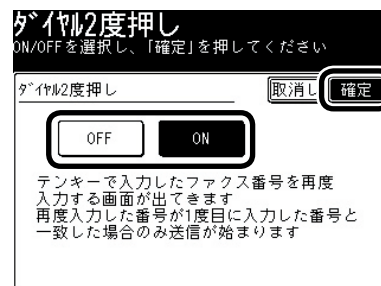
3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［セキュリティ機能］を押します。

6 ［ダイヤル 2 度押し］を押します。

7 ダイヤル 2 度押しをする場合は ON を、しない場合は OFF を選択します。

8 選択後、［確定］を押します。

9 ダイヤル 2 度押しが設定されます。

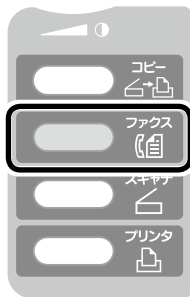
宛先を 2 度入力して送信する

2 度入力が必要な宛先は、テンキーを使って入力した宛先のみです。短縮ダイヤルを使って入力した宛先は再度入力する必要はありません。

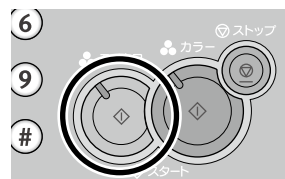
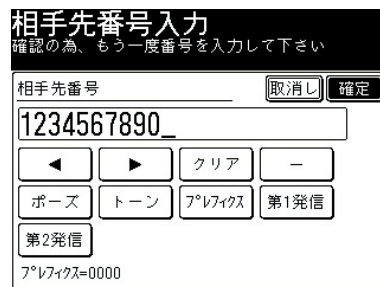
ポーズ(/P)などの記号を使って宛先を入力した場合は、記号も含めて再度入力してください。

同報宛先確認機能も ON に設定した場合は、先にダイヤル 2 度押しを確認し、その後に同報宛先の手順が始まります。

1 原稿をセットします。

2 <ファクス>キーを押します。

3 テンキーで宛先を入力し、[確定] または<モノクロスタート>キーを押します。

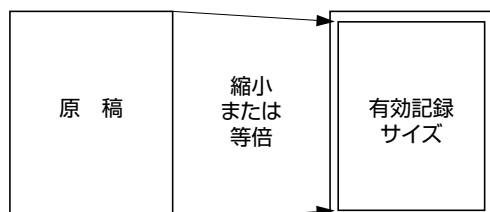
4 ダイヤル 2 度押しのメッセージが表示されます。

5 テンキーで入力した宛先を再度入力し、<モノクロスタート>キーを押します。送信が開始されます。

メモ

- [確定] を押すと、複数の宛先を選択できます。

ファクス受信文書の印刷について

有効記録サイズについて

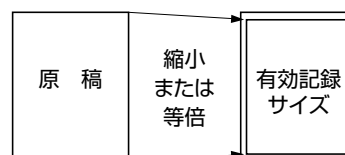
用紙周辺の約 4.2mm は印刷することができません。このため、受信した内容が縮小、または切捨てられて印刷される場合があります。印刷できる部分を有効記録サイズと呼びます。

しきい値について

しきい値とは、受信文書が有効記録サイズに収まらない場合に、後端を切捨てたり、縮小をして 1 枚に収めるときの位置を決める値です。セットされている用紙より長い原稿を受信した場合、余白部分だけが次のページに印刷されることがありますが、「しきい値」を設定することによりこれを防止することができます。有効記録サイズを越えた原稿の長さがしきい値以内であれば縮小または切捨てをして 1 枚に収め、しきい値より長い場合のみページ分割されます。

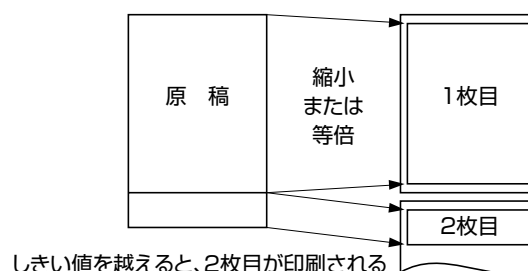
参照

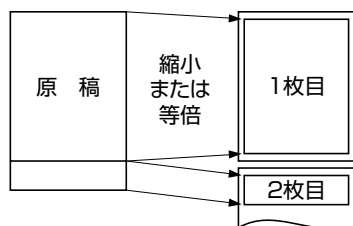
- しきい値は 0 ～ 85mm の間で、受信する頻度の高い原稿の余白の長さに合わせて設定します。しきい値については、「[管理者設定] を押したとき」（P.241）の「ファクス機能」をご覧ください。

■ しきい値を設定したとき

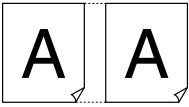
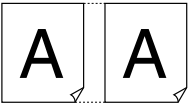
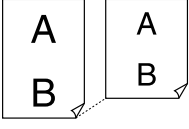
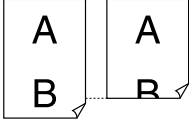
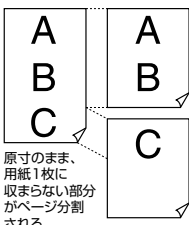
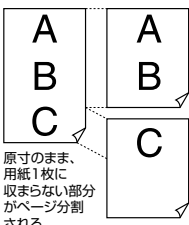
有効記録サイズを越えた長さが、しきい値以内であれば、1 枚に縮小または切捨てされます。

■ しきい値を設定しないとき（しきい値＝ 0 のとき）

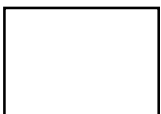
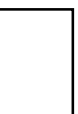
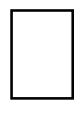
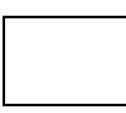
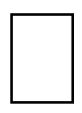
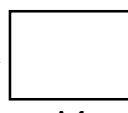
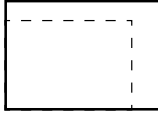
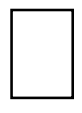
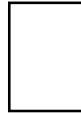
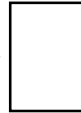
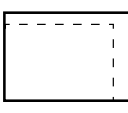
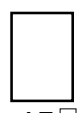
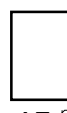
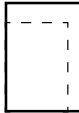
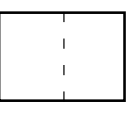
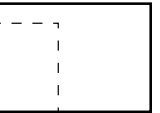
有効記録サイズを少しでも越えると、2 枚目が印刷されます。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

ページ分割について

有効記録サイズを越えた部分がしきい値より大きいときは、ページ分割して印刷されます。

回転受信について

受信原稿の幅と長さを自動的に測定し、セットしてある用紙から最適な用紙を選択します。

受信原稿の方向と用紙の方向が違う場合は、自動的に受信原稿を回転させ印刷します。

記録のしかた一覧

受信原稿のサイズ ＼ 受信縮小率		自動	固定 100%
定形サイズ原稿 (A3、B4、A4、B5)		原寸のまま ※少し縮小されることがあります。	原寸のまま
長尺原稿 (A3、B4、A4より少し長め)	有効記録サイズを越えた長さがしきい値以内のとき	用紙1枚に収まるよう縮小される	原寸のまま、用紙1枚に収まらない部分は切捨てられる
	有効記録サイズを越えた長さがしきい値より大きいとき	原寸のまま、用紙1枚に収まらない部分がページ分割される	原寸のまま、用紙1枚に収まらない部分がページ分割される

用紙サイズの優先順位

受信した原稿は、通常は送信側の原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。同じサイズの用紙がないときは、次の優先順位にしたがって用紙が選択されます。すべての用紙がなくなったときは代行受信を行います。詳しくは、基本操作編「一時的に受信文書をメモリーに蓄積する（代行受信）」をご覧ください。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

受信した文書を印刷せずにサーバーや E メールに送信する（自動配信）

自動配信とは、本機が受信したファクスやEメールの添付ファイル（PDF 形式のファイル）を、指定した宛先に PDF 形式で E メールで配信したり、ファイルサーバーのフォルダーに保存したりする機能です。(受信した E メールの本文は配信されません。)

例えば、オフィスで本機をお使いの場合、休日に受信したファクスを自宅のコンピューターに E メールで送ったり、外出中に受信したファクスをご自身のコンピューターに送信することができます。また、ある番号からのファクスを受信すると同時に、社内の特定の人に E メールで配信するように設定することなどもできます。

最大で 100 件分の自動配信設定が登録できます。

配信先は、E メールアドレス、ネットワークフォルダー（CIFS、FTP、HTTP）になります。1 つの自動配信で、配信先として設定できるのは、E メールアドレス 5 件と、ネットワークフォルダーのプロファイル 1 件です。

自動配信するときのファイル名は、『日時 _ 番号 .pdf』となります。

フォルダーに保存するとき、プロファイルに登録しているファイル名は適用されません。

自動配信の設定や履歴の確認は Configuration Tool または、Web ブラウザーで行います。

自動配信するときに、受信したファクスや E メールの添付ファイルを、本機で印刷する / 印刷しないを設定できます。

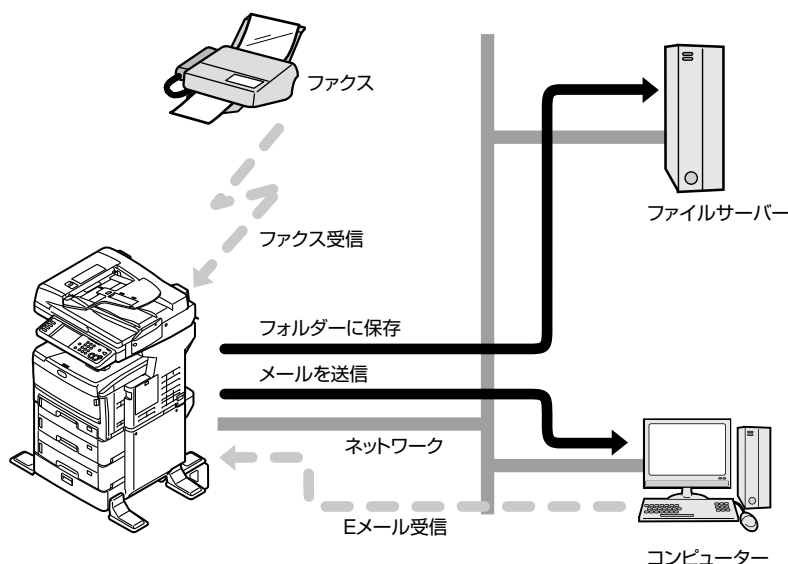
自動配信できないときは、受信したファクスや E メールの添付ファイルを印刷して、操作パネルにエラーメッセージを表示します。詳しくは、困ったときには / 日々のメンテナンス編「メッセージが表示されたとき」の「スキャナー関連」をご覧ください。

参照

- Configuration Tool については、ユーティリティーソフトウェア編「Configuration Tool」を、Web ブラウザーについては、「ネットワークに関する設定」（P.272）をご覧ください。

注

- PDF 形式以外で配信することはできません。
- 本機が受信できる E メール、ファクスのサイズは、以下のとおりです。以下のサイズを越えるデータを受信したときは、破棄されます。
  - E メール：添付ファイル 10 個以内、各添付ファイルサイズ 8MB 以内
  - ファクス：16MB 以内

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

送受信した文書を指定したサーバーに保存する（通信データ保存機能）

通信データ保存とは、本機が E メールまたはファクス送受信した時のデータを、あらかじめ設定された保存先に PDF 形式で保存する機能です。

保存できるデータは、送信済み / 受信済みの E メールの添付ファイル (本文は保存できません。)、ファクスのデータであり、それぞれについて通信データ保存設定が登録できます。

保存先は、ネットワークフォルダー（CIFS、FTP、HTTP）であり、登録されているプロファイルの中から指定します。

フォルダーに保存されるファイル名は、『A 日時 _ 番号 .PDF』となります。

プロファイルに登録しているファイル名は適用されません。

通信データ保存の設定や履歴の確認は Configuration Tool または、Web ブラウザーで行います。

保存できないときは、操作パネルにエラーメッセージを表示します。詳しくは、困ったときには / 日々のメンテナンス編「メッセージが表示されたとき」の「スキャナー関連」をご覧ください。

参照

- Configuration Tool については、ユーティリティーソフトウェア編「Configuration Tool」を、Web ブラウザーについては、「ネットワークに関する設定」（P.272）をご覧ください。

注

- PDF 形式以外で保存することはできません。
- 本機が受信できる E メール、ファクスのサイズは、以下のとおりです。以下のサイズを越えるデータを受信したときは、破棄されます。
  - E メール：添付ファイル 10 個以内、各添付ファイルサイズ 8MB 以内
  - ファクス：16MB 以内

ダイレクトメールを防止する

短縮ダイヤルに登録されている番号からのみ受信できるようにしたり、登録した特定の番号からの受信を拒否したりできるので迷惑ファクスを防止できます。

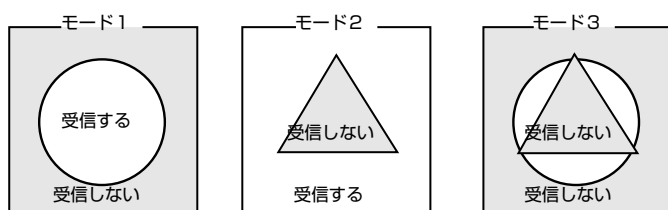
■操作の前に…

● ダイレクトメール防止には３種類の方法があります。

- モード１　：短縮ダイヤルに登録されていない相手先からの受信を拒否する方法です。登録されているファクス番号の下４桁と相手先 ID を照合し、一致したときのみ受信します。
- モード２　：ダイレクトメール防止専用の番号登録を行い、登録された相手先からの受信を拒否する方法です。登録桁数はファクス番号の下４桁を登録します。最大 50 件まで登録できます。
- モード３　：モード１、２を合わせた方法です。短縮ダイヤルに登録されていない相手先からの受信は拒否します。ダイレクトメール防止専用に登録された相手先からの受信も拒否します。
- OFF　　　：ダイレクトメール防止を行いません。

モード1

モード2

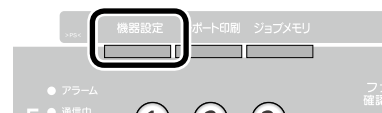
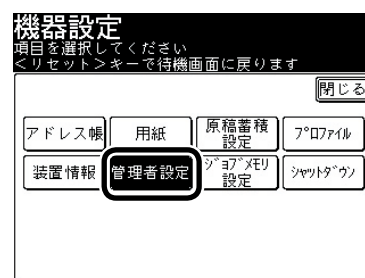
モード3

□の部分：着信した番号

○の部分：短縮ダイヤルに登録されている番号

△の部分：ダイレクトメール防止用に登録した番号

ダイレクトメール防止機能を設定する

初期値は「OFF」です。

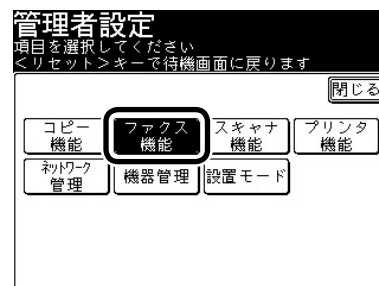
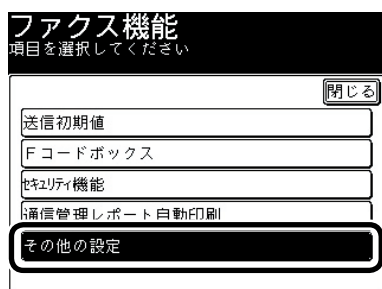
1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

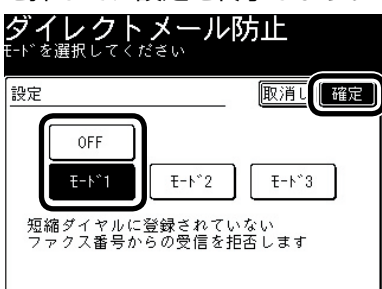
● 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

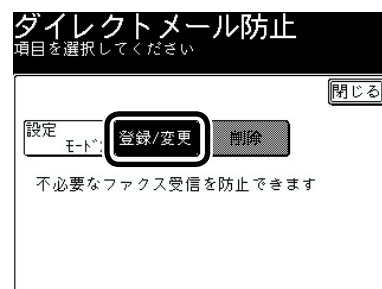
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

5 ［その他の設定］を押します。

6 ［ダイレクトメール防止］を押します。

7 ［設定］を押します。

8 モードを選択します。

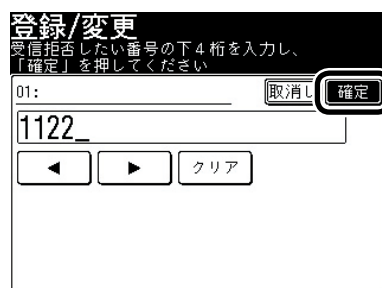
- ［OFF］または［モード 1］を選んだときは、［確定］を押して、設定を終了します。

- ［モード 2］または［モード 3］を選択したときは、手順 9 に進み、ダイレクトメールを防止する相手先の番号を登録します。

メモ
- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

9 ［登録／変更］を押します。

10 登録ボックスを押します。

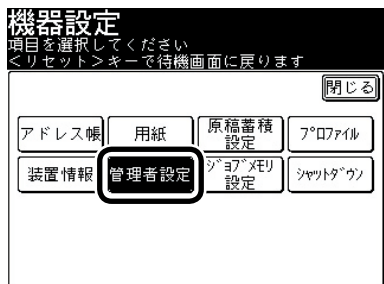
メモ
- 既に登録されている番号を変更する場合は、変更したい番号が登録されているボックスを押します。

11 テンキーで、ダイレクトメール防止を行う電話番号の下 4 桁を入力します。

12 ［確定］を押します。

13 続けて他の番号を登録する場合は、手順 10 から操作を繰り返します。

メモ
- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

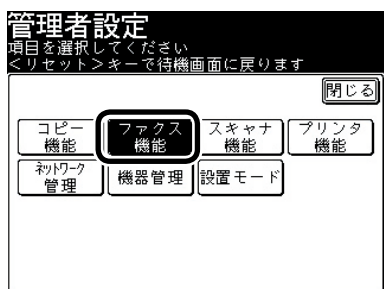
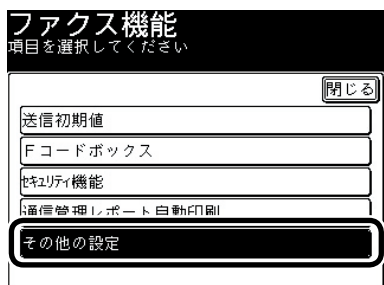
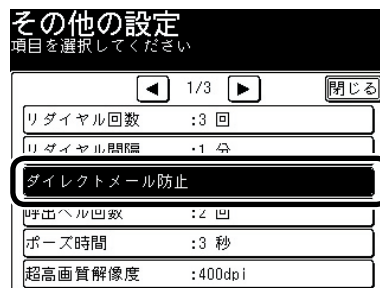
登録した番号を削除する

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

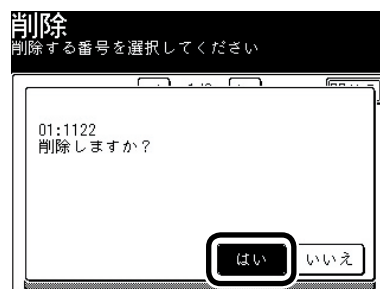
3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

● 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［ファクス機能］を押します。

5 ［その他の設定］を押します。

6 ［ダイレクトメール防止］を押します。

7 ［削除］を押します。

8 削除したい番号を選択します。

9 削除する場合は［はい］を押します。

メモ

● ［いいえ］を押した場合は削除されず、手順８に戻ります。

10 選択した番号が削除されます。続けて他の番号を削除する場合は、手順８から操作を繰り返します。

メモ

● ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

ファクシミリ通信網及びサービスの利用について

ファクシミリ通信網サービス

■ 一斉同報

1 回のダイヤル操作で、10 カ所までの宛先に同一原稿を同時に送信できます。ファクシミリ通信網サービスに事前登録された短縮ダイヤルを利用すれば、一度に最大 10000 宛先に同一原稿を送信できます。

■ 自動再送信

一斉同報通信で送信できなかった相手先には、簡単なダイヤル操作だけで再送信することができます。

■ 再コール・不達通知

相手先が話し中だった場合、ファクシミリ通信網サービスが 2 分間隔で 5 回まで、自動的に再コールします。それでも送信できなかったときには、送信内容の一部と送信できなかった理由を通知文でお知らせします。

■ 夜間配送指定通信

昼間ファクシミリ通信網サービスへ原稿を送信しておき、夜間の割引時間帯にファクシミリ通信網サービスから相手先への送信をすることができます。

■ 無鳴動自動受信

Ｆネットファクシミリ通信網サービスを使った受信では、呼出音を鳴らさず自動的に受信することができます。電話と間違えて受話器を取ることがないので、1 本の電話回線で電話とファクスを効率よく使うことができます。

■ ファクシミリ案内サービス

レジャー、スポーツ、観光、金融、くらしにかかわる様々な情報が、簡単に取り出せます。

■ 利用に際しての注意点

- ファクシミリ通信網をご利用する場合、本商品のポーリング、Ｆコード通信はご利用になれません。
- ファクシミリ通信網のお申し込みで無鳴動受信を選択した場合、本商品での受信は受信モードの設定とは無関係に常に自動的に受信します。

■ 通信のしかた

❑ 送信

相手方を呼び出すダイヤルをする前に「161」「162」などの（局呼び出し番号）を付けるだけで、通常の送信操作と同じです。

- オートダイヤル機能により、ワンタッチ送信をすることができます。

  〔例えば〕075-111-2222 ファクシミリ通信網を通じて送信する場合、次のようになります。

  - 通常送信

    原稿をセットする→受話器を取り→〔161 →プップップ→ 075-111-2222 →ピー〕→<スタート>キーを押す→受話器を戻す

  - ファクスの短縮ダイヤルでの送信

    原稿をセットする→ 短縮ダイヤルを選択する→<スタート>キー→送信開始

  メモ

  - /P（ポーズ）、/S（第 2 発信）が使用できます。

- 「162」発信も可能です。

❑ 受信

ベルのならない「無鳴動着信」をします。

手動受信（電話待機）にセットしてあっても、自動受信しますので、電源は入れたままにしておいてください。(申し込み時に無鳴動受信を選択した場合のみです。)

新電電系（NCC 回線）の利用のしかた

詳しくは、それぞれのサービス会社にお問い合わせください。

■ 利用申し込みのしかた

直接、新電電系通信サービス会社または代理店へ登録申し込みを行います。

■ 利用に際しての注意点

- 利用できる地域に制限があります。
- 料金を確認してください。

■ 通信のしかた

❑ 送信

相手方を呼び出すダイヤルの前にそれぞれ利用する通信サービス会社固有の番号を入れて、通常の送信操作をします。短縮ダイヤルの登録により自動発信できます。

(マイラインをご利用の場合は、固有番号を入れる必要がありません。)

❑ 受信

通常と変わりません。

銀行のファクスサービスなどの利用のしかた

詳しくは、それぞれの取引銀行やデータベース会社にお問い合わせください。

■ 利用申し込みのしかた

それぞれの取引銀行やデータベース会社へ直接利用申し込みをします。

本機のファクス規格は「SG3 (スーパー G3) 機」です。

- <オフフック>キーで申し込む場合

(1) <ファクス>キーを押します。

(2) [オフフック] を押します。

(3) テンキーで相手先の番号を入力します。

(4) それぞれのサービス会社の音声手順に従って操作してください。

■ 利用に際しての注意点

- 利用できる地域に制限があります。
- 料金を確認してください。

■ 通信のしかた

❑ 送信

それぞれのサービス会社の手順に従ってください。

❑ 受信

それぞれのサービス会社の手順に従ってください。尚、ポーズなど特定信号への対応は、基本操作編「ダイヤル記号について」をご覧ください。短縮ダイヤルにも登録できます。

ファクス待機画面の設定項目一覧

オンフック状態のとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
応用機能	両面読取	OFF 左右とじ 上とじ	原稿の閉じ位置を設定します。
	読取サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。
	ｸﾞﾙｰﾌﾟ送信	グループ番号	宛先のグループを選択します。 登録されていないグループはグレーアウトになります。
	継続読取	ON OFF	次原稿の有無を問い合わせるかを設定します。
	発信元名	ON OFF	相手先の受信原稿にこちらの発信元名を印刷するかを設定します。
	発信元選択	1: 2: 3:	発信元名を選択します。 発信元名は「機器設定」-「管理者設定」-「設置モード」にて 3 つまで登録が出来ます。 選択しない場合は初期値になります。
	送信確認証	ON OFF	送信結果を自動印字するかを設定します。
	時刻指定	日、時、分	送信時刻を指定して送信します。
	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ	ON OFF	ポーリング受信を行うかを設定します。
	F ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ	サブアドレス	サブアドレスを設定します。
		パスワード	パスワードを設定します。
	F ｺｰﾄﾞ送信	サブアドレス	サブアドレスを設定します。
		パスワード	パスワードを設定します。
	ﾒﾓﾘ送信	ON OFF	OFF にすると原稿を読み取ながら送信するリアルタイム送信になります。
	ﾀﾞｲﾔﾙ記号入力	▶ ◀ クリア - ポーズ トーン プレフィクス 第 1 発信 第 2 発信 短縮登録	専用キーを使用してダイヤル記号の入力が可能です。 短縮登録キーにより直接、短縮ダイヤルを登録することが出来ます。
	自動受信	ON OFF	ファクス受信モードを自動受信 / 手動受信に設定します。
短縮送信			宛先を登録済みの短縮ダイヤル番号により選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目		内　容
画質	標準 高画質 超高画質 写真 背景除去	原稿読み取り画質を設定します。
濃度	濃く やや濃く 普通 やや薄く 薄く	原稿読み取り濃度を設定します。
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ		宛先をリダイヤル履歴 10 件分から選択します。
ｵﾌﾌｯｸ		電話画面へ遷移します。

オフフック状態のとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
応用機能	画質	標準 高画質 超高画質 写真 背景除去	原稿読み取り画質を設定します。
	濃度	濃く やや濃く 普通 やや薄く 薄く	原稿読み取り濃度を設定します。
	発信元名	ON OFF	相手先の受信原稿にこちらの発信元名を印刷するかを設定します。
	発信元選択	1: 2: 3:	発信元名を選択します。 発信元名は「機器設定」-「管理者設定」-「設置モード」にて 3 つまで登録が出来ます。
	送信確認証	ON OFF	送信結果を自動印字するかを設定します。
	プレフィクス		プレフィクス番号を登録します。
短縮送信			送信先を登録済みの短縮ダイヤル番号により選択します。
ﾎﾞﾘｭｰﾑ設定		OFF 小 中 大	「オフフック」を押したときのスピーカー音量を設定します。
ﾄｰﾝ			ダイヤル記号の /T を入力します。
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ			宛先をリダイヤル履歴 10 件分から選択します。
ｵﾝﾌｯｸ			ファクス画面になります。 電話中に押すと、回線を一旦離す動作を実行します。

ファクス機能の機器設定

送信機能の初期値を変更する

送信するときの初期値を設定できます。使用状況に合わせて設定してください。

参照

- ファクス機能の送信初期値の設定の一覧は、「[管理者設定]を押したとき」(P.241)の「ファクス機能」をご覧ください。

■ 設定例

メモ

- 初期値とは、電源を入れたときや、<リセット>キーを押して待機画面に戻したときの状態をいいます。

参照

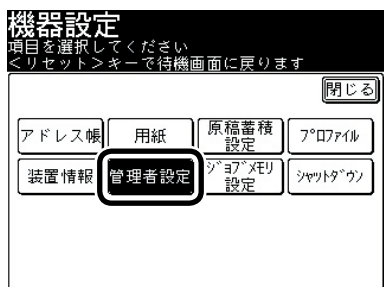
- 何も操作せずに一定時間放置すると初期値に戻ります。初期値に戻るまでの時間を設定できます。「[管理者設定]を押したとき」(P.241)の「機器管理」をご覧ください。

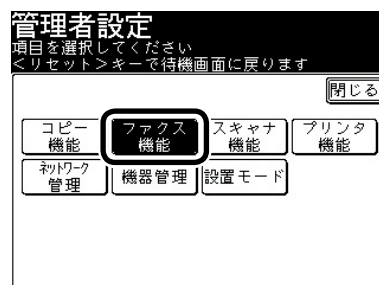
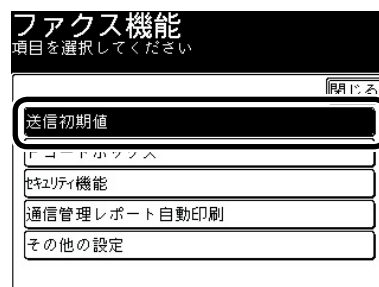
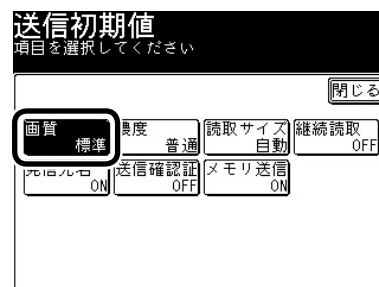
ファクス送信の画質の初期値を設定する例を説明します。

1 <機器設定>キーを押します。

2 [管理者設定]を押します。

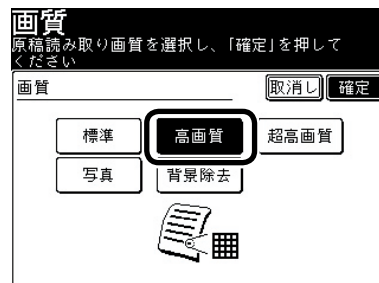
3 管理者パスワードを入力し、[確定]を押します。

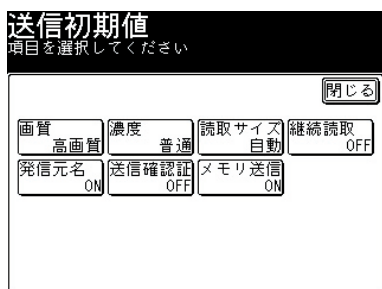
メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは[aaaaaa]になっています。

4 [ファクス機能]を押します。

5 [送信初期値]を押します。

6 [画質]を押します。

7

(1) 初期値に設定したい値を選択します。

(2) [確定]を押します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

8 画質の初期値が設定されます。続けて他の初期値も設置できます。

メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

その他の初期値を変更する

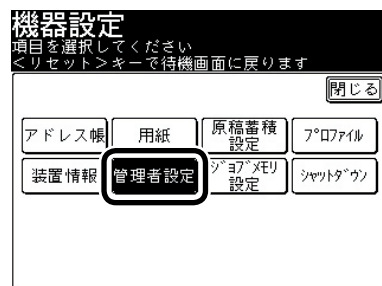
リダイヤル回数や呼出しベル回数など、設定できます。使用状況に合わせて設定してください。

■設定例

リダイヤル間隔を設定する例を説明します。

参照

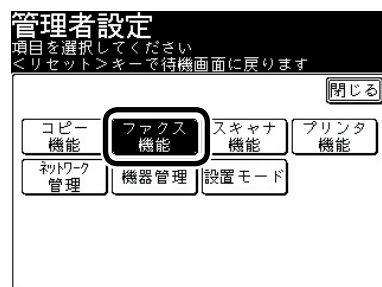
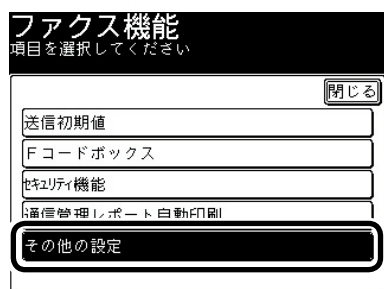
- その他の設定の一覧は、「[管理者設定] を押したとき」(P.241)の「ファクス機能」をご覧ください。

1 <機器設定>キーを押します。

2 [管理者設定] を押します。

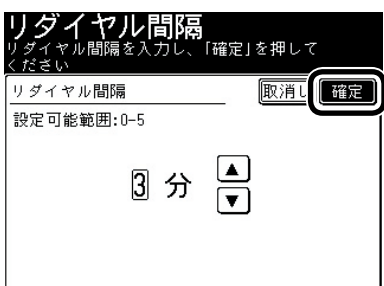
3 管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは [aaaaaa] になっています。

4 [ファクス機能] を押します。

5 ［その他の設定］を押します。

6 ［リダイヤル間隔］を押します。

7 テンキーまたは［▲］，［▼］でリダイヤル間隔時間を設定します。

8 ［確定］を押します。

9 リダイヤル間隔が設定されます。続けて他の初期値も設定できます。

メモ

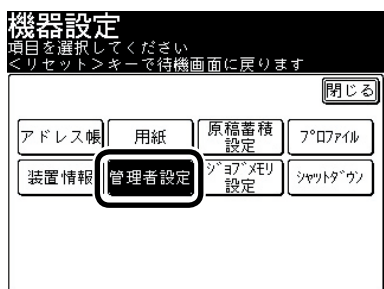
- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

4 いろいろなスキャンのしかた

便利な機能を使ってスキャン To メールする

送信元と返信先のアドレスを設定する（送信者 / 返信先）

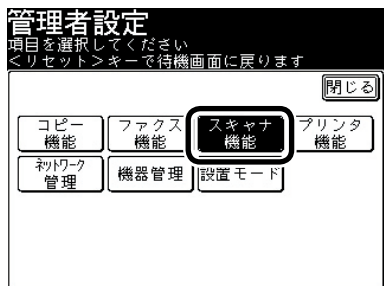
送信者と返信先のメールアドレスを設定できます。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

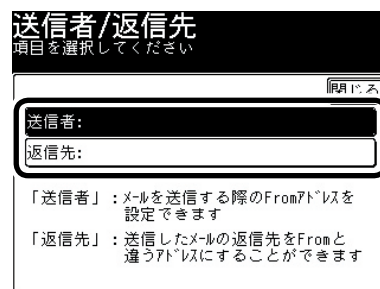
3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

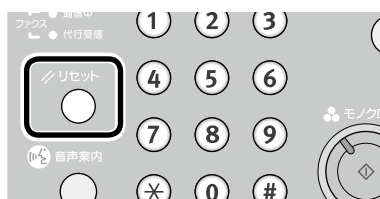
- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［スキャナ機能］を押します。

5 ［メール設定］を押します。

6 ［送信者 / 返信先］を押します。

7 ［送信者］または［返信先］を押します。

8 メールアドレスを入力し、［確定］を押します。返信先についてはアドレス帳からメールアドレスを選択することもできます。

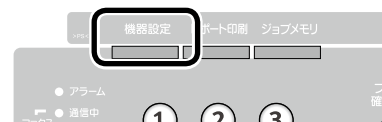
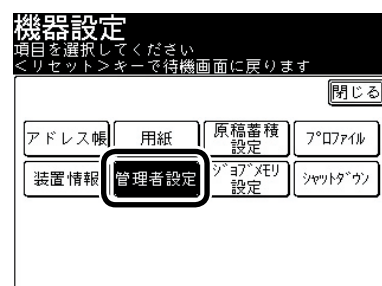
9 ［閉じる］を押します。

10 <リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

定型文を使用する

決まった件名や本文を登録し、使うことができます。

定型文を登録する

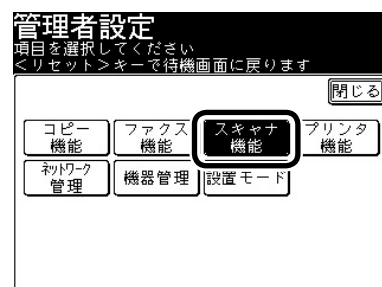
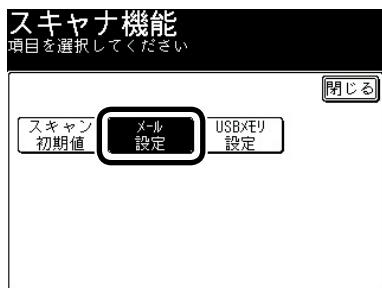
■件名を登録する

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

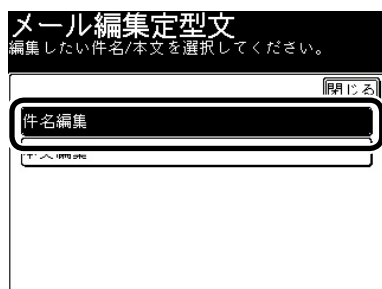
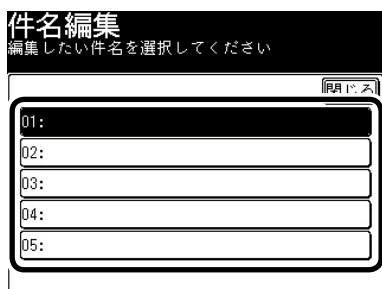
4 ［スキャナ機能］を押します。

5 ［メール設定］を押します。

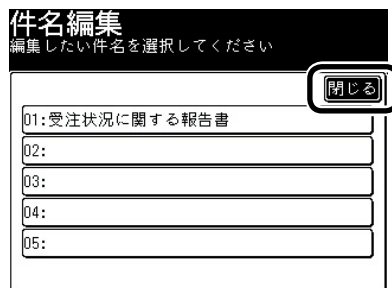
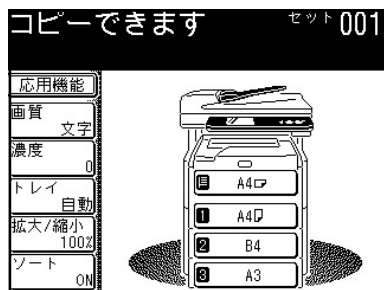
6 ［メール編集定型文］を押します。

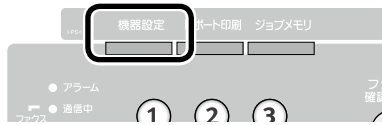
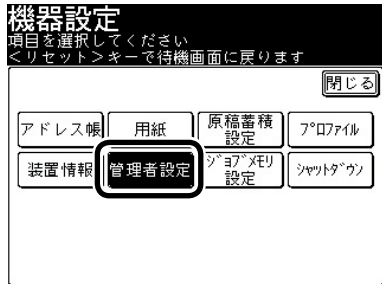
7 ［件名編集］を押します。

メール編集定型文
編集したい件名/本文を選択してください。
閉じる
件名編集

8 登録したい番号を押します。

件名編集
編集したい件名を選択してください
01:
02:
03:
04:
05:

9 登録したい件名を入力し、［確定］を押します。

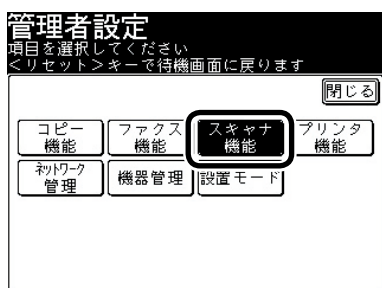
10 ［閉じる］を押します。

11 ＜リセット＞キーを押し、待機画面に戻ります。

■本文を登録する

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

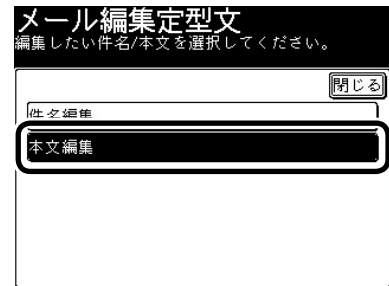
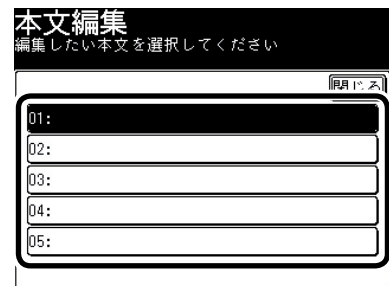
3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

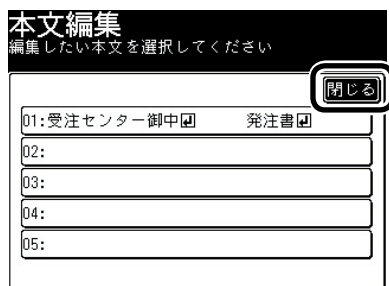
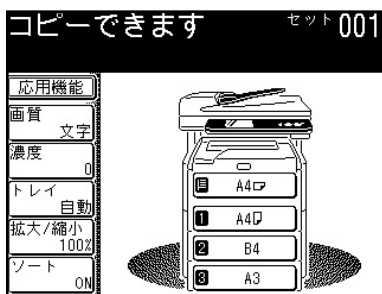
メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

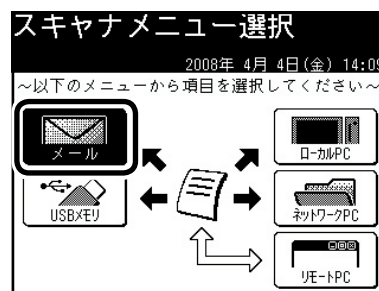
4 ［スキャナ機能］を押します。

5 ［メール設定］を押します。

6 ［メール編集定型文］を押します。

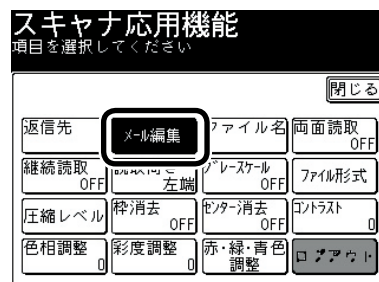
7 ［本文編集］を押します。

8 登録したい番号を押します。

9 登録したい本文を入力し、［確定］を押します。

10 ［閉じる］を押します。

11 <リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

定型文を使用する

1 <スキャナ>キーを押します。

2 ［メール］を押します。

3 宛先を指定します。

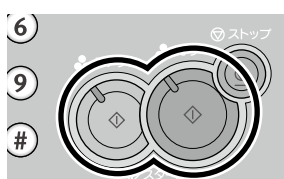
4 ［応用機能］を押します。

5 ［メール編集］を押します。

6 ［件名選択］または［本文選択］を押します。

7 登録済みの件名または本文から、使用したい番号を押し、［確定］を押します。

8 ［閉じる］を 2 回押します。

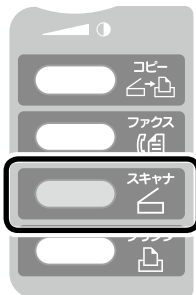
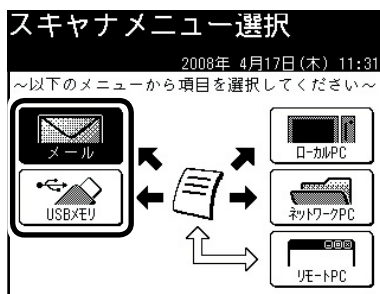
9 宛先を確認したいときは、［確認］を押します。

10 原稿をセットし、<カラースタート>または<モノクロスタート>キーを押します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

便利な機能を使ってスキャン To メール /USB する

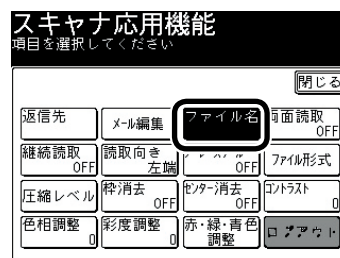
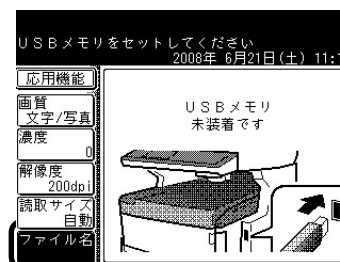
ファイル名を指定する

スキャンしたデータにファイル名を付けることができます。

1 ＜スキャナ＞キーを押します。

2 ［メール］または［USB メモリ］を押します。

3 ［応用機能］を押します。

- メールを選択した場合

4 ［ファイル名］を押します。

- メールを選択した場合

- USB メモリを選択した場合

5 ファイル名を入力し、［確定］を押します。

- メールを選択した場合

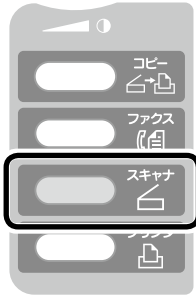
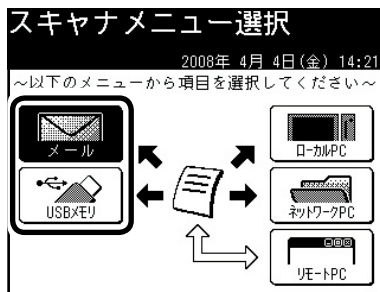
- USB メモリを選択した場合

6 ［閉じる］を押します。

- メールを選択した場合

ファイル形式を指定する

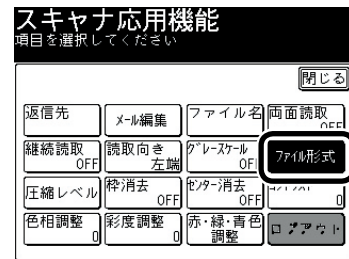
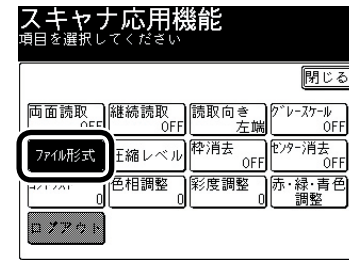
スキャンしたデータのファイル形式を指定できます。
指定できる形式は、PDF、TIFF、JPEG、XPS です。

1 ＜スキャナ＞キーを押します。

2 ［メール］または［USB メモリ］を押します。

3 ［応用機能］を押します。

● メールを選択した場合

● USB メモリを選択した場合

4 ［ファイル形式］を押します。

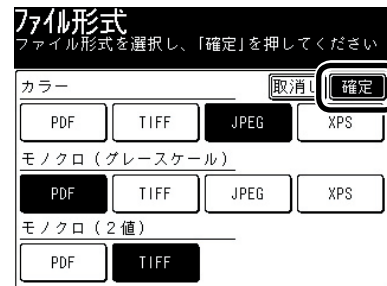
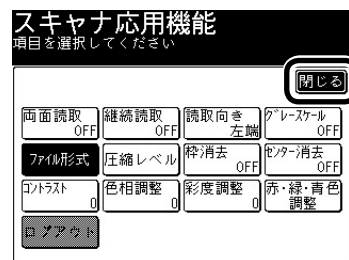
● メールを選択した場合

● USB メモリを選択した場合

5 ファイル形式を選択し、［確定］を押します。

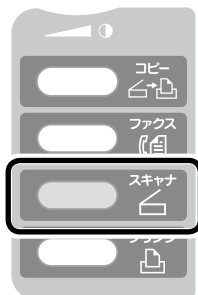
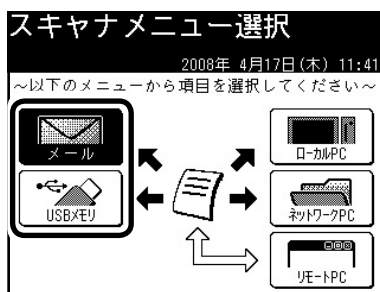
6 ［閉じる］を押します。

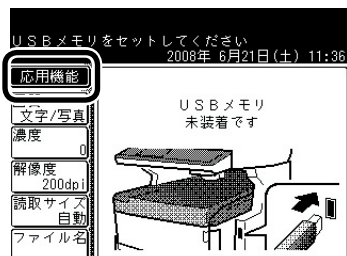
● メールを選択した場合

● USB メモリを選択した場合

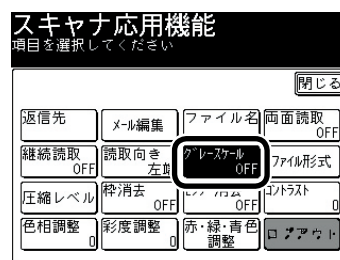
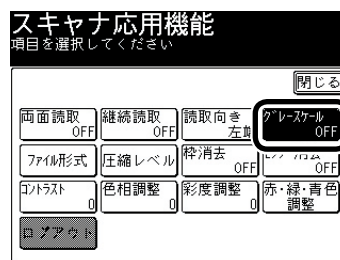
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

グレースケールを設定する

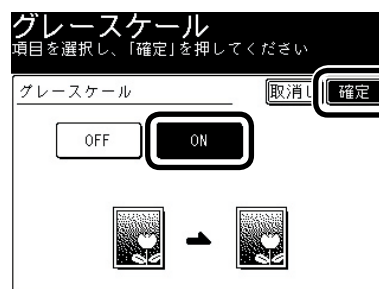
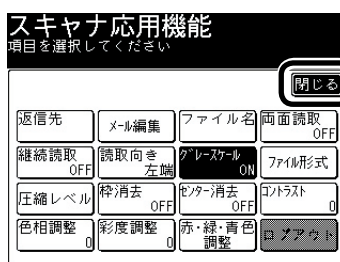
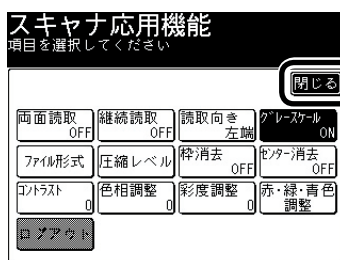
グレイスケールを有効にすると、<モノクロスタート>キーでスキャンしたデータが、白黒 (2 値) ではなく白黒 (255 階調) になります。

1 <スキャナ>キーを押します。

2 ［メール］または［USB メモリ］を押します。

3 ［応用機能］を押します。

● メールを選択した場合

● USB メモリを選択した場合

4 ［グレースケール］を押します。

● メールを選択した場合

● USB メモリを選択した場合

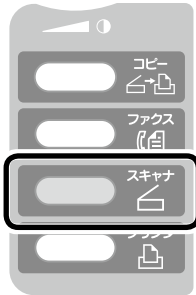
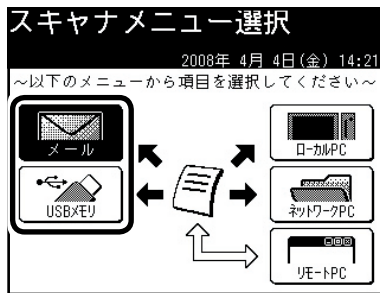
5 ［ON］を選択し、［確定］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

● メールを選択した場合

● USB メモリを選択した場合

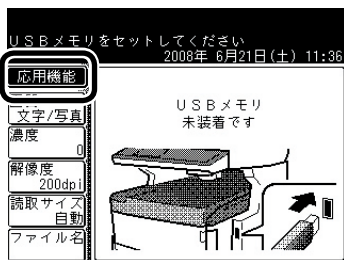
スキャン画像の向きを変更する

スキャン画像が期待した向きに表示されないときは、操作パネルで［読取向き］の設定を確認し、画面の表示通りに原稿をセットします。

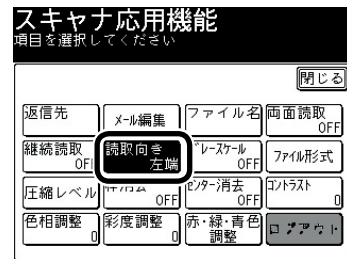
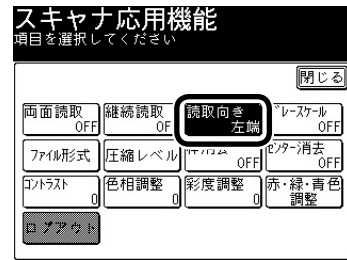
メモ

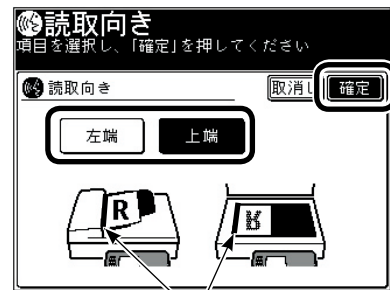
- 読取向きの初期値を変更できます。「［管理者設定］を押したとき」（P.241）の「スキャナ機能」をご覧ください。

1 <スキャナ>キーを押します。

2 ［メール］または［USB メモリ］を押します。

3 ［応用機能］を押します。

- メールを選択した場合

- USB メモリを選択した場合

4 ［読取向き］を押します。

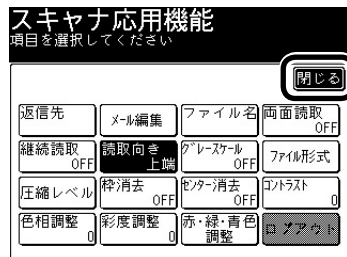
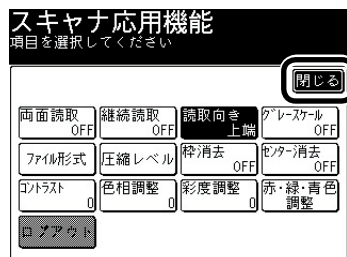
- メールを選択した場合

- USB メモリを選択した場合

5 読取向きの設定を確認し、原稿を画面の表示と同じ向きにセットし、［確定］を押します。

読取開始位置

メモ

- 左端：読取開始位置が取り込んだ画像の上端になります。
  上端：読取開始位置が取り込んだ画像の左端になります。

6 ［閉じる］を押します。

- メールを選択した場合

- USB メモリを選択した場合

7 スキャン To メール、またはスキャン To USB メモリを行います。

圧縮レベルを設定する

圧縮レベルを指定します。

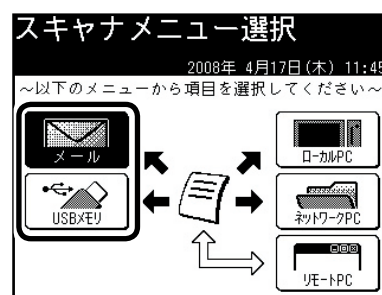
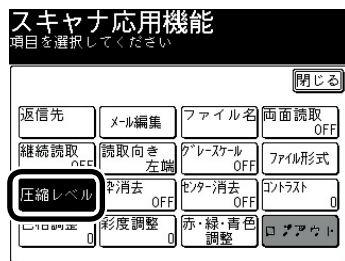
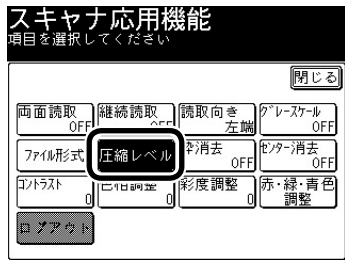
1 <スキャナ>キーを押します。

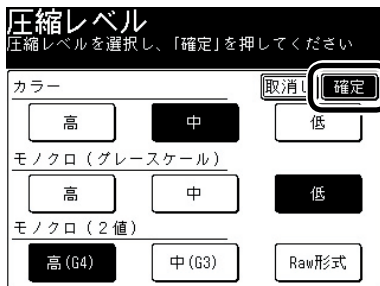
2 [メール] または [USB メモリ] を押します。

3 [応用機能] を押します。

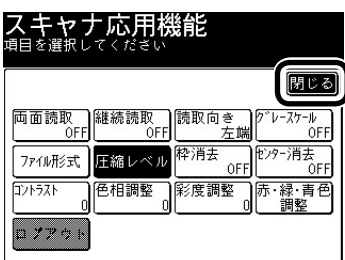
- メールを選択した場合

- USB メモリを選択した場合

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定/レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

4 ［圧縮レベル］を押します。

- メールを選択した場合

- USB メモリを選択した場合

5 圧縮レベルを選択し、［確定］を押します。

6 ［閉じる］を押します。

- メールを選択した場合

- USB メモリを選択した場合

その他の機能

継続読取は基本操作編「複数セットの原稿を 1 セットの原稿として読み取る（継続読取）」をご覧ください。
枠消去、センター消去の説明は、「原稿の影を消す（枠消去）」（P.81）、「中央の影を消す（センター消去）」（P.82）をご覧ください。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

受信したメールの添付ファイルを印刷せずにサーバーや E メールに送信する（自動配信）

スキャン To メールやスキャン To CIFS の機能を利用して、本機が受信したファクスや E メールの添付ファイル（PDF 形式のファイル）を、指定した宛先に PDF 形式で E メールで配信したり、ファイルサーバーのフォルダーに保存したりする機能です。（受信した E メールの本文は配信されません。）

コンピューターに保存する場合は、スキャン To CIFS の設定が必要です。基本操作編「スキャン To ネットワーク PC（CIFS）のための準備」をご覧ください。

E メールとして送信する場合は、スキャン To メールの設定が必要です。基本操作編「スキャン To メールのための準備」をご覧ください。

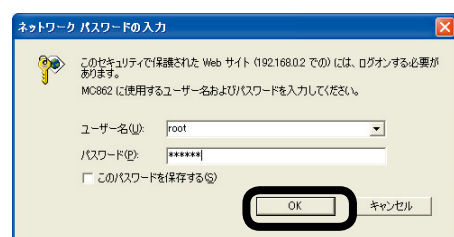
ここでは以下の環境を例に説明します。

- 装置名：MC862
- 装置の IP アドレス：192.168.0.2
- MAC アドレス：00:80:87:84:9C:9B
- Web ブラウザー：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

1 Web ブラウザーを起動します。

2 ［アドレス］に「http:// 装置の IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

3 ［管理者のログイン］をクリックします。

4 ［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に設定情報シートの **「G-1」** の値を入力し、［OK］をクリックします。

5 ［スキップ］をクリックします。

6 ［通信管理メニュー］をクリックします。

7 ［新規］をクリックします。

8 ［配信設定名］に任意の名称を入力し、「配信設定」を「有効」に、「受信FAX」にチェックを入れ、［プリント］を「OFF」にします。

メモ

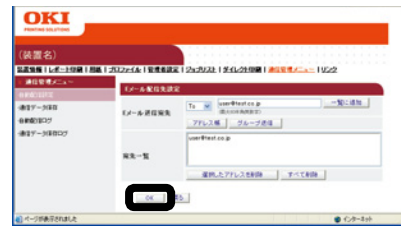
- 絞り込み条件設定を行うと、自動配信する相手先を選択できます。

9 ［配信先］を設定します。

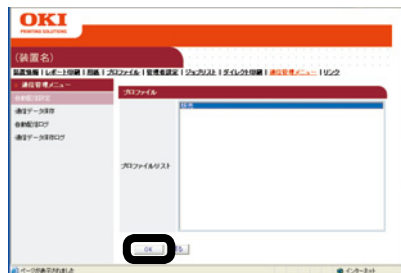
● Eメールとして送信する場合

(1) ［Eメール配信先設定］をクリックします。

(2) 送信したいEメールアドレスを入力して、［一覧に追加］をクリックします。

(3) 宛先一覧に、入力したEメールアドレスが表示されていることを確認して、［OK］をクリックします。

● コンピューターに保存する場合

(1) ［編集］をクリックします。

(2) プロファイルリストから、保存したいフォルダーを設定しているプロファイルを選択し、［OK］をクリックします。

10 ［送信］をクリックします。

本機に設定が送信されます。

これで、自動配信の設定は完了です。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

送受信したメールの添付ファイルを指定したサーバーに保存する（通信データ保存機能）

通信データ保存とは、本機が E メールまたはファクス送受信した時のデータを、あらかじめ設定された保存先に PDF 形式で保存する機能です。

保存できるデータは、送信済み / 受信済みの E メールの添付ファイル (本文は保存できません。)、ファクスのデータであり、それぞれについて通信データ保存設定が登録できます。

保存先は、ネットワークフォルダー（CIFS、FTP、HTTP）であり、登録されているプロファイルの中から指定します。

フォルダーに保存されるファイル名は、『A 日時 _ 番号 .PDF』となります。

プロファイルに登録しているファイル名は適用されません。

通信データ保存の設定や履歴の確認は Configuration Tool または、Web ブラウザーで行います。

保存できないときは、操作パネルにエラーメッセージを表示します。詳しくは、困ったときには / 日々のメンテナンス編「メッセージが表示されたとき」の「スキャナー関連」をご覧ください。

参照

- Configuration Tool については、ユーティリティーソフトウェア編「Configuration Tool」を、Web ブラウザーについては、「ネットワークに関する設定」（P.272）をご覧ください。

注

- PDF 形式以外で保存することはできません。
- 本機が受信できる E メール、ファクスのサイズは、以下のとおりです。以下のサイズを越えるデータを受信したときは、破棄されます。
  - E メール：添付ファイル 10 個以内、各添付ファイルサイズ 8MB 以内
  - ファクス：16MB 以内

スキャナードライバーを使用する

スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする

Windows の場合は、TWAIN ドライバーと WIA ドライバーを同時にインストールします。Macintosh の場合は、TWAIN ドライバーと ICA ドライバーを同時にインストールします。

Windows の場合

注

- Windows Server 2008 でスキャナードライバーを使用する場合は、OS の機能追加でデスクトップ エクスペリエンス（WIA サービス）をインストールする必要があります。
以下の手順でサービスを追加してください。

(1) プログラムと機能を実行します。

(2) Windows の機能の有効化または無効化を実行します。

(3) サーバーマネージャー / 機能で機能の追加を実行します。

(4) デスクトップ エクスペリエンスを選択しインストールを実行します。インストールが完了するとコンピューターの再起動があります。

注

- Windows Server 2008/Windows Server 2003 では、標準で WIA サービスが停止されていることがあります。
WIA ドライバーを使用する場合は、以下の手順で WIA サービスを開始してください。

(1) コントロールパネル / 管理ツールを実行します。

(2) サービスを実行します。

(3) Windows Image Acquisition(WIA) のプロパティを開きます。

(4) スタートアップの種類で自動を選択し、適用をクリックします。

(5) サービスの状態で開始を選択し、OK をクリックします。

■インストールする

注

- コンピューターの管理者の権限が必要です。

以下の説明は Windows 7 を例にしています。

1. コンピューターの電源を ON にし、Windows を起動します。
本機の電源が ON になっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、本機の電源を OFF にしてから次に進んでください。

2. 本機に添付の「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。

3. ［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。

4. ［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

5. 「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。

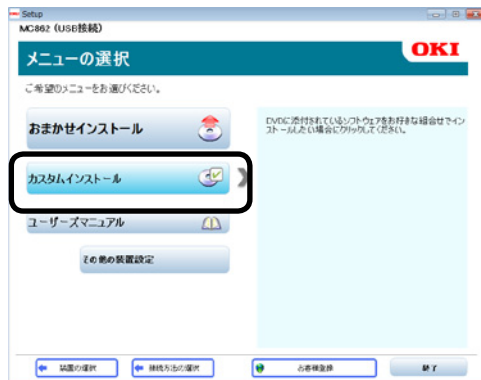
6. 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

7. 利用する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

8. 「USB 接続」を選択し、「次に進む」をクリックします。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う設定の登録機能
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

9 「カスタムインストール」をクリックします。

10 スキャナードライバーにチェックをつけ、[インストール] をクリックします。

11 [開始] をクリックします。

12 インストールの途中で、以下の画面が表示されたら装置と PC を USB ケーブルで接続し、装置の電源を ON にします。

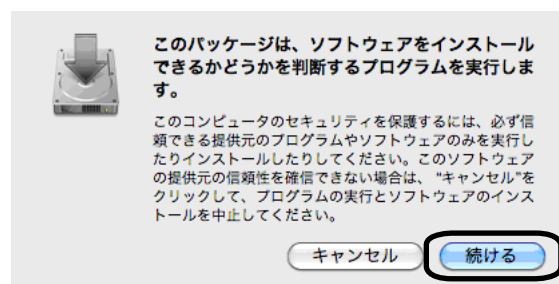
13 インストールが完了したら「閉じる」をクリックします。

Mac OS X の場合

1 本機とコンピューターが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア DVDROM」をコンピューターに挿入します。

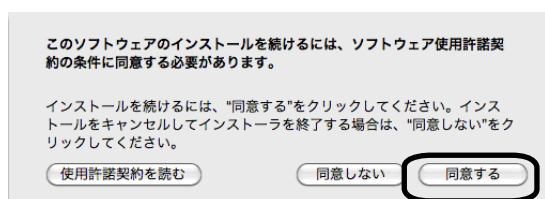
2 デスクトップの [OKI] アイコンをダブルクリックします。

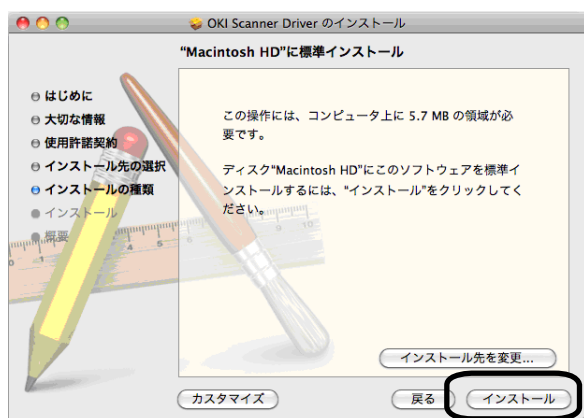
3 [Drivers] > [Scanner] > [Installer for Mac OSX] をダブルクリックします。

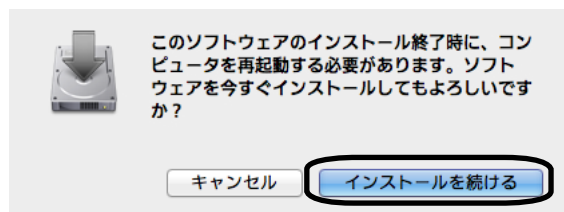
4 [続ける] をクリックします。

5 [続ける] をクリックします。

6 表示された内容を確認し、[続ける] をクリックします。

7 使用許諾契約を読み、［続ける］をクリックします。

8 ［同意する］をクリックします。

9 ［インストール］をクリックします。

ドライバーのインストール先を変更する場合は、［インストール先を変更］をクリックします。

10 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

11 ［インストールを続ける］をクリックします。

12 ［再起動］をクリックします。

ActKey アプリケーションを使用する

ActKey のボタンをクリックするだけで、あらかじめ決めておいた設定通りにスキャナー動作させることが出来ます。

動作環境

Windows 7/ Windows Vista/Windows XP/ Windows Server 2008/Windows Server 2003 日本語版で動作しているコンピューター

スキャナードライバーと連動して動作するため、スキャナードライバーのインストールが必要です。

ActKey の PC-Fax 送信機能は、Windows コンポーネントの Fax サービスを使用します。

Fax サービスをセットアップされていない場合は、Fax サービスをセットアップしてください。

Windows XP/Windows Server 2003 では［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］の［Windows コンポーネントの追加と削除］から Fax サービスをセットアップします。

(Windows Vista/Windows 7 では［コントロールパネル］-［プログラム］の［Windows の機能の有効化または無効化］から Fax サービスをセットアップします。

Windows Server 2008 では［サーバーマネージャ］-［役割］の［役割の追加］から Fax サービスをセットアップします。)

注

- Windows Server 2008 で ActKey を使用する場合は、OS の機能追加でデスクトップ エクスペリエンス（WIA サービス）をインストールする必要があります。
  以下の手順でサービスを追加してください。

  (1) プログラムと機能を実行します。

  (2) Windows の機能の有効化または無効化を実行します。

  (3) サーバーマネージャー / 機能で機能の追加を実行します。

  (4) デスクトップ エクスペリエンスを選択しインストールを実行します。インストールが完了するとコンピューターの再起動があります。
- ActKey をインストールすると、Network Configuration も同時にインストールされますが、本機では利用できません。

参照

- スキャナードライバーのインストールについては、「スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする」（P.171）をご覧ください。

ActKey をインストールする

1 「ソフトウェア DVD-ROM」をセットします。

2 ［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。

3 ［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

4 「使用許諾契約」をよく読み、「同意する」をクリックします。

5 環境についてのアドバイスを読み、「次に進む」をクリックします。

6 利用する装置を選択し、「次に進む」をクリックします。

7 「USB 接続」を選択し、「次に進む」をクリックします。

8 「カスタムインストール」をクリックします。

9 「ActKey」にチェックを付け、「インストール」をクリックします。

10 ［開始］をクリックします。

11 ［閉じる］をクリックします。

ActKey を起動する

1 デスクトップ上の ActKey アイコンをダブルクリックします。

または［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［ActKey］-［ActKey］を選択します。

スキャン To ローカル PC の使用時に ActKey を起動する

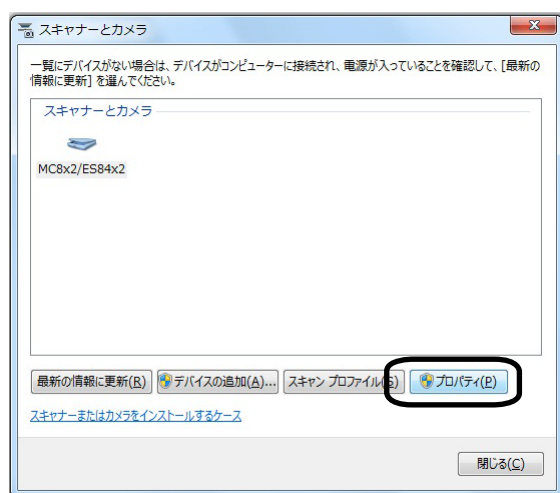
本機で［ローカル PC］を選択したら ActKey が起動するように設定できます。

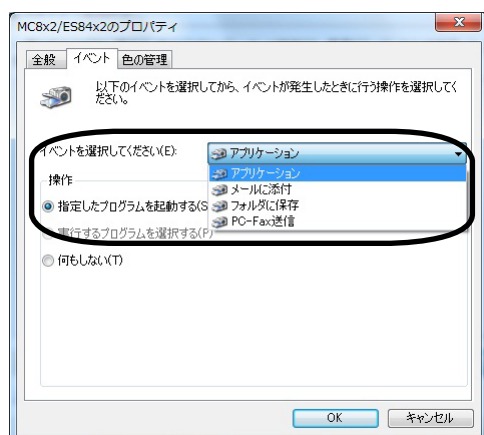
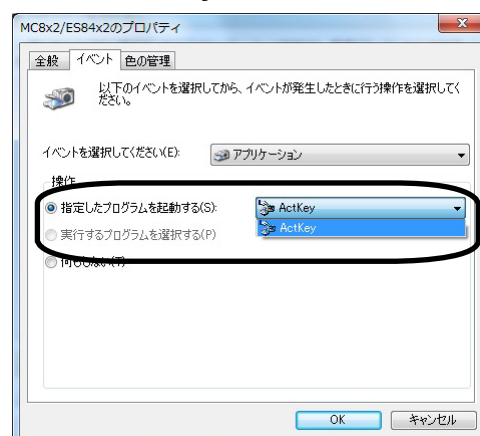
1 ［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］を選択します。

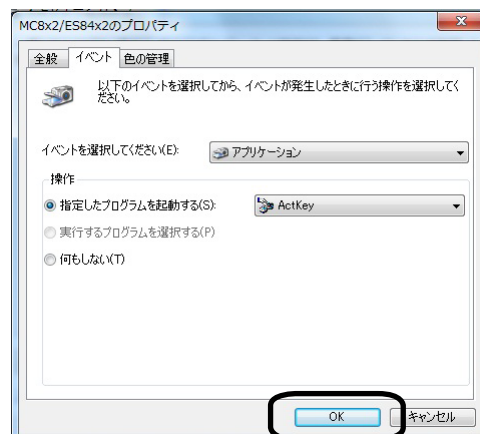
2 ［コントロールパネルの検索］で［スキャナとカメラの表示］と入力します。

3 ［デバイスとプリンター］の下の［スキャナとカメラの表示］をクリックします。

4 ［MC8x2/ES84x2］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

［ユーザー アカウント制御］ダイアログが表示されたら、［はい］をクリックします。

5 ［イベント］タブをクリックします。

6 ［イベントを選択してください］からイベントを選択します。

7 ［指定したプログラムを起動する］にチェックをつけ、［ActKey］を選択します。

8 手順 **6**～ **7**を繰り返して、すべてのイベントに［ActKey］を設定します。

9 ［OK］をクリックします。

読み取った原稿をファクス送信する（PC-FAX）

! 注

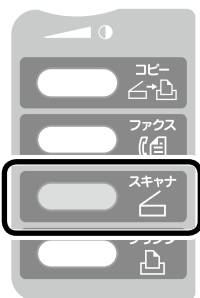
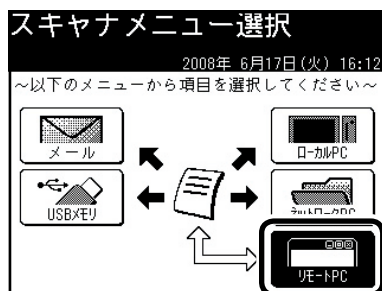
- A5、B5 サイズの原稿は、横向き（横長の四角で、左上が折れているマーク）にセットしてください。

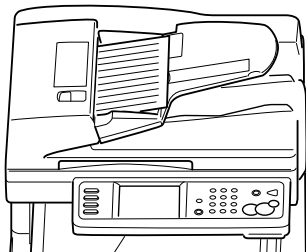
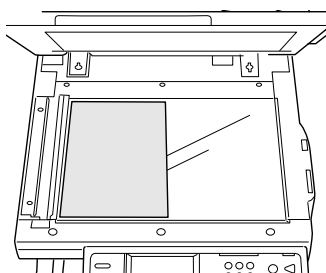
スキャンしたデータを Windows コンポーネントの Fax サービスを使用してコンピューターのモデムから送信します。

! 注

- 本機能は Windows コンポーネントの Fax サービスを使用します。

1 ActKey を起動します。

2 <スキャナ>キーを押します。

3 ［リモート PC］ボタンを押します。

4 本機に原稿をセットします。

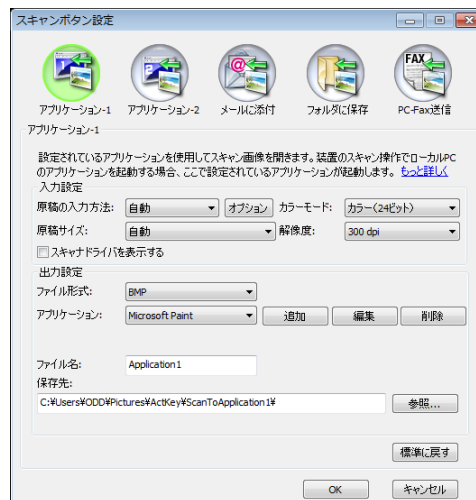
- 自動原稿送り装置

- ガラス面

5 ActKey の［PC-Fax 送信］ボタンをクリックします。

6 コンピューター上に［Fax 送信ウィザード］が起動するので、画面に従って進みます。

ActKey の設定を変更する

ボタンの詳細設定を行います。

1 ActKey を起動し、［オプション］メニューの［スキャンボタン設定］を選択します。

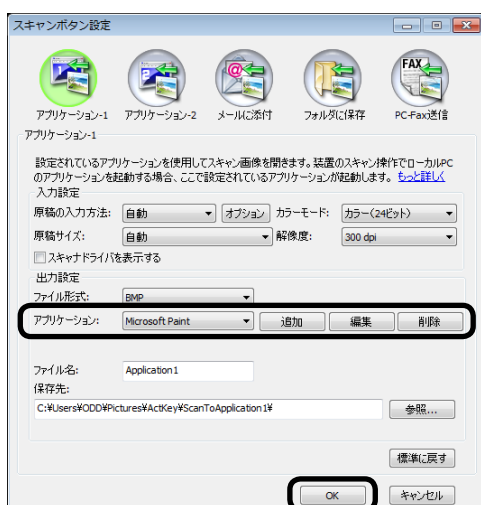
2 設定したいスキャンボタンを押してから、必要に応じて設定を変更します。

■アプリケーション -1/ アプリケーション -2

画像編集アプリケーションを起動して、装置で読み取った画像を編集します。

1 使用する画像アプリケーションを選択します。

アプリケーションの実行ファイル (exe) がある場所のパスを指定してください。

2 必要に応じて入出力設定を変更します。

3 「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

注

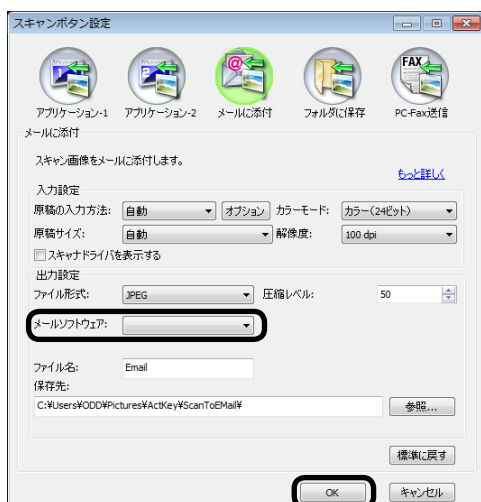
● 装置の操作パネルから"スキャン"-"ローカルPC"-"アプリケーション"を指定してスキャンを実行した場合、ActKey のアプリケーション -1 に指定されているアプリケーションが起動します。

■メールに添付

メールソフトを起動して、装置で読み取った画像を添付します。

1 ［メールソフトウェア］で使用するメールソフトを選択します。

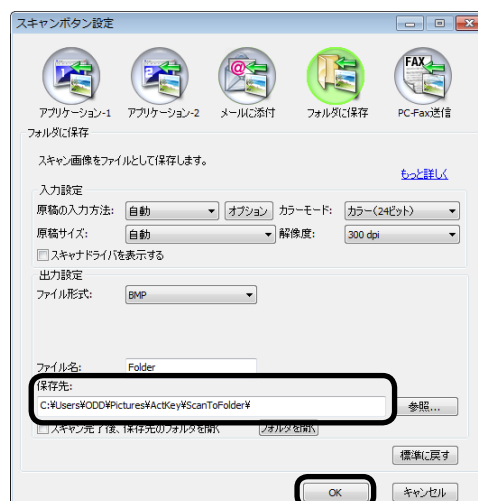
2 必要に応じて入出力設定を変更します。

3 「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

■フォルダーに保存

装置で読み取った画像を、ユーザーのコンピューター上に保存します。

1 ［保存先］で読み取り画像の保存先を設定します。

2 必要に応じて入出力設定を変更します。

3 「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

■PC-Fax 送信

Windows の Fax サービスを使用して、装置で読み取った画像をコンピューターのモデムから送信します。

1 必要に応じて入出力設定を変更します。

2 「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

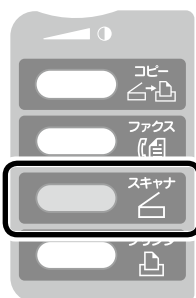
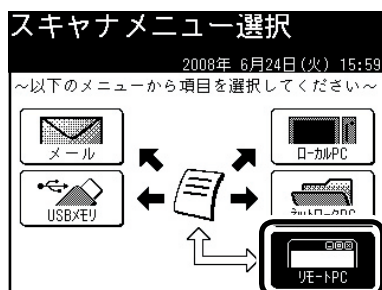
TWAIN ドライバーを使用する

TWAIN ドライバーで原稿を読み取る

! 注

- A5、B5 サイズの原稿は、横向き（横長の四角で、左上が折れているマーク）にセットしてください。

ここでは本機に付属の PaperPort ソフトウェアを使った場合を例にしています。PaperPort ソフトウェアは本機に付属の DVD-ROM からインストールしてください。

1 スキャナー部の自動原稿送り装置（ドキュメントフィーダー）またはガラス面（フラットベッド）に原稿をセットします。

2 本機の操作パネルで、<スキャナ>キーを押します。

3 本機の操作パネルで、[リモート PC] ボタンを押します。

4 コンピューターで PaperPort を起動します。

5 [選択] ボタンを押し、[OKI MC8x2/ES84x2 USB] を選択します。

6 [スキャン] ボタンを押します。

ドライバーが表示されます。（ドライバーを初めて起動した場合は、簡易モードが表示されます。）

7 あらかじめ用意されているスキャンボタン（例えば写真（高画質）モード）をクリックします。

読み取りが行われ、その状況がインジケータに表示されます。

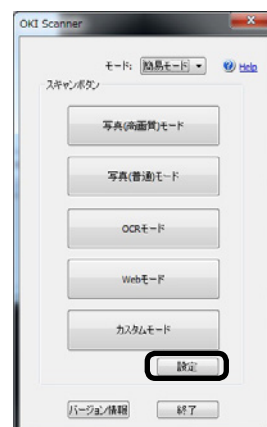
簡易モードおよび詳細モードの設定項目については、「TWAIN ドライバーの設定を変更する」をご覧ください。

8 読み取りが終わったら、[終了] をクリックします。

TWAIN ドライバーの設定を変更する

PC スキャンを行うときにスキャナードライバーの設定を変えることで、コンピューターに取り込む画像を微調整することができます。ここでは、スキャナードライバーの設定項目について説明します。

■簡易モード

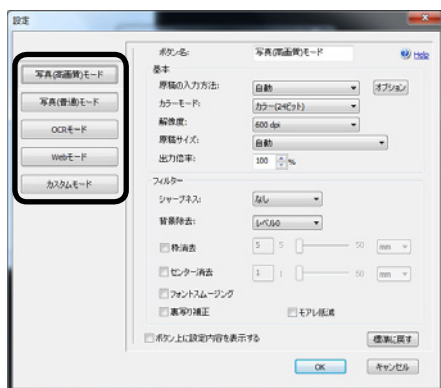
スキャン設定をカスタマイズしてスキャンボタンに割り当てることができるので、簡単な操作でスキャンを実行できます。

■ 設定

簡易モードの設定画面を開きます。解像度やカラーモードなどのスキャン設定をスキャンボタンに設定できます。

あらかじめ用意されるスキャンボタンには、次の５つがあります。

- 写真 (高画質) モード
- 写真 (普通) モード
- OCR モード
- Web モード
- カスタムモード

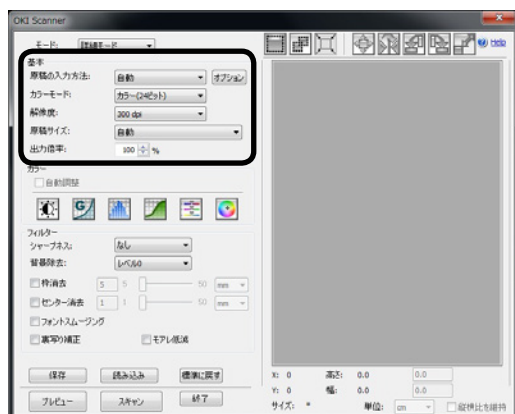
■ 設定画面

設定したいスキャンボタンを押してから、必要に応じて設定を変更します。

設定項目の内容は、「詳細モード」をご覧ください。

■ 詳細モード

カラーモードや解像度、スキャン領域、カラー調整などを詳しく指定してスキャンできます。

❑ 基本

スキャンする際のカラーモードや解像度、スキャンサイズを設定できます。

- 原稿の入力方法 :" 自動 " が選択されている場合、自動原稿送り装置に原稿があれば自動原稿送り装置からスキャンします。
  自動原稿送り装置に原稿がなければガラス面からスキャンします。
  オプション設定で原稿の読取向きと両面読取を指定できます。

  ［オプション］をクリックして、“原稿の入力方法”を設定します。

  - 読取向き

    原稿をセットする向きを設定します。

    ガラス面（フラットベッド）に原稿をセットするときは、装置に対して原稿の上部を左向きか下向きにセットしてください。

    自動原稿送り装置に原稿をセットするときは、装置に対して原稿の上部を左向きか上向きにセットしてください。

    - ［左端］

    原稿の上部を左向きにセットする場合に選択します。

    - ［上端］

    自動原稿送り装置に原稿の上部を上向き（奥側）にセットする場合に選択します。

    ガラス面（フラットベッド）に原稿の上部を下向き（手前）にセットする場合に選択します。

  - 両面読取

    “原稿の入力方法”が“自動原稿送り装置”の場合に選択できます。両面をスキャンする場合は、原稿のとじ位置を指定します。

    - ［オフ］

    自動原稿送り装置から片面をスキャンする場合に選択します。

    - ［左右とじ］

    表と裏の上下が同じ場合に選択します。

    - ［上とじ］

    表と裏の上下が逆の場合に選択します。

- カラーモード : カラー原稿に見合った画像のタイプを選択できます。
- 解像度 : 画像の解像度を選択できます。

  注
  - スキャンニングソフトによっては、高解像度での読込みができない場合があります。

- 原稿サイズ : 読取り原稿のサイズを選択できます。

  注
  - 原稿サイズを " 自動 " にしてスキャンして問題がある場合は、" 自動 " 以外の定型サイズを選択してスキャンしてください。

- 出力倍率 : スキャン画像の出力倍率を 1% から 999% まで変更できます。倍率を大きくするほどメモリー、ディスク容量を多く必要とします。

❑ カラー

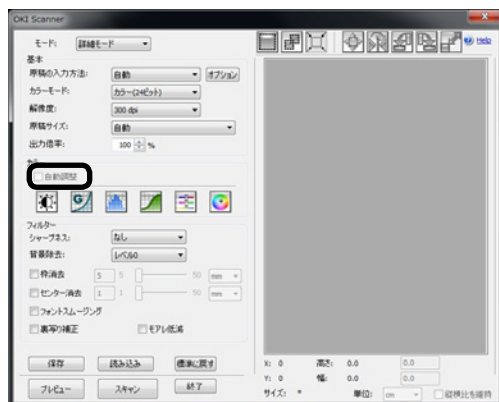
出力画像の画質や色の調整を行います。

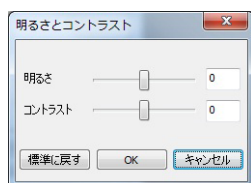
カラーには次の 7 つのオプションがあります。

- 自動調整
- 明るさ／コントラスト
- ガンマ調整
- ヒストグラム調整
- トーンカーブ調整
- カラーバランス調整
- HSB（色相、彩度、明るさ）

● 自動調整

チェックボックスをチェックすると、自動的にヒストグラムを調整して最適な状態にします。

プレビューした場合に機能します。

● 明るさ／コントラスト（カラー、グレースケール、ハーフトーン）

出力画像の明るさ、コントラストを調整します。

- 明るさ：画像の明るさを調整できます。
- コントラスト：画像のコントラストを調整できます。

● しきい値（白黒）

出力画像のしきい値を調整します。

- しきい値：しきい値の明るさレベルを調整できます。

● ガンマ調整

コンピューターのモニターにあわせて画像の色調を調整できます。RGB、赤（R）、緑（G）、青（B）それぞれ調整できますので、ご利用の環境にあわせて調整してください。

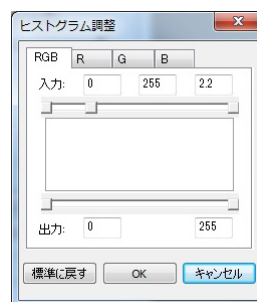
- RGB ：RGB の色調を調整できます。
- R ：赤（R）の色調を調整できます。
- G ：緑（G）の色調を調整できます。
- B ：青（B）の色調を調整できます。

● ヒストグラム調整

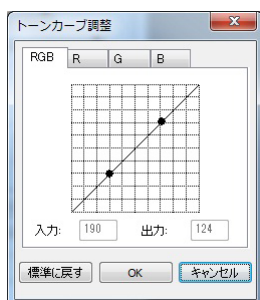
画像の R、G、B、グレースケール、色相、彩度、明度の分布を示すヒストグラムを表示します。

水平軸は黒から白までの範囲（0 から 255）で画像の明度値を表します。垂直軸は各値でのピクセル数を表します。

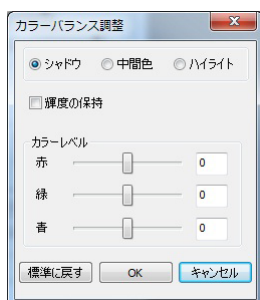
ピクセルが多数ある明度は垂直軸方向にグラフが伸び、ピクセルがほとんどない明度は水平軸に近くなります。

暗い画像では、ヒストグラム左側のピクセルが多くなります。画像が非常に明るい場合は、ヒストグラム右側のピクセルが多くなります。

- ヒストグラム調整：各色のヒストグラムを調整できます。

● トーンカーブ調整

R、G、B のカラー曲線を表示します。合成色（RGB）は黒で表示されます。

● トーンカーブ調整 : 濃度曲線（トーンカーブ）を調整することによって、画像全体の明るさとコントラストのバランスを調整できます。

● カラーバランス調整

シャドウ部、中間色部、ハイライト部のそれぞれに対して、カラーレベル（赤、緑、青）の配分を変更して、画像の色の精度を向上することができます。また、画像の色調を変更する場合にも使用します。

● 輝度の保持 : スキャン画像における輝度の変更を最小限にしたい場合にチェックします。

● 赤 : カラーレベル（赤）の配分を調整できます。

● 緑 : カラーレベル（緑）の配分を調整できます。

● 青 : カラーレベル（青）の配分を調整できます。

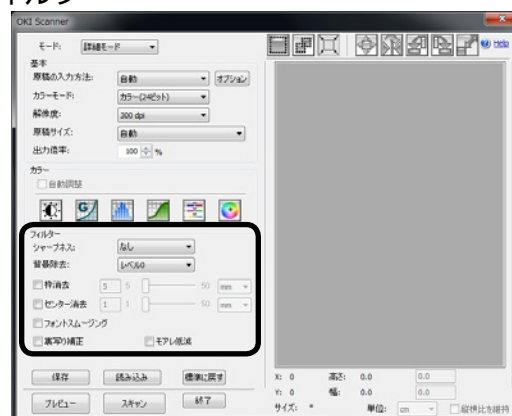
● HSB

色相、彩度、明るさの観点で色を概念化します。

● 色相 : 色相を調整することができます。

● 彩度 : 彩度を調整することができます。

● 明るさ : 明るさを調整することができます。

❑ フィルター

● シャープネス : 画像の隣接ピクセルのコントラストを上げることによって、ぼやけた写真を鮮明にします。

● 背景除去 : 画像の背景（下地）色を目立たないようにします。数字が大きいほど強く除去します。

● 枠消去 : 原稿の縁部分にできる影を消去したい場合に使用します。指定された幅で枠の形で消去します。

● センター消去 : 本を開いてスキャンする場合など、センター部分にできる 影を消去したい場合に使用します。指定された幅だけセンター部分を消去します。

● フォントスムージング : 文字をくっきりさせたい場合にチェックボックスをチェックします。

● 裏写り補正 : 原稿裏面にある文字や図などがスキャン画像に表れないように補正したい場合にチェックボックスをチェックします。

● モアレ低減 : モアレ（波形模様）を除去したい場合にチェックボックスをチェックします。

■ ツールバー

項　目	内　容
選択	マウス左ボタンでプレビューウィンドウ内をクリックアンドドラッグするとスキャン範囲を選択できます。
複数選択	スキャン範囲を最大 8 つまで設定できます。また、それぞれの選択範囲に対して「カラーモード」「解像度」などを設定できます。
自動トリミング	自動的に原稿を含む最小の矩形を選択します。
移動	マウス左ボタンでプレビューウィンドウ内をクリックアンドドラッグしてプレビュー画像を移動できます。 プレビューイメージを拡大ズームしたときに使用します。
反転	スキャン画像を左右反転できます。
左 90° 回転	スキャン画像を反時計回りに 90° 回転できます。
右 90° 回転	スキャン画像を時計回りに 90° 回転できます。
ズーム	マウス左ボタンでプレビューウィンドウ内をクリックすることによって拡大できます（最大ズームは 8 倍）。マウス右ボタンクリックで縮小できます。また、スクロール機能付きマウスを利用すると、スクロールボタンで拡大縮小の操作ができます。スクロールボタンを手前に回すと拡大し、奥に回すと縮小します。

WIA ドライバーを使用する

WIA ドライバーで原稿を読み取る

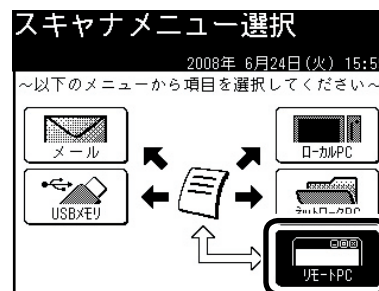
! 注

- A5、B5 サイズの原稿は、横向き（横長の四角で、左上が折れているマーク）にセットしてください。

ここでは本機に付属の PaperPort ソフトウェアを使った場合を例にしています。PaperPort ソフトウェアは本機に付属の DVD-ROM からインストールしてください。

1 スキャナー部の自動原稿送り装置（ドキュメントフィーダー）またはガラス面（フラットベッド）に読み込み原稿をセットします。

2 本機の操作パネルで、<スキャナ>キーを押します。

3 本機の操作パネルで、［リモート PC］ボタンを押します。

4 コンピューターで PaperPort を起動します。

5 ［選択］ボタンを押し、［WIA : MC8x2/ES84x2］を選択します。

6 ［スキャン］ボタンを押します。

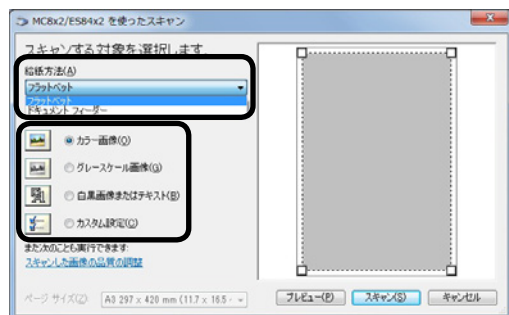
ドライバーが表示されます。

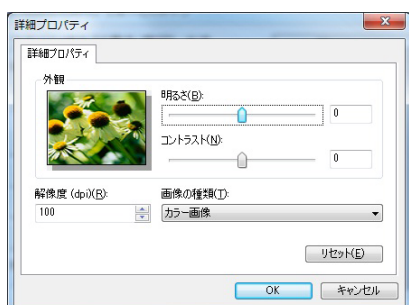
7 ［給紙方法］を選択します。

メモ

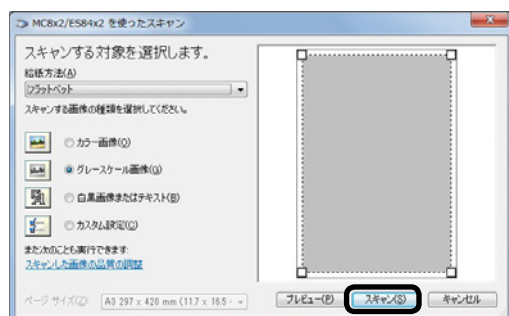
- ［ドキュメントフィーダ］を選択した場合はプレビューできません。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

8 画像の種類を選択します。

メモ

● 画像品質を調整したい場合は、[スキャンした画像の品質の調整] をクリックしてください。「詳細プロパティ」画面が表示されます。

9 スキャンする範囲を指定します。

● [フラットベッド] を選択した場合は [プレビュー] をクリックします。プレビュー画像が表示されたら、■を移動してスキャン範囲を指定します。[ドキュメントフィーダ] を選択した場合はプレビューできません。

● [ドキュメントフィーダ] を選択した場合は [ページサイズ] を指定します。

10 [スキャン] をクリックします。
読み取りが行われます。

11 読み取りが終わったら、[キャンセル] をクリックします。

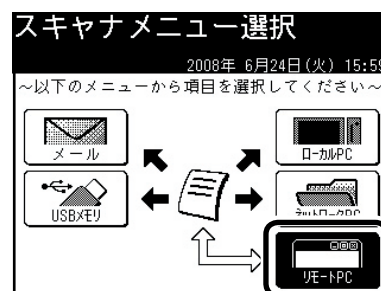
12 読み込んだ画像が PaperPort の画面に表示されます。

Windows FAX とスキャンを使う

「Windows FAX とスキャン」は Windows 7 または Windows Vista で使用できる機能です。

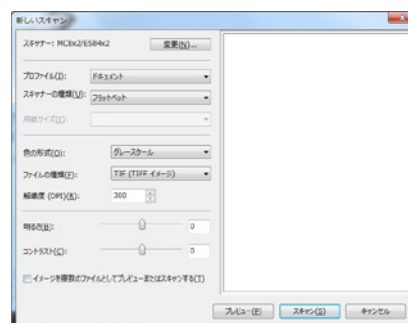
1 スキャナー部の自動原稿送り装置（ドキュメントフィーダー）またはガラス面（フラットベッド）に読み込み原稿をセットします。

2 本機の操作パネルで、<スキャナ>キーを押します。

3 本機の操作パネルで、[リモート PC] ボタンを押します。

4 コンピューター上で [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] ＞ [Windows FAX とスキャン] を選択します。

5 [新しいスキャン] をクリックします。

6 [MC8x2/ES84x2] を選択し、[OK] をクリックします。

7 必要に応じて、設定をします。

8 [スキャン] をクリックします。

9 [Windows FAX とスキャン] を終了します。

スキャナードライバーを削除またはアップデートする

スキャナードライバーを削除する

「スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする」（P.171）記載の手順でスキャナードライバーをインストールした場合、以下の手順でスキャナードライバーを削除します。

■ Windows の場合

1 ［スタート］をクリックし、［コントロール パネル］＞［プログラムのアンインストール］を選択します。

2 ［OKI MC8x2/ES84x2 Scanner］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

［ユーザー アカウント制御］ダイアログが表示されたら、［はい］をクリックします。

3 確認メッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

4 ［アンインストール完了］画面で［完了］をクリックします。

■ Mac OS X の場合

1 ハードディスクから［ライブラリ］＞［Image Capture］＞［TWAIN Data Sources］を選択します。

2 「OKI MC8x2_ES84x2 USB.ds」を削除します。

3 ［TWAIN Data Sources］ダイアログを閉じます。

4 ハードディスクから［ライブラリ］＞［Image Capture］＞［Devices］を選択します。

5 「OKI Scanner」を削除します。

6 ［Devices］ダイアログを閉じます。

7 コンピューターを再起動します。

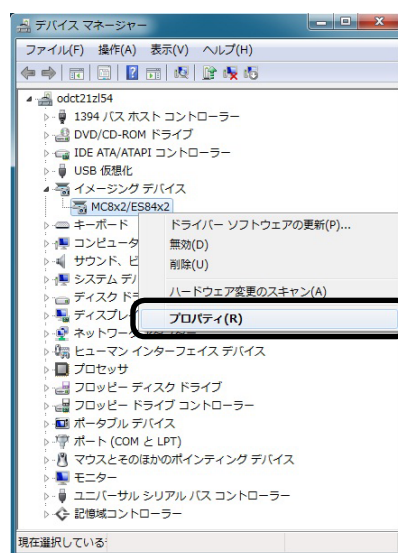
スキャナードライバーをアップデートする

■ Windows の場合

1 ［スタート］をクリックし、［コンピューター］を右クリックして［プロパティ］を選択します。

2 ［デバイス マネージャー］をクリックします。

［ユーザー アカウント制御］が表示されたら、［はい］をクリックします。

3 ［イメージング デバイス］で［MC8x2/ES84x2］を右クリックし、［プロパティ］を選択します。

4 ［ドライバー］タブで、スキャナードライバーのバージョンを確認します。

5 スキャナードライバーを削除します。

参照

- 詳しくは、「スキャナードライバーを削除する」（P.184）をご覧ください。

6 新しいスキャナードライバーをインストールします

参照

- 詳しくは、「スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする」（P.171）をご覧ください。

■ Mac OS X の場合

1 スキャナードライバーを削除します。

参照

- 詳しくは、「スキャナードライバーを削除する」（P. 182）をご覧ください。

2 新しいスキャナードライバーをインストールします。

参照

- 詳しくは、「スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする」（P.171）をご覧ください。

スキャナー待機画面の設定項目一覧

スキャナーメニュー選択画面

項　目	内　容
メール	スキャンしたデータを E メールとしてコンピューターに送ります。
USB メモリ	スキャンしたデータを USB メモリーに保存します。
ローカル PC	スキャンしたデータを、USB ケーブルで接続しているコンピューターに保存します。
ネットワーク PC	スキャンしたデータをネットワークで接続しているサーバーやコンピューターに保存します。
リモート PC	コンピューターから本機にスキャンの指示を出し、スキャンします。

［メール］を押したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
応用機能	返信先			送信したメールの返信先を送信者と違うアドレスに設定することが出来ます。 アドレス帳からも、LDAP からも宛先を呼び出して入力出来ます。
	メール編集		件名	件名を入力します。 半角では 80 文字、全角では 40 文字まで登録できます。
			本文（固定文）	本文を入力します。 半角では256文字､全角では 128文字まで登録できます。
			件名新規	件名を新規で入力します。
			件名選択	登録済みリストから選択します。 5 件まで登録することができます。
			本文選択	登録済みリストから選択します。 5 件まで登録することができます。
	ファイル名			イメージファイル名を入力します。 半角では 64 文字、全角では 32 文字まで入力できます。
	両面読取		OFF 左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置を設定します。
	継続読取		ON OFF	次原稿の有無を問い合わせるかを設定します。
	読取向き		左端 上端	原稿の載置方向と画像の向きを設定します。 左端：読取開始位置を取り込んだ画像の上端に定義します。 上端：読取開始位置を取り込んだ画像の左端に定義します。
	グレースケール		ON OFF	ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF: 原稿をモノクロ(白黒)2値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ（グレースケール）	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ（グレースケール）でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ（2 値）	PDF TIFF	モノクロ（2 値）でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率を設定します。
		モノクロ（グレースケール）	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON(モノクロ(グレースケール))の時の圧縮率を設定します。
		モノクロ（2 値）	高（G4） 中（G3） Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF(モノクロ(2値))の時の圧縮率を設定する。
	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。
		消し幅	5 ～ 50mm （1mm/Step） 0.2 ～ 2.0inch （0.1inch/Step）	枠消去の消し幅を設定します。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
応用機能	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm (1mm/Step) 0.1 ～ 2.0inch (0.1inch/Step)	センター消去の消し幅を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストを設定します。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	色相を設定をします。
	彩度調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	彩度を設定します。
	赤・緑・青色調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。
宛先指定	アドレス帳			アドレス帳番号により宛先 E メールアドレスを選択します。 1 つの E メールアドレスのみ指定することができます。
	直接入力			宛先の E メールアドレスを入力します。 半角では 80 文字（2bytes 文字は不可） まで入力できます。
	メール送信履歴			メール送信履歴を表示します。
	グループ送信			宛先のグループを選択します。 一度に 32 件のグループを指定することができます。
	LDAP			LDAP サーバーからのアドレス検索用画面が表示されます。この画面では、ユーザー名で検索します。詳細ボタンを押すことで、検索方法（AND, OR)、ユーザー名、メールアドレスを指定して検索を行う詳細検索を利用することができます。 宛先として選択したアドレスを、ローカルのアドレス帳へインポートが可能です。 100 件の検索結果を表示することが可能です。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿読み取り画質を設定します。
	背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	画像の背景(下地)色・裏写りが目立たないように設定します。
濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿読み取り濃度を設定します。
解像度		75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	原稿読み取り解像度を設定します。
読取サイズ		自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。

[USB メモリ] を押したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
応用機能	両面読取		OFF 左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置を設定します。
	継続読取		ON OFF	次原稿の有無を問い合わせるかを設定します。
	読取向き		左端 上端	原稿の載置方向と画像の向きを設定します。 左端：読取開始位置を取り込んだ画像の上端に定義します。 上端：読取開始位置を取り込んだ画像の左端に定義します。
	グレースケール		ON OFF	ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF: 原稿をモノクロ(白黒)2 値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(グレースケール)	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ（グレースケール）でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(2 値)	PDF TIFF	モノクロ（2 値）でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率を設定します。
		モノクロ(グレースケール)	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON(モノクロ(グレースケール))の時の圧縮率を設定します。
		モノクロ(2 値)	高（G4） 中（G3） Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF(モノクロ(2値))の時の圧縮率を設定します。
	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。
		消し幅	5 ～ 50mm (1mm/Step) 0.2 ～ 2.0inch (0.1inch/Step)	枠消去の消し幅を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm (1mm/Step) 0.1 ～ 2.0inch (0.1inch/Step)	センター消去の消し幅を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストを設定します。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	色相を設定をします。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定/レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
応用機能	彩度調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	彩度を設定します。
	赤・緑・青色調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。
画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿読み取り画質を設定します。
	背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	画像の背景色・裏写りが目立たないように設定します。
濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿読み取り濃度を設定します。
解像度		75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	読み取り解像度を設定します。
読取サイズ		自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。
ファイル名			イメージファイル名を文字入力画面で入力します。 半角では 64 文字、全角では 32 文字まで入力できます。

[ローカル PC] を押したとき

項　目	内　容
アプリケーション	スキャンしたデータを指定したアプリケーションにて開きます。
フォルダ	スキャンしたデータを指定したフォルダーに保存します。
メール	スキャンしたデータをEメールの添付ファイルにします。
PC-FAX	スキャンしたデータを PC-FAX の送信イメージにします。

[ネットワーク PC] を押したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
応用機能	プロファイル一覧			プロファイルを選択します。
	サブフォルダ			スタートキー押下前に、サブフォルダーを作成する場合のサブフォルダー名を設定します。
	両面読取		OFF 左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置を設定します。
	継続読取		ON OFF	次原稿の有無を問い合わせるかを設定します。
	読取向き		左端 上端	原稿の載置方向と画像の向きを設定します。 左端 : 読取開始位置を、取り込んだ画像の上端に定義します。 上端 : 読取開始位置を、取り込んだ画像の左端に定義します。
	グレースケール		ON OFF	ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF: 原稿をモノクロ(白黒)2 値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(グレースケール)	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ(グレースケール)でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(2 値)	PDF TIFF	モノクロ(2値)でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率を設定します。
		モノクロ(グレースケール)	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON(モノクロ(グレースケール))の時の圧縮率を設定します。
	圧縮レベル	モノクロ(2 値)	高 (G4) 中 (G3) Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF(モノクロ(2値))の時の圧縮率を設定します。
	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。
		消し幅	5 ~ 50mm (1mm/Step) 0.2 ~ 2.0inch (0.1inch/Step)	枠消去の消し幅を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ~ 50mm (1mm/Step) 0.1 ~ 2.0inch (0.1inch/Step)	センター消去の消し幅を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
応用機能	色相調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	色相を設定をします。
	彩度調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	彩度を設定します。
	赤・緑・青色調整	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。
画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿読み取り画質を設定します。
	背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	画像の背景(下地)色・裏写りが目立たないように設定します。
濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿読み取りの濃度を設定します。
解像度		75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	原稿読み取り解像度を設定します。
読取サイズ		自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿サイズを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目	内　容
ファイル名	イメージファイル名を文字入力画面で入力します。 半角では 64 文字、全角では 32 文字まで入力できます。

スキャナー機能の機器設定

スキャナー機能の初期値を変更する

読み取り条件の初期値を設定します。よく使用する値を初期値に設定しておくと便利です。

参照

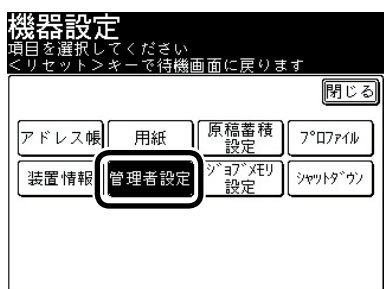
- 設定の一覧は、「[管理者設定] を押したとき」(P.241) の「スキャナ機能」をご覧ください。

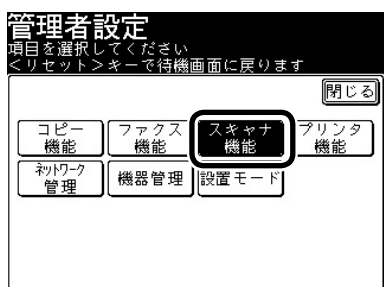
■ 初期値の設定

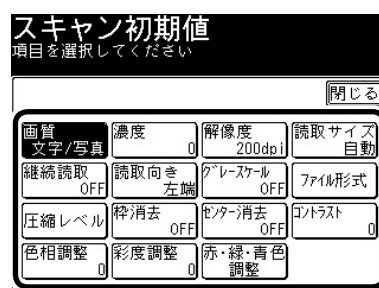
1 本体操作パネルの、<機器設定>キーを押します。

2 [管理者設定] を押します。

3 管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは [aaaaaa] になっています。

4 [スキャナ機能] を押します。

5 [スキャン初期値] を押します。

6 変更したい項目を押します。
ここでは画質を変更する場合を例にしています。

7 設定したい値を押します。

8 [確定] を押します。

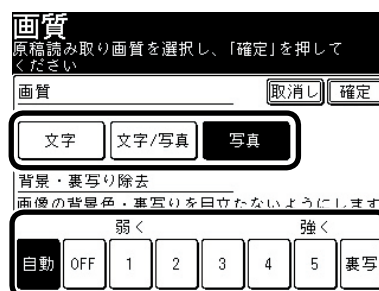
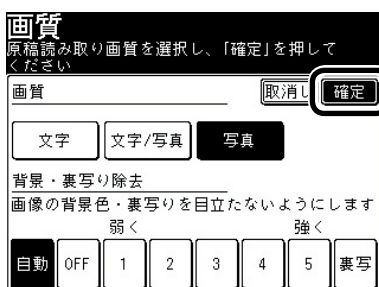
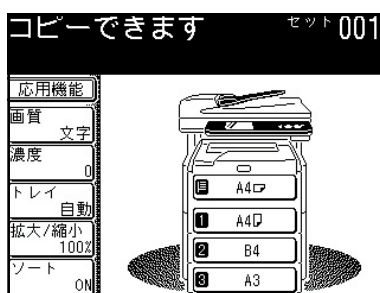
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

9 [閉じる] を押します。

10 <リセット>キーを押し、待機画面に戻ります。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

5
よく使う機能や設定の登録

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

よく使う一連の作業を登録する（ジョブメモリ機能）

一連の操作をジョブメモリ機能キーに登録すると、一回キーを押すだけで登録した操作が実行されます。
いつも同じコピー、ファクスやスキャンをしたいときなど、定型操作を登録しておくと便利です。

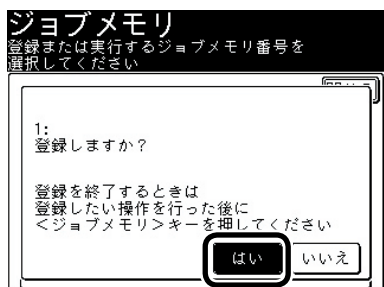
■操作の前に…

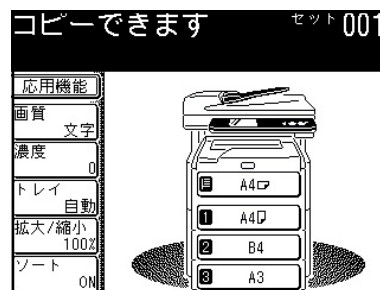
- あらかじめ登録したい設定を基本操作編および本書で調べておき、操作を書き留めておくとスムーズに登録できます。
- ジョブメモリ機能キーは 6 個あり、1 つのキーに 60 ステップの操作を登録できます。（1 ステップとは、キーを 1 回選択または押す操作です。）
- ジョブメモリ機能キー登録中は、「プッ、プッ」というブザー音と、画面切り替えキー（<コピー>キー・<ファクス>キー・<スキャナ>キー）の点滅にて登録中であることを知らせます。登録できるステップ数が少なくなると、ブザー音と画面切り替えキーの点滅間隔が短くなります。

ジョブメモリを登録する

1 <ジョブメモリ>キーを押します。

2 登録したい番号を選択します。

3 ［はい］を押します。

メモ
- ［いいえ］を押すと手順 2 に戻ります。

4 登録したい操作を行います。

メモ
- 60 ステップまで登録できます。
- 60 ステップを超えると、「これ以上登録できません　登録しますか？」とメッセージが表示されます。
- ［はい］を押すと登録され手順 7 に進みます。［いいえ］を押すと登録されずに待機画面に戻ります。

5 登録を終了するときは、<ジョブメモリ>キーを押します。

メモ
- <リセット>キー・<ストップ>キーを押すと、登録を中止し待機画面に戻ります。
- <節電>キー・<ファクス確認 / 中止>キー・<プリント中割込み>キー・<プリンタ>キーを押すと、登録を終了し手順 6 の画面になります。

6 タイトルを入力します。

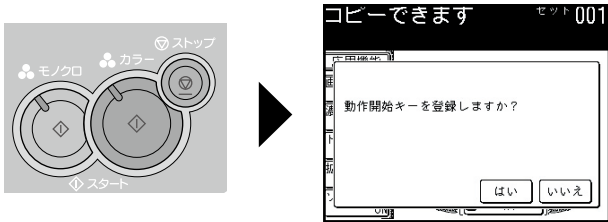
メモ
- 半角文字では 40 文字、全角文字では 20 文字まで登録できます。
- 文字入力については、セットアップ編「操作パネルを使用して文字を入力する」を参照してください。
- ジョブメモリ機能キーの一覧では、タイトルの頭から半角で 40 文字、全角で 20 文字までを表示します。

7 ［確定］を押すと登録を終了します。

メモ
- 登録した操作を変更することはできません。初めから登録し直してください。
- 登録中の操作ミスや、変更手順も登録されます。

■こんなときは？

●＜スタート＞キーを登録したとき ...。

操作の途中に＜スタート＞キーを押したとき、以下のメッセージが表示されます。

［はい］を押すと、＜スタート＞キーを押した操作まで登録されます。［いいえ］を押すと＜スタート＞キーを押す直前までの操作を登録します。

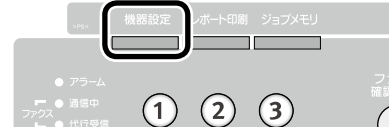
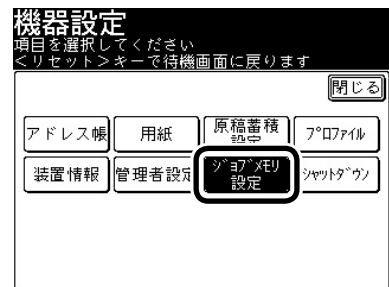
●例えばこんな使いかたができます。

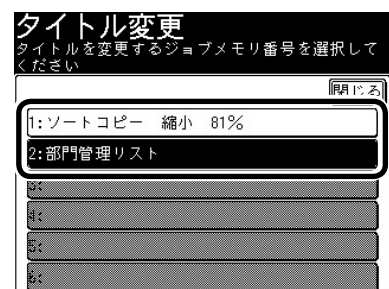
送信操作を登録中、［いいえ］を押して＜スタート＞キーを取り込まないでおきます。登録したジョブメモリ機能キーを実行すると＜スタート＞キーを押す直前まで動作します。その後に、時刻指定などを設定できます。

＊［はい］を押して＜スタート＞キーを取り込むと、送信されてしまうので、時刻指定などの設定はできません。

ジョブメモリの名前を編集する

登録したジョブメモリ機能キーのタイトルを変更することができます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［ジョブメモリ設定］を押します。

3 ［タイトル変更］を押します。

4 タイトルを変更したい、ジョブメモリ機能キーを選択します。

5 ［クリア］を押して、新しいタイトルを入力します。

メモ

- 半角文字では 40 文字、全角文字では 20 文字まで登録できます。
- 文字入力については、セットアップ編「操作パネルを使用して文字を入力する」を参照してください。

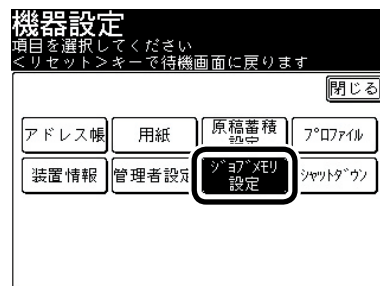
6 ［確定］を押すと、タイトルを変更します。続けてタイトルの変更を行うときは、手順４から操作を繰り返します。

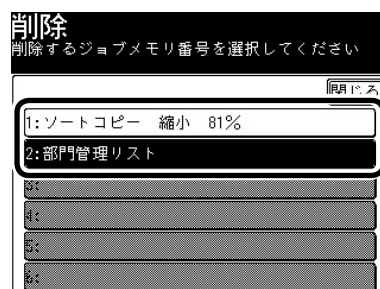
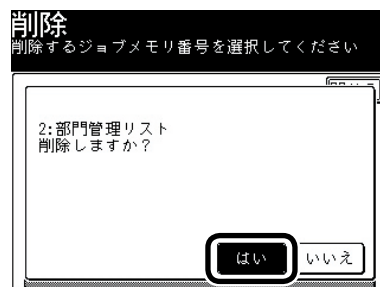
メモ

- ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

ジョブメモリを削除する

1 ＜機器設定＞キーを押します。

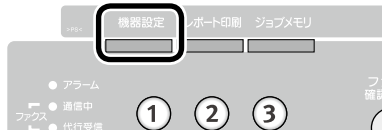
2 ［ジョブメモリ設定］を押します。

3 ［削除］を押します。

4 削除したい、ジョブメモリ機能キーを選択します。

5 削除する場合は［はい］を押します。

メモ

- ［いいえ］を押すと、手順４に戻ります。

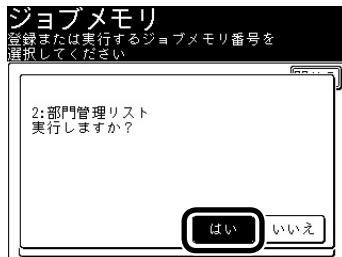
ジョブメモリを使用する

登録した操作を実行します。

1 <ジョブメモリ>キーを押します。

2 実行したい、ジョブメモリ機能キーを選択します。

メモ

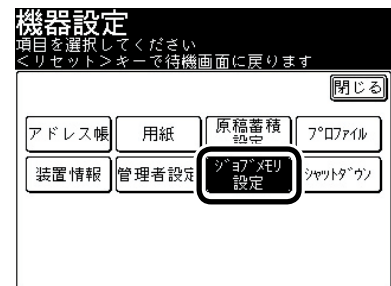
- <ストップ>キーを押すと、ジョブメモリ機能キーの実行を中断します。

3 ［はい］を押します。

4 登録した操作を実行します。

実行するジョブメモリの速度を設定する

ジョブメモリ機能を実行したときの、1 ステップごとのスピードを調整できます。動作をディスプレーで確認したいときに便利です。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［ジョブメモリ設定］を押します。

3 ［実行速度］を押します。

4 実行速度を選択し、［確定］を押します。

実行速度が設定されます。

メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

待機画面によく使う機能を表示する（ご愛用スイッチ）

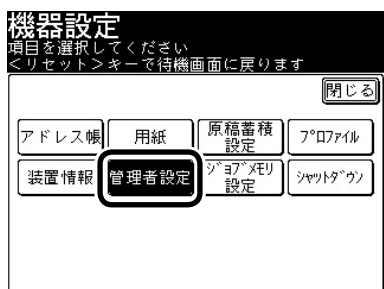
よく使用する機能を待機画面に５つまで表示させることができます。よく使う機能を割り当てておくと、待機画面より素早く使うことができ便利です。

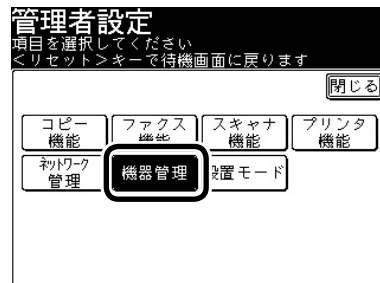
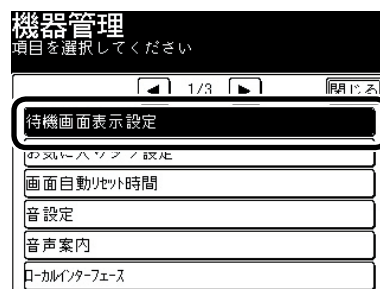
コピー待機画面例

1 ＜機器設定＞キーを押します。

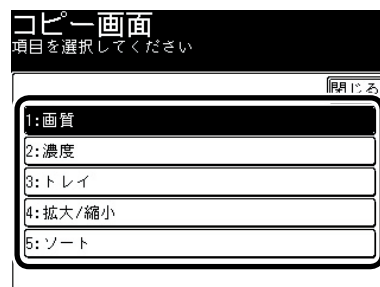
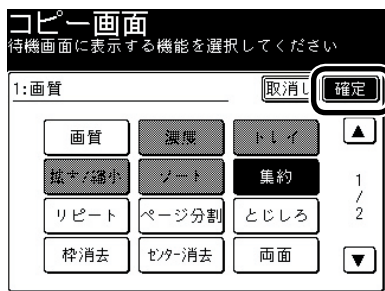
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

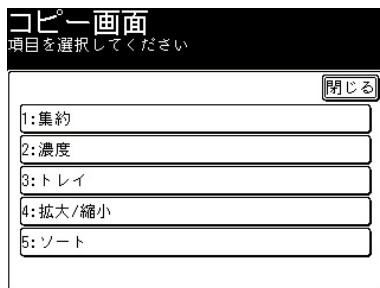
メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［待機画面表示設定］を押します。

6 設定する待機画面を選択します。

7 設定したいご愛用スイッチを選択します。

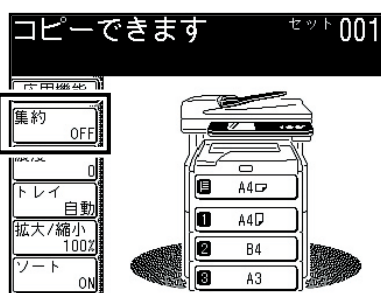
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録や設定
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

8 ご愛用スイッチとして表示したい機能を選択し、［確定］を押します。

メモ

- 既に登録されている機能はグレー表示になり選択できません。

9 選択した機能が、ご愛用スイッチに登録されます。

10 続けて他のご愛用スイッチを登録する場合は、手順 7 から操作を繰り返します。

メモ

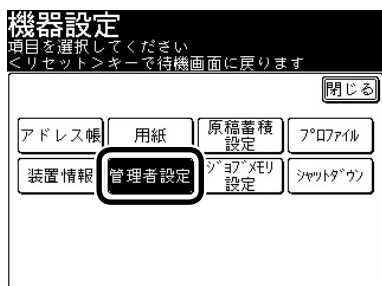
- ［閉じる］を押すと手順 6 に戻り、他の待機画面のご愛用スイッチを登録できます。

11 <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

6
カラー調整

印刷するときのカラーを調整する

色ずれを手動で補正する

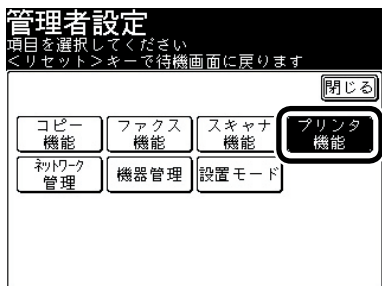
本機は電源を ON にしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき 400 枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、操作パネルで調整を行ってください。

1 <機器設定>キーを押します。

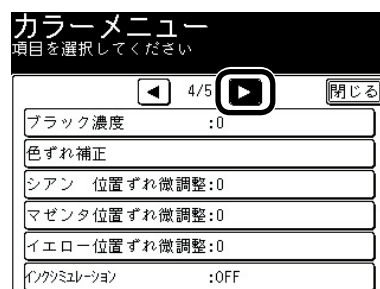
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

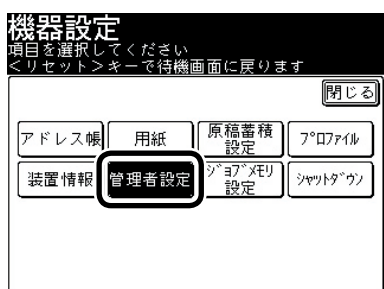
- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［プリンタ機能］を押します。

5 ［カラーメニュー］を押します。

6 ［▶］を 3 回押し、カラーメニュー 4/5 画面を表示します。

7 ［色ずれ補正］を押します。

8 ［はい］を押します。

濃度を手動で補正する

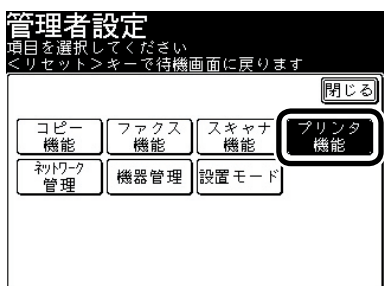
本機は新しいイメージドラムカートリッジを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき 500 枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、操作パネルで調整を行ってください。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

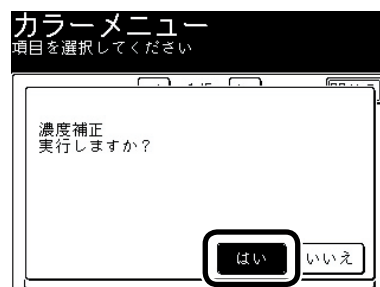
3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［プリンタ機能］を押します。

5 ［カラーメニュー］を押します。

6 ［濃度補正］を押します。

7 ［はい］を押します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

色ずれ補正を微調整する

シアン、マゼンタ、イエロー各色の黒に対する版ずれを色ずれと呼びます。

本機は自動色ずれ補正機能により定期的に補正を行っていますが、印刷条件によっては色ずれが気になる場合があります。

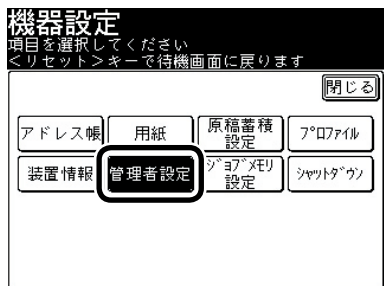
用紙送り方向の色ずれについては、自動補正結果に対してさらに手動で微調整することができます。実際の印刷結果で気になる部分を微調整してください。

ここでは、シアンを微調整する手順を説明します。調整したい色が他にもある場合は同様の手順で調整を行ってください。

1 シアンの色ずれを微調整します。

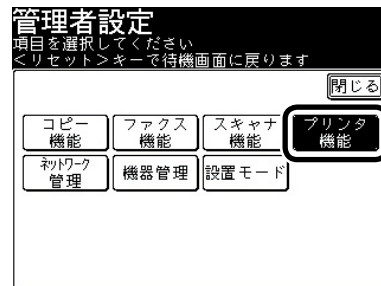
印刷結果をみて用紙送り方向に対してシアンが上方向にずれている場合

(1) ＜機器設定＞キーを押します。

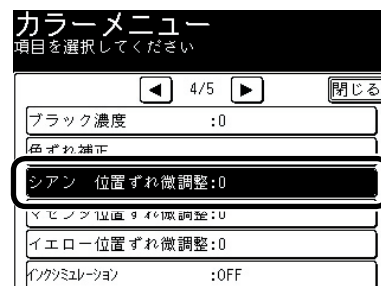
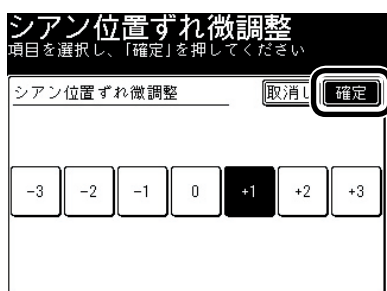
(2) ［管理者設定］を押します。

(3) 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

(4) ［プリンタ機能］を押します。

(5) ［カラーメニュー］を押します。

(6) ［▶］を 3 回押し、カラーメニューの 4/5 画面を表示します。

(7) ［シアン位置ずれ微調整］を押します。

(8) 現在の値より大きい値を指定し、［確定］を押します。

メモ

- 用紙送り方向に対して上にずれている場合は +1 ～ +3、下にずれている場合は -1 ～ -3 を選択してください。

(9) <リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

2 印刷します。

色ずれが気になる場合は上記手順を繰り返してください。

カラーバランス（濃度）を調整する

本機の色味を好みに合わせて調整する場合は、操作パネルで調整を行ってください。

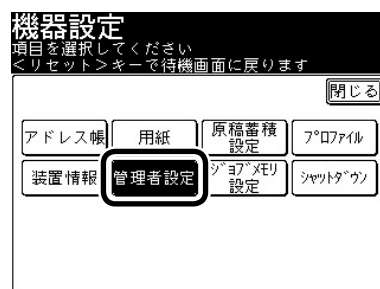
調整は、各色の淡い（Highlight）・濃い（Dark）・中間（Mid-tone）の３か所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。

ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

注

- プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］、または［カラー印刷不可］に設定されている場合は印刷できません。

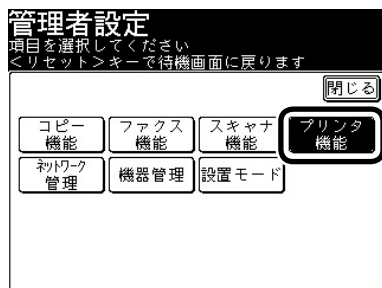
1 カラー調整パターンを印刷します。

(1) <機器設定>キーを押します。

(2) ［管理者設定］を押します。

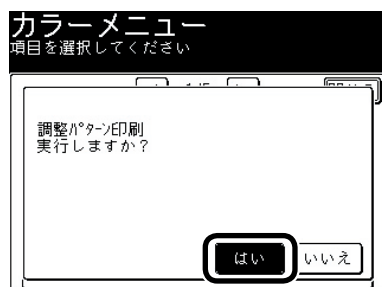
(3) 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

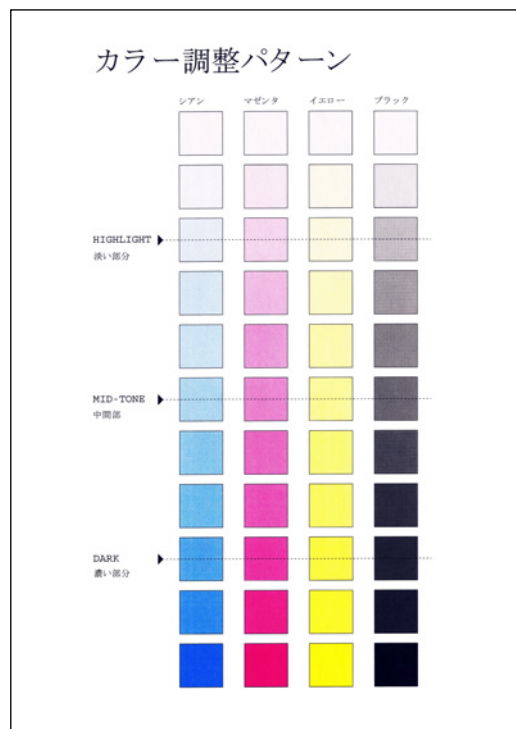
- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

(4) ［プリンタ機能］を押します。

(5) ［カラーメニュー］を押します。

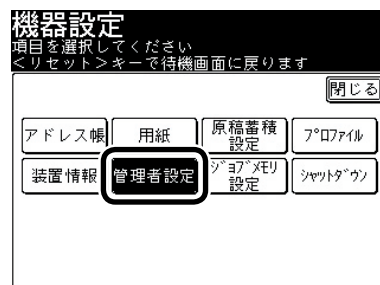
(6) ［調整パターン印刷］を押します。

(7) ［はい］を押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。

カラー調整パターンには四角が縦 11 行、横 4 列で配置されていて、縦 11 行は色の調子を表しており、［HIGHLIGHT 淡い部分］、［MID-TONE 中間部］、［DARK 濃い部分］とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。

横 4 列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを表しており、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［ブラック］と印刷されています。

2 シアンの色を調整します。

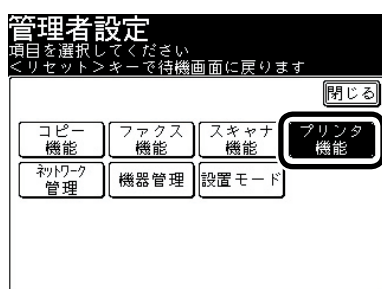
淡い部分の調整は、淡い部分（Highlight）の設定値を変更します。

(1) ＜機器設定＞キーを押します。

(2) ［管理者設定］を押します。

(3) 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

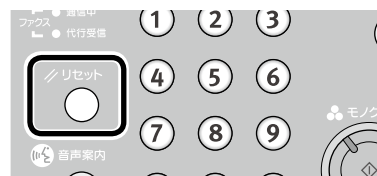
(4) ［プリンタ機能］を押します。

(5) ［カラーメニュー］を押します。

(6) ［シアン淡い部分］を押します。

(7) 現在設定されている値より大きい値を指定し、［確定］を押します。

メモ

- 少し濃くする場合は +1 ～ +3、少し薄くする場合は -1 ～ -3 を選択してください。

(8) ＜リセット＞キーを押し、待機画面を表示します。

3 印刷します。

好みの調子にならない場合は手順 1, 2 を繰り返してください。

コピー・スキャンするときのカラーを調整する

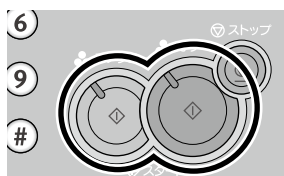
コントラストを調整する

1 ［応用機能］を押します。

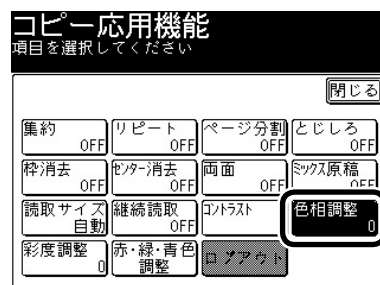
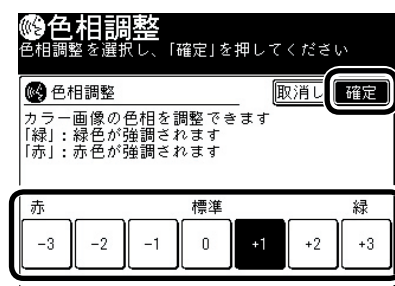
2 ［コントラスト］を押します。

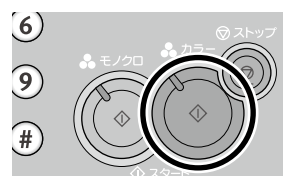
3 設定したい値を選択し、［確定］を押します。

4 ［閉じる］を押します。

5 原稿をセットし、<カラースタート>または<モノクロスタート>キーを押します。

色相を調整する

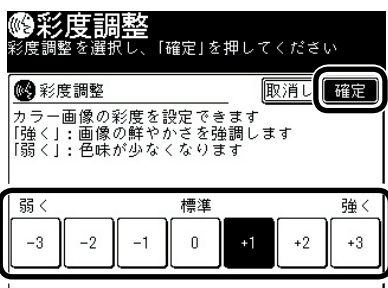
1 ［応用機能］を押します。

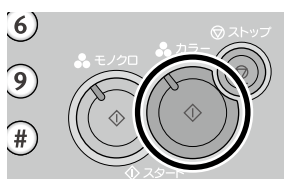
2 ［色相調整］を押します。

3 設定したい値を選択し、［確定］を押します。

4 ［閉じる］を押します。

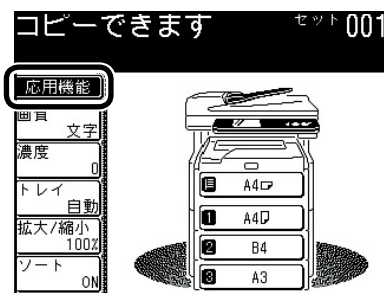
5 原稿をセットし、<カラースタート>キーを押します。

彩度を調整する

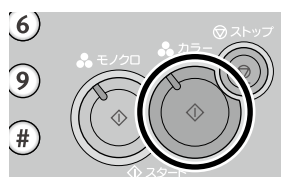
1 ［応用機能］を押します。

2 ［彩度調整］を押します。

3 設定したい値を選択し、［確定］を押します。

4 ［閉じる］を押します。

5 原稿をセットし、<カラースタート>キーを押します。

赤・緑・青色を調整する

1 ［応用機能］を押します。

2 ［赤・緑・青色調整］を押します。

3 それぞれの色について、設定したい値を選択し、［確定］を押します。

4 ［閉じる］を押します。

5 原稿をセットし、<カラースタート>キーを押します。

コンピューターから印刷するときのカラーを調整する

カラーマッチングについて

カラーマッチングとは

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナーやデジタルカメラやモニター等は黒に対して「赤」「青」「緑」の３色の光を加えた配合率を RGB カラー空間上の値としてカラーを表現します（加法混色）。一方プリンターは白（白色光）に対して、「赤」「青」「緑」の３色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の４色のトナーの配合率を CMYK カラー空間上の値としてカラーを表現します（減法混色）。

RGB カラー空間や CMYK カラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム（CMS）といいます。

本機では、プリンタードライバーのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。

注

- カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニター上の色に比べくすんで見えることがあります。これは本機で再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニター上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

利用できるカラーマネージメントシステム

カラーマッチング ＼ プリンタードライバー	Windows PS	Windows PCL	Mac OS X 10.3 以降
装置に内蔵のカラーマッチング（[オフィスカラー] モード）	○	○	○
装置に内蔵のカラーマッチング（[グラフィックプロ]モード）	○	○	○
Windows の Image Color Matching（※）(ICM)	○	−	−
ColorSync	−	−	○
アプリケーションのカラーマッチング	○	○	○

※「Image Color Matching」を利用するには、アプリケーションが対応している必要があります。

簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）

ワープロソフト・表計算ソフトやプレゼンテーション用ソフトなどビジネス文書をよく使用するユーザー向けに最適な方法のカラーマッチングを提供します。これらのソフトウェアで使用される RGB カラーで表現された色をお使いの装置用にカラーマッチングします。

カラーマッチングには装置に搭載されている専用のアクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。RGB カラースペースの印刷データを装置の CMYK カラースペースに変換する際に、カラーマッチング処理が適用されます。

注

- RGB カラースペースの印刷データに対してのみ有効です。
- CMYK カラースペースの印刷データに対しては [推奨] または [オフィスカラー] を選択してもカラーマッチングは適用されません。この場合は「グラフィックプロ」を選択してください。
- Windows で ICC プロファイルをインストールしている場合は、[レイアウト] タブで [詳細設定] をクリックし、[ICM の方法] で [ICM 無効] を選択します。

■設定項目について

- [カラー調整]

  カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

  - モニタ（6500K）／自動

    カラーマッチングの際に、モニター（色温度 6500K）との相性を重視した上で、印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で色を表現します。通常はこの設定でお使いください。

  - モニタ（6500K）／コントラスト重視

    カラーマッチングの際に、モニター（色温度 6500K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。

  - モニタ（6500K）／鮮やかさ重視

    カラーマッチングの際に、モニター（色温度 6500K）との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。

  - モニタ（9300K）

    カラーマッチングの際に、モニター（色温度 9300K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。

  - デジタルカメラ

    カラーマッチングの際に、写真が明るくなるように色を表現します。撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方がよい場合があります。

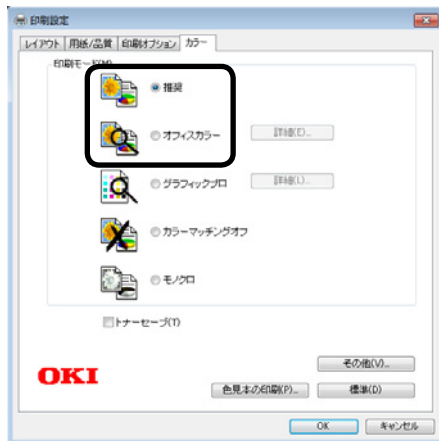
- sRGB
  装置の色再現域内の色はそのままとし、装置の色再現域内に入らない色は装置の色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。

- [CMYK シミュレーション]
  本機で Japan Color、SWOP、EuroScale のようなオフセット印刷標準カラーをシミュレーションする場合に選択します。
  ターゲットの印刷装置のインクを選択します。

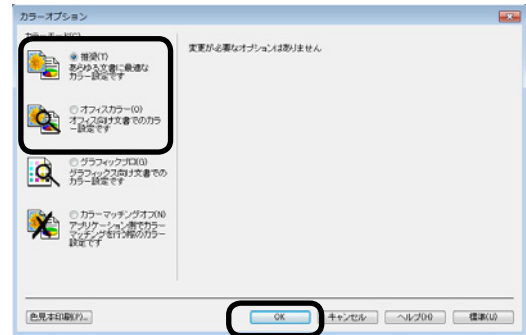
- [黒の生成]
  カラーで印刷する時の黒の仕上がりを設定します。通常は自動のままご使用ください。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [カラー] タブの [印刷モード] で [推奨] または [オフィスカラー] を選択します。

注
- ICC プロファイルをインストールしている場合は、[レイアウト] タブで [詳細設定] をクリックし、[ICM の方法] で [ICM 無効] を選択します。

5. 印刷します。

■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
3. [詳細設定] をクリックします。
4. [基本設定] タブの [カラー･モノクロオプション] をクリックし、[推奨] または [オフィスカラー] を選択し、[OK] をクリックします。

5. 印刷します。

■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。
3. [カラー] パネルで [推奨] または [オフィスカラー] を選択します。

[オフィスカラー] を選択した場合、必要に応じて [詳細] ボタンをクリックし、[オフィスカラー詳細設定] ダイアログ内の [カラー調整] や [CMYK シミュレーション]、[黒の生成] を変更します。

注
- Mac OS X に添付されるプリンタードライバーの制限で、汎用的なアプリケーションで「推奨」または [オフィスカラー] を指定しても、無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

メモ
- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の [詳細を表示] ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、[プリンタ] メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

4. 印刷します。

黒の仕上がりを変更する

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。プリンタードライバーの設定の印刷モードが［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］の場合に利用できます。

■ 設定項目について

- 黒の生成
  - 自動
    印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。印刷モードが［オフィスカラー］の場合のみ選択できます。
  - CMYK トナーで生成
    シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。写真に適しています。
  - 黒（K）トナーのみで生成
    黒トナーのみで黒を印刷します。図形、文字に適しています。写真を印刷すると暗い部分が黒っぽくなることがあります。
- テキストとグラフィックスに純ブラックを使用
  テキストやグラフィックスに RGB 色空間で定義されたブラック（R=0、G=0、B=0）または CMYK 色空間で定義されたブラック（C=0、M=0、Y=0、K=100%）が指定されている場合に、黒（K）トナーのみで印刷するかどうかを指定します。
  - オン
    黒指定のテキストやグラフィックスを黒（K）トナーのみで印刷します。
  - オフ
    黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングに指定しているプロファイルに依存して黒（K）トナーのみまたは CMYK で合成された黒になります。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。
5. ［黒の生成］から適当な項目を選択します。［グラフィックプロ］モードではさらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択し、［OK］をクリックします。

6. 印刷します。

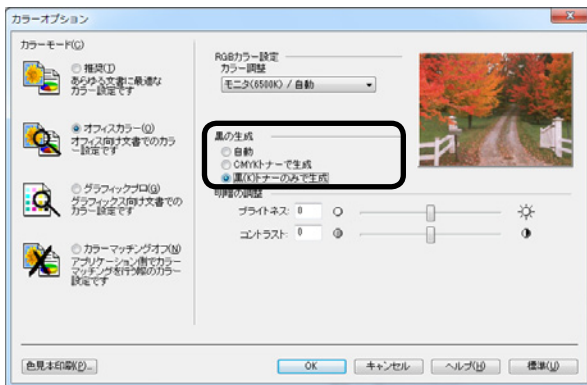
■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 [詳細設定] をクリックします。

4 [基本設定] タブの [カラー･モノクロオプション] をクリックし、[オフィスカラー] または [グラフィックプロ] を選択します。

5 [黒の生成] から黒の生成方式を選択します。[グラフィックプロ] モードではさらに [テキストとグラフィックスに純ブラックを使用] に対しても適当な項目を選択します。

6 [OK] をクリックします。

7 印刷します。

■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

注

- Mac OS X に添付されるプリンタードライバーの制限で、汎用的なアプリケーションで「オフィスカラー」を指定しても無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

1 印刷したいファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

3 [カラー] パネルで [グラフィックプロ] を選択します。

4 [詳細] ボタンをクリックし、[グラフィックプロ詳細設定] ダイアログ内 [黒の生成] および [テキストとグラフィックスに純ブラックを使用] で適当な項目を選択します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の [詳細を表示] ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、[プリンタ] メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

5 印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

モノクロ（白黒）で印刷する

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

! 注

- 「モノクロ」を指定して印刷した後にカラー印刷を行なうとき、定着器の温度調整により待ち時間が発生することがあります。

■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［カラー］タブの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。

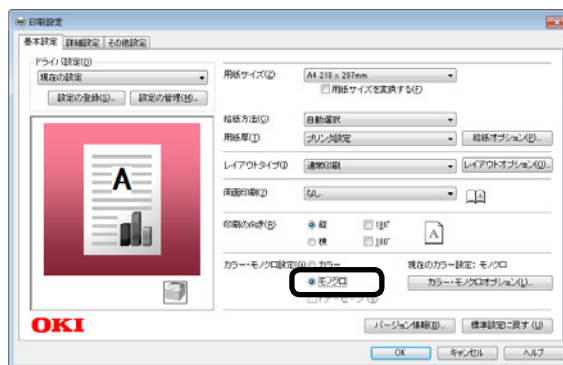
5 印刷します。

■ Windows PCL プリンタードライバーの場合

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［基本設定］タブのモノクロを選択します。

5 ［OK］をクリックします。

■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［カラー］パネルで［モノクロ］を選択します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

4 印刷します。

文字と背景の間の白すじを目立たなくする（ブラックオーバープリント）

黒 100% の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷（オーバープリント）することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

注

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒 100% でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、Windows XP/Windows Server 2003 で Microsoft Office アプリケーションを使用する場合、True Type フォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合は装置内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合（トナー層厚として 240% を超える場合）にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン 50%、マゼンタ 50%、イエロー 50% の背景色の上に黒 100% の文字を描画すると、トナー層厚は 50+50+50+100=250% となり、240% を超えることになります。

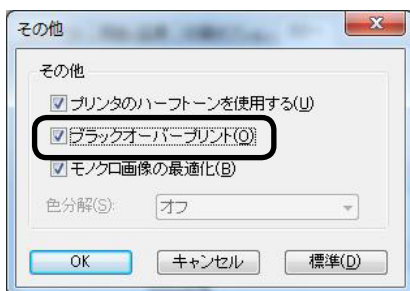
■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［カラー］タブの［その他］をクリックします。

5 ［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

6 印刷します。

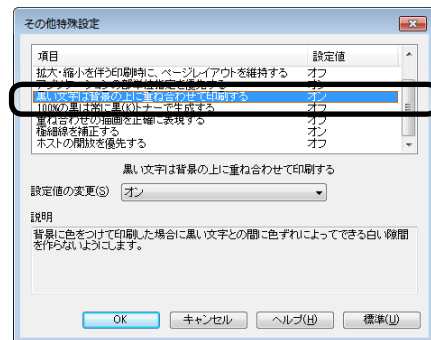
■ Windows PCL プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［詳細設定］タブの［その他特殊設定］をクリックします。

5 ［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］を選択し、設定値の変更で［ オン ］を選択し、［OK］をクリックします。

6 印刷します。

■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［カラー］パネルの［その他］ボタンをクリックし、［その他］ダイアログ内の［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

4 印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 アクセス制御／ユーザー認証
付録
索引

印刷結果をシミュレートする

CMYK カラーデータを調整してオフセット印刷等で使用されるインクの特性を本機でシミュレートします。

注

- Windows PCL ドライバーでは利用できません。
- Mac OS X プリンタードライバーでは、アプリケーションによっては利用できないことがあります。
- ［印刷モード］が［オフィスカラー］、または［グラフィックプロ］のとき有効になります。

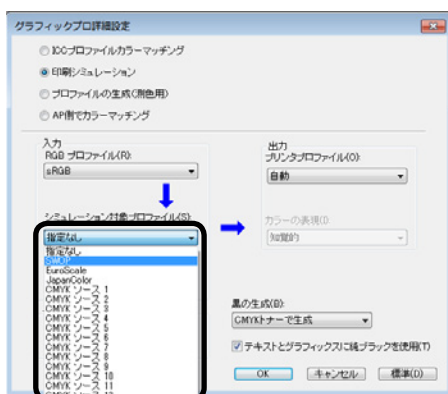
■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

4 ［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。

5 ［印刷シミュレーション］を選択し、［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

メモ

- ビジネス文書などの場合、手順 4、5 で［カラー］タブの［オフィスカラー］を選択して［詳細］をクリックし、［CMYK シミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

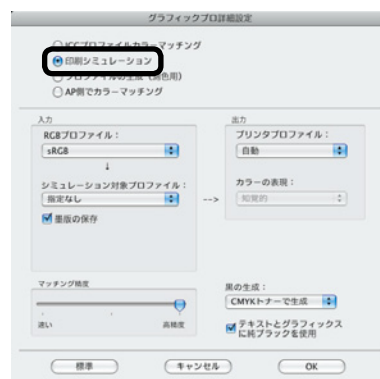
6 印刷します。

■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［カラー］パネルで［グラフィックプロ］を選択します。

4 ［詳細］ボタンをクリックし、［グラフィックプロ詳細設定］ダイアログ内の［カラーマッチングタスク］で［印刷シミュレーション］を選択します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

5 ［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

メモ

- ビジネス文書などの場合、手順 3、4、5 で［カラーオプション］機能セットの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［オフィスカラー］機能セットの、［CMYK シミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

6 印刷します。

色分解して印刷する（分版印刷）

アプリケーションが分版印刷の機能を持っていなくても、シアン、マゼンタ、イエロー、黒の４色に色分解印刷を行うことができます。

! 注

- Windows PCL ドライバーでは利用できません。
- Adobe Illustrator を使用する場合は、アプリケーションの分版印刷機能を使用してください。プリンタードライバーの設定はカラーマッチングオフにしてください。

メモ

- 色分解の機能は版下作成用です。指定された各原色の版を黒トナーで印刷します。それぞれの原色インクで印刷する機能ではありません。

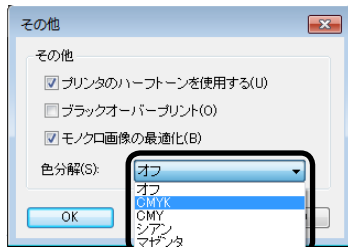
■ Windows PS プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

3 ［詳細設定］をクリックします。

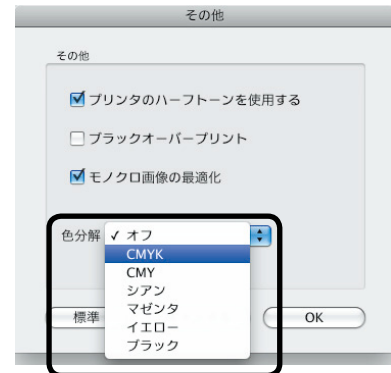
4 ［カラー］タブの［その他］ボタンをクリックします。

5 ［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

6 印刷します。

■ Mac OS X プリンタードライバーをお使いの方

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

3 ［カラー］パネルの［その他］ボタンをクリックし、［その他］ダイアログ内の［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

メモ

- Mac OS X 10.7 で、プリントダイアログに詳細設定が表示されていない場合は、ダイアログ下部の［詳細を表示］ボタンをクリックしてください。
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが２つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［プリンタ］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

4 印刷します。

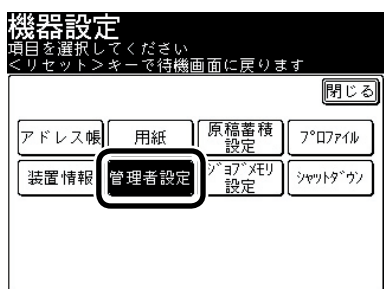
7
機器設定 / レポート印刷

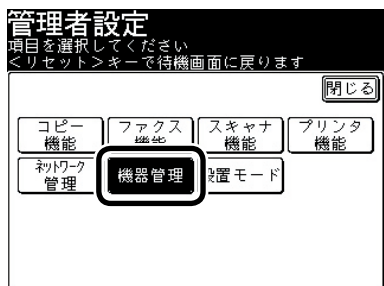
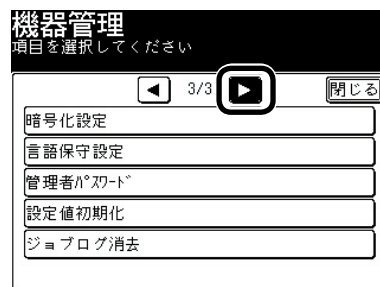
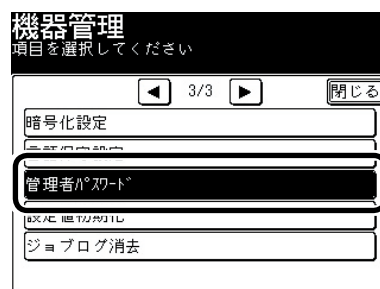
操作パネルで設定を変更する

管理者パスワードを変更する

管理者パスワードを変更します。工場出荷時の設定では、[aaaaaa] になっています。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

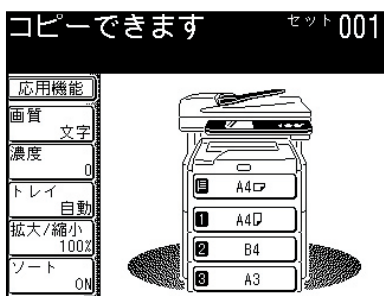
2 [管理者設定] を押します。

3 管理者パスワードを入力し、[確定] を押します。

4 [機器管理] を押します。

5 [▶] を 2 回押し、[機器管理] 画面 [3/3] を表示します。

6 [管理者パスワード] を押します。

7 新しいパスワードを入力し、[確定] を押します。

注

- パスワードは 6 文字以上で設定してください。

8 新しいパスワードを再入力し、[確定] を押します。

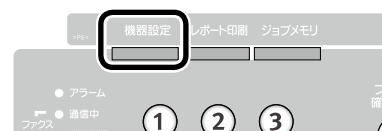
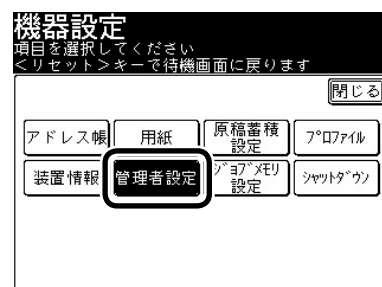
9 <リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

節電モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を設定する

節電モードに入るまでの時間を設定できます。

設定された時間、装置を使用しないと節電モードになります。

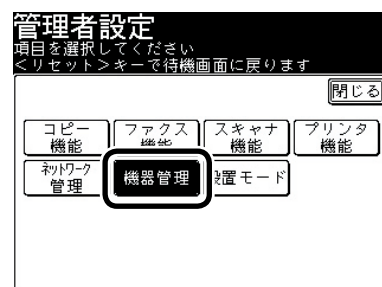
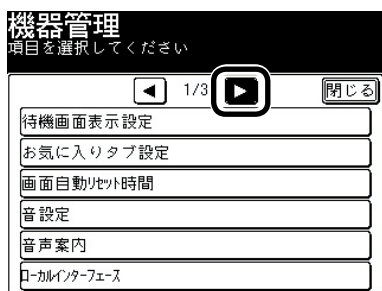
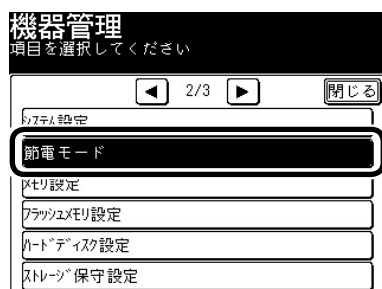
工場出荷時の設定では、「5 分」になっています。

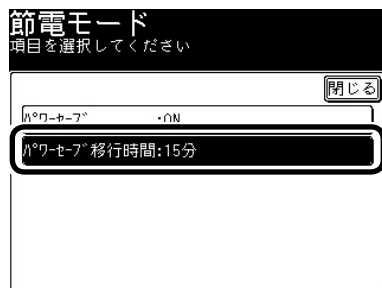
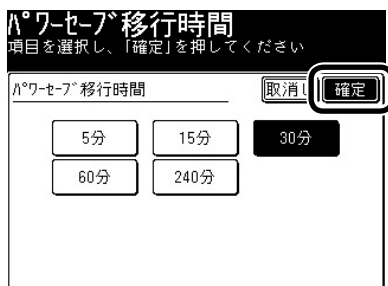
省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

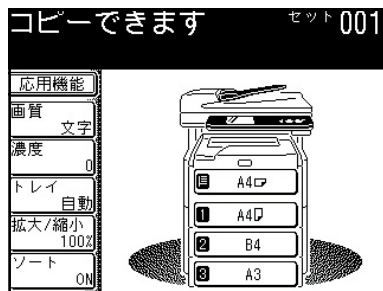
1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［▶］を 1 回押し、［機器管理］画面［2/3］を表示します。

6 ［節電モード］を押します。

7 ［パワーセーブ］が［ON］になっていることを確認します。［OFF］になっている場合は、［パワーセーブ］を押して［ON］を選択し、［確定］を押します。

8 ［パワーセーブ移行時間］をクリックします。

9 設定したい時間を選択し、［確定］を押します。

10 <リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

機器設定画面の設定項目一覧

機器設定画面

項　目	内　容
アドレス帳	アドレス帳を作成、編集します。
用紙	トレイの用紙設定をします。
原稿蓄積設定	原稿読取データの蓄積設定をします。
プロファイル	プロファイルを作成、編集します。
装置情報	装置情報を確認します。
管理者設定	管理者設定をします。
ジョブメモリ設定	ジョブメモリ設定をします。
シャットダウン	シャットダウンをします。

[アドレス帳] を押したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
E メールｱﾄﾞﾚｽ	登録 / 変更	名前	相手先名を入力します。 半角では 16 文字、全角では 8 文字まで登録できます。
		読み仮名	読み仮名を入力します。 半角英数字および半角カタカナで 8 文字まで登録できます。
		ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	E メールアドレスを入力します。 半角英数字で 80 文字まで登録できます。
		ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	グループを選択します。
	削除		アドレスを削除します。
	削除して繰り上げ		アドレスを削除して順番を繰上げます。
	挿入		アドレスを挿入します。
	グループ	名称	グループ名を設定します。 半角では 16 文字、全角では 8 文字まで登録できます。
		ｱﾄﾞﾚｽ番号	アドレス番号を選択します。 1 グループに 256 件の登録が可能です。
短縮ダイヤル ※通信予約されている状態では、短縮ダイヤルの変更削除は行えません。	登録 / 変更	相手先番号	相手先番号を入力します。 最大 40 桁まで登録できます。
		相手先名	相手先名を入力します。 半角では 24 文字、全角では 12 文字まで入力できます。
		読み仮名	読み仮名を入力します。 半角英数字および半角カタカナで 8 文字まで登録できます。
		ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号	グループを選択します。
	削除		アドレスを削除します。
	削除して繰り上げ		アドレスを削除して順番を繰上げます。
	挿入		アドレスを挿入します。
	グループ	名称	グループ名を設定します。 半角では 16 文字、全角では 8 文字まで登録できます。
		短縮ダイヤル	短縮ダイヤルを選択します。 1 グループに 500 件の登録が可能です。

［用紙］を押したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
トレイ 1	用紙サイズ		カセットサイズ カスタム	用紙サイズを選択します。
	カスタムサイズ	幅	105 mm ≀ 210 mm ≀ 297 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			4.1 inch ≀ 8.3 inch ≀ 11.7 inch	
		長さ	148 mm ≀ 297 mm ≀ 431 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			5.8 inch ≀ 11.7 inch ≀ 17.0 inch	
	用紙種類		普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 粗い紙 特殊用紙 USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	用紙種類を選択します。 USERTYPE 1 ～ 5 は、登録されているもののみが表示されます。
	用紙厚		普通紙 厚い紙 より厚い紙	用紙の厚さを選択します。 ごく厚い紙は設定出来ません。
	リーガルサイズ		リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13	リーガルサイズを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
トレイ 2	用紙サイズ		カセットサイズ カスタム	用紙サイズを選択します。
	カスタムサイズ	幅	148 mm ～ 210 mm ～ 297 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
			5.8 inch ～ 8.3 inch ～ 11.7 inch	
		長さ	182 mm ～ 297 mm ～ 431 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
			7.2 inch ～ 11.7 inch ～ 17.0 inch	
	用紙種類		普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	用紙種類を選択します。 USERTYPE 1 ～ 5 は、登録されているもののみが表示されます。
	用紙厚		普通紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙	用紙の厚さを選択します。
	リーガルサイズ		リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13	リーガルサイズを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
トレイ 3	用紙サイズ		カセットサイズ カスタム	用紙サイズを選択します。
	カスタムサイズ	幅	148 mm ~ 210 mm ~ 297 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
			5.8 inch ~ 8.3 inch ~ 11.7 inch	
		長さ	182 mm ~ 297 mm ~ 431 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
			7.2 inch ~ 11.7 inch ~ 17.0 inch	
	用紙種類		普通紙 レターヘッド ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	用紙種類を選択します。 USERTYPE 1 ~ 5 は、登録されているもののみが表示されます。
	用紙厚		普通紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙	用紙の厚さを選択します。
	リーガルサイズ		リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13	リーガルサイズを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
MP トレイ	用紙サイズ		A3 A4 A4 A5 A6 B4 B5 B5 リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13 タブロイド * レター レター エグゼクティブ カスタム COM-10 DL C5 C4 はがき 往復はがき 長形 3 号封筒 洋形 0 号封筒 洋形 4 号封筒 角形 2 号封筒 角形 3 号封筒 インデックスカード *	用紙サイズを選択します。 * タブロイドとインデックスカードは、Web ブラウザー上から選択できます。パネル上からは選択できません。
	カスタムサイズ	幅	64 mm ～ 210 mm ～ 297 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			2.5 inch ～ 8.3 inch ～ 11.7 inch	
		長さ	105 mm ～ 297 mm ～ 1200 mm	用紙サイズでカスタムを選択時のみ設定可能です。 （システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。）
			4.1 inch ～ 11.7 inch ～ 47.2 inch	

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
MP トレイ	用紙種類		普通紙 レターヘッド OHP ラベル紙 ボンド紙 再生紙 厚紙 粗い紙 特殊用紙 USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	用紙種類を選択します。 USERTYPE 1 ～ 5 は、登録されているもののみが表示されます。
	用紙厚		普通紙 厚い紙 より厚い紙 ごく厚い紙	用紙の厚さを選択します。
印刷トレイ指定	ファクス	トレイ 1	ON OFF ON（優先）	受信原稿の印刷に使用するトレイを選択します。
		トレイ 2	ON OFF ON（優先）	
		トレイ 3	ON OFF ON（優先）	
		MP トレイ	ON OFF ON（優先）	
	コピー	トレイ 1	ON OFF ON（優先）	自動トレイ選択時に使用するトレイを選択します。
		トレイ 2	ON OFF ON（優先）	
		トレイ 3	ON OFF ON（優先）	
		MP トレイ	ON OFF ON（優先）	
両面最終ページ			常時印刷 白紙スキップ	白紙スキップの場合、奇数ページのデータを両面印刷する時に、最終ページを片面印刷します。 常時印刷の場合、両面印刷を指定して印刷する時は、常に両面印刷します。 アプリケーションによっては動作しない場合があります。

[原稿蓄積設定] を押したとき

項　目	内　容
蓄積	掲示板へ原稿を蓄積します。「掲示板ボックスに原稿を蓄積する」（P.118）をご覧ください。
削除	蓄積原稿を削除します。「掲示板ボックスに蓄積された原稿を削除する」（P.120）をご覧ください。
印刷	蓄積原稿を印刷します。「蓄積された原稿を印刷する」（P.119）をご覧ください。

[プロファイル] を押したとき

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
登録 / 変更	プロファイル名		プロファイル名を入力します。 半角では 16 文字、全角では 8 文字まで登録できます。
	プロトコル	CIFS FTP HTTP	ファイル格納に使用するプロトコルを選択します。
	対象 URL		サーバーアドレスと、スキャンデータを保存するディレクトリーを指定します。 半角では 144 文字、全角では 72 文字まで登録できます。
	ポート番号	1 ～ 445（CIFS） ～ 65535	ポート番号を設定します。
	FTP Passive モード	OFF ON	FTP の Passive モードの有効 / 無効を選択します。 プロトコルで“FTP”を選択した場合のみ表示されます。
	ユーザー名		サーバーへのログインに使用するユーザー名を入力します。 半角英数字で 32 文字まで登録できます。
	パスワード		サーバーへのログインに使用するパスワードを入力します。 半角英数字で 32 文字まで登録できます。
	ホスト側漢字コード	EUC Shift-JIS UTF-8	ホスト側漢字コードを選択します。 プロトコルで FTP を選択した場合のみ表示されます。
	CIFS 文字セット	UTF-16 Shift-JIS	使用する文字コードを選択します。 プロトコルで CIFS を選択した場合のみ表示されます。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
登録 / 変更	通信の暗号化		(FTP) None Implicit Explicit (HTTP) None HTTPS STARTTLS	通信の暗号化方法を選択します。 選択されているプロトコルに応じて選択肢が変化します。 CIFS は暗号化を選択出来ません。
	ファイル名			イメージファイル名を入力します。 半角では 64 文字、全角では 32 文字まで入力できます。
	画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿の画質を設定します。
		背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	原稿の背景(下地)色・裏写りが目立たないように設定します。
	濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿読み取りの濃度を設定します。
	解像度		75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	読み取り解像度を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
登録 / 変更	読取サイズ		自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズを設定します。
	グレースケール		ON OFF	ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF:原稿をモノクロ(白黒)2 値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(グレースケール)	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ(グレースケール)でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
		モノクロ(2 値)	PDF TIFF	モノクロ（2 値）でのスキャン時のファイルフォーマットを設定します。
	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率を設定します。
		モノクロ(グレースケール)	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON(モノクロ(グレースケール))の時の圧縮率を設定します。
		モノクロ(2 値)	高（G4） 中（G3） Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF(モノクロ(2値))の時の圧縮率を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
登録 / 変更	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかを設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
		消し幅	5 ～ 50mm (1mm/Step) 0.2 ～ 2.0inch (0.1inch/Step)	枠消去の消し幅を設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかを設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm (1mm/Step) 0.1 ～ 2.0inch (0.1inch/Step)	センター消去の消し幅を設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	原稿のコントラストを設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	カラー原稿の色相を設定をします。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
	彩度調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	カラー原稿の彩度を設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
	赤・緑・青色調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱を設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
削除				プロファイルを削除します。

[装置情報] を押したとき

項　目			内　容
印刷カウンタ	印刷カウンタ	トレイ 1 ページカウント : nnnnnnnn	トレイ 1 の総給紙枚数を表示します。
		トレイ 2 ページカウント : nnnnnnnn	トレイ 2 の総給紙枚数を表示します。
		トレイ 3 ページカウント : nnnnnnnn	トレイ 3 の総給紙枚数を表示します。
		MP トレイ ページカウント : nnnnnnnn	MP トレイの総給紙枚数を表示します。
	A4/ レター換算カウンタ	カラーカウント : nnnnnnnn	A4/ レター換算したカラーの総印刷ページ数を表示します。
		モノクロカウント : nnnnnnnn	A4/ レター換算したモノクロの総印刷ページ数を表示します。
スキャナカウンタ	スキャンページ数累計	nnnnnnnn	総読み取り原稿枚数を表示します。
	スキャンページ数	nnnnnnnn	読み取り原稿枚数を表示します。
	自動給紙スキャンページ数累計	nnnnnnnn	自動原稿送り装置からの総読み取り原稿枚数を表示します。
	自動給紙スキャンページ数	nnnnnnnn	自動原稿送り装置からの読み取り原稿枚数を表示します。
消耗品残量	ブラックドラム	残り xxx%	ブラックのイメージドラムの残寿命を表示します。
	シアンドラム	残り xxx%	シアンのイメージドラムの残寿命を表示します。
	マゼンタドラム	残り xxx%	マゼンタのイメージドラムの残寿命を表示します。
	イエロードラム	残り xxx%	イエローのイメージドラムの残寿命を表示します。
	ベルト	残り xxx%	ベルトユニットの残寿命を表示します。
	定着器	残り xxx%	定着器の残寿命を表示します。
	ブラックトナー (n.nK) *	残り xxx%	トナーの残量を % 表示します。 *: 取り付けているトナーカートリッジの種類によって変わります。 (2.3K) : スタータートナーカートリッジ (7.0K) : トナーカートリッジ (2.5K) : トナーカートリッジ S タイプまたは、イメージドラムに添付のトナーカートリッジ
	シアントナー (n.nK) *	残り xxx%	
	マゼンタトナー (n.nK) *	残り xxx%	
	イエロートナー (n.nK) *	残り xxx%	
ｼｽﾃﾑ情報	ｼﾘｱﾙ番号	xxxxxxxx xxxxxxxx	シリアルナンバー（最大 16 文字の英数字）を示します。
	管理番号	xxxxxxxx	アセット番号（最大 8 文字の英数字）を示します。
	ﾛｯﾄ番号	xxxxxxxx xxxxxxxx	ロット番号（最大 16 文字の英数字）を示します。
	CU ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx	CU（Control Unit）ファームウェアの版数を示します。
	PU ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx.xx	PU（Print Unit）ファームウェアの版数を示します。
	SIP ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx	SIP（Scanner Imaging Processor）の制御用ファームウェアのバージョンを表示します。
	ｽｷｬﾅ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx	スキャナーのファームウェアの版数を示します。
	ﾒﾓﾘ容量	xx MB	搭載されている全ての RAM のサイズを合計した値を示します。
	ﾌﾗｯｼｭﾒﾓﾘ情報	xx MB [Fxx]	搭載されている全てのフラッシュメモリーのサイズを合計した値を示します。

項　目			内　容
ﾈｯﾄﾜｰｸ	IPv4 ｱﾄﾞﾚｽ	xxx.xxx.xxx.xxx	「管理者設定」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ管理」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ設定」-「TCP/IP」が "無効"、あるいは [IP バージョン] が "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	xxx.xxx.xxx.xxx	「管理者設定」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ管理」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ設定」-「TCP/IP」が "無効"、あるいは [IP バージョン] が "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ	xxx.xxx.xxx.xxx	「管理者設定」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ管理」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ設定」-「TCP/IP」が "無効"、あるいは [IP バージョン] が "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	MAC ｱﾄﾞﾚｽ	xx:xx:xx:xx:xx:xx	MAC アドレスを表示します。
	NIC ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	xx.xx	ネットワーク F/W のバージョンを表示します。
	IPv6 ｱﾄﾞﾚｽ（ﾛｰｶﾙ）	xxxx:xxxx:xxxx: xxxx:xxxx:xxxx	「管理者設定」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ管理」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ設定」-「TCP/IP」が "無効"、あるいは「IP バージョン」が "IPv4" の場合、本メニューは表示されません。
	IPv6 ｱﾄﾞﾚｽ（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ）	xxxx:xxxx:xxxx: xxxx:xxxx:xxxx	「管理者設定」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ管理」-「ﾈｯﾄﾜｰｸ設定」-「TCP/IP」が "無効"、あるいは「IP バージョン」が "IPv4" の場合、本メニューは表示されません。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

[管理者設定] を押したとき

注
- このメニューに入るには、[管理者パスワード] の入力が必要です。
- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは [aaaaaa] になっています。

■ コピー機能

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
コピー初期値	画質	画質	文字 文字 / 写真 写真 高精細	画質の初期値を設定します。
		背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	背景・裏写り除去の初期値を設定します。
	濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	濃度の初期値を設定します。
	拡大 / 縮小		100% 自動	拡大 / 縮小の初期値を設定します。
	ソート		ON OFF	コピーをページ順にそろえるかの初期値を設定します。
	とじしろ	設定	ON OFF	とじしろの有効 / 無効の初期値を設定します。
		左幅（表面）	0 ～± 25mm (1mm step) 0 0 ～± 1.0inch (0.1inch step)	表面のコピー出力画の右方向への移動幅の初期値を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
		上幅（表面）	0 ～± 25mm (1mm step) 0 0 ～± 1.0inch (0.1inch step)	表面のコピー出力画の下方向への移動幅の初期値を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
		左幅（裏面）	0 ～± 25mm (1mm step) 0 0 ～± 1.0inch (0.1inch step)	裏面のコピー出力画の右方向への移動幅の初期値を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
		上幅（裏面）	0 ～± 25mm (1mm step) 0 0 ～± 1.0inch (0.1inch step)	裏面のコピー出力画の下方向への移動幅の初期値を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
コピー初期値	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかの初期値を設定します。
		消し幅	5 ～ 50mm (1mm step) 0.2 ～ 2.0inch (0.1inch step)	枠消去の消し幅の初期値を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	センター消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかの設定します。 初期値は「管理者設定」メニューで設定した値になります。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm (1mm step) 0.1 ～ 2.0inch (0.1inch step)	センター消去の消し幅の初期値を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	両面	ｺﾋﾟｰ方法	OFF 片面 -> 両面 両面 -> 両面 両面 -> 片面	両面コピーの種類の初期値を設定します。
		とじ位置、原稿のとじ	左右とじ 上とじ	原稿のとじ位置の初期値を設定します。
	ミックス原稿		ON OFF	大きさの違う原稿をそれぞれのサイズの用紙にコピーするかの初期値を設定します。
	読取サイズ		自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズの初期値を設定します。
	継続読取		ON OFF	次原稿の有無を問い合わせるかの初期値を設定します。
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストの初期値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
コピー初期値	色相調整	-3 -2 -1 **0** +1 +2 +3	色相調整の初期値を設定をします。
	彩度調整	-3 -2 -1 **0** +1 +2 +3	彩度調整の初期値を設定します。
	赤・緑・青色調整	-3 -2 -1 **0** +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱の初期値を設定します。

■ ファクス機能

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
送信初期値	画質	**標準** 高画質 超高画質 写真 背景除去	原稿読み取り画質の初期値を設定します。
	濃度	濃く やや濃く **普通** やや薄く 薄く	原稿読み取り濃度の初期値を設定します。
	読取サイズ	**自動** A3 B4 A4 A4 B5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読取サイズの初期値を設定します。
	継続読取	ON **OFF**	次原稿の有無を問い合わせるかの初期値を設定します。
	発信元名	**ON** OFF	相手先の受信原稿にこちらの発信元名を印刷するかの初期値を設定します。
	送信確認証	ON **OFF**	送信結果を自動印字するかの初期値を設定します。
	メモリ送信	**ON** OFF	メモリー送信の初期値を設定します。 OFF にするとリアルタイム送信になります。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容	
F コードボックス	登録 / 変更	親展ボックス	ボックス名	親展ボックス名を入力します。	
			サブアドレス	親展ボックスのサブアドレスを入力します。 1 文字以上最大 20 文字、'0' - '9'，'#'，'*'	
			パスワード	親展ボックスのパスワードを入力します。 1 文字以上最大 20 文字、'0' - '9'，'#'，'*'	
			保存期間	00-31 日	
			暗証番号	親展ボックスの暗証番号を入力します。 4 文字固定、'0' - '9' (数字のみ)	
		掲示板ボックス	ボックス名	掲示板ボックス名を入力します。 半角最大 16 文字、全角最大 8 文字 （文字数は親展と同じ)	
			サブアドレス	掲示板ボックスのサブアドレスを入力します。 1 文字以上最大 20 文字、'0' - '9'，'#'，'*'	
			パスワード	掲示板ボックスのパスワードを入力します。 1 文字以上最大 20 文字、'0' - '9'，'#'，'*'	
			受信禁止	OFF / ON	ON に設定した場合、F コード掲示板受信を禁止する。掲示板ポーリング送信のみを許可します。
			同時印刷	OFF / ON	ON に設定した場合は、F コード掲示板受信完了時に、自動的に受信画データの印刷を行います。
			上書き許可	OFF / ON	ON に設定した場合、上書き方式として、掲示板受信時にすでに保存されているすべての画データを消去して、新たな画データを保存します。
			送信後原稿消去	OFF / ON	ON に設定した場合、F コード掲示板ポーリング送信にて相手側に送信した保存画データを削除します。
			暗証番号	掲示板ボックスの暗証番号を入力します。	
	削除			F コードボックスを削除します。	
セキュリティ機能	ID チェック送信		ON OFF	ID チェック送信を設定します。	
	同報宛先確認		ON OFF	送信を始める前に相手先番号を表示するか設定します。	
	ﾀﾞｲﾔﾙ 2 度押し		ON OFF	ダイヤル 2 度押しを設定します。	
通信管理レポート自動印刷	設定		ON OFF	通信管理レポート自動印刷を設定します。	
	時刻指定		ON OFF	指定時刻の入力をします。	

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
その他の設定	リダイヤル回数		0 回 ～ 3 回 ～ 15 回	リダイヤル回数を設定します。
	リダイヤル間隔		0 分 ～ 1 分 ～ 5 分	リダイヤル間隔を設定します。
	ダイレクトメール防止	設定	OFF モード 1 モード 2 モード 3	ダイレクトメール防止の設定をします。
		登録 / 変更		モード 2、モード 3 の登録と変更をします。
		削除		モード 2、モード 3 の登録データを削除します。
	呼出ベル回数		0 回 ～ 2 回 ～ 10 回	呼出しベル回数を設定します。
	ポーズ時間		0 秒 ～ 3 秒 ～ 10 秒	ダイヤルポーズ時間を設定します。
	超高画質解像度		400 dpi 600 dpi	超高画質解像度の解像度を設定します。
	受信縮小率		自動 100%	受信縮小率を設定します。
	しきい値		0 mm ～ 24 mm ～ 85 mm	受信縮小のしきい値を設定します。
	回転送信		ON OFF	回転送信を設定します。
	ECM モード		ON OFF	ECM モードの設定をします。
	プレフィクス		0000	プレフィックスを設定します。 最大 40 桁
	受信タイムスタンプ		ON OFF	受信タイムスタンプの設定をします。
	チェックメッセージ印刷		ON OFF	チェックメッセージ印刷を設定します。

■スキャナ機能

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
スキャン初期値 （ScanTo メール、ScanTo USB メモリ共通）	画質	画質	文字 文字 / 写真 写真	原稿読み取り画質の初期値を設定します。
		背景・裏写り除去	自動 OFF 1 2 3 4 5 裏写	背景・裏写り除去の初期値を設定します。
	濃度		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	濃度の初期値を設定します。
	解像度		75 dpi 100 dpi 150 dpi 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	解像度の初期値を設定します。
	読取サイズ		自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5 レター レター タブロイド リーガル 14 ハーフレター	原稿読み取りサイズの初期値を設定します。
	継続読取		ON OFF	次原稿の有無を問い合わせるかの初期値を設定します。
	読取向き		左端 上端	原稿の載置方向と画像の向きの初期値を設定します。 左端：読取開始位置を取り込んだ画像の上端に定義します。 上端：読取開始位置を取り込んだ画像の左端に定義します。
	グレースケール		ON OFF	グレースケールの初期値を設定します。 ON: 原稿をモノクロ 255 階調で読み込みます。 OFF: 原稿をモノクロ（白黒）2 値で読み込みます。
	ファイル形式	カラー	PDF TIFF JPEG XPS	カラーでのスキャン時のファイルフォーマットの初期値を設定します。
		モノクロ（グレースケール）	PDF TIFF JPEG XPS	モノクロ（グレースケール）でのスキャン時のファイルフォーマットの初期値を設定します。
		モノクロ（2 値）	PDF TIFF	モノクロ（2値）でのスキャン時のファイルフォーマットの初期値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
スキャン初期値 (ScanTo メール、ScanTo USB メモリ共通)	圧縮レベル	カラー	高 中 低	カラーでのスキャン時の圧縮率の初期値を設定します。
		モノクロ(グレースケール)	高 中 低	モノクロでのスキャンでグレースケールが ON（モノクロ(グレースケール)）の時の圧縮率の初期値を設定します。
		モノクロ(2 値)	高 (G4) 中 (G3) Raw 形式	モノクロでのスキャンでグレースケールが OFF(モノクロ(2値))の時の圧縮率の初期値を設定します。
	枠消去	設定	ON OFF	見開き原稿の周囲に出来る影を消すかの初期値を設定します。
		消し幅	5 ～ 50mm (1mm step) 0.2 ～ 2.0inch (0.1inch step)	枠消去の消し幅の初期値を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	ｾﾝﾀｰ消去	設定	ON OFF	見開き原稿の中央に出来る影を消すかの初期値を設定します。
		ｾﾝﾀｰ消し幅	1 ～ 50mm (1mm step) 0.1 ～ 2.0inch (0.1inch step)	センター消去の消し幅の初期値を設定します。 (システム設定の表示単位を変更することにより mm とインチを切替えて表示することが出来ます。)
	コントラスト		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	コントラストの初期値を設定します。
	色相調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	色相の初期値を設定をします。
	彩度調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	彩度の初期値を設定します。
	赤・緑・青色調整		-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	赤・緑・青色の強弱の初期値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
メール設定	ファイル名	ファイル名	イメージファイル名の初期値を設定します。
	メール編集定型文	件名編集	件名を登録 / 編集します。
		本文編集	本文を登録 / 編集します。
	送信者 / 返信先	送信者	From 欄に付与する E メールアドレスを登録します。
		返信先	Reply to 欄に付与する E メールアドレスを登録します。
	同報宛先確認	ON OFF	同報送信を始める前に、入力した E メールアドレスを確認する画面を表示するかを設定します。
USB メモリ設定	ファイル名	ファイル名	ファイル名の初期値を設定します。 ファイル名として以下のオプションを指定出来ます。 #n:00000 ～ 99999 の連番を付与 #d: ファイル作成日時を付与 （yymmddhhmmss）

■ プリンタ機能

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
印刷メニュー	トレイ構成	給紙トレイ	トレイ 1 トレイ 2 トレイ 3 MP トレイ	給紙トレイを指定します。 トレイ 2/3 は実装時のみ表示されます。
		自動トレイ切替	OFF ON	自動トレイ切り替え機能を設定します。
		トレイ選択順序	下方向 上方向 給紙トレイ	自動トレイ選択 / 自動トレイ切り換え時の、選択順序プライオリティを指定します。
		MP トレイ使い方	用紙違いのとき 使用しない	MP トレイの使い方を設定します。
		用紙チェック	有効 無効	印刷データの用紙サイズとトレイの用紙サイズの不整合をチェックするか否かを設定します。
	印刷設定	コピー枚数	1 ～ 999	コピー枚数を設定します。 ローカル印刷には、デモデータを除き、本設定は無効です。
		両面印刷	ON OFF	両面印刷を指定します。
		とじ方	横とじ 縦とじ	両面印刷のとじ方を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
印刷 メニュー	印刷設定	解像度	600DPI 600x1200DPI 600DPI M-LEVEL	解像度の初期値を設定します。
		トナーセーブモード	ON OFF	トナーセーブモードの有効 / 無効を切り替えます。
		モノクロ印刷速度	自動 34PPM 30PPM カラー速度	モノクロ印刷速度を設定します。
		印刷方向	縦方向 横方向	印刷方向を設定します。
		1 ページ行数	5 行 ～ 64 行 ～ 128 行	1 ページに印字可能な行数を設定します。
		編集サイズ	カセットサイズ A3 A4 A4 A5 A6 B4 B5 B5 リーガル 14 リーガル 13.5 リーガル 13 タブロイド * レター レター エグゼクティブ カスタム COM-10 DL C5 C4 はがき 往復はがき 長形 3 号封筒 洋形 0 号封筒 洋形 4 号封筒 角形 2 号封筒 角形 3 号封筒 インデックスカード *	コンピューターから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙の編集サイズを設定します。[カセット　サイズ] を選択すると、現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。 * タブロイドとインデックスカードは、Web ブラウザー上から選択できます。パネル上からは選択できません。
		用紙幅	64 ～ 210 ～ 297 mm 2.5 ～ 8.3 ～ 11.7 inch	カスタム用紙の用紙幅の初期値を設定します。
		用紙長さ	105 ～ 297 ～ 1200 mm 4.1 ～ 11.7 ～ 47.2 inch	カスタム用紙の用紙長の初期値を設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
印刷メニュー	印刷補正	ﾏﾆｭｱﾙﾀｲﾑｱｳﾄ	無効 30 秒 60 秒	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。
		ﾀｲﾑｱｳﾄ印刷	無効 5 秒 10 秒 20 秒 30 秒 40 秒 50 秒 60 秒 90 秒 120 秒 150 秒 180 秒 210 秒 240 秒 270 秒 300 秒	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。 PS はジョブをキャンセルします。
		ﾄﾅｰ不足時の印刷	継続 中止	[トナー不足] が初めて表示されたときに印刷を継続するかどうか設定します。 中止の場合は [***　トナー不足] (*** はトナー色) が表示されると印刷を停止します。
		ｼﾞｬﾑﾘｶﾊﾞｰ	有効 無効	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうかを設定します。
		普通紙ブラック設定	+2 +1 0 -1 -2	温度差による印字のばらつきを補正します。 かすれる場合に値を変更します。
		普通紙カラー設定	+2 +1 0 -1 -2	温度差による印字のばらつきを補正します。 かすれる場合に値を変更します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
印刷メニュー	印刷補正	OHP ブラック設定	+2 +1 0 -1 -2	温度差による印字のばらつきを補正します。 OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。
		OHP カラー設定	+2 +1 0 -1 -2	温度差による印字のばらつきを補正します。 OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。
		SMR 設定	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	温湿度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。画質にむらがある場合に値を変更します。
		BG 設定	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	温湿度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。下地が濃い場合に値を変更します。
	印刷位置補正	X 補正	0 ～± 2.00 mm (0.25mm Step)	印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します。
		Y 補正	0 ～± 2.00 mm (0.25mm Step)	印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向（縦方向）に補正します。
		両面印刷 X 補正	0 ～± 2.00 mm (0.25mm Step)	両面印刷の裏面印刷時に印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します。
		両面印刷 Y 補正	0 ～± 2.00 mm (0.25mm Step)	両面印刷の裏面印刷時に印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向（縦方向）に補正します。
	ドラムクリーニング		ON OFF	印刷前にイメージドラムのクリーニング動作を行います。 画質改善の効果がある場合があります。
	ヘキサダンプ		ON OFF	16 進ダンプで印刷します。16 進ダンプの印刷を終了するには、電源を OFF にします。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
カラーメニュー	濃度補正モード	自動 手動	装置で設定が必要または装置の設定が優先します。
	濃度補正	実行	濃度補正を実行します。
	調整パターン印刷	実行	カラー・パターン印刷を実行します。
	シアン 淡い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの淡い部分（Highlight）の色の調子を調整します。プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	シアン 中間部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの中間部（Mid-tone）の色の調子を調整します。
	シアン 濃い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃い部分（Dark）の色の調子を調整します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
カラーメニュー	マゼンタ 淡い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの淡い部分（Highlight）の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	マゼンタ 中間部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの中間部（Mid-tone）の色の調子を調整します。
	マゼンタ 濃い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの濃い部分（Dark）の色の調子を調整します。
	イエロー 淡い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの淡い部分（Highlight）の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	イエロー 中間部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの中間部（Mid-tone）の色の調子を調整します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
カラーメニュー	イエロー濃い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの濃い部分（Dark）の色の調子を調整します。
	ブラック淡い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの淡い部分（Highlight）の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。
	ブラック中間部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの中間部（Mid-tone）の色の調子を調整します。
	ブラック濃い部分	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの濃い部分（Dark）の色の調子を調整します。
	シアン濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
カラーメニュー	マゼンタ濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。
	イエロー濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。
	ブラック濃度	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	ブラックの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。
	色ずれ補正	実行	このメニューを実行すると、装置は自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。
	シアン位置ずれ微調整	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	シアンの画像位置ズレを微調整します。
	マゼンタ位置ずれ微調整	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。
	イエロー位置ずれ微調整	+3 +2 +1 0 -1 -2 -3	イエローの画像位置ズレを微調整します。
	インクシミュレーション	OFF SWOP EUROSCALE JAPAN	インクシミュレーションを設定します。この設定は PS 言語ジョブに対してのみ有効です。
	UCR	少ない 普通 多い	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の 3 色のトナー量の節約になります。
	CMY100% 濃度	無効 有効	CMY100% 階調値に対する 100% 出力を有効とするかどうかを選択します。
	CMYK 変換	OFF ON	[OFF] にすると、ポストスクリプト印刷データの中で CMYK データを多用される場合に印字時間を短縮するのに有効です。ただし、印刷結果の色合いが変わります。また、インクシミュレーション機能を利用する場合にはこのメニュー設定は無効になります。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
システム構成メニュー	動作モード	自動 PCL PS3 エミュレーション	プリント言語を選択します。［自動］にするとプリント言語を自動切替えします。
	アラーム解除	手動 自動	PS: この設定によらずジョブ中のみエラーを表示します。 PCL: 復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 ［手動］は〈ストップ〉キーを押すまでエラーを表示します。 ［自動］は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。
	エラー自動解除	OFF ON	メモリーオーバフロー発生時、自動的に装置を復旧させるかを設定します。
	エラーレポート	OFF ON	ポストスクリプトエラーが発生したとき、エラーレポートを印刷するかどうか設定します。
PCL 設定	使用フォント	内蔵フォント 内蔵フォント 2	使用するフォントの場所を指定します。
	フォント No.	I0 ≀ I90 C1 ≀ C4	使用するフォントの番号を選択します。 ［内蔵フォント］が選択されている場合には、I0 ～ I90 が選択できます。 ［内蔵フォント 2］が選択されている場合には、C1 ～ C4 が選択できます。
	フォントピッチ	0.44 ≀ 10.00 ≀ 99.99CPI	フォントの幅を設定します。 0.01CPI 単位で増加 / 減少します。（単位 :character/inch） ［フォント No.］で選択されたフォントが固定スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。
	フォントサイズ	4.00 ≀ 12.00 ≀ 999.75 Point	フォントの高さを設定します。 0.25 ポイント単位で増加 / 減少します。（単位 : ポイント） ［フォント No.］で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。
	シンボルセット	PC-8 PC-8 Dan/Nor PC-8 TK PC-775 PC-850 PC-852 PC-855 PC-857 TK PC-858 PC-864 PC-866 PC-869 PC-1004 Pi Font	シンボルセットを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
PCL 設定	シンボルセット	Plska Mazvia PS Math PS Text Roman-8 Roman-9 Roman Ext Serbo Croat1 Serbo Croat2 Spanish Ukrainian VN Int'l VN Math VN US Win 3.0 Win 3.1 Blt Win 3.1 Cyr Win 3.1 Grk Win 3.1 Heb Win 3.1 L1 Win 3.1 L2 Win 3.1 L5 Wingdings Dingbats MS Symbol OCR-A OCR-B OKIOCRB HP ZIP USPSFIM USPSSTP USPSZIP Bulgarian CWI Hung DeskTop German Greek-437 Greek-437 Cy Greek-737 Greek-928 Hebrew NC Hebrew OC IBM-437 IBM-850 IBM-860	シンボルセットを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
PCL 設定	シンボルセット	IBM-863 IBM-865 ISO Dutch ISO L1 ISO L2 ISO L5 ISO L6 ISO L9 ISO Swedish1 ISO Swedish2 ISO Swedish3 ISO-2 IRV ISO-4 UK ISO-6 ASC ISO-10 S/F ISO-11 Swe ISO-14 JASC ISO-15 Ita ISO-16 Por ISO-17 Spa ISO-21 Ger ISO-25 Fre ISO-57 Chi ISO-60 Nor ISO-61 Nor ISO-69 Fre ISO-84 Por ISO-85 Spa Kamenicky Legal Math-8 MC Text MS Publish PC Ext D/N PC Ext US PC Set1 PC Set2 D/N PC Set2 US Win3.1 J	シンボルセットを選択します。
	A4 印字幅	78 桁 80 桁	A4 用紙の自動改行する桁数を設定します。
	白紙ページ除外	OFF ON	空白ページを印刷しないようにするかを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
PCL 設定	CR 動作		CR のみ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。
	LF 動作		LF のみ LF+CR	LF コード受信時の動作を設定します。
	印刷領域		ノーマル 1/5 インチ 1/6 インチ	用紙の印刷不可能領域を設定します。
	イメージ黒選択		単色黒 混合黒	イメージデータの黒を CMYK 混色で印刷するか、ブラックトナーのみで印刷するか設定します。
	ペン幅補正		OFF ON	細い線を見えるように補正します。PS には無効です。
	トレイ ID#	トレイ 2	1 ～ 5 ～ 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 2 指定の # を指定します。 ［トレイ 2］の表示条件：セカンドトレイユニットが取り付けられていること。
		トレイ 3	1 ～ 20 ～ 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ 3 指定の # を指定します。 ［トレイ 3］の表示条件：サードトレイユニットが取り付けられていること。
		MP トレイ	1 ～ 4 ～ 59	PCL コマンドでの給紙先指定コマンドで、MP トレイ指定の # を指定します。

■ネットワーク管理

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定	TCP/IP	有効 無効	TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	IP バージョン	IPv4 IPv4 + IPv6 IPv6*	使用する IP のバージョンを設定します。 TCP/IP が無効の場合は表示されません。*Telnet を使用してアクセスした場合のみ、"IPv6" を選択できます。他の手段からは選択できません。
	NetBEUI	有効 無効	NetBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	NetBIOS over TCP	有効 無効	NetBIOS over TCP プロトコルの有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	NetWare	有効 無効	NetWare プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	EtherTalk	有効 無効	EtherTalk プロトコルの有効 / 無効を設定します。
	フレームタイプ	自動 802.2 802.3 ETHERNET II SNAP	フレームタイプを設定します。 NetWare が無効の場合は表示されません。
	IP ｱﾄﾞﾚｽ設定	自動 手動	IP アドレスの設定方法を設定します。 TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	IPv4 ｱﾄﾞﾚｽ	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。 TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。 TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0	ゲートウェイアドレスを設定します。 TCP/IP が無効、あるいは IP バージョンが "IPv6" の場合、本メニューは表示されません。
	Web	有効 無効	Web ブラウザーからのアクセスの有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が無効の場合は本メニューは表示されません。
	Telnet	有効 無効	TELNET を使用したアクセスの有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が無効の場合は本メニューは表示されません。
	FTP	有効 無効	FTP でのアクセスの有効 / 無効を設定します。 TCP/IP が無効の場合は本メニューは表示されません。
	IPSec	有効 無効	IPSec が有効に設定されている場合のみ表示し、無効への変更のみ可能です。 IPSec を有効にするには、Web から設定を行います。
	SNMP	有効 無効	SNMP でのアクセスの有効 / 無効を設定します。 NETWARE が無効且つ、TCP/IP が無効の場合、本メニューは表示されません。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定	ネットワークの規模	普通 小規模	普通 : 一般的にはこの設定を使用してください。 スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピューターが 2, 3 台の小さな LAN に接続すると装置が起動する時間が長くなるデメリットがあります。 小規模 : コンピューターが 2, 3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
	ハブとの接続	自動 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUB との接続モードを設定します。 通常は「自動」に設定します。
	ﾈｯﾄﾜｰｸ PS- プロトコル	ASCII RAW	PS- プロトコルを設定します。
	出荷時設定に戻す	実行	ネットワーク、メールサーバー、LDAP サーバー、セキュアプロトコルサーバーの設定を工場出荷時の設定に戻します。
メール サーバ設定	SMTP ｻｰﾊﾞ	IP アドレスまたは、サーバー名	SMTP サーバーの IP アドレスもしくは、サーバー名を設定します。
	SMTP ﾎﾟｰﾄ	1 ≀ 25 ≀ 465（SMTPS） ≀ 65535	SMTP サーバーのポート番号を設定します。 通常は初期設定でご使用ください。
	SMTP 送信暗号化方式	None SMTPS STARTTLS	メールサーバー（SMTP）との通信の暗号化を設定します。
	POP3 ｻｰﾊﾞ	IP アドレスまたは、サーバー名	POP3 サーバーの IP アドレスもしくは、サーバー名を設定します。 「POP before SMTP」認証もしくは「メール受信印刷」を行うときに必要です。
	POP3 ﾎﾟｰﾄ	1 ≀ 110 ≀ 65535	POP3 サーバー側の POP3 で用意しているポート番号を設定します。 通常は初期設定でご使用ください。 「POP before SMTP」認証もしくは「メール受信印刷」を行うときに必要です。
	POP 暗号化方式	None POP3S STARTTLS	メールサーバー（POP）との通信の暗号化を設定します。
	認証方法	無し SMTP POP	E メール送信時の認証方法を設定します。 SMTP は、SMTP サーバー認証を行います。 POP は、POP before SMTP 認証を行います。
	SMTP ユーザ ID	ユーザ ID	SMTP 認証に使用するサーバーへのログイン名を設定します。
	SMTP パスワード	パスワード	SMTP 認証に使用するサーバーへのパスワードを設定します。
	POP ユーザ ID	ユーザ ID	POP 認証もしくは「メール受信印刷」に使用するサーバーへのログイン名を設定します。
	POP パスワード	パスワード	POP 認証もしくは「メール受信印刷」に使用するサーバーへのパスワードを設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
LDAP サーバ設定	ｻｰﾊﾞ設定	LDAP ｻｰﾊﾞ	IP アドレスまたは、サーバー名	LDAP サーバーの IP アドレスまたは、サーバー名を設定します。
		ﾎﾟｰﾄ番号	1 ≀ 389 ≀ 65535	LDAP サーバーのポート番号を設定します。
		ﾀｲﾑｱｳﾄ	10 秒 ≀ 30 秒 ≀ 120 秒	LDAP サーバーからの検索応答のタイムアウト値を設定します。
		最大ｴﾝﾄﾘ数	5 エントリ ≀ 100 エントリ	取得する検索結果数の上限値を設定します。
		DN 名		LDAP ディレクトリーの検索を開始する位置を指定します。
	属性	名前 1	名前検索条件 1	名前の検索に使用する属性を指定します。 初期値は "cn" です。
		名前 2	名前検索条件 2	名前の検索に使用する属性を指定します。 初期値は "sn" です。
		名前 3	名前検索条件 3	名前の検索に使用する属性を指定します。 初期値は "givenName" です。
		ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	メールアドレス検索条件	メールアドレスの検索に使用する属性を指定します。 初期値は "mail" です。
	属性	追加ﾌｨﾙﾀ	追加設定	検索に使用する追加属性を指定します。
	認証	方法	Anonymous Simple Digest-MD5 Secure Protocol	認証方法を指定します。 Digest-MD5 の場合は DNS サーバー設定が必要です。 Secure Protocol の場合はセキュアプロトコルサーバー設定が必要です。
		ﾕｰｻﾞ ID	ﾕｰｻﾞ ID	LDAP サーバーの認証用ユーザー ID を設定します。 LDAP サーバー設定の認証方法が "Anonymous" の場合、本メニューは表示されません。
		ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	LDAP サーバーの認証用パスワード を設定します。 LDAP サーバー設定の認証方法が "Anonymous" の場合、本メニューは表示されません。
	暗号化		None LDAPS STARTTLS	LDAP サーバーとの通信の暗号化を設定します。
セキュアプロトコルサーバ設定	ドメイン名		ドメイン名	ケルベロス認証時のレルム名をセットします。

■ 機器管理

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
待機画面表示設定	コピー画面	1. 画質		コピー待機画面のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、集約、リピート、ページ分割、とじしろ、枠消去、センター消去、両面、ミックス原稿、読取サイズ、継続読取、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整、ログアウトです。
		2. 濃度		
		3. トレイ		
		4. 拡大 / 縮小		
		5. ソート		
	ファクス画面	1. 短縮送信		ファクス待機画面のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、両面読取、読取サイズ、グループ送信、継続読取、発信元名、発信元選択、送信確認証、時刻指定、ポーリング、F ポーリング、F コード送信、メモリー送信、ダイヤル記号入力、自動受信、ログアウトです。
		2. 画質		
		3. 濃度		
		4. リダイヤル		
		5. オフフック		
	スキャナ画面	ネットワーク PC	1. 画質	スキャナー待機画面（ネットワーク PC）のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、サブフォルダー、両面読取、継続読取、読取向き、グレースケール、ファイル形式、圧縮レベル、枠消去、センター消去、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整、ログアウトです。
			2. 濃度	
			3. 解像度	
			4. 読取サイズ	
			5. ファイル名	
		メール	1. 宛先指定	スキャナー待機画面（メール）のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、返信先、メール編集、ファイル名、両面読取、継続読取、読取向き、グレースケール、ファイル形式、圧縮レベル、枠消去、センター消去、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整、ログアウトです。
			2. 画質	
			3. 濃度	
			4. 解像度	
			5. 読取サイズ	
		USB メモリ	1. 画質	スキャナー待機画面（USB メモリ）のご愛用スイッチに表示される項目を設定します。設定できる項目は、両面読取、継続読取、読取向き、グレースケール、ファイル形式、圧縮レベル、枠消去、センター消去、コントラスト、色相調整、彩度調整、赤・緑・青色調整、ログアウトです。
			2. 濃度	
			3. 解像度	
			4. 読取サイズ	
			5. ファイル名	
	ﾃﾞﾌｫﾙﾄモード		コピー スキャナ ファクス プリンタ	装置の電源を入れたときや画面自動リセット時間を経過したときに選択されるモードを設定します。
お気に入りタブ設定	ファクス宛先表			番号順、一覧、グループなど
	メール宛先表			番号順、一覧、グループなど

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
画面自動リセット時間	コピー画面	リセット時間	1 分 〜 3 分 〜 10 分	自動リセット時間を設定します。
		読取終了後にリセット	OFF ON	読取終了後の画面リセットを設定します。
	ファクス画面	リセット時間	1 分 〜 3 分 〜 10 分	自動リセット時間を設定します。
	スキャナ画面	リセット時間	1 分 〜 5 分 〜 10 分	自動リセット時間を設定します。
		読取終了後にリセット	OFF ON	読取終了後の画面リセットを設定します。
音設定	ブザー音量		OFF 小 中 大	ブザー音量を設定します。
	キータッチ音量		OFF 小 中 大	キータッチ音量を設定します。
	キータッチ音色	ファクス	高音 中音 低音	ファクス操作時のキータッチ音色を設定します。
		コピー	高音 中音 低音	コピー操作時のキータッチ音色を設定します。
		スキャナ	高音 中音 低音	スキャナー操作時のキータッチ音色を設定します。
	呼出ブザー音		OFF ON	オプションの受話器がなくても、ファクス着信時に呼出ベル音を鳴るように設定します。
	動作完了音量		OFF 小 中 大	動作完了音量を設定します。
	動作完了音	コピー完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	コピー完了時の音色を設定します。
		ファクス送信完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	ファクスの送信が完了した時の音色を設定します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目				内容
音設定	動作完了音	ファクス受信完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	ファクスの受信が完了した時の音色を設定します。
		ファクス受信印刷完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	ファクスの受信印字が完了した時の音色を設定します。
		メール送信完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	メール送信が完了した時の音色を設定します。
		レポート印刷完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	レポート印刷が完了した時の音色を設定します。
		印刷完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	PC プリントが完了した時の音色を設定します。
		ガラス面読取完了	OFF タイプ 1 タイプ 2 タイプ 3 音声	ガラス面読取が完了した時の音色を設定します。
	紙づまりエラー音		OFF ON	紙づまりが発生したときのアラーム音を設定します。
音声案内	操作案内モード		自動 手動	動作モード（自動、手動）を設定します。 手動 :1 回の操作後自動でガイダンスが流れます。 自動 : 案内があれば自動で全て流れます。
	操作案内音量		小 中 大 最大	操作案内の音量を設定します。
	エラー解除案内音量		OFF 小 中 大 最大	エラー解除案内の音量を設定します。 OFF に設定すると、エラー解除案内を行いません。
	お知らせガイダンス音量		OFF 小 中 大 最大	お知らせガイダンスの音量を設定します。 OFF に設定すると、お知らせガイダンスを行いません。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目				内　容
ローカルインターフェース※ 1	USB メニュー	USB	有効 無効	USB インターフェースの有効 / 無効を選択します。
		ソフトリセット	有効 無効	ソフトリセットコマンドの有効 / 無効を設定します。
		SPEED	480Mbps 12Mbps	USB インターフェースの最大転送速度を設定します。
		USB PS- プロトコル	ASCII RAW	USB PS- プロトコルを選択します。
		オフライン受信	有効 無効	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうかを設定します。
		シリアルナンバー	有効 無効	USB シリアルナンバーの有効 / 無効を指定します。 USB シリアルナンバーは、PC が接続されている USB デバイスを識別するために使用されます。
	セントロメニュー	セントロ	有効 無効	セントロ I/F の有効 / 無効を設定します。
		双方向セントロ	有効 無効	双方向セントロの有効 / 無効を設定します。
		ECP	有効 無効	ECP モードの有効 / 無効を設定します。
		ACK 幅	狭い 普通 広い	コンパチ受信時の ACK 幅を設定します。 狭い = 0.5 μ s 普通 = 1.0 μ s 広い = 3.0 μ s
		ACK/BUSY タイミング	ACK IN BUSY ACK WHILE BUSY	コンパチ受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。
		I-PRIME	3 マイクロ秒 50 マイクロ秒 無効	I-PRIME 信号の有効時間 / 無効を設定します。
		セントロ PS-プロトコル	ASCII RAW	セントロ PS- プロトコルを選択します。
		オフライン受信	有効 無効	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうか設定します。
ｼｽﾃﾑ設定	ｱｸｾｽ制御		PIN ユーザ名 / パスワード 無効	アクセス制限の設定します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
ｼｽﾃﾑ設定	ユーザ認証方法	ローカル LDAP ｾｷｭｱﾌﾟﾛﾄｺﾙ	アクセス制御でユーザーを選んだときのみ表示します。
	表示単位	ｲﾝﾁ ﾐﾘ	本機が使用する単位（ インチ / ミリメートル）の切り替えを行います。
	すべてのﾚﾎﾟｰﾄ印刷許可	有効 無効	個人情報に関わるレポートを印刷するか否かを設定します。 本メニューで［無効］が選択されている場合は、以下のレポートの印刷起動の際に管理者パスワードを要求します。 ● スキャン To ログ ● E メールアドレスリスト ● 短縮ダイヤルリスト ● 宛先グループリスト ● 通信管理レポート
	ニアライフ時の LED	有効 無効	トナー、イメージドラム、定着器、ベルトのニアライフワーニング発生時のアラームランプ点灯制御を設定します。
	ニアライフ時のステータス	有効 無効	イメージドラム、定着器、ベルトのニアライフワーニング発生時のパネル表示制御を設定します。
	アドレス情報ロックタイムアウト	1（分） ≀ 3（分） ≀ 10（分）	アドレス帳，電話帳，プロファイルをユーティリティーなどからロックしたまま放置した際に、装置側でロックを解除するまでの時間を設定します。
	USB メモリインターフェース	有効 無効	本設定を無効にすると、スキャン To USB メモリ機能が使用できなくなります。
節電モード	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	ON OFF	省電力モードの有効 / 無効を設定します。
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ移行時間	5 分 15 分 30 分 60 分 240 分	低電力モードへの移行時間を設定します。
ﾒﾓﾘ設定	受信ﾊﾞｯﾌｧサイズ	自動 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32MB	ローカルインターフェースで確保する受信バッファーサイズを設定します。
	リソースセーブエリア	自動 OFF 0.5 MB 1 MB 2 MB 4 MB 8 MB 16 MB 32MB	リソースセービングエリアサイズを設定します。
フラッシュメモリ設定 ※ 4	初期化 ※ 1	実行	フラッシュメモリーを初期化します。 登録した Demo データが削除されます。
ハードディスク設定 ※ 4	初期化 ※ 1	実行	ハードディスクを初期化します。 Demo データ、印刷ジョブが削除されます。
	フォーマット ※ 1	PCL 共通 PS	ハードディスクをフォーマットします。 Demo データ、印刷ジョブが削除されます。

注

● 「節電モード」の「ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ」を「OFF」に設定した状態で長期間ご使用になると、電子部品（ファンなど）の寿命に影響を与える可能性があります。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目			内　容
ストレージ保守設定	ファイルシステムチェック ※ 1	実行	ファイルシステムの実（空き）容量と表示空き容量の不整合の解決と管理データ（FAT 情報）の修復を実行します。
	セクタチェック ※ 1	実行	ハードディスクのセクタ情報不良の修復と上記ファイルシステムの不整合の修復を実行します。
	ハードディスクデータ消去 ※ 1　※ 4	実行	ハードディスクの全データを消去します。Demo データ、印刷ジョブ、ログが削除されます。 この処理には 2 ～ 3 時間かかります。処理中は電源を切らないでください。
	初期化の制限	有効 無効	ハードディスク・フラッシュメモリーの初期化を伴う設定変更を許可するか否かを設定します。
暗号化設定	ジョブ制限	無効 暗号化ジョブのみ	" 暗号化ジョブのみ " を選択した場合、暗号化認証印刷以外は受け捨てとなります。
言語保守設定	初期化 ※ 1	実行	ダウンロードされているメッセージファイルを削除します。
管理者パスワード		新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ / ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの再入力	管理者パスワードを変更します。 半角英数字で 6 ～ 12 文字 忘れると設定を変更できなくなります。
設定値初期化※ 2		実行	掲示板原稿、ジョブメモリ、ファクス送受信データ、履歴情報を削除し、各種設定を工場出荷時の設定に戻します。
ジョブログ消去※ 3		実行	ジョブログを削除します。

※ 1 「変更すると装置が自動的に再起動します。変更してよろしいですか ?」と確認画面を表示し、「はい」を選んだ際は自動的に装置が再起動します。
「いいえ」を選んだ場合は、設定値を変更せずに確認画面を閉じます。

※ 2 「実行すると装置が自動的に再起動します。実行してよろしいですか ?」と確認画面を表示し、「はい」を選んだ際は自動的に装置が再起動します。「いいえ」を選んだ場合は、確認画面を閉じます。

※ 3 「実行するとジョブログがすべて削除されます。実行してよろしいですか ?」と確認画面を表示し、「はい」を選んだ際はジョブログを削除します。「いいえ」を選んだ場合は、確認画面を閉じます。

※ 4 ストレージ保守設定の初期化の制限項目が有効に設定されている場合には、グレーアウトされます。グレーアウトを解除する場合には、初期化の制限項目を無効に設定してください。

■ 設置モード

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項　目		内　容
時刻設定	1992/1/1 00 :00 ～ (2012/1/1 00:00) ～ 2091/12/31 23 :59	時刻を設定します。
タイムゾーン	-12 : 00 ～ +09 : 00 ～ +13 : 00	GMT との時間差を、15 分単位で設定します。タイムゾーンの設定を変更した場合、変更前後の差分時間が現在時刻に反映されます。
ダイヤル種別	ﾌﾟｯｼｭ ﾀﾞｲﾔﾙ 10 ﾀﾞｲﾔﾙ 20	ダイヤル種別を選択します。
ファクス受信モード	ﾌｧｸｽ待機 電話 / ﾌｧｸｽ待機 ﾌｧｸｽ / 電話待機 留守 / ﾌｧｸｽ待機 電話待機	ファクス受信モードを選択します。

網かけ部は工場出荷時設定の値です。

項目			内容
ダイヤルトーン検出		ON OFF	ダイヤルトーンを検出するか否かを設定します。
ビジートーン検出		ON OFF	ビジートーンを検出するか否かを設定します。
回線モニタ		OFF ﾀｲﾌﾟ 1 ﾀｲﾌﾟ 2	モニターしない、DIS までモニターする、通信中モニターするの 3 パターンから選択します。
発信元名 登録 / 変更	発信元名 1		発信元名を登録 / 変更します。
	発信元名 2		発信元名を登録 / 変更します。
	発信元名 3		発信元名を登録 / 変更します。
標準発信元名		発信元名 1 発信元名 2 発信元名 3	標準で使用する発信元名を選択します。
自機電話番号			発信元番号を登録します。
TTI カレンダータイプ		西暦 _ 月 _ 日 (曜日) yyyy/mm/dd mm/dd/yyyy dd/mm/yyyy	発信元情報のカレンダータイプを変更します。各設定での表示形式は、下記の通りです。 西暦 _ 月 _ 日 (曜日) : 2012 年 4 月 11 日 (水) yyyy/mm/dd : (2012 Apr 11) mm/dd/yyyy : (Apr 11 2012) dd/mm/yyyy : (11 Apr 2012)
スーパー G3		ON OFF	スーパー G3（超高速通信モード）で送信するか否かを設定します。
ミラーキャリッジ搬送用モード		実行	" はい " を選択すると、ミラーキャリッジを搬送用モードの位置へ移動します。
個人情報消去 ※ 1 ※ 2		実行	E メールアドレスや短縮ダイヤルなどの登録データ、ジョブ、ログを削除し、各種設定を工場出荷時の設定に戻します。
高湿モード		OFF ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄﾞｳ	印刷された用紙の反り（カール）を軽減します。 OFF : 高湿モードは適用されません。 ｼﾞﾄﾞｳ : 装置の使用環境に合わせて、自動で高湿モードへの切り替えを行います。 ｼｭﾄﾞｳ : 装置の使用環境にかかわらず、常に高湿モードへ切り替えます。 カールしやすい紙 (用紙厚設定が普通用紙等) の場合にのみ適用されます。また、高湿モードに切り替わることにより、印刷の開始が遅くなります。 Web ブラウザー上から設定でき、パネル上からは設定できません。本設定を変更した場合には、装置を再起動してください。

※ 1 ストレージ保守設定の初期化の制限項目が有効に設定されている場合には、グレーアウトされます。グレーアウトを解除する場合には、初期化の制限項目を無効に設定してください。

※ 2 「実行すると装置の設定内容、登録情報などが全てクリアされます。実行してよろしいですか？」の確認画面を表示している状態で、「はい」を選んだ際は「本当に実行してよろしいですか？」と再確認画面を表示します。その後、「はい」を選んだ際は各種設定を工場出荷時の状態に戻して、自動的に装置が再起動します。「いいえ」を選んだ場合は、確認画面を閉じます。

[ジョブメモリ設定] を押したとき

項　目		内　容
登録		ジョブメモリ機能を登録します。
削除		ジョブメモリ機能を削除します。
実行速度	最速 速い 普通 遅い	ジョブメモリ機能の実行速度を設定します。
タイトル変更		ジョブメモリ機能のタイトルを変更します。

[シャットダウン] を押したとき

項　目		内　容
シャットダウン	実行	装置のシャットダウンを実行します。

ネットワークに関する設定

ネットワーク設定項目

プリンターのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。

現在設定されている値は、<レポート印刷>キー - ［装置情報］ - ［ネットワーク情報］ で確認できます。

設定値を変更するには、TELNET, Web ブラウザー , NIC 設定ツールを使用します。

■TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
TCP/IP	−	TCP/IP プロトコルを使用する	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address Set	IP アドレス設定	−	AUTO（自動） MANUAL(手動)	DHCP/BOOTP サーバーへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
IP Address	IP アドレス	IP アドレス	192.168.100.100 または 169.254.xxx.xxx	IP アドレスを設定します。 ネットワークの初期化後、ネットワークケーブルをハブに接続していないと、192.168.100.100 になります。 IP アドレス設定が " 自動 " でも、DHCP サーバーなどの IP アドレスを自動で付与するサーバーがネットワーク上に存在しない場合、ネットワークケーブルをハブに接続しても、169.254.xxx.xxx になります。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0 または 255.255.0.0	サブネットマスクを設定します。 ネットワークの初期化後、ネットワークケーブルをハブに接続していないと、255.255.255.0 になります。 IP アドレス設定が " 自動 " でも、DHCP サーバーなどの IP アドレスを自動で付与するサーバーがネットワーク上に存在しない場合、ネットワークケーブルをハブに接続しても、255.255.0.0 になります。
Gateway Address	ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	ゲートウェイ（デフォルトルーター）アドレスを設定します。 0.0.0.0 はルーターなしを意味します。
DNS Server (Pri.)	DNS サーバアドレス（プライマリ）	−	0.0.0.0	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 SMTP(E メール)/POP/LDAP プロトコルを使用するときに設定してください。SMTP(E メール)/POP/LDAP サーバーを IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNS サーバアドレス（セカンダリ）	−	0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 SMTP(E メール)/POP/LDAP プロトコルを使用するときに設定してください。SMTP(E メール)/POP/LDAP サーバーを IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
Dynamic DNS	ダイナミック DNS	−	ENABLE（有効） DISABLE(無効)	IP アドレスなどが、変更されたときに、それらの情報を DNS サーバーに登録し直すか、しないかを設定します。
Domain Name	ドメイン名	−	なし	プリンターが属するドメイン名を設定します。
WINS Server (Pri.)	WINS サーバ（プライマリ）	−	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバー（コンピューター名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバーの IP アドレスまたはネームサーバー名を設定します。
WINS Server (Sec.)	WINS サーバ（セカンダリ）	−	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバー（コンピューター名から IP アドレスに変換するためのサーバー）を使用している場合に、ネームサーバーの IP アドレスまたはネームサーバー名を設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Scope ID	スコープ ID	–	なし	WINS の ScopeID を設定します。1 ～ 223 文字の英数字です。
Windows	Windows	–	ENABLE（有効） DISABLE(無効)	Windows の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Macintosh	Macintosh	–	ENABLE（有効） DISABLE(無効)	Macintosh の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	デバイス名	–	「OKI」＋「-」＋「製品名」＋「-」＋「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」	自動検出機能で、プリンター名をコンピューターにどのように表示させるかを設定します。
Password	パスワード設定	admin パスワード	イーサネットアドレス英数字下 6 桁	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。 このパスワードは Telnet で使用されるパスワードです。
IP Version	IPv6	IPv6 機能を使用する	ENABLE（有効） DISABLE(無効) （TELNET では「IPv4」「IPv4+ v 6」「IPv6」となります）	IPv6 の機能の使用／未使用を設定します。

■ SNMP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Contact to Admin	管理者の連絡先	SysCon-tact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で 225 文字以内です。
Printer Name	プリンタ名	SysName	なし	プリンターの名前を入力します。半角で３１文字以内です。
Printer Location	設置場所	SysLoca-tion	なし	プリンターの設置場所を入力します。半角で 255 文字以内です。
Printer Asset Number	プリンタ管理番号	–	なし	お客様がプリンターを管理するための数値を入力することができます。半角で 8 文字以内です。
SNMP Version	使用する SNMP 設定	–	SNMPv1 SNMPv3 SNMPv3+SNMPv1	使用する SNMP バージョンを設定します。
User Name	ユーザ名	–	root	SNMP v 3 におけるユーザー名を設定します。1 ～ 32 文字の英数字です。
Auth Pass-phrase	認証設定パスフレーズ	–	なし	SNMP v 3 パケット認証に使用する認証キーを生成するためのパスワードを設定します。 8 ～ 32 文字の英数字です。
Auth Key	–	–	なし	SNMP v 3 パケット認証に使用される認証キーを HEX コードで設定します。選択されたアルゴリズムによって入力文字数が変動します。 MD5：16 オクテット（HEX コード 32 文字） SHA：20 オクテット（HEX コード 40 文字）
Auth Algorithm	認証設定アルゴリズム	–	MD5 SHA	SNMP v 3 パケット認証で使用するアルゴリズムを設定します。
Privacy Pass-phrase	暗号化設定パスフレーズ	–	なし	SNMP v 3 パケット暗号化に使用するプライバシーキーを生成するためのパスワードを設定します。 英数字 8 ～ 32 文字です。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Privacy Key	−	−	なし	SNMP v 3 パケット暗号化に使用される認証キーを HEX コードで設定します。 DES：16 オクテット（HEX コード 32 文字）
Privacy Algorithm	暗号化設定アルゴリズム	−	DES	SNMP v 3 パケット暗号化で使用するアルゴリズムを設定します。 設定値は”DES”固定です。
Read Commu-nity	SNMP Read コミュニティの設定	−	public	SNMP v 1 で使用する、Read Community を設定します。15 文字以内の英数字です。
Write Commu-nity	SNMP Write コミュニティの設定	−	public	SNMP v 1 で使用する、Write Community を設定します。15 文字以内の英数字です。

■ NetWare

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
NetWare	NetWare	NetWare プロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetWare の使用／非使用を設定します。
TCP or IPX	通信プロトコル	−	IPX TCP/IP	NetWare を動作させるプロトコルを IPX か TCP/IP に設定します。
Frame Type	フレームタイプ	フレームタイプ	AUTO（自動） ETHER- Ⅱ（ETHERNET- Ⅱ） 802.2（IEEE802.2） 803.3（IEEE802.3） SNAP（SNAP）	NetWare 上でプリンターが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
Printer-Name	プリンタ名	NetWare プリンタ名	「OKI」＋「-」＋「製品名」＋「-」＋「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」＋「-」＋「PR」	リモートプリンターを動作させるときの設定項目でプリンター名を設定します。ファイルサーバーの設定内容と合わせる必要があります。
−	印刷モード	動作モード	RPRINTER（リモートプリンタ） PSERVER（プリントサーバ）	動作モードをプリンターサーバーモードかリモートプリンターモードにするか設定します。
NetWare Mode	−	−	NDS NDS+BIN RPINTER	NetWare の優先動作モードを設定します。

■ プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
NDS Tree	ツリー	NDS ツリー名	なし	NDS のツリー名を設定します。プリントサーバーを登録したファイルサーバーが属するツリー名を指定してください。31 文字以内の英数字です。
NDS Context	コンテキスト	NDS コンテキスト	なし	NDS のコンテキスト名を設定します。プリントサーバーの属するコンテキスト名を指定してください。77 文字以内の英数字です。
Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「OKI」＋「-」＋「製品名」＋「-」＋「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」＋「-」＋「PR」	プリントサーバー名を設定します。ファイルサーバーに設定したプリントサーバー名と同じに設定してください。31 文字以内の英数字です。
Password	ファイルサーバのログインパスワード	ログインパスワード	なし	ファイルサーバーにログインするためのパスワードを設定します。31 文字以内の英数字です。 ファイルサーバーにプリンター用のパスワードを設定した場合にはこの項目が必要です。
JobPolling Time (Sec.)	ジョブポーリング間隔	ジョブポーリング間隔	2 秒 4 秒 255 秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。短くするとすぐに印刷が開始されますがネットワーク回線が混みます。
―	バインダリモード	バインダリモード	チェックあり チェックなし	バインダリモードの使用／非使用を設定します。NetWare のバージョンが、6.0/5.0/4.1 のバインダリネットワーク、または 3.12 へ接続するときには「ENABLE」、6.0/5.0/4.1 の NDS で使用するときには「DISABLE」を設定します。
File Server Name #1-8	ファイルサーバ名	接続するファイルサーバー #1-8 プリントサーバー名	なし	ファイルサーバーの名前を設定します。最大 8 台のファイルサーバーを指定できます。47 文字以内の英数字です。

■ リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Print Server Name #1-8	プリントサーバ名	接続するプリントサーバ #1-9	なし	接続するプリントサーバー名を設定します。最大 8 台のプリントサーバーを指定できます。47 文字以内の英数字です。
Job Timeout (Sec.)	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	4 秒 10 秒 255 秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルから印刷がなかなか始まらなくなります。

■ EtherTalk

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalk プロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EtherTalk の使用／非使用を設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Printer Name	EtherTalk プリンタ名	プリンタ名	製品名	EtherTalk のプリンター名を指定します。31 文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	EtherTalk ゾーン名	ゾーン名	*	EtherTalk ゾーン名を指定します。32 文字以内の英数字です。

■ NBT/NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUI プロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUI の使用／非使用を設定します。
NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBIOSoverTCP の使用／非使用を設定します。
Short Device Name	ショートデバイス名	ショートプリンタ名	「製品名」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」	コンピューター名を設定します。この名前で NetBIOSoverTCP/NetBEUI 上で識別されます。Windows であればネットワークコンピューターの中の PrintServer グループに表示されます。15 文字以内の英数字です。
Work group Name	ワークグループ名	ワークグループ名	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称で Windows のネットワークコンピューター中に表示されます。15 文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	Ethernet Board OkiLAN 8500e	コメントを設定します。Windows のネットワークコンピューターで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48 文字以内の英数字です。
Master Browser Setting	マスタブラウザ	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	マスタブラウザ機能の使用／非使用を設定します。

■ printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Prn-Trap Community	プリンタ Trap コミュニティ名設定	－	public	プリンター Trap のコミュニティ名を設定します。31 文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap 送信許可 #1-5	－	ENABLE DISABLE	TCP #1-5 でプリンター Trap を使用するかどうかを設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	－	ENABLE DISABLE	プリンターが再起動したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正 Trap 受信 #1-5	－	ENABLE DISABLE	「プリンター Trap コミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンターにアクセスしたときに Trap を使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	－	ENABLE DISABLE	プリンターが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	–	ENABLE DISABLE	プリンターが ＯＦＦ-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	–	ENABLE DISABLE	プリンターが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	–	ENABLE DISABLE	プリンターに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	–	ENABLE DISABLE	プリンターのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	–	ENABLE DISABLE	プリンターにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Trap Address	アドレス #1-5	–	0.0.0.0	TCP/IP の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は 10 進数「***.***.***.***」形式で入力します。IP アドレスが 0.0.0.0 の場合は、Trap を送信しません。アドレスは 5 か所まで指定できます。
IPX Trap Enable	IPX Trap 送信許可	–	ENABLE DISABLE	IPX でプリンター Trap を使用するかどうかを設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	–	ENABLE DISABLE	プリンターが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	–	ENABLE DISABLE	プリンターが ＯＦＦ-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	–	ENABLE DISABLE	プリンターが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	–	ENABLE DISABLE	プリンターに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover Open Trap	IPX カバーオープン	–	ENABLE DISABLE	プリンターのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer Error Trap	IPX プリンタエラー	–	ENABLE DISABLE	プリンターにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Address/ Net	IPX	–	00000000 : 000000000000	IPX の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス（8 桁）＋ノードアドレス（12 桁）で入力します。 「00000000：000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは 1 か所のみ指定できます。

■ SMTP（Email 送信）

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
SMTP Send	SMTP 送信	–	ENABLE（有効） DISABLE(無効)	SMTP（Email）送信プロトコルを使用するかどうかを設定します。
SMTP Server Name	SMTP サーバ名	–	なし	SMTP サーバー名を設定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS（Pri.）（Sec.）の設定が必要です。
SMTP Port Number	SMTP ポート番号	–	1 ≀ 25 ≀ 65535	SMTP のポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Device Email Address	デバイス Email アドレス	–	なし	プリンターの E メールアドレスを設定します。
Reply-To Address	送信先 Email アドレス	–	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
SMTP Encryp-tion Algorithm	SMTP 暗号化方式	–	None SMTPS STARTTLS	SMTP（Email）送信プロトコルの暗号化を設定します。
Email Address 1-5	Email アドレス 1-5	–	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは 5 ヶ所 B まで指定できます。
Notify Mode 1-5	障害通知方法	–	EVENT （障害発生時の通知） PERIOD （定期的な通知）	障害を通知する方法を設定します。
Email Alert Interval (Hours) 1-5	メール通知間隔	–	1 ～ 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Consum-able Warning Event 1-5	消耗品警告	–	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	プリンターの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Warning Period 1-5	消耗品警告	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンターの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Event 1-5	消耗品エラー	–	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	プリンターの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Period 1-5	消耗品エラー	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンターの消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Unit Warning Event 1-5	メンテナンスユニット警告	–	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE(有効）	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Unit Warning Period 1-5	メンテナンスユニット警告	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Unit Error Event 1-5	メンテナンスユニットエラー	–	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Unit Error Period 1-5	メンテナンスユニットエラー	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メンテナンスユニット（定着器ユニット、ベルトユニットなど）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Paper Supply Warning Event 1-5	用紙の補充警告	ー	DISABLE（無効） Immediate（即時） 0 H 15 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Warning Period 1-5	用紙の補充警告	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Event 1-5	用紙の補充エラー	ー	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Period 1-5	用紙の補充エラー	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Event 1-5	印刷中の用紙警告	ー	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Period 1-5	印刷中の用紙警告	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Event 1-5	印刷中の用紙エラー	ー	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Period 1-5	印刷中の用紙エラー	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Event 1-5	ストレージデバイス	ー	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Period 1-5	ストレージデバイス	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Event 1-5	印刷の結果警告	ー	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Period 1-5	印刷の結果警告	-	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event 1-5	印刷の結果エラー	ー	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果エラー	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Interface Warning Event 1-5	インターフェースの異常警告	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48 H 45 M ENABLE（有効）	インターフェース（ネットワーク etc.）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Period 1-5	インターフェースの異常警告	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インターフェース（ネットワーク etc.）に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インターフェースの異常エラー	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	インターフェース（ネットワーク etc.）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インターフェースの異常エラー	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インターフェース（ネットワーク etc.）に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Security Warning Event 1-5	セキュリティ	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	セキュリティー機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Security Warning Period 1-5	セキュリティ	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	セキュリティー機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
FAX Warning/ Error Event1-5	ファクス	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48H45M ENABLE（有効）	ファクスに関する注意 / エラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
FAX Warning/ Error Period1-5	ファクス	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ファクスに関する注意 / エラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Scanner Warning/ Error Event1-5	スキャナ	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 48H45M ENABLE（有効）	スキャナーに関する注意 / エラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Scanner Warning/ Error Period1-5	スキャナ	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	スキャナーに関する注意 / エラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Event 1-5	その他	―	DISABLE（無効） Immediate（即時） 2 H 0 M 48 H 45 M ENABLE（有効）	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Attached Info Device Model	付加情報設定　デバイスモデル	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、プリンターモデル名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Network Interface	付加情報設定　ネットワークインターフェース	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、ネットワークインターフェース名を含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Attached Info Serial Number	付加情報設定 シリアルナンバー	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、シリアルナンバーを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Asset Number	付加情報設定 管理番号	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、プリンターの管理番号を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Device Name	付加情報設定 デバイス名	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、SystemName を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Location	付加情報設定 設置場所	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、SystemLocation を含めるかどうかを設定します。
Attached Info IP Address	付加情報設定 IP アドレス	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、IP アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info MAC Address	付加情報設定 MAC アドレス	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、MAC アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Short Device Name	付加情報設定 ショートデバイス名	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、プリンターのコンピューター名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Device URL	付加情報設定 URL	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	送信メールに記載するプリンター情報に、プリンターの URL を含めるかどうかを設定します。
Comment Line 1-4	コメント	−	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4 行設定できます。1 行は 63 文字まで入力でき、それを超える場合は地頭的に改行します。
SMTP Auth-Method	認証方式	−	None SMTP POP	SMTP 認証方式を設定します。
SMTP Server User ID	SMTP ユーザ ID	−	なし	SMTP 認証のユーザー ID を設定します。
SMTP Server Password	SMTP パスワード	−	なし	SMTP 認証のパスワードを設定します。

■Email 受信

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
POP or SMTP	Email 受信設定	−	POP SMTP DISABLE（無効）	Email 受信機能の使用 / 非使用を指定します。使用する場合、そのプロトコル（POP/SMTP）を指定します。
POP3 Server	POP サーバ名	−	なし	POP サーバー名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。
POP port number	POP ポート番号	−	1 ≀ 110 ≀ 65535	POP サーバーにアクセスするためのポート番号を設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
POP3 Server UserID	POP ユーザ ID	–	なし	POP サーバーにアクセスするためのユーザー ID を指定します。
POP3 Server Password	POP パスワード	–	なし	POP サーバーにアクセスするためのパスワードを指定します。
Use APOP	APOP サポート	–	YES（有効） NO（無効）	APOP の使用 / 非使用を指定します。
Mail Polling Time (min)	POP 受信間隔	–	OFF 1 分 5 分 10 分 30 分 60 分	受信メールを POP サーバーに取得しに行く間隔を指定します。
POP Encryption Algorithm	POP 暗号化方式	–	None POP3S STARTTLS	POP 通信の暗号化を設定します。
Domain filter	ドメインフィルタ	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ドメインフィルタ機能の使用 / 非使用を指定します。
Filter Policy	以下に設定したドメインからの Email	–	ACCEPT（許可） DENY（拒否）	指定したドメインからの Email に対する許可 / 拒否を指定します。
Domain 1-5	ドメイン 1-5	–	なし	ドメインフィルタ機能の対象となるドメイン名を指定します。
Port Number	SMTP 受信ポート番号	–	1 ～ 25 ～ 65535	プリンターに SMTP でアクセスするときのポート番号を設定します。

■ Maintenance

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
LAN Scale Setting	LAN	–	NORMAL（普通） SMALL（小規模）	NORMAL（普通）：通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピューターが 2, 3 台の小さな LAN に接続するとプリンターが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL（小規模）：コンピューターが 2, 3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
HEX Dump Mode	HEX ダンプモード	–	NO YES	このモードに設定すると、受信した印刷データを全て 16 進数で表示します。プリンターを再起動すると本モードを抜けます。
HUB Link Setting	HUB との接続の設定	–	AUTO NEGOTIATION 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	ハブとの通信速度と通信方法を設定することができます。通常は、「AUTO NEGOTIATION」を設定します。

■ Security

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
FTP	FTP	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンターに対してＦＴＰでのアクセスの使用／非使用を設定します。
Telnet	TELNET	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンターに対して TELNET でのアクセスの使用／非使用を設定します。
Web (Default Port 80)	Web(ポート番号：80)	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンターに対して Web ブラウザーでのアクセスの使用／非使用を設定します。
Web（IPP)	Web	—	1 80 65535	プリンターの Web ページにアクセスするためのポート番号を設定します。
IPP(Default Port 631)	IPP(ポート番号：631)	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPP プロトコルの使用／非使用を設定します。
SNMP	SNMP	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンターに対して SNMP でのアクセスの使用／非使用を設定します。通常は ENABLE（使用する）でお使いください。
SMTP (E-Mail)	—	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP 送信の使用／非使用を設定します。
SNTP	SNTP	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTP プロトコルの使用／非使用を設定します。
POP3 (E-Mail)	POP	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	POP3 プロトコルの使用／非使用を設定します。
Local Ports	Local Ports	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	独自プロトコルの使用／非使用を設定します。
TCP/IP	—	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
NetBEUI	NetBEUI	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUI プロトコルの使用／非使用を設定します。
NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBIOS over TCP プロトコルの使用／非使用を設定します。
NetWare	NetWare	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetWare プロトコルの使用／非使用を設定します。
EtherTalk	EtherTalk	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EtherTalk プロトコルの使用／非使用を設定します。
Password	パスワード設定	admin パスワード	イーサネットアドレス英数字下６桁	管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。

■ IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
IP Filtering	IP　フィルタリング	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP アドレス毎のアクセスを制御する機能の使用 / 非使用を設定します。ただし、この機能は IP アドレスについて十分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE（使用しない）になるように設定しておいてください。ENABLE(使用する）に設定し、以下の設定をしないと TCP/IP によるアクセスが一切できなくなってしまいます。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Start Address #1-10	開始アドレス #1-10	–	0.0.0.0	プリンターへアクセスを許可する IP アドレスを指定します。単一の IP アドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0 を入力すると無効になります。
End Address #1-10	終了アドレス #1-10	–	0.0.0.0	
IP Address Range #1-10 Printing	印刷 #1-10	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの印刷を許可します。
IP Address Range #1-10 Configura-tion	設定 #1-10	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者の IP アドレス	–	0.0.0.0	管理者の IP アドレスが自動で設定されます。 このアドレスだけは、必ずプリンターにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンターにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンターに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

■ MAC Address Filtering

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
MAC Address Filtering	MAC アドレスフィルタリング	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	イーサネットアドレス毎のアクセスを制御する機能の使用 / 非使用を設定します。ただし、この機能はイーサネットアドレスについて十分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE（使用しない）になるように設定しておいてください。ENABLE（使用する）に設定し、以下の設定をしないとネットワークによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
MAC Address Access	MAC アドレスからの通信	–	ACCEPT（許可） DENY（拒否）	MAC Address Access #1-50 で設定したイーサネットアドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを設定します。
MAC Address #1-50	フィルタする MAC アドレス #1-50	–	00:00:00:00:00:00	プリンターへアクセスを許可（拒否）する MAC アドレスを指定します。 00:00:00:00:00:00 を入力すると無効になります。
Admin MAC Address	設定される管理者の MAC アドレス	–	00:00:00:00:00:00	管理者のイーサネットアドレスが自動で設定されます。 このアドレスだけは、必ずプリンターにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンターにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンターに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

■ SSL ／ TLS

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
HTTP/IPP	HTTP/IPP	-	ON（オン） OFF（オフ）	HTTP/IPP 通信の暗号化の使用 / 非使用を設定します。
HTTP/ IPP Cipher Strength	HTTP/IPP 暗号化強度	－	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	HTTP/IPP 通信暗号化の強度を設定します。
FTP Receive	FTP 受信	－	ON（オン） OFF（オフ）	FTP 受信の暗号化の使用 / 非使用を設定します。
FTP Receive Cipher Strength	FTP 受信暗号化強度	－	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	FTP 受信暗号化の強度を設定します。
SMTP Receive	SMTP 受信	－	ON（オン） OFF（オフ）	SMTP 受信の暗号化の使用 / 非使用を設定します。
SMTP Receive Cipher Strength	SMTP 受信暗号化強度	－	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	SMTP 受信暗号化の強度を設定します。
－	Common Name	－	自身で署名した証明書を使用する（自己署名証明書） 認証局が発行した証明書を使用する（認証局証明書）	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付する CSR の作成と認証局が発行する証明書のインストールをします。
－	Organi-zation	－	（プリンター自身の IP アドレス）	自己署名証明書作成時には装置の IP アドレス（固定）となります。
－	Organi-zational Unit	－	なし	組織名：所属する組織の正式名称を指定します。入力可能文字数は 64 文字。
－	Locality	－	なし	組織単位：属する部門や課、その他組織内のサブグループを指定します。入力可能文字数は 64 文字。
－	State/ Propvince	－	なし	都市名：組織がある都市名や地名を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
－	Country/ Region	－	なし	州 / 県：組織がある州や県を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
－	鍵タイプ	－	RSA	暗号通信に使用する鍵の方式を設定します。
－	鍵サイズ	－	2048 bit 1024 bit 512 bit	暗号通信に使用する鍵のサイズを指定します。

■ SNTP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
SNTP	SNTP	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTP プロトコルの使用／非使用を設定します。
NTP Server (Pri.)	NTP サーバ（プライマリ）	－	なし	時間取得をする NTP サーバー（プライマリ）の IP アドレスを設定します。
NTP Server (Sec.)	NTP サーバ（セカンダリ）	－	なし	時間取得をする NTP サーバー（セカンダリ）の IP アドレスを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Local Time Zone	タイムゾーン	―	00:00	GMT との時間差を設定します。
Daylight Saving	夏時間	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	サマータイムを設定します。

■ Web 印刷

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
―	給紙トレイ	―	トレイ 1 MP トレイ トレイ 2 トレイ 3	印刷に使用する給紙トレイを選択します。 ［トレイ 2］、［トレイ 3］の表示条件：セカンドトレイユニットまたはサードトレイユニットが取り付けられていること。
―	印刷部数	―	1 ～ 999	1 度に印刷する部数を入力します。 1 ～ 999 の範囲で設定できます。
―	部単位印刷	―	チェックあり チェックなし	複数の文書を印刷する場合、文書を部単位で印刷します。
―	用紙サイズに合わせる	―	チェックあり チェックなし	印刷の際に、印刷する PDF. ファイルの用紙サイズと、トレイの用紙サイズが異なる場合、印刷する PDF ファイルの用紙サイズをトレイの用紙サイズに合わせて編集するかどうかを選択します。
―	両面印刷	―	なし 長辺を綴じる 短辺を綴じる	両面印刷を行う際の、綴じ方を選択します。
―	印刷ページ指定	―	チェックあり チェックなし	開始ページ、終了ページを指定することで、印刷するページを指定します。
―	PDF パスワード	―	チェックあり チェックなし	暗号化された PDF ファイルを印刷する場合に、チェックを付けてパスワードを指定します。

■ IEEE802.1X

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
802.1X	IEEE802.1X	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IEEE802.1X 機能の使用 / 非使用を設定します。
EAP Type	EAP タイプ	―	EAP-TLS PEAP	EAP 方式を選択します。
EAP User	EAP ユーザ	―	なし	EAP で使用するユーザー名を指定します。EAP-TLS/PEAP 選択時に有効です。64 文字以内の英数字です。
EAP Password	EAP パスワード	―	なし	EAP User に対応したパスワードを指定します。PEAP 選択時のみ有効です。64 文字以内の英数字です。
Use SSL. Certifi-cate	SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SSL/TLS 用の証明書を IEEE802.1X 認証に使用するかどうかを選択します。SSL/TLS 用証明書がインストールされていない場合は "ENABLE(有効)" は選択できません。EAP-TLS 選択時のみ有効です。
Authenticate Server	サーバを認証する	―	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	RADIUS サーバーから送られてきた証明書を、CA 証明書を使って認証するか否かを選択します。

網かけ部は初期値です。

項 目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
EAP retry	−	−	1 〜 3 〜 9	IEEE802.1X 認証動作のリトライ回数を設定します。1 回 -9 回までの範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。
EAP timeout	−	−	10 〜 60	IEEE802.1X 認証中にサーバーレスポンスを待つためのタイムアウト値を設定します。10 秒 -60 秒の範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。

■ LDAP

網かけ部は初期値です。

項 目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
LDAP Server	LDAP サーバ	−	なし	LDAP サーバー名を設定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS（Pri.）（Sec.）の設定が必要です。
LDAP Port Number	ポート番号	−	1 〜 389 〜 65535	LDAP サーバーのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
LDAP Timeout	タイムアウト	−	10 〜 30 〜 120	LDAP サーバーからの応答を待つタイムアウト時間を設定します。
Max Entry	最大エントリ数	−	5 〜 100	検索結果として取得する最大件数を設定します。
Search Root	DN 名	−	なし	LDAP 検索の BaseDN を設定します。
User Name 1	名前 1	−	cn	ユーザー名として検索する属性名を設定します。
User Name 2	名前 2	−	sn	
User Name 3	名前 3	−	givenName	
Mail Address	メールアドレス	−	mail	メールアドレスとして検索する属性名を設定します。
Additional Filter	追加フィルタ	−	なし	検索フィルタ式を追加したい場合に設定します。
Authentication Method	方法	−	Anonymous Simple Digest-MD5 Secure Protocol	LDAP サーバーの認証方法を設定します。
Authentication User ID	ユーザ ID	−	なし	LDAP サーバーにアクセスするためのユーザー ID を指定します。
Authentication User Password	パスワード	−	なし	LDAP サーバーにアクセスするためのパスワードを指定します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Encryption Algorithm	暗号化	ー	None LDAPS STARTTLS	LDAP 通信の暗号化を設定します。

■ Kerberos（セキュアプロトコル）

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
Realm Name	ドメイン	ー	なし	ケルベロス認証で使用するレルム名を設定します。

■ Windows Rally

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
WSD Print	WSD Print	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	WSD Print の使用／非使用を設定します。
LLTD	LLTD	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	LLTD の使用／非使用を設定します。

■ IPSec

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
IPSec	IPSec	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPSec の使用／非使用を設定します。
ー	IP アドレス 1 ～ 50	ー	0.0.0.0	IPSec で通信を許可するホストを設定します。 ● IPv4 アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。 ● IPv6 グローバルアドレスは、“:” で区切られた半角の英数字を使用してください。 ● IPv6 リンクローカルアドレスはサポートしていません。
ー	IKE 暗号化アルゴリズム	ー	3DES-CBC DES-CBC	IKE の暗号化方式を設定します。
ー	IKE ハッシュアルゴリズム	ー	SHA-1 MD5	IKE のハッシュ方式を設定します。
ー	Diffie-Hellman グループ	ー	Group1 Group2	Phase1 Proposal で使用される Diffe-Helman グループを設定します。
ー	ライフタイム	ー	600 86400 28800	ISAKMP SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。
ー	事前共有キー	ー	なし	事前共有キーを設定します。
ー	Key PFS	ー	KEYPFS NOPFS	Key PFS (Perfect Forward Secrecy) の使用／非使用を設定します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

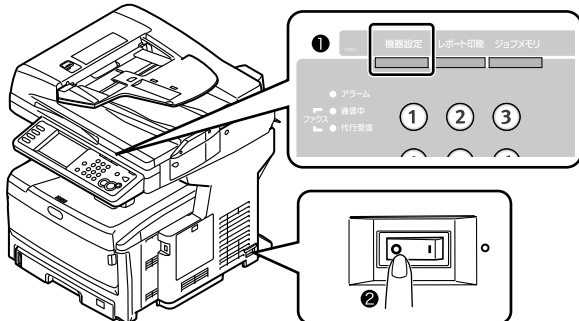
網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール		
ー	Key PFS 有効時の Diffie-Hellman グループ	ー	Group2 Group1 None	Key PFS を使用する場合に、使用される Diffe-Helman グループを設定します。
ー	ESP	ー	有効 無効	ESP (Encapsulating Security Payload) の使用／非使用を設定します。
ー	ESP 暗号化アルゴリズム	ー	3DES-CBC DES-CBC	ESP で使用する暗号化アルゴリズムを設定します。
ー	ESP 認証アルゴリズム	ー	SHA-1 MD5 OFF	ESP で使用する認証アルゴリズムを設定します。
ー	AH	ー	有効 無効	AH (Authentication Header) の使用／非使用を設定します。
ー	AH 認証アルゴリズム	ー	SHA-1 MD5	AH で使用する認証アルゴリズムを設定します。
ー	ライフタイム	ー	600 3600 86400	IPSec SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。

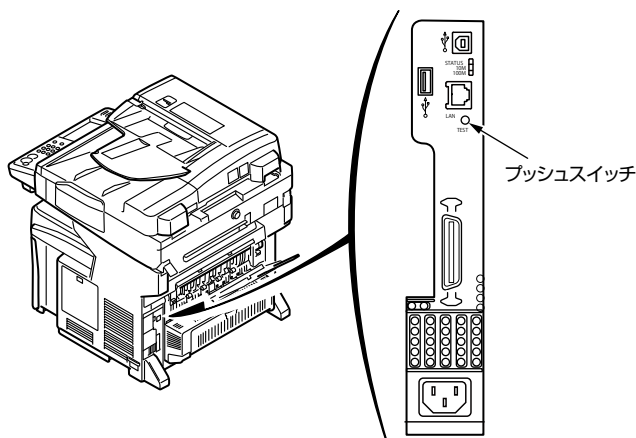
ネットワーク設定を初期化する

注

- 初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

1 本機の電源を OFF にします。

メモ

- 電源の切り方はセットアップ編「電源を切る」をご覧ください。

2 プッシュスイッチを押したまま、本機の電源を ON にし、操作パネル上に［しばらくお待ちください　ネットワーク初期化中です］が表示されたら、離します。

ネットワークの設定値が初期化されます。

DHCP/BOOTP を使用する

DHCP サーバーまたは BOOTP サーバーから IP アドレスを取得できます。

注

- セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。
- IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

DHCP サーバーの設定をする

DHCP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに動的に IP アドレスを割り当てるためのプロトコルです。IP アドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

注

- 装置には、固定の IP アドレスが割り当てられるように DHCP サーバーを設定してください。ランダムに IP アドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができない場合があります。固定の IP アドレスを割り当てる方法については、各 DHCP サーバーのマニュアルをご覧ください。

■動作確認環境

- Windows 2003 Server 日本語版 DHCP サーバー
- Windows NT Server 4.0 日本語版 DHCP サーバー
- Windows NT Server 4.0 日本語版 DHCP リレーエージェント
- Sun OS 4.1.3+WIDE 版 DHCP バージョン 1.3.6

以下の説明は、Windows NT Server 4.0 日本語版 DHCP サーバーを例にしています。

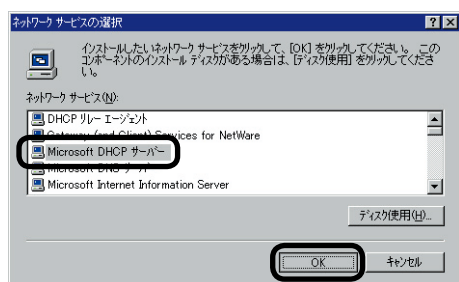
1 ［スタート］ - ［設定］ - ［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワーク］をダブルクリックし、［サービス］タブを開きます。

参照

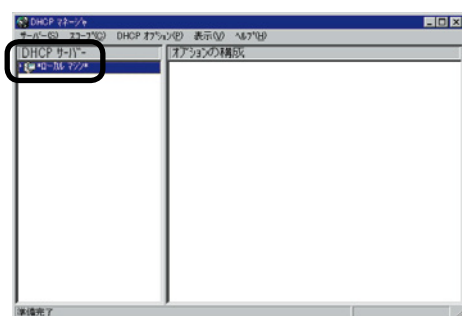
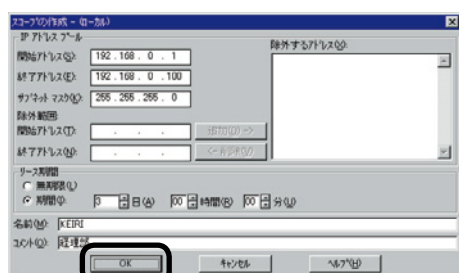
- ［ネットワークサービス］に［Microsoft DHCP サーバー］が表示されている場合は、「■［ネットワークサービス］に［Microsoft DHCP サーバー］が表示されている場合」に進みます。

3 ［追加］をクリックします。

4 [Microsoft DHCP サーバー] を選択し、[OK] をクリックします。

5 Windows を再起動します。

■ [ネットワークサービス] に [Microsoft DHCP サーバー] が表示されている場合

1 [スタート] - [プログラム] - [管理ツール (共通)] - [DHCP マネージャ] を選択します。

2 [DHCP サーバー] 一覧からスコープを作成するサーバーをクリックします。

3 [スコープ] メニューの [作成] を選択し、[IP アドレス　プール] の設定を行い、[OK] をクリックします。

4 [スコープ] メニューの [予約の追加] を選択し、各項目を入力し、[追加] をクリックします。

(1) IP アドレスを入力します。

(2) [一意の ID] に、本機の MAC アドレスを入力します。

(3) [クライアント名]、[クライアントコメント] に任意の名前を入力します。

! 注

- 必ず [予約の追加] で IP アドレスを割り当ててください。
- MAC アドレスは、操作パネルの [機器設定] キーを押し、[装置情報] - [ネットワーク] を押すと、表示されます。

5 [閉じる] をクリックします。

6 [スコープ] メニューの [アクティブ化] を選択し、作成したスコープをアクティブにします。

7 [DHCP マネージャ] を終了します。

BOOTP サーバーの設定をする

BOOTP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、BOOTP サーバーに登録した IP アドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション　: HP-UX 9.x の BOOTP サーバー

IP アドレス　: 192.168.0.2

MAC アドレス : 00:80:87:84:9C:9B

ホスト名　: MC862

! 注

- MAC アドレスは、操作パネルの [機器設定] キーを押し、[装置情報] - [ネットワーク] を押すと、表示されます。

1 /etc/hosts ファイルに、本機の IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 MC862
```

2 /etc/bootptab ファイルに次の設定を追加します。

MC862:\	/etc/hosts に登録したホスト名
ht=ether:\	ハードウェアタイプを [ether] にします。
ha=008087849C9B:\	MAC アドレス
ip=192.168.0.2:\	IP アドレス
sm=255.255.255.0:\	サブネットマスク
gw=192.168.0.1:\	ゲートウェイ

3 /etc/inetd.conf ファイルに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /etc/ bootpd bootpd
```

4 inetd を再起動します。

```
# kill -1 1
```

5 本機の電源を ON にします。

本機の設定をする

本機を DHCP/BOOTP 使用の設定にする方法について説明します。

なお、工場出荷時の設定では、DHCP/BOOTP プロトコルが有効になっていますので、この手順を実行する必要はありません。

メモ

- 次の手順では、NIC 設定ツールを例にしています。お使いのソフトウェアによって、記載と異なることがあります。

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターの電源を入れ、「ソフトウェア DVD-ROM」を挿入します。

3 ［setup.exe の実行］をクリックします。
［ユーザー アカウント制御］ダイアログが表示されたら、［はい］をクリックします。

4 言語を選択し、［次へ］をクリックします。

5 モデルを選択し、［次へ］をクリックします。

6 使用許諾契約を読んで、［同意する］をクリックします。

7 ［環境についてのアドバイス］を読み、［次へ］をクリックします。

8 ［装置の設定］＞［NIC 設定ツール］を選択します。

9 リストから本機を選択します。

10 ［設定］メニューから［プリンタ設定］を選択します。

11 IP アドレスを設定し、［設定］をクリックします。

12 ［パスワード入力］にパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- 工場出荷時のパスワードは、MAC アドレスの下 6 桁です。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。

13 確認ウィンドウで［OK］をクリックします。
本機のネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。再起動中には、装置状態アイコンは赤色に変わります。本機のネットワークカードが再起動し、新しい設定が有効になると、状態アイコンは緑色になります。

14 ［ファイル］メニューから［終了］を選択して NIC 設定ツールを閉じます。

SNMP を使用する

本機は、SNMP エージェントを実装しています。市販されている SNMP マネージャーで本機の設定値の参照・変更をすることができます。

SNMP マネージャーで参照・変更可能な設定項目は MIB と呼ばれ、本機は MIB-II および沖データプライベート MIB に対応しています。沖データプライベート MIB については、本機添付の「ソフトウェア DVD-ROM」の［MISC］-［Mib］フォルダーの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

IPv6 について

IPv6 機能を実装しています。

IPv6 アドレスは自動的に取得されます。IPv6 アドレスの手動設定はできません。

IPv6 では以下のプロトコルに対応しています。

印刷：LPD、Port9100、IPP、FTP

設定：HTTP、Telnet、SNMPv1/v3

SMTP 送信、IP フィルタリング、WINS 登録、SNMP Trap などは IPv4 にのみ対応しています。

本製品との正常動作を確認済みのアプリケーションは下表の通りです。

プロトコル	アプリケーション	使用条件
LPD	Windows 7 Windows Vista Windows XP (IPv6 インストール済) コマンドプロンプトの LPR	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス (先頭が“fe80”で始まるアドレス) を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
Port9100	Windows 7 Windows Vista Redhat Linux 9.0 LPRng	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス (先頭が“fe80”で始まるアドレス) を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
FTP	Windows 7 Windows Vista Windows XP (IPv6 インストール済) コマンドプロンプトの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス (先頭が“fe80”で始まるアドレス) を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス (先頭が“fe80”で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。

<table>
<tr><th>プロトコル</th><th>アプリケーション</th><th>使用条件</th></tr>
<tr><td rowspan="6">HTTP</td><td>Windows Vista
Internet Explorer 7.0
Windows XP
(IPv6 インストール済)
Internet Explorer 6.0</td><td>(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。
(2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。
(3) またリンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。</td></tr>
<tr><td>Windows Vista
Windows XP
(IPv6 インストール済)
Mozilla Firefox (Ver.1.0.6)</td><td rowspan="2">(1) IPv6 アドレスを “[]” で囲んで入力する必要があります。
(2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由することで、ホスト名での指定も可能です。
(3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。
(4) また、リンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。</td></tr>
<tr><td>Windows Vista
Windows XP
(IPv6 インストール済)
Mozilla (Ver.1.7.8)</td></tr>
<tr><td>Mac OS X
Safari (1.2.3-v125.9)</td><td>(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。
(2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。
(3) また、リンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。</td></tr>
<tr><td>Mac OS X
Safari (2.0-v412.2)</td><td>(1) IPv6 アドレスを “[]” で囲んで入力する必要があります。
(2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由することで、ホスト名での指定も可能です。
(3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。
(4) また、リンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続することはできません。</td></tr>
<tr style="display:none"></tr>
<tr><td rowspan="2">Telnet</td><td>Windows 7
Windows Vista
Windows XP
(IPv6 インストール済)
コマンドプロンプトの Telnet</td><td>(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由することで、ホスト名での指定も可能です。
(2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。
(3) また、リンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。</td></tr>
<tr><td>Mac OS X
ターミナルからの Telnet</td><td>(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバーを経由することで、ホスト名での指定も可能です。
(2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバーを用いたホスト名指定はできなくなります。
(3) また、リンクローカルアドレス (先頭が “fe80” で始まるアドレス) を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。</td></tr>
</table>

機器を初期化する

内蔵ハードディスクを初期化する

内蔵ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。

内蔵ハードディスクは 3 つのパーティションに分割されています。内蔵ハードディスクを初期化（イニシャライズ）すると、パーティションも分割し直します。特定のパーティションのみをフォーマットすることもできます。

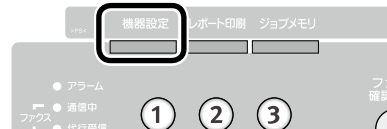
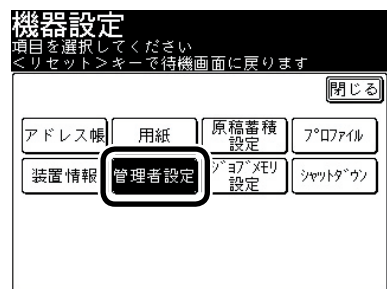
メモ

- 内蔵ハードディスクのパーティションには［PS］、［PCL］、［COMMON］があります。
  - ［PS］
    PostScript モードのフォームを格納するエリアです。
  - ［PCL］
    PCL モードのフォームを格納するエリアです。
  - ［COMMON］
    「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」でジョブを登録するエリアです。

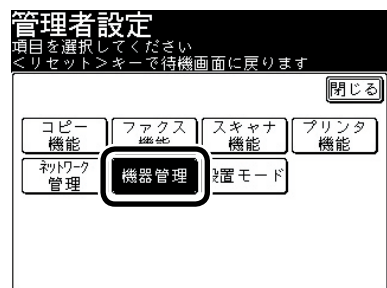
! 注

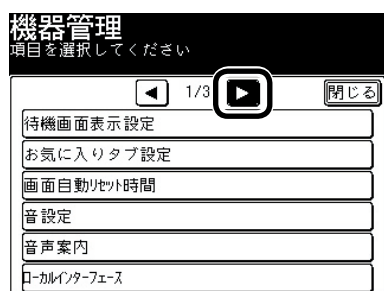
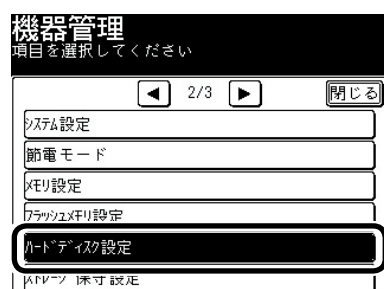
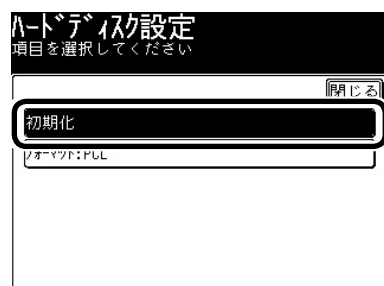
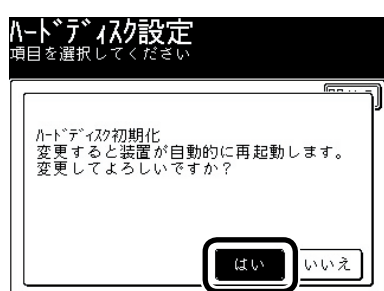
- 内蔵ハードディスクを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。
  - 「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
  - 登録したフォーム
- プリントジョブアカウンティング（オプション）に本機がすでに追加されている場合は、内蔵ハードディスクの初期化をする前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンターのハードディスクからいったん削除する必要があります。このため、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングから本機を削除してください。削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
- 工場出荷時は「初期化の制限」が「有効」になっているためハードディスクの［初期化］は選択出来ません。
  ［ストレージ保守設定］から［初期化の制限］を無効にしてください。
  詳しくは「［管理者設定］を押したとき」（P.241）の「機器管理」をご覧ください。

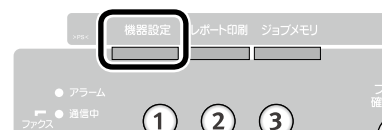
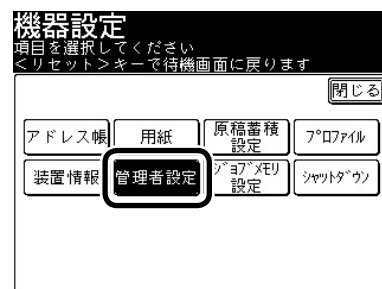
内蔵ハードディスクを初期化する

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

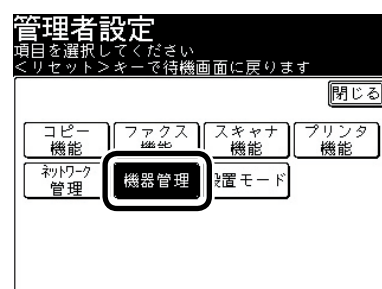
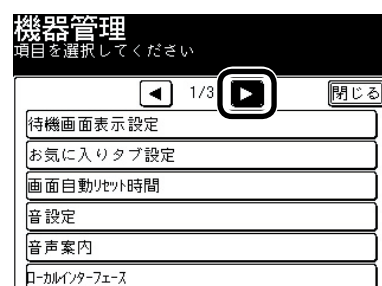
- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［機器管理］を押します。

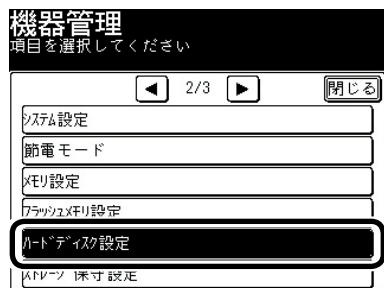
5 ［▶］を 1 回押し、［機器管理］画面の［2/3］を表示します。

6 ［ハードディスク設定］を押します。

7 ［初期化］を押します。

8 確認の画面を表示するので、［はい］を押します。

特定のパーティションをフォーマットする

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

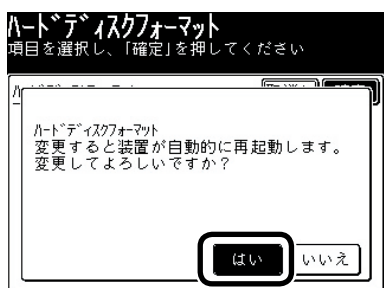
メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［▶］を 1 回押し、［機器管理］画面の［2/3］を表示します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う設定の登録機能
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 アクセス制御・ユーザー認証
付録
索引

6 ［ハードディスク設定］を押します。

7 ［フォーマット］を押します。

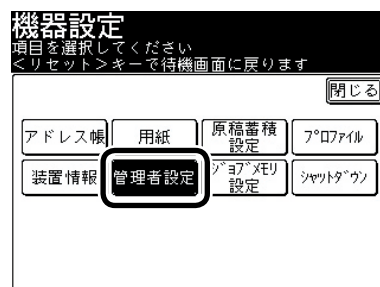
8 フォーマットしたいパーティションを選び、［確定］を押します。

9 確認の画面を表示するので、［はい］を押します。

フラッシュメモリーを初期化する

フラッシュメモリーを初期の状態に戻すことができます。

注

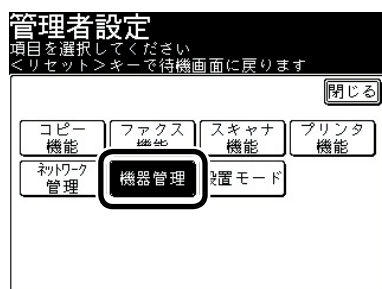
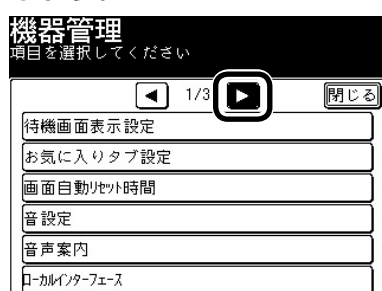
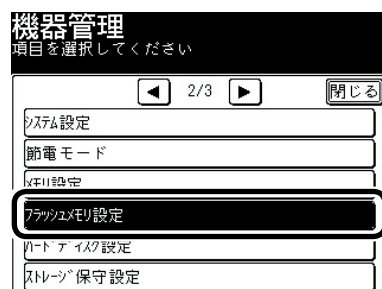
- フラッシュメモリーを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。
  - 登録したフォーム
- プリントジョブアカウンティング（オプション）に本機がすでに追加されている場合は、フラッシュメモリーを初期化する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報を装置のフラッシュメモリーから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングから本機を削除してください。削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
- 工場出荷時は「初期化の制限」が「有効」になっているためフラッシュメモリーの［初期化］は選択出来ません。
［ストレージ保守設定］から［初期化の制限］を無効にしてください。詳しくは「［管理者設定］を押したとき」（P.241）の「機器管理」をご覧ください。

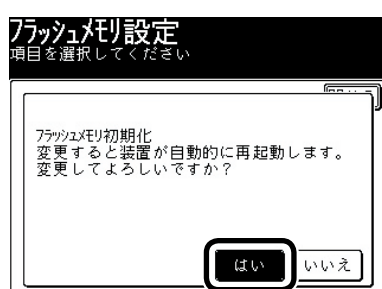
1 <機器設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［▶］を 1 回押し、［機器管理］画面の［2/3］を表示します。

6 ［フラッシュメモリ設定］を押します。

7 ［初期化］を押します。

8 確認の画面を表示するので、［はい］を選択します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

設定情報を印刷する（レポート印刷）

印刷できるレポート一覧

リスト名		説　明	参照ページ
機器設定		全メニューのカテゴリ・アイテムと現在の設定値一覧を印刷します。また、ページの先頭部分に装置の詳細情報を印刷します。	301 ページ
ファイルリスト		ファイルシステムに登録されたファイルの一覧を印刷します。	302 ページ
デモページ		装置内に内蔵しているデモ用の印刷データを印刷します。	303 ページ
エラーログ		装置で検出し記憶しているエラーを印刷します。	304 ページ
スキャン To ログ		Scan to メール / Scan to ネットワーク PC / Scan to USB メモリ ジョブの実行結果をレポートとして出力します。	304 ページ
印刷集計結果		印刷集計結果を印刷します。	305 ページ
ネットワーク情報		ネットワーク情報を印刷します 。	302 ページ
短縮ダイヤルリスト		短縮ダイヤルの登録内容一覧を印刷します。	306 ページ
宛先グループリスト		グループに登録されている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。	306 ページ
通信管理レポート	ファクス送信	送受信を合わせた直近 100 件の通信のうちの送信結果のみをレポート印刷します。	307 ページ
	ファクス受信	送受信を合わせた直近 100 件の通信のうちの受信結果のみをレポート印刷します。	307 ページ
	ファクス送受信	直近 100 件の送信、受信結果の通信結果をレポート印刷します。	307 ページ
	通信管理日報レポート	24 時間以内にあった通信の結果をレポート印刷します。	307 ページ
F コードボックスリスト		開設 F コードボックスの一覧をリスト印刷します。	308 ページ
ダイレクトメール防止リスト		ダイレクトメール防止ダイヤルリストの登録内容一覧をリスト印刷します。	309 ページ
蓄積原稿リスト		Fax 側に蓄積されている原稿のリストを印刷します。	310 ページ
E メールアドレスリスト		登録されている E メールアドレス・グループアドレス一覧を印刷します。	311 ページ
PCL フォントリスト		PCL のフォントサンプルを印刷します。	312 ページ
PSE フォントリスト		PS のフォントサンプルを印刷します。	312 ページ
カラー調整パターン		階調特性を調整するためのパターンを印刷します。	312 ページ
カラープロファイルリスト		カラープロファイルリストを印刷します。	313 ページ

メモ

- ［機器設定］-［管理者設定］-［機器管理］-［システム設定］-［すべてのレポート印刷許可］で［無効］を選択しているときは、以下のレポート印刷の実行に管理者パスワードの入力が必要です。
  - スキャン To ログ
  - E メールアドレスリスト
  - 短縮ダイヤルリスト
  - 宛先グループリスト
  - 通信管理レポート
  - ファクス送信
  - ファクス受信
  - ファクス送受信
  - 通信管理日報レポート

注

- レポート印刷をする時は、お使いのトレイに A4 サイズの用紙をセットしてから行ってください。

1 いろいろなプリントのしかた 2 いろいろなコピーのしかた 3 いろいろなファクスのしかた 4 いろいろなスキャンのしかた 5 よく使う機能の登録設定 6 カラー調整 7 機能設定／レポート印刷 8 ユーザー認証・アクセス制御 付録 索引

装置の設定に関するリストを印刷する

機器設定

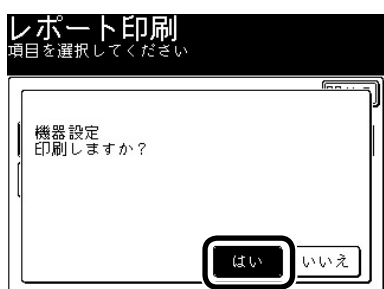
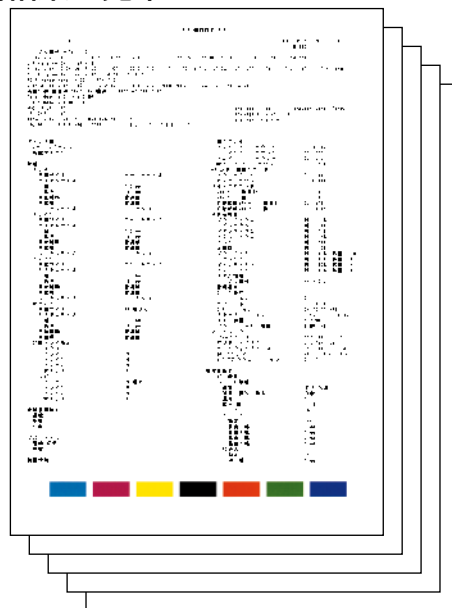
本機に関する情報を印刷します。

IP アドレスや MAC アドレス、その他の設定されている値や消耗品の残量を知りたいとき、本機の印刷部が正常に動作しているかを確認したいときなどに印刷します。

■ 印刷のしかた

1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［機器設定］を押します。

3 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

装置情報に関するリストを印刷する

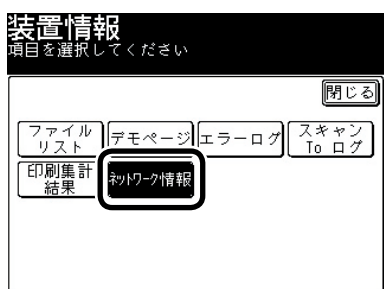
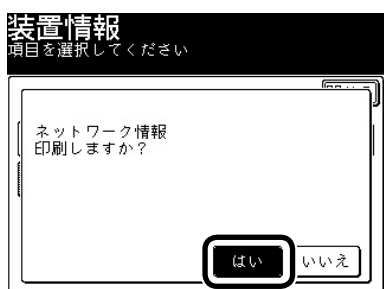
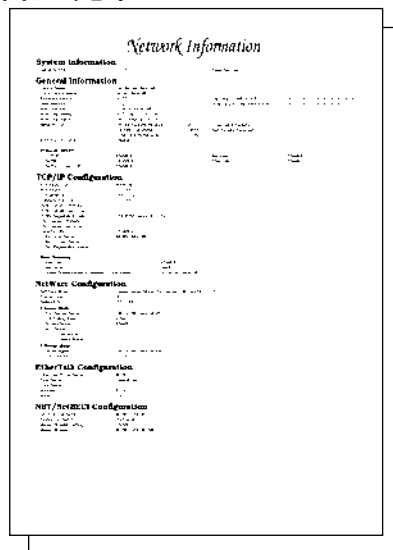
ネットワーク情報

本機のネットワークに関する情報を印刷します。

■印刷のしかた

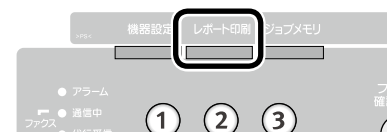
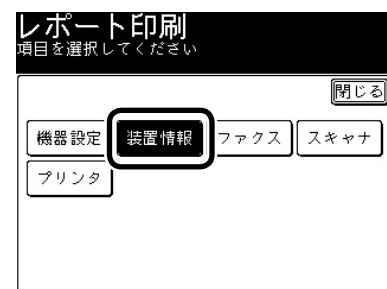
1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

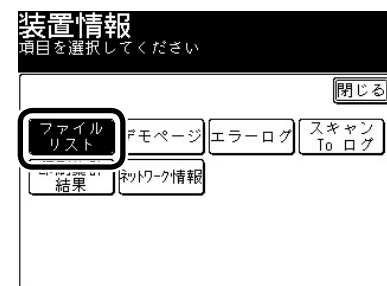
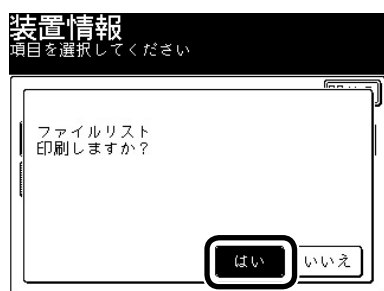
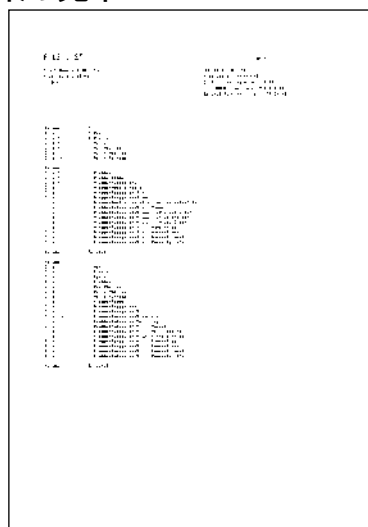
2 ［装置情報］を押します。

3 ［ネットワーク情報］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

ファイルリスト

ファイルシステムに登録してあるファイルの一覧を印刷します。

■印刷のしかた

1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［装置情報］を押します。

3 ［ファイルリスト］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

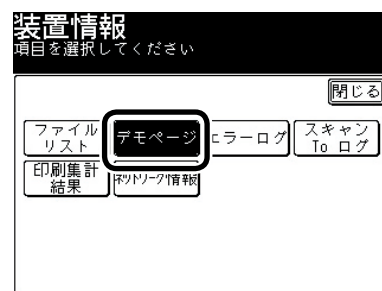
デモページ

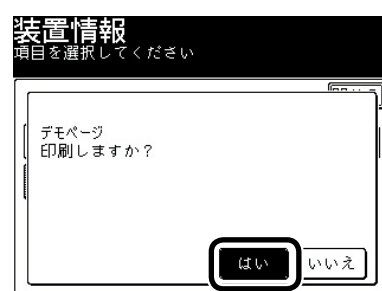
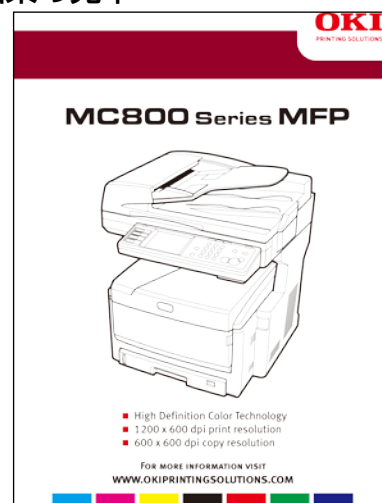
デモンストレーション用のページを印刷します。

■ 印刷のしかた

1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［装置情報］を押します。

3 ［デモページ］を押します。

4 デモページの一覧が表示されるので、印刷したいものを 1 つ選択します。

5 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

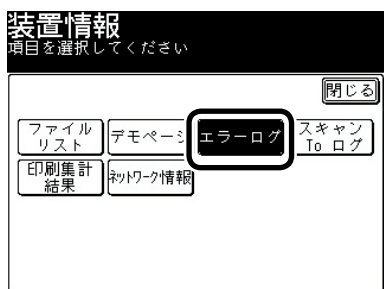
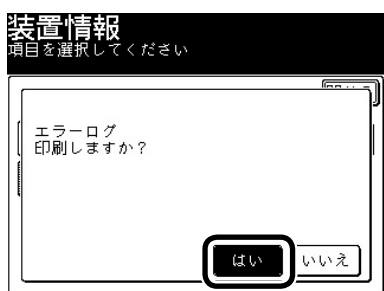
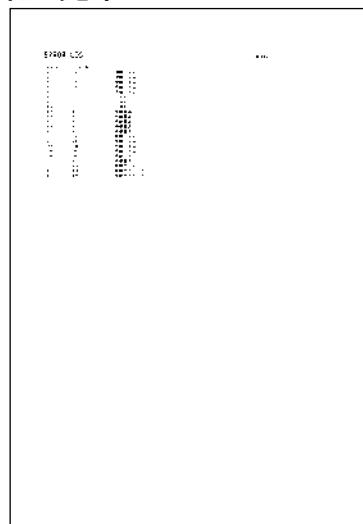
エラーログ

装置内で起こったエラーの履歴を印刷します。

■印刷のしかた

1 <レポート印刷>キーを押します。

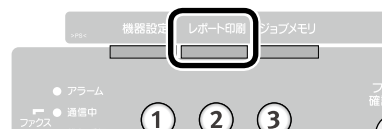
2 ［装置情報］を押します。

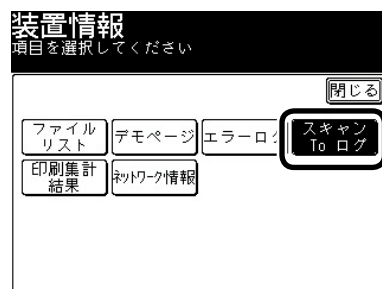
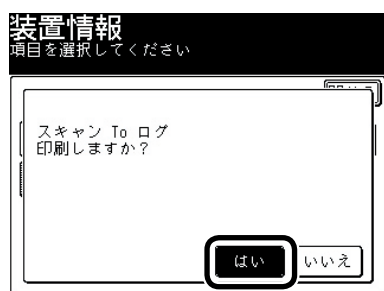
3 ［エラーログ］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

スキャン To ログ

スキャンの種別、スキャンしたデータの格納先、スキャンの結果（OK/NG）などを印刷します。

■印刷のしかた

1 <レポート印刷>キーを押します。

2 ［装置情報］を押します。

3 ［スキャン To ログ］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

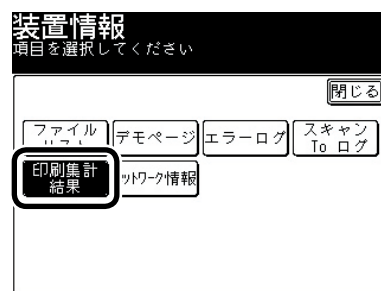
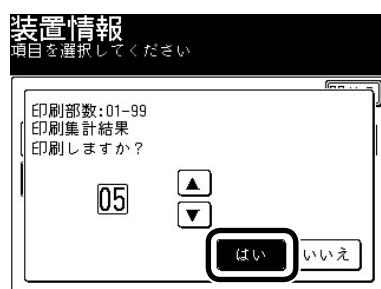
印刷集計結果

印刷集計結果を印刷します。

■ 印刷のしかた

1 <レポート印刷>キーを押します。

2 ［装置情報］を押します。

3 ［印刷集計結果］を押します。

4 印刷部数をテンキーまたは［▲］［▼］で指定し、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

ファクスに関するリストを印刷する

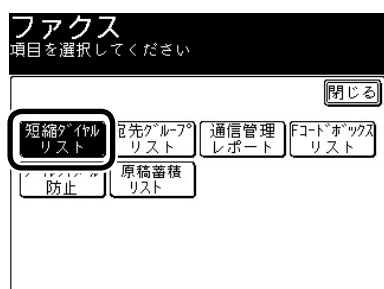
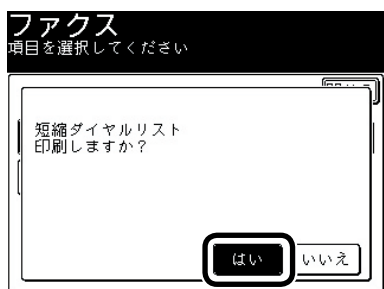
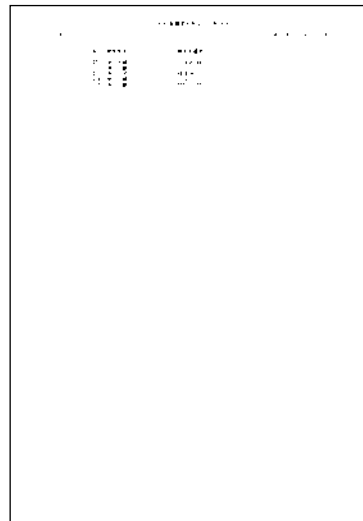
短縮ダイヤルリスト

登録されている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。

■印刷のしかた

1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［ファクス］を押します。

3 ［短縮ダイヤルリスト］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

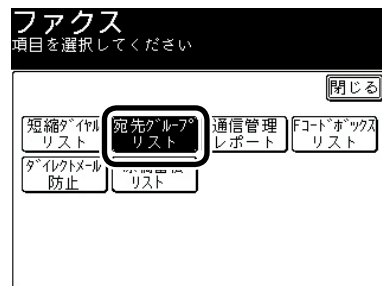
宛先グループリスト

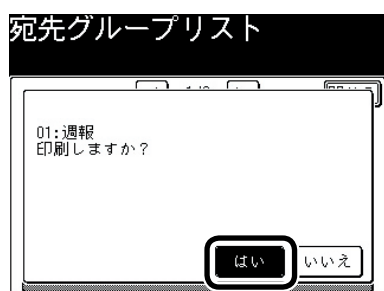
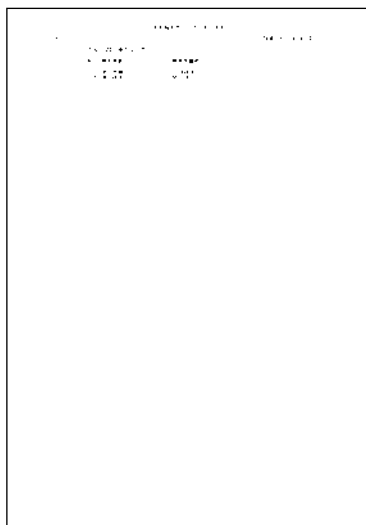
本機にグループ登録されている短縮ダイヤルの一覧を印刷します。

■印刷のしかた

1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［ファクス］を押します。

3 ［宛先グループリスト］を押します。

4 印刷したいグループを選択します。

5 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

通信管理レポート

ファクス通信結果の一覧を印刷します。

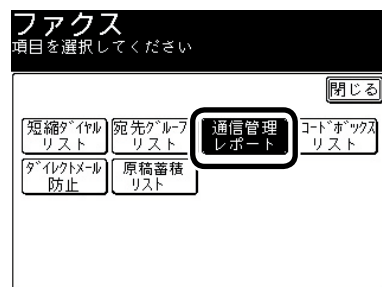
メモ

- 通信エラーになった場合には、結果欄にエラーコードが記載されます。エラーコードの内容については、困ったときには / 日々のメンテナンス編「操作パネルにエラーメッセージが表示されるとき」をご覧ください。

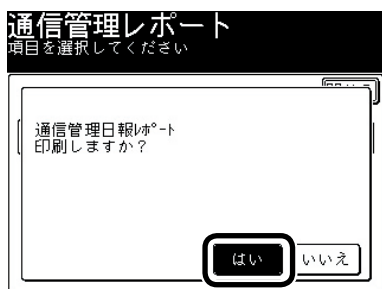
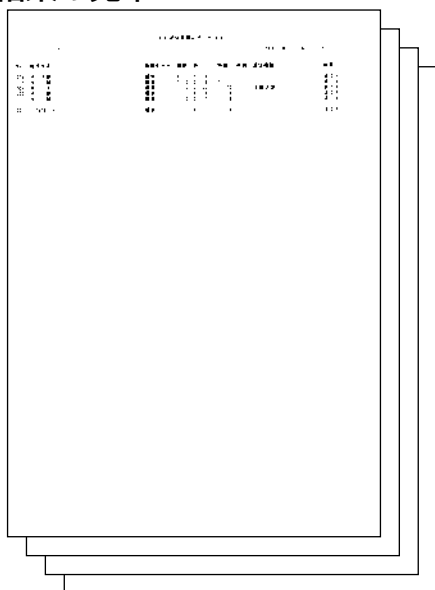
■印刷のしかた

1 <レポート印刷>キーを押します。

2 ［ファクス］を押します。

3 ［通信管理レポート］を押します。

4 印刷したい項目を選択します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

5 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

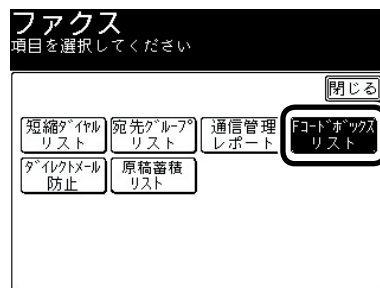
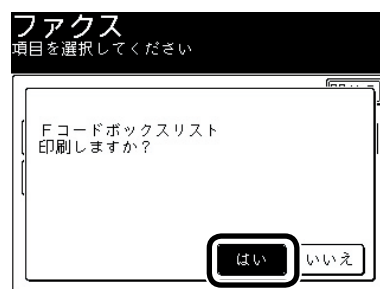
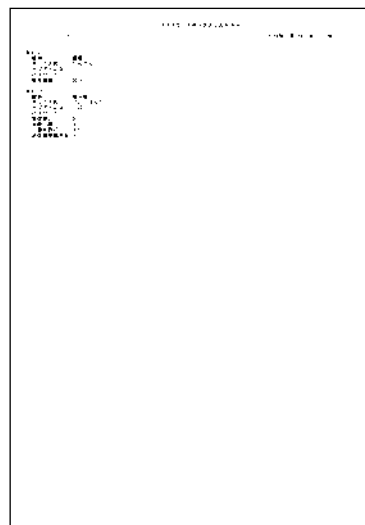
F コードボックスリスト

F コードボックスの一覧を印刷します。

■印刷のしかた

1 <レポート印刷>キーを押します。

2 ［ファクス］を押します。

3 ［F コードボックスリスト］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

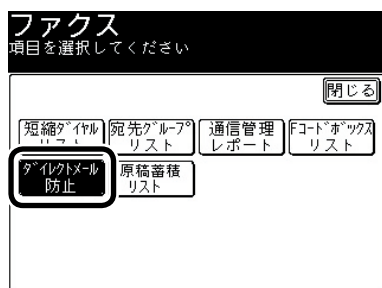
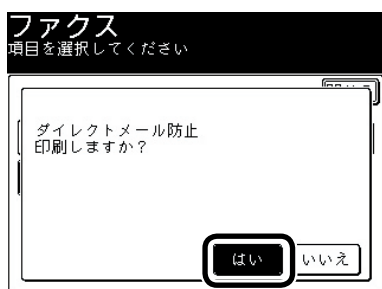
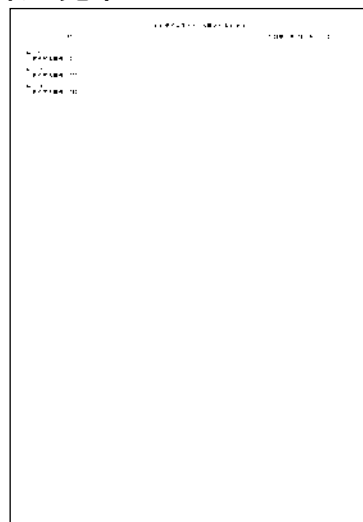
ダイレクトメール防止リスト

本機のダイレクトメール防止ダイヤルリストに登録されている番号の一覧を印刷します。

■ 印刷のしかた

1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［ファクス］を押します。

3 ［ダイレクトメール防止］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■ 印刷結果の見本

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

蓄積原稿リスト

本機に蓄積されているファクス原稿の一覧を印刷します。

■印刷のしかた

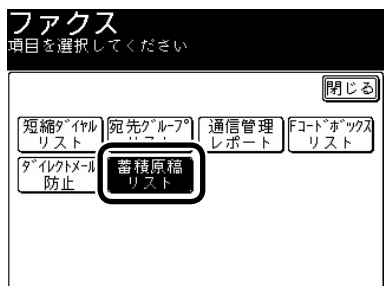
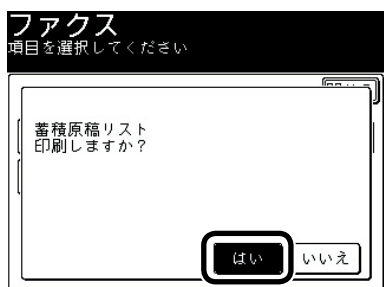
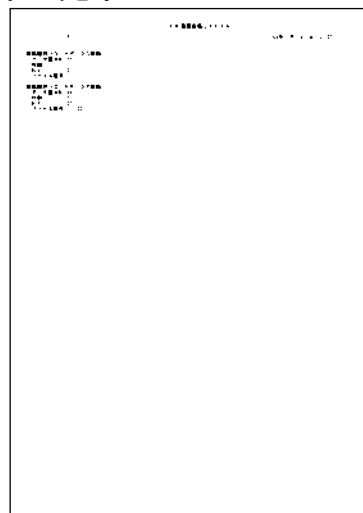
1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［ファクス］を押します。

3 ［蓄積原稿リスト］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

スキャナーに関するリストを印刷する

E メールアドレスリスト

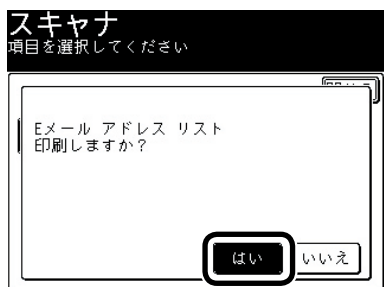
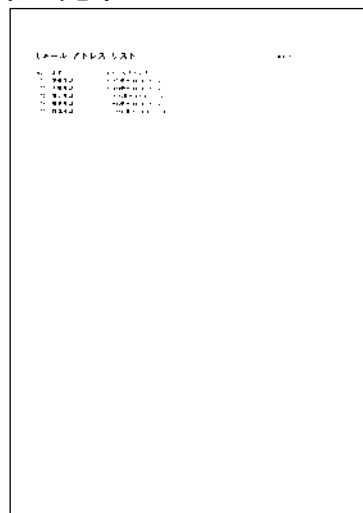
本機のアドレス帳に登録されている E メールアドレスの一覧を印刷します。

■印刷のしかた

1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［スキャナ］を押します。

3 ［E メールアドレスリスト］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

プリンターに関するリストを印刷する

フォントリスト

本機に搭載しているフォントのサンプルを印刷します。

■印刷のしかた

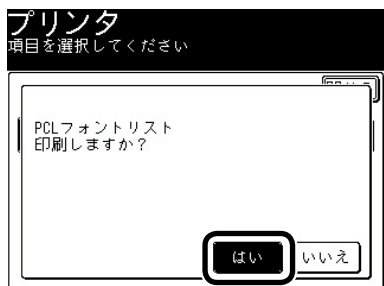
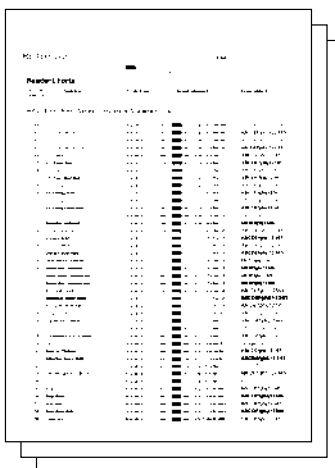
1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［プリンタ］を押します。

3 ［PCL フォントリスト］または［ PSE フォントリスト］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

〈PCL フォントリスト〉 〈PSE フォントリスト〉

カラー調整パターン

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの色の調子（淡い、中間、濃い）を印刷します。

参照

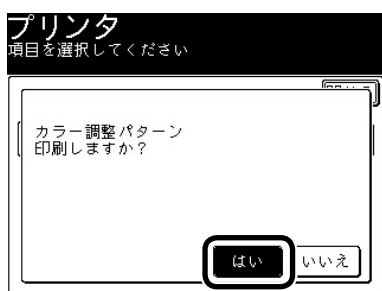
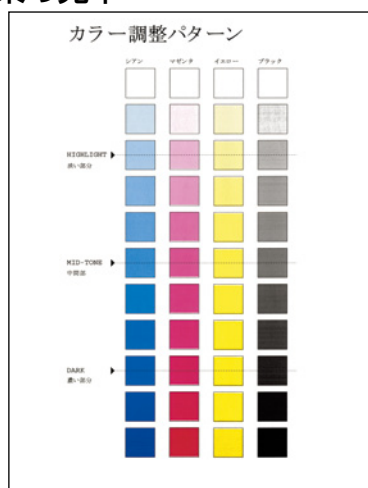
- 印刷したカラー調整パターンを元に色味を調整するには、「カラーバランス（濃度）を調整する」（P.209）をご覧ください。

■印刷のしかた

1 ＜レポート印刷＞キーを押します。

2 ［プリンタ］を押します。

3 ［カラー調整パターン］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

カラープロファイルリスト

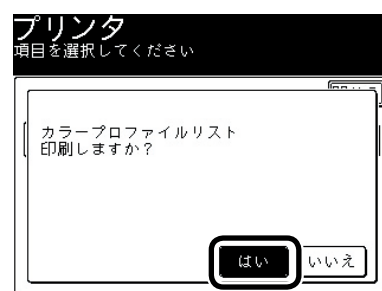
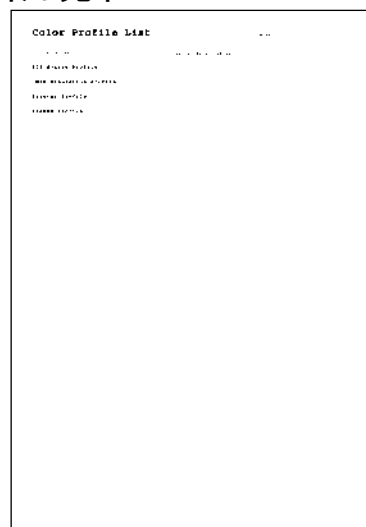
本機に登録している ICC プロファイルの一覧を印刷します。

■印刷のしかた

1 <レポート印刷>キーを押します。

2 ［プリンタ］を押します。

3 ［カラープロファイルリスト］を押します。

4 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

■印刷結果の見本

Web ブラウザー

本機のネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

■ Windows をお使いの方

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 以上または Netscape Navigator Ver.6.0 以上がインストールされているコンピューター

TCP/IP で動作しているコンピューター

メモ

- お使いのブラウザーの設定が以下のようになっているか確認してください。
- Microsoft Internet Explorer Ver.5.5 の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル] を「中」に設定します。
- Microsoft Internet Explorer Ver.6.x の場合は、[ツール] メニューの [インターネットオプション] - [プライバシー] - [設定] を「中」に設定します。
- Netscape Navigator 6.x ～ 7 の場合は、[編集] メニューの [設定] - [プライバシーとセキュリティ] - [Cookie] - [すべての Cookie を有効にする] に設定します。

■ Macintosh をお使いの方

Safari Ver.1.3 以上、Microsoft Internet Explorer Ver.5.1 以上もしくは Netscape Navigator Ver.6.0 以上がインストールされているコンピューター

TCP/IP で動作しているコンピューター

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

- 装置名： MC862
- 装置の IP アドレス： 192.168.0.2
- MAC アドレス： 00:80:87:84:9C:9B
- Web ブラウザー： Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

起動する

1. Web ブラウザーを起動します。
2. アドレスバーに URL「http:// 本機の IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

プリンターステータス画面が表示されます。

注

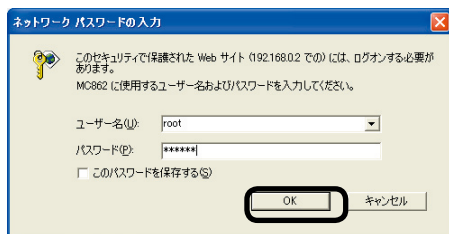
- IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
  （例） 正しい入力値：http://192.168.0.2/
  誤った入力値：http://192.168.000.002/

管理者としてログインする

注

● Web ブラウザーで本機の設定変更を行うには、装置の管理者としてログインする必要があります。

1 ［管理者のログイン］をクリックします。

2 ［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

● パスワードは操作パネルの「管理者パスワード」と同様です。

3 ネットワーク上で確認できるプリンター情報を設定し、［OK］または［スキップ］をクリックします。

注

● ［スキップ］をクリックすると、設定を省略できます。

● ［次回からこのページを表示しない］にチェックを付けて、［OK］または［スキップ］をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

4 下の画面が表示されます。

項目一覧

■ 装置情報

項　目	説　　明
ステータス	装置の現在のステータスを表示します。「障害情報」として装置に発生しているすべての警告やエラーを表示します。また、各ネットワークサービスの動作状況や装置情報の一覧、装置に設定されている IP アドレスも確認することができます。ステータスウィンドウについては、507 ページをご覧ください。
カウンタ	印刷、スキャンでの印刷数を表示します。
消耗品残量	消耗品の残量や寿命を表示します。
印刷集計	印刷集計結果を表示します。
ネットワーク	一般情報、TCP/IP ステータス、メンテナンス情報など、ネットワークに関する設定情報を確認することができます。
システム情報	各種バージョン、メモリー容量、フラッシュメモリー容量、システムに関する情報を表示します。

■ レポート印刷　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

項　目	説　　明
機器設定	機器設定レポートを印刷します。
装置情報	ファイルリスト、ネットワーク情報などの設定内容を印刷します。
プリンタ	PCL フォントリスト、カラー調整パターンなどの設定内容を印刷します。

■ 用紙　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

項　目	説　　明
トレイ構成	各トレイの用紙サイズ、カスタム用紙等を設定できます。プリンタードライバーを使用する場合には、この設定値よりもプリンタードライバーで設定した値が優先されます。
印刷トレイ設定	受信原稿のプリント、自動用紙選択時に使用するトレイを選択します。

■ プロファイル　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

スキャン To ネットワーク PC 実行時に必要な情報を設定し、プロファイルとして登録しておくことができます。プロファイルの登録には、プロトコル、保存先 URL、ファイル名、濃度、原稿サイズ、カラー形式、モノクロ形式等を設定することができます。

■ 管理者設定　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

【PIN ID】

ユーザー毎に、印刷 (プリント)、印刷（コピー)、カラー印刷（プリント)、カラー印刷（コピー)、スキャン To E メール、ファクス送信、スキャン To ネットワーク PC、スキャン To USB メモリの設定をすることができます。ユーザーは 5002 件まで (内 2 件は予約 ID) 登録することができます。

【ネットワーク管理】

項　目	説　　明
一般ネットワーク設定	使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。
TCP/IP	TCP/IP に関する情報を設定できます。 参照 「IPv6 を使用する」(P.342) をご覧ください。
NetWare	NetWare に関する情報を設定できます。
EtherTalk	EtherTalk に関する情報を設定できます。
NBT/NetBEUI	NetBIOS over TCP, NetBEUI/WINS に関する情報を設定できます。
Email	プリンターに発生した事象を Email で通知する機能を設定できます。 参照 ● 「エラーをメールで通知する」(P.336) をご覧ください。
SNMP	SNMP に関する情報を設定できます。 参照 ● 「SNMPv3 を使用する」(P.341) をご覧ください。
IPP	IPP 印刷をする機能を設定できます。
Windows Rally	Windows Rally に関する情報を設定できます。
IEEE802.1X	IEEE802.1X/EAP に関する情報を設定できます。 参照 ● 「IEEE802.1X を使用する」(P.344) をご覧ください。
セキュアプロトコルサーバ設定	セキュアプロトコルサーバーに関する情報を設定できます。
LDAP サーバ設定	LDAP に関する情報を設定できます。
メールサーバ設定	メールサーバーに関する情報を設定できます。

項　目	説　　明
セキュリティ	
プロトコル ON/OFF	使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止することができます。
IP フィルタリング	TCP/IP によるアクセスを制限することができます。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は IP アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンターにネットワークからアクセスできなくなるような重大なトラブルを招きます。 参照 ● 「IP アドレスでのアクセス制限機能（IP フィルタ）を使用する」(P.333) をご覧ください。
MAC アドレスフィルタリング	MAC アドレスによるアクセス制限をすることができます。 社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は MAC アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンターにネットワークからアクセスできなくなるような重大なトラブルを招きます。 参照 ● 「管理者としてログインする」(P.315) をご覧ください。 ● 「MAC アドレスでのアクセス制限機能を使用する」(P.335) をご覧ください。
暗号化 (SSL/TLS)	Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピューター(クライアント)－プリンター間の通信を暗号化できます。 参照 ● 「通信を暗号化する（SSL/TLS)」(P.321) をご覧ください。
IPSec	コンピューター（クライアント）- 装置間通信の暗号化と改ざん防止のための設定をすることができます。 参照 ● 「通信を暗号化する（IPSec)」(P.325) をご覧ください。
ネットワークパスワード変更	管理者のパスワードを変更します。パスワードの初期値は MAC アドレスの英数字下 6 桁です。 参照 ● 「パスワードを設定する」(P.319) をご覧ください。
メンテナンス	
再起動 / 初期化	ネットワークの再起動や初期化をします。 再起動した場合、再起動が完了するまで Web ブラウザーからアクセスしても、Web Page は表示されません。初期化をした場合は、IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Page も表示できなくなります。
LAN の規模の設定	ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つハブを使用する場合、クロスケーブルでコンピューターとプリンターを 1 対 1 で接続する場合などに効果を発揮します。
ネットワーク PS- プロトコル	ネットワーク PS- プロトコルの設定をすることができます。

【コピー機能】

画質、濃度、読取サイズ、とじしろ、枠消去、両面等の設定ができます。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う設定の登録機能
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

【ファクス機能】

項　目	説　　明
送信初期値	ファクス送信時の画質、濃度などの初期値を設定できます。
セキュリティ	ファクス送信時のセキュリティーを設定することができます。
その他の設定	ファクス送信時のその他に関する設定をすることができます。

【スキャナ機能】

項　目	説　　明
スキャン初期値	スキャン時の画質、濃度などの初期値を設定することができます。
メール設定	スキャン To E メール実行時に必要なメール設定をすることができます。
USB メモリ設定	スキャン To USB メモリ実行時の USB メモリー設定をすることができます。

【プリンタ機能】

項　目		説　　明
印刷メニュー		
	トレイ構成	自動トレイ切り替えなど用紙に関する設定をすることができます。
	印刷設定	コピー枚数、モノクロ印刷速度等を設定できます。プリンタードライバーを使用する場合には、この設定よりもプリンタードライバーで設定した値が優先されます。
	印刷補正	マニュアルタイムアウト、ジャムリカバーなど印刷補正に関する設定をすることができます。
	印刷位置補正	X 補正、Y 補正など印刷位置を調整することができます。
	ドラムクリーニング	イメージドラムのドラムクリーニングを設定することができます。
	ヘキサダンプ	受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンターを再起動すると本モードを抜けます。
カラーメニュー		色の濃度補正、色の位置ずれ補正など、装置が出力する色に関する設定をすることができます。
システム構成		動作モード、アラーム解除など、各種の状況に対する装置の動作を設定することができます。
エミュレーション		サポートしているエミュレーションを設定することができます。

【機器管理】

機器に関する、ローカルインターフェース、システム設定、節電モード、メモリー設定、パスワード変更、初期値初期化の設定ができます。

項　目	説　　明
ローカルインターフェース	USB、セントロの設定をすることができます。
システム設定	アクセス制御、表示単位などの設定をすることができます。
節電モード	パワーセーブに関する設定をすることが出来ます。
メモリ設定	受信バッファーサイズ、リソースセーブエリアの設定をすることができます。
管理者パスワード	管理者パスワードを設定することができます。
設定値初期化	短縮ダイヤルやコピー・ファクスの機能設定など「機器設定」で設定されているデータを全て消去します。

【設置モード】

項　目	説　　明
設置モード	ダイヤル種別、発信元名の編集などの設定をすることができます。
時刻設定	装置に時刻を設定することができます。 注 ● ［SNTP］を選択すると、操作パネルから時刻設定ができません。

■ ジョブリスト

項　目	説　　明
ジョブリスト	装置に送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

■ ダイレクト印刷

項　目	説　　明
Web 印刷	任意の PDF ファイルを指定して、印刷することが出来ます。 参照 「PDF ファイルを印刷する」(P.352) をご覧ください。
Email 印刷	装置が受信した Email に PDF ファイルが添付されていた場合に印刷することができます。 参照 ● 「メールに添付されたファイルを印刷する」(P.353) をご覧ください。

■通信管理メニュー　◎

◎：装置の管理者としてログインした場合に表示されます。

項　目	説　　明
自動配信設定	受信したファクスを自動的に E メールに変換して送信したり、受信した E メールを自動的に配信する機能を設定できます。
通信データ保存	送受信したファクスやメールデータをサーバーなどに保存する機能を設定できます。
自動配信ログ	自動配信を行った履歴を表示することができます。
通信データ保存ログ	通信データ保存を行った履歴を表示することができます。

■リンク

項　目	説　　明
リンク	製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。
リンク編集	管理者が好きな URL を設定できます。サポートリンクを 5 件、その他リンクを 5 件登録できます。URL は、http:// も含めて入力してください。

パスワードを設定する

装置の管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

1 [管理者設定] - [機器管理] をクリックします。

2 [管理者パスワード] をクリックします。

3 [新しい管理者メニュー用パスワード] に新しいパスワードを入力し、[新しい管理者メニュー用パスワードの再入力] に再度新しいパスワードを入力します。

注

- パスワードを入力すると、画面上では「●●●●●」と表示されます。
- パスワードは 6 ～ 12 桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

4 [送信] をクリックします。

5 装置に設定値が保存されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。装置の電源の OFF/ON はありません。

注

- このパスワードは TELNET のパスワードとは異なります。ここでパスワードを変更すると、パネルの管理者設定メニューへ入る際のパスワードも変更されます。

コンピューターから装置の状態を確認する

ネットワーク上のコンピューターから本機の状態を確認できます。

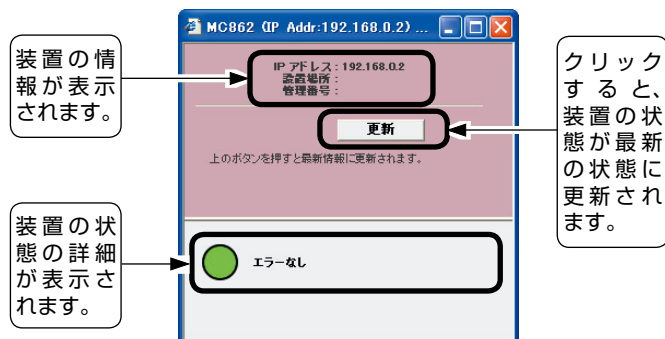
■「ステータス画面」で確認する

1 Web ブラウザーを起動すると「ステータス」画面を表示します。

■「ステータスウインドウ」で確認する

［ステータスウィンドウ］をクリックすると、下の画面を表示します。

装置状態アイコン	詳　細
●（緑）	エラーなし / オンライン
●（黄）	軽障害（印刷は可能）
●（赤）	重障害（印刷は不可能）
●（薄紫）	オフライン

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

コンピューターから装置の設定を変更する

本機の設定の一部を変更することができます。

1 設定を変更したい項目をクリックします。

2 必要な変更をした後、[OK] をクリックします。

通信を暗号化する（SSL/TLS）

Web ページからの設定、IPP 印刷、SMTP プロトコルでのメール受信印刷、FTP プロトコルでの受信印刷時に、コンピューター（クライアント）- 装置間の通信を暗号化できます。

（SSL/TLS による通信の暗号化）

■設定方法

Web を使用して本機で証明書を作成する手順を示します。

作成できる証明書の種類は以下の 2 種類があります。

- 自己署名証明書
- 認証局証明書（CSR の作成）

メモ

- 本機の IP アドレスが証明書作成時から変更されてしまうと、その証明書は無効になってしまいます。証明書作成後は本機の IP アドレスを変更しないでください。

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［セキュリティ］タブをクリックします。

3 ［暗号化（SSL/TLS)］をクリックします。

4 ステップ 1 で作成する証明書の種類を選択します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

5 CommonName、Organization、等の項目を入力します。

注

- 「認証局が発行した証明書を使用する」を選択した場合、入力内容等証明書発行手続きの詳細は、認証局の手順に従ってください。

メモ

- 自己証明書を選択したときは、「Common Name」に装置の IP アドレスが設定されます。

鍵交換方式、鍵サイズを変更したいときは、「詳細を変更する」をクリックします。（初期値は RSA、1024bit です。通常はそのまま変更せずにご使用ください。）

❑ 自己証明書の場合

6 入力内容が表示されます。

内容を確認し、[OK] をクリックしてください。証明書を作成します。

以上で自己署名証明書の作成は完了です。

本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

7 手順 1 から 3 に従い、暗号化 (SSL/TLS) 設定画面を表示し、暗号化を有効にするプロトコルを設定します。

8 「送信」をクリックします。

❑ 認証局証明書の場合

6 入力内容が表示されます。

内容を確認し、[OK] をクリックしてください。

7 CSR を取り出し認証局へ送付します。（認証局証明書の場合）

注

● テキストボックス内の「----- BEGIN CERTIFICATE REQUEST -----」から「----- END CERTIFICATE REQUEST -----」をコピーしてください。CSRの送付方法は、認証局によって Web ページへ貼り付ける、ファイルとして送付する、メール本文に添付する等があります。

8 認証局から発行された証明書を（Web を使用して）インストールします。（認証局証明書の場合）

手順 1 ～ 3 に従い、暗号化（SSL/TLS）設定画面を表示します。

発行された証明書の「----- BEGIN CERTIFICATE -----」から「----- END CERTIFICATE -----」までをテキストボックスへ貼り付け、「送信」をクリックします。

これで認証局証明書の作成は完了です。

本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

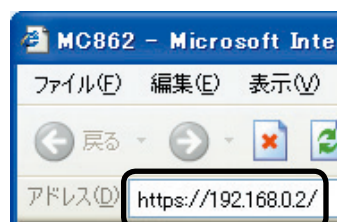
9 手順 1 から 3 に従い、暗号化 (SSL/TLS) 設定画面を表示し、暗号化を有効にするプロトコルを設定します。

10「送信」をクリックします。

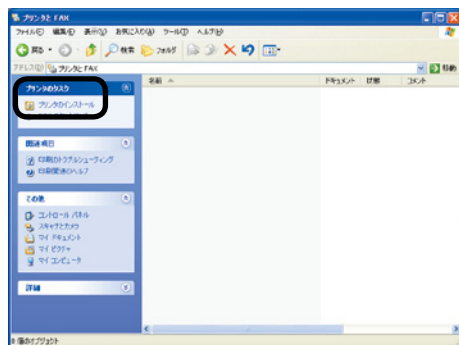
■使用方法

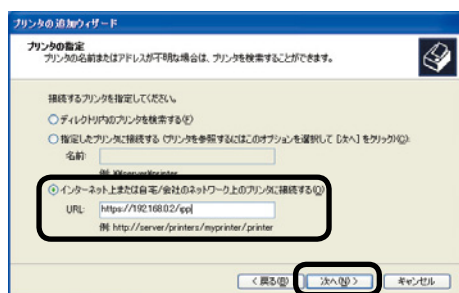
1 Web ブラウザーを起動し、アドレスに「https:// 本機の IP アドレス」と入力し、接続します。

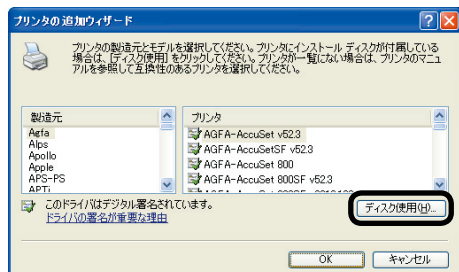
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録や設定
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

■ IPP 印刷（Windows をお使いの方のみ）

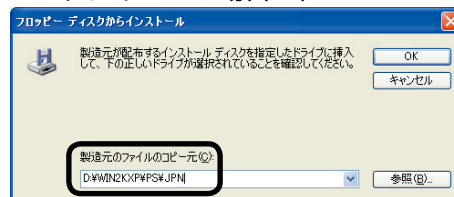
1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］-［プリンターの追加］を選択します。

2 ［プリンターの追加］ウィザードで、［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します］を選択します。

3 使用可能なプリンターの一覧で、［探しているプリンターはこの一覧にはありません］を選択します。

4 ［共有プリンターを名前で選択する］を選択します。

5 「http:// 本機の IP アドレス /ipp」または「http:// 本機の IP アドレス /ipp/lp」を入力し、［次へ］をクリックします。

6 ［ディスク使用］をクリックします。

7 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターにセットします。

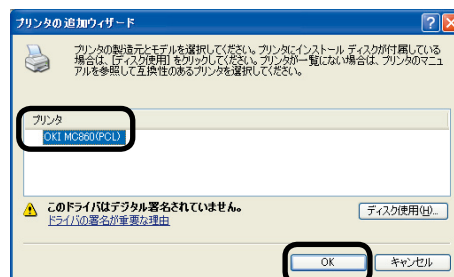
8 次の値を［製造元のファイルのコピー元］に入力し、［参照］をクリックします。

- PCL ドライバーの場合：「D: ¥Drivers ¥_PCL」
- PS ドライバーの場合：「D: ¥Drivers ¥PS」

メモ

- 記の値は、DVD-ROM ドライブが D ドライブに設定されている場合の例です。
- ポストスクリプトに対応しているアプリケーション（Adobe Illustrator など）から印刷する場合は PS を選択します。その他のアプリケーションから印刷する場合は、どちらでも選択できます。

9 INF ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

10 ［OK］をクリックします。

11 プリンター名を選択し、［OK］をクリックします。

12 ［次へ］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

14 インストールが終了したら、テストページを印刷します。

通信を暗号化する（IPSec）

ネットワークレイヤレベルで、コンピューター（クライアント）- 装置間通信の暗号化と改ざん防止が可能になります。

メモ

- 本プリンターでサポートしているIKEプロトコルは「IKEv1」です。本プリンターがサポートしている通信モードは「トランスポートモード」です。「トンネルモード」では動作しません。
IPSec を有効にしている場合、ネットワークの通信状況によっては装置の応答が遅くなる場合があります。
IPSec を有効にしている場合は、ネットワーク印刷中のスキャン To メール、複数 PC からのネットワーク印刷などの多重動作は実行しないことをお勧めします。

■ 設定の流れ

装置の設定をしてからコンピューターの設定を行います。

■ 装置の設定

Web を使用して IPSec を有効にする手順を示します。

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［セキュリティ］タブをクリックします。

3 ［IPSec］タブをクリックします。

4 「ステップ 1」で、［IPSec］を有効にします。

注

- IPSec を「有効」にすると、「ステップ 2」で設定した IP アドレス以外のコンピューターからのアクセスが一切できなくなります。
- 設定したパラメータがコンピューターと一致しない等の理由により IPSec の設定に失敗した場合、Web ページを開くことができなくなります。その場合、本機の操作パネルからネットワーク設定項目の［IPSec］を無効にするか、またはネットワークの初期化を実行して IPSec を無効にします。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

5 「ステップ 2」で、ホストの IP アドレスを入力します。

! 注

- IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストを指定してください。
- IPv4 アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
- IPv6 グローバルアドレスは、“:” で区切られた半角の英数字を使用してください。
- IPv6 リンクローカルアドレスはサポートしていません。
- IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。

6 「ステップ 3」で、Phase1 Proposal の各パラメータを設定します。

(1) [IKE 暗号化アルゴリズム] に、3DES-CBC, DES-CBC から選択して設定します。

(2) [IKE ハッシュアルゴリズム] に、SHA-1, MD5 から選択して設定します。

(3) [Diffie-Hellman グループ] に、Group2, Group1 から選択して設定します。

(4) [ライフタイム] に、600（秒）- 86400（秒）の範囲から入力して設定します。

7 「ステップ 4」で、事前共有キーを設定します。

[事前共有キー] に、1 文字以上最大 64 文字、半角英数字で入力して設定します。ここでは、文字列に「ipsec」と入力されている場合を例にしています。

8 「ステップ 5」で、Key PFS を設定します。

(1) [Key PFS] に、KEYPFS, NOPFS から選択して設定します。

(2) [Key PFS] を選択した場合は、[Key PFS 有効時の、Diffie-Hellman グループ] に、Group2, Group1 から選択して設定します。

9 「ステップ 6」で、Phase2 Proposal を設定します。

! 注

- [ESP]、[AH] のどちらか、または両方を有効に設定してください。

- [ESP] を設定する場合

(1) [ESP] に、[有効]、[無効] を設定します。

[ESP] に [有効] を設定した場合は、手順（2）以降の内容を設定します。

(2) ［ESP 暗号化アルゴリズム］に、3DES-CBC, DES-CBC から選択して設定します。

(3) ［ESP 認証アルゴリズム］に、SHA-1, MD5, OFF から選択して設定します。
OFF を選択した場合、ESP 認証アルゴリズムは適用されません。

● ［AH］を設定する場合

(1) ［AH］に、［有効］、［無効］を設定します。
［AH］に［有効］を設定した場合は、手順（2）以降の内容を設定します。

(2) ［AH 認証アルゴリズム］に、SHA-1, MD5 から選択して設定します。

(3) ［ライフタイム］に、600（秒）- 86400（秒）の範囲から入力して設定します。

10 ［送信］をクリックします。

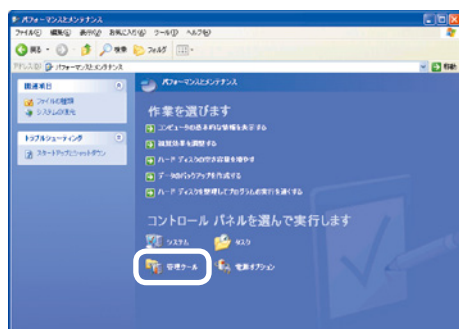
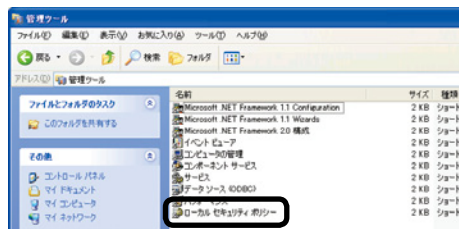
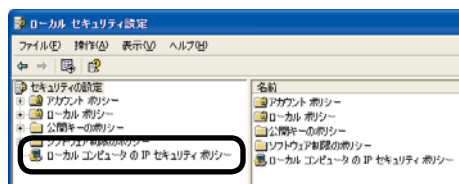
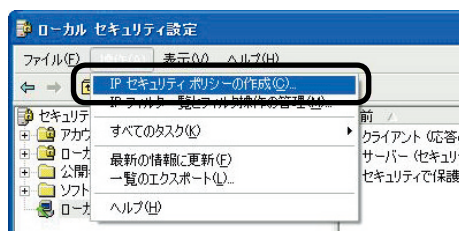
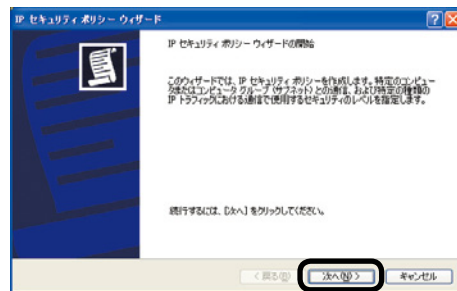
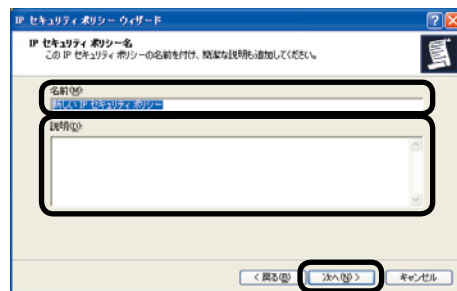
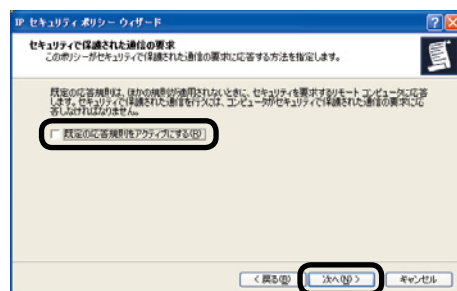
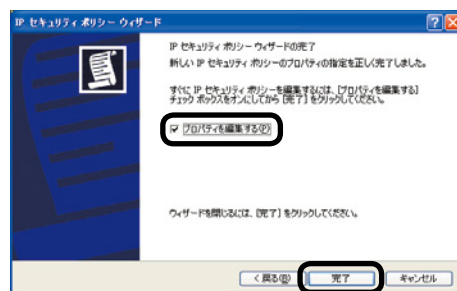
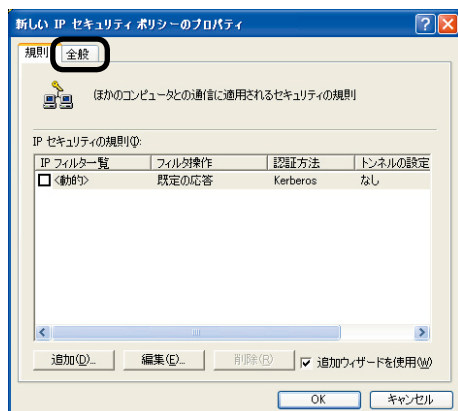
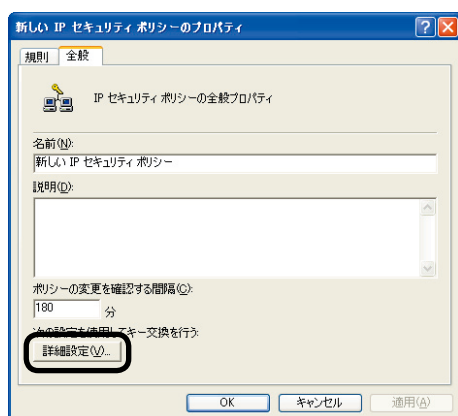
11 プリンターに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

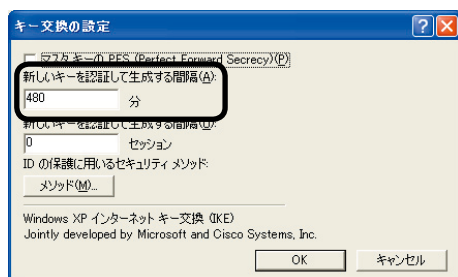
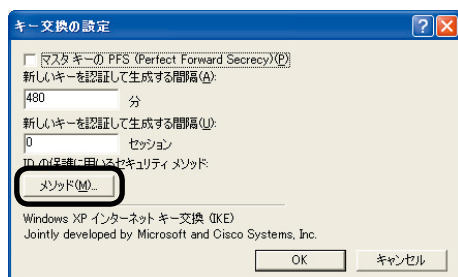
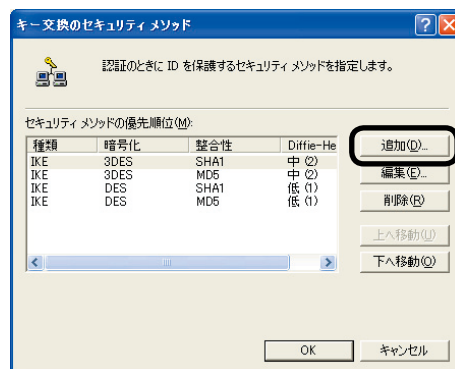
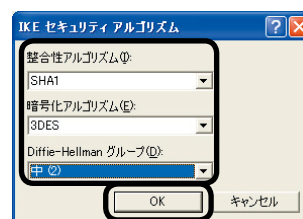
■コンピューターの設定

以下の説明は Windows 7 を例にしています。

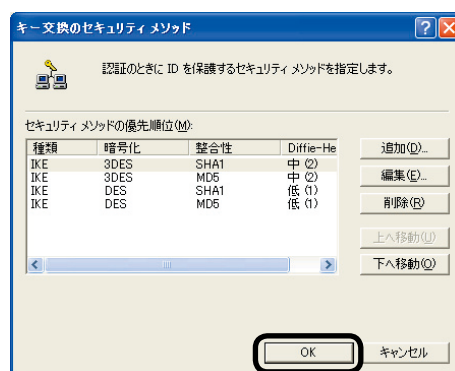
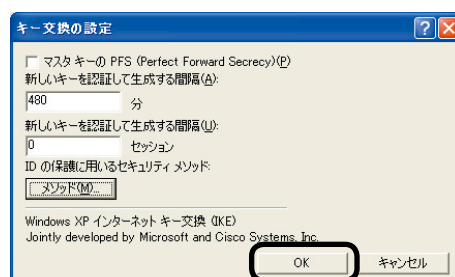
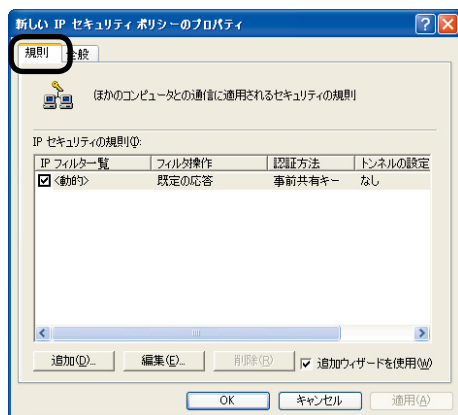
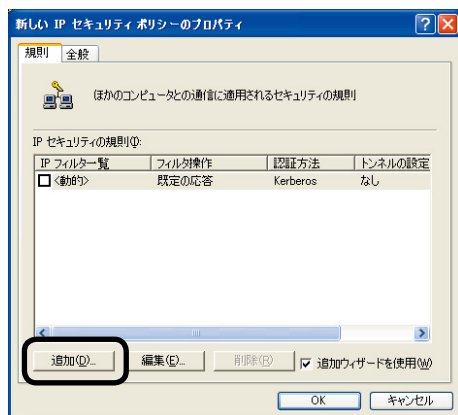
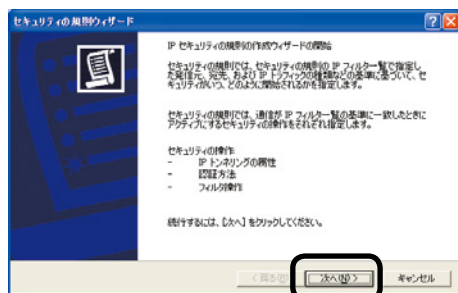
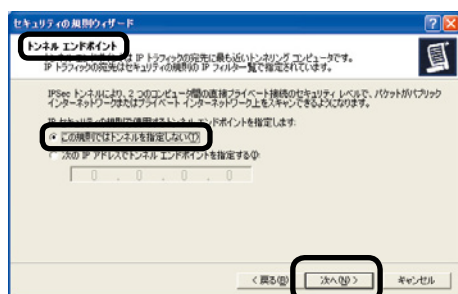
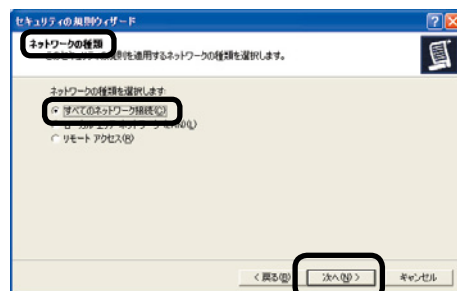
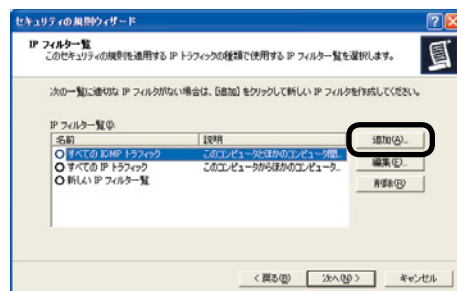
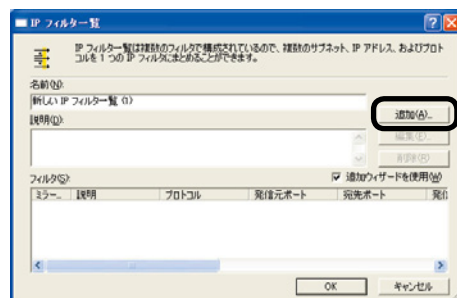
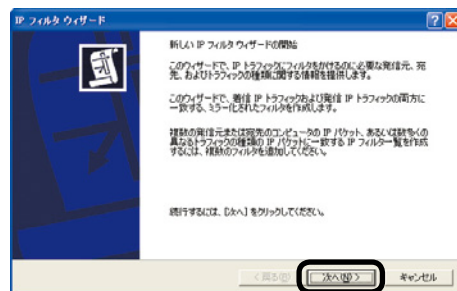
1 ［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］＞［システムとセキュリティ］を選択します。

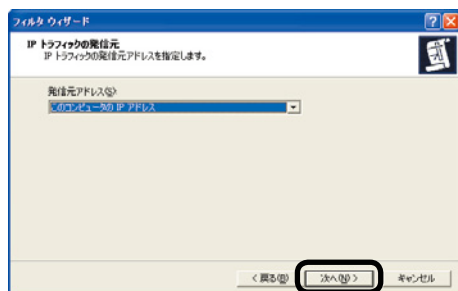
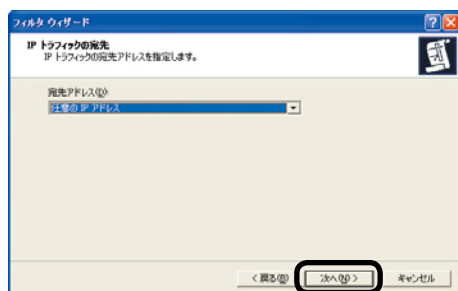
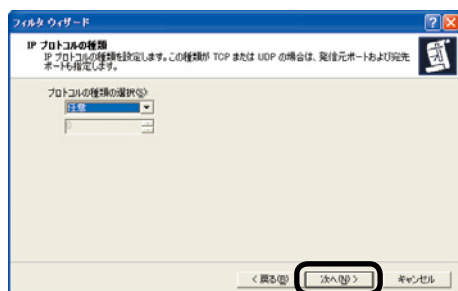
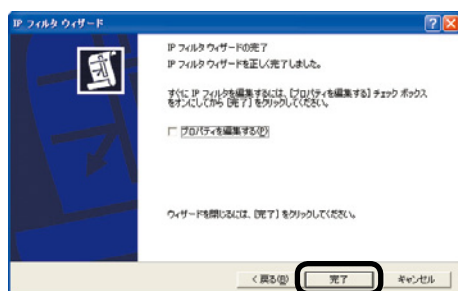
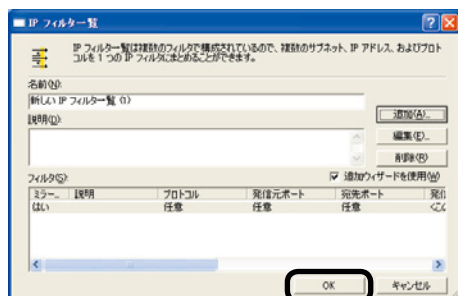
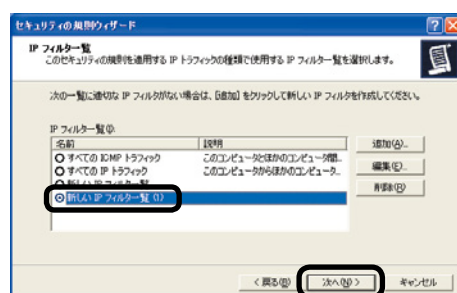
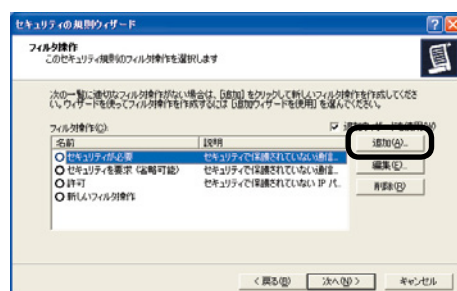
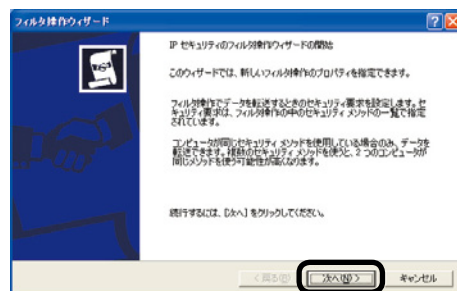
2 ［管理ツール］をクリックします。

3 ［ローカルセキュリティ ポリシー］をダブルクリックします。

4 ［IP セキュリティポリシー（ローカルコンピューター）］をクリックします。

5 ［操作］メニューから、［IP セキュリティポリシーの作成］を選択します。

6 ［次へ］をクリックします。

7 ［名前］にこれから作成する IP セキュリティポリシーの名前を、［説明］にこれから作成する IP セキュリティポリシーの説明を入力して、［次へ］をクリックします。

8 ［規定の応答規則をアクティブにする］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

9 ［プロパティを編集する］にチェックし、［完了］をクリックします。

10 [全般] タブをクリックします。

11 [設定] をクリックします。

12 [新しいキーを認証して生成する間隔]（分単位）に、「装置の設定」の手順 6 で設定した Phase1 Proposal のライフタイムと同じ時間を、分単位で入力します。

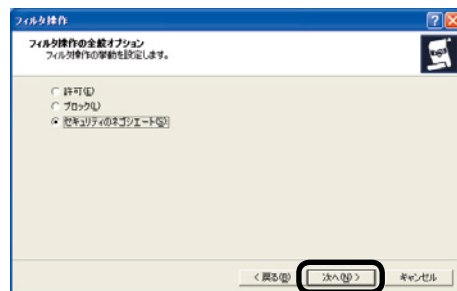
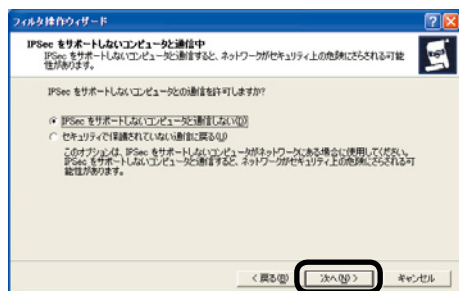
! 注

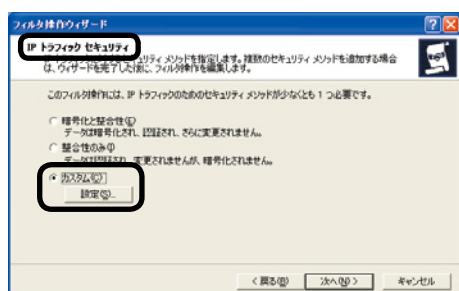
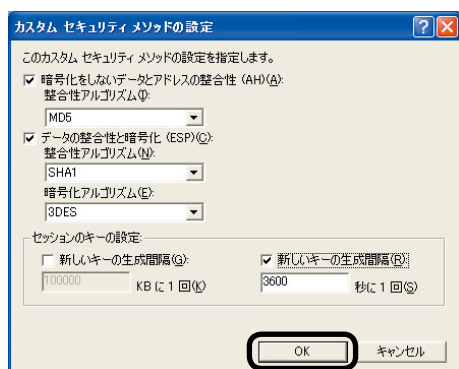
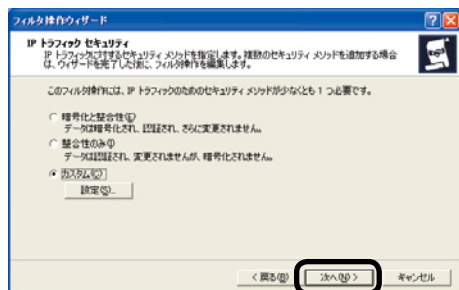
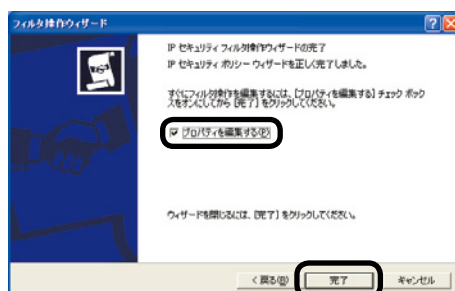
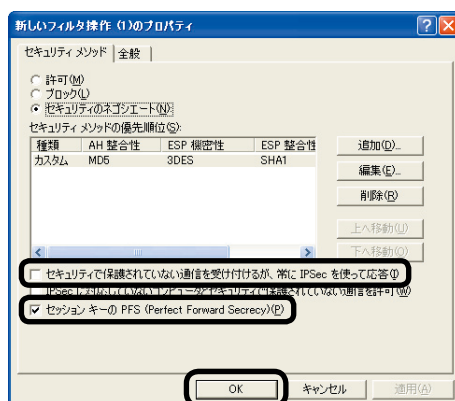
- Phase1 Proposal の［ライフタイム］では秒単位の入力ですが、ここでは分単位の入力になります。

13 [メソッド] をクリックします。

14 [追加] をクリックします。

15 [セキュリティメソッドの優先順位] に、Phase1 Proposal で設定した内容を追加し、[OK] をクリックします。

16 [キー交換のセキュリティメソッド] 画面で、[OK] をクリックします。

メモ

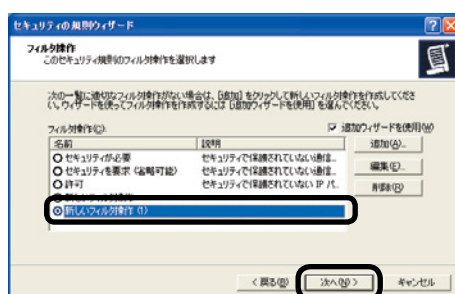
- 追加した以外のセキュリティメソッドは、削除しても構いません。

17 [キー交換の設定] 画面で、[OK] をクリックします。

18 [新しい IP セキュリティポリシーのプロパティ] 画面で、[規則] タブをクリックします。

19 [追加] をクリックします。

20 [次へ] をクリックします。

21 [トンネルエンドポイント] 画面で [この規制ではトンネルを指定しない] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

22 [ネットワークの種類] 画面で [すべてのネットワーク接続] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

23 [追加] をクリックします。

24 [追加] をクリックします。

25 [次へ] をクリックします。

26 [次へ] をクリックします。

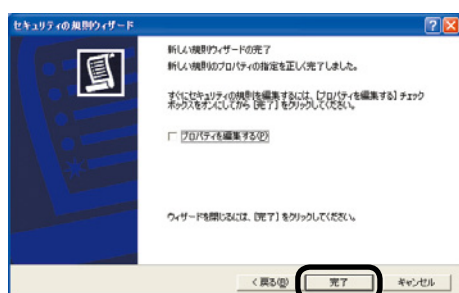
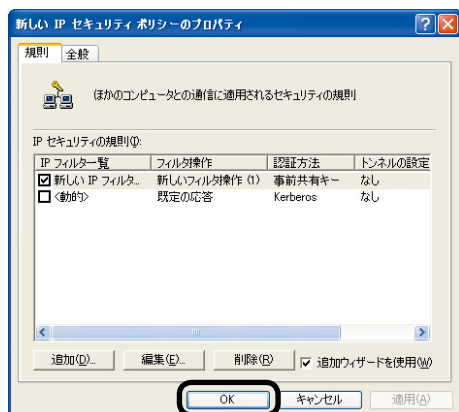
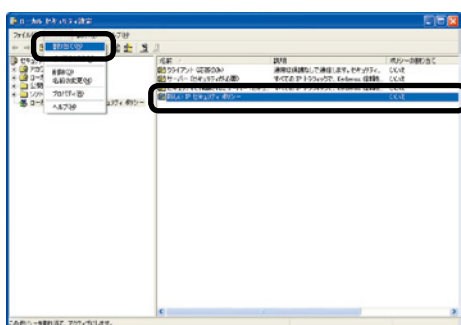
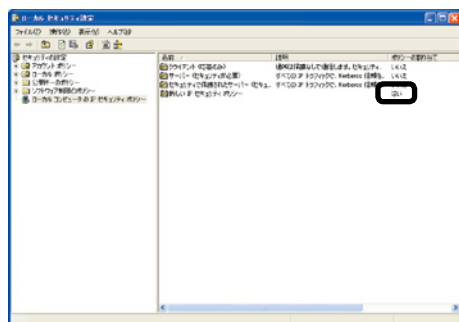
27 [次へ] をクリックします。

28 [次へ] をクリックします。

29 [次へ] をクリックします。

30 [完了] をクリックします。

31 [OK] をクリックします。

32 作成した IP フィルタを選択し、[次へ] をクリックします。

33 [追加] をクリックします。

34 [次へ] をクリックします。

35 [次へ] をクリックします。

36 [次へ] をクリックします。

37 ［次へ］をクリックします。

38 ［IP　トラフィック　セキュリティ］画面で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

39 「装置の設定」の手順 9 の Phase2 Proposal で設定した内容に合わせ、［OK］をクリックします。

40 ［次へ］をクリックします。

41 ［プロパティを編集する］にチェックを入れ、［完了］をクリックします。

42 Key PFS を有効する場合は、［セッションキーの PFS(Perfect Forward Secrecy) を使う］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

! 注

● IPv6 グローバルアドレスを使用した IPSec 通信を行う場合は、［セキュリティで保護されていない通信を受け付けるが、常に IPSec を使って応答］にチェックを入れる必要があります。

43 作成したフィルタ操作を選択し、［次へ］をクリックします。

44 ［次へ］をクリックします。

45 [プロパティの編集] のチェックを外し、[完了] をクリックします。

46 [新しい IP セキュリティポリシーのプロパティ] 画面で、[OK] をクリックします。

47 作成した新しい IP セキュリティポリシーを選択し、[操作] メニューから、[割り当て] を選択します。

48 作成した新しい IP セキュリティポリシーの [ポリシーの割り当て] が「はい」になっていることを確認します。

49 画面左上の ☒ をクリックし、画面を閉じます。

IP アドレスでのアクセス制限機能（IP フィルタ）を使用する

本機へのアクセスを IP アドレスを用いて管理できます 。

注

- 本機の初期設定では、「IP フィルタ」が「無効」に設定されています 。
- IP アドレスの入力を間違えると、IP プロトコルを用いて本機へアクセスできなくなります 。十分注意して設定してください 。

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 [管理者設定] - [ネットワーク管理] - [セキュリティ] タブをクリックします。

3 [IP フィルタリング] をクリックします 。

4 「ステップ 1」で、「IP フィルタリングの設定」を［有効］にします。

注

- IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ2」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

5 「ステップ 2」で、IP アドレスの範囲を設定します。

注

- IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IP アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
- IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。
- IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ 2 の指定に関わらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

6 ［アドレス範囲バーの表示 / 更新］ボタンをクリックします。

IP アドレスの範囲を、修正したい場合は、該当する IP アドレスを入力し直し、再度、［アドレス範囲バーの表示 / 更新］をクリックしてください。

7 「ステップ 3」で、「登録する管理者の IP アドレス」の値を設定します。

「登録する管理者の IP アドレス」に管理者の IP アドレスを入力することにより、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「登録する管理者の IP アドレス」で設定した IP アドレスのホストから再設定することができます。

注

- プロキシ等を経由して本機にアクセスしている場合、「あなたのホスト IP アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの IP アドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者 IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、本機にまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の IP アドレスを登録したくない場合は、「登録する管理者の IP アドレス」の欄を空欄にしてください。

8 「送信」をクリックします。

9 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

MAC アドレスでのアクセス制限機能を使用する

本機へのアクセスを MAC アドレスを用いて管理できます。

注

- MAC アドレスの入力を間違えると、ネットワークを用いて本機へアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［セキュリティ］をクリックします。

3 ［MAC アドレスフィルタリング］をクリックします。

4 ［ステップ 1］で［MAC アドレスフィルタリングの設定］を「有効」にします。

5 「ステップ 2」で特定の MAC アドレスからの通信を「許可 (拒否)」するかどうかを選択します。

注

- MAC アドレスを使用して通信を許可 (拒否) するホストの MAC アドレスを入力してください。
- MAC アドレスは、“：”で区切られた半角の数字を使用してください。
- ステップ 2 の指定に関わらず、通信が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

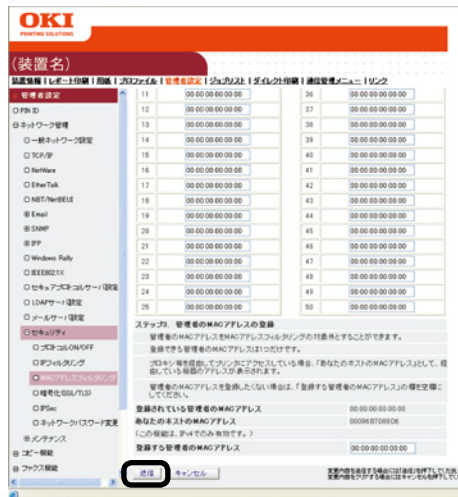
6 「ステップ 3」で、「登録する管理者の MAC アドレス」の値を設定します。

「登録する管理者の MAC アドレス」に管理者の MAC アドレスを入力することにより、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「登録する管理者の MAC アドレス」で設定した MAC アドレスのホストから再設定することができます。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

注

- プロキシ等を経由して本機にアクセスしている場合、「あなたのホストの MAC アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの MAC アドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者 MAC アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、本機にまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の MAC アドレスを登録したくない場合は、「登録する管理者の MAC アドレス」の欄を 00:00:00:00:00:00 にしてください。

7 「送信」をクリックします。

8 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

エラーをメールで通知する

メール送信機能（SMTP）を実装しています。装置にエラーが発生した場合、メールを送信することができます。定期的にエラーが発生しているかどうかを送信する設定と、エラーが発生した時点でメールを送信する設定とを選択することができます。

また、スキャン To メールや自動配信を行うこともできます。（スキャン To メールや自動配信の設定を行う場合は、障害通知についての情報を設定する必要はありません）

■ 電子メール送信の設定をする

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 ［管理者設定］ - ［ネットワーク管理］ をクリックします。

3 ［Email］ - ［送信設定］ をクリックします。

4 「ステップ 1」で、「SMTP 送信設定」を［有効］にします 。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う設定の登録機能
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

5 「ステップ 2」で、送信に必要なアドレスを設定します 。

(1) 「SMTP サーバ」に、メールサーバーのドメイン名または IP アドレスを設定します。

(2) 「デバイス Email アドレス」に、装置に与えられたメールアドレスを設定します。

注

- 「SMTP サーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNS サーバーの設定が必要です。
- メールサーバーには装置からのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバーの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。
- Internet Explorer 7 を初期設定でご使用されている場合、送信テストを行うことができません。
送信テストを行うためには、Internet Explorer 7 の設定を変更する必要があります。
［ツール］-［セキュリティーレベルのカスタマイズ］-［スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイトに許可する］を有効にしてください。

6 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ 3」で［SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。］をクリックします。

それ以外の場合は 18 へ進みます。

7 ［セキュリティ設定］をクリックします。

8 「SMTP ポート番号」でメールサーバーのポート番号を設定します。

9 「認証方式」でメールサーバーに接続するための認証方式を選択します。

メモ

- 「SMTP」を選択した場合は「SMTP-Auth」方式で認証します。 「POP」を選択した場合は「POP before SMTP」方式で認証します。

- 「SMTP」を選択した場合は以下の設定を行います。

(1) 「SMTP ユーザ ID」にメールサーバーに接続するためのユーザー ID を設定します。

(2) 「SMTP パスワード」にメールサーバーに接続するためのパスワードを設定します。

- 「POP」を選択した場合は以下の設定を行います。

(1) 「POP ユーザ ID」にメールサーバーに POP プロトコルで接続するためのユーザー ID を設定します。

(2) 「POP パスワード」にメールサーバーに POP プロトコルで接続するためのパスワードを設定します。

(3) 「POP 暗号化方式」で POP プロトコルの暗号化方式を選択します。

メモ

- 「付加情報設定」と「その他」の設定はスキャン To メール機能では使用されません。これらの設定は、メールによる障害通知機能で使用されます。

10 「SMTP 暗号化方式」でメールサーバーへのメール送信の暗号化方式を選択します。

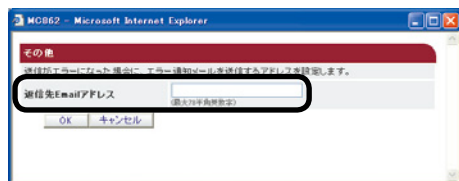
11 「OK」をクリックします。

12 ［付加情報設定］をクリックします。

13 Email 送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。

14 ［OK］をクリックします。

15 ［その他］をクリックします。

16 「返信先 Email アドレス」に、装置から送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、装置の管理者のメールアドレスを設定してください。

17 [OK] をクリックします。

18 「送信」をクリックします。

19 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ

- 認証方式はメールサーバーのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

■ 発生した障害を定期的に通知する

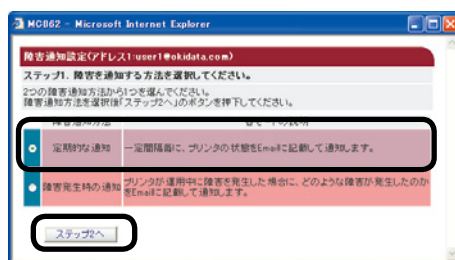
1 [Email] - [アラート設定] をクリックします。

2 障害通知先のメールアドレスを入力します。

3 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

メモ

- [コピー] ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

4 「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ２へ」をクリックします。

5 [障害通知間隔設定] でメールを送信する間隔を設定します。

メモ

- 期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

6 [障害通知条件設定] で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

7 [OK] をクリックします。

8 障害通知条件の設定内容を確認します。

● 一覧表示したい場合

(1) ［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

(2) 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

● 2 つの宛先の設定条件を比較したい場合

(1) リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

(2) 表示された設定内容を確認します。

メモ

● 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

9 「送信」をクリックします 。

10 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

■障害が発生したことを通知する

1 ［Email］-［アラート設定］をクリックします。

2 障害通知先のメールアドレスを入力します。

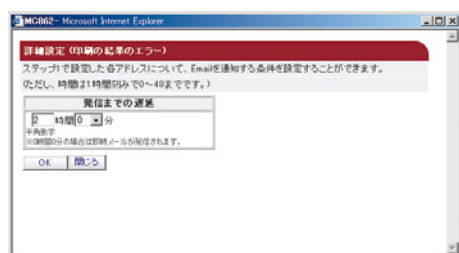
3 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

メモ

● ［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

4 「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ 2 へ」をクリックします。

5 ［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

6 エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

メモ

- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0 時間 0 分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

7 ［OK］をクリックします。

8 障害通知条件の設定内容を確認します。

● 一覧表示したい場合

(1) ［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

(2) 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

● 2 つの宛先の設定条件を比較したい場合

(1) リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

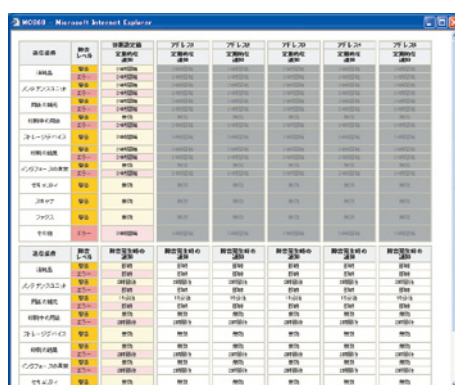
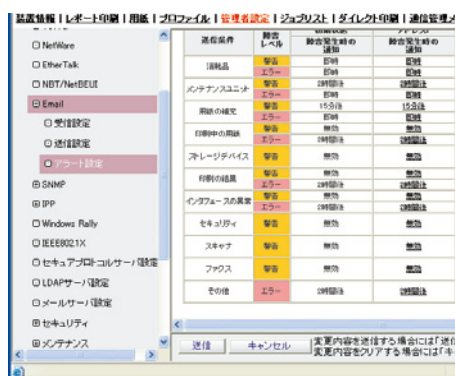
(2) 表示された設定内容を確認します。

メモ

- 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

9 「送信」をクリックします 。

10 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録
6 カラー調整
7 機能設定/レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制限
付録
索引

SNMPv3 を使用する

SNMPv3 対応エージェントを実装しています。

SNMPv3 対応 SNMP マネージャーを使うと、SNMP による装置の管理を暗号化し安全に行うことができます。

1 管理者としてログインします。

参照

● 「管理者としてログインする」(P.315) をご覧ください。

2 ［管理者設定］-［ネットワーク管理］タブをクリックします。

3 ［SNMP］-［設定］をクリックします。

4 「ステップ 1」で使用する SNMP のバージョンにチェックを付け、「ステップ 2 へ」をクリックします。

メモ

● ［SNMPv3］を選択した場合は、SNMPv1 での参照・設定はできなくなります。［SNMPv3+v1］を選択した場合は、SNMPv1 と SNMPv3 の両方で参照はできますが、設定は SNMPv3 でしかできません。

5 「ステップ 2」で［ユーザ名］に SNMPv3 ユーザー名を入力します。

6 「認証設定」で［パスフレーズ］に認証用パスフレーズを入力します。

7 ［アルゴリズム］を選択します。

8 「暗号化設定」で［パスフレーズ］に暗号化用パスフレーズを入力します。

メモ

● 暗号化アルゴリズムは［DES］のみ選択できます。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

9 「送信」をクリックします。

10 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ

- お使いの SNMP マネージャーのコンテキスト名には「v3context」を設定してください。

IPv6 を使用する

■ IPv6 の設定をする

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」(P.315) をご覧ください。

2 [管理者設定] - [ネットワーク管理] タブをクリックします。

3 [TCP/IP] をクリックします。

4 [IPv6] で [有効] を選択します。

5 「送信」をクリックします。

6 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ

- Telnet を使うと、IPv4 を無効にし、IPv6 のみ有効に設定することができます。この場合、IPv4 でしか機能しないネットワーク機能は使用できなくなりますので注意してください。

■ IPv6 アドレスを確認する

IPv6 アドレスは自動的に取得されます。

取得された IPv6 アドレスは、Web ブラウザー、レポート印刷の［ネットワーク情報］に表示されます。

1 ［装置情報］タブをクリックします。

2 ［ネットワーク］-［TCP/IP］をクリックします。

リンクローカルアドレスとグローバルアドレスを確認します。（図示した環境ではグローバルアドレスは取得されていません。）

メモ

- グローバルアドレスがすべて“0”で表示されている場合は、ルーターからネットワークプレフィックスを取得できていません。お使いのルーターが正しく設定されているか確認してください。
- お使いのコンピューターから IPv6 を使って本機に接続するための設定方法は、お使いのコンピューターまたはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録設定
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

IEEE802.1X を使用する

IEEE802.1X による認証機能に対応しています。

■ IEEE802.1X セットアップの流れ

本機に IEEE802.1X の設定を行うために、まず、本機とコンピューターとを通常のハブを経由してセットアップ用の接続をします。IEEE802.1X の設定完了後、認証スイッチにプリンターを接続します。

1 本機とコンピューターとを接続します。

2 コンピューターにセットアップ用の IP アドレスを設定します。

3 本機にセットアップ用の IP アドレスを設定します。

本機とコンピューターとの接続および本機とコンピューター（Windows）の IP アドレス設定方法については、セットアップ編「ネットワークケーブルを接続する」と基本操作編「ネットワーク経由でセットアップする（Windows）」の「セットアップする」手順 1 ～ 3 をご覧ください。

4 本機に IEEE802.1X の設定をします。

5 本機を認証スイッチに接続します。

■ IEEE802.1X の設定をする

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 ［ネットワーク管理］タブをクリックします。

3 ［IEEE802.1X］メニューをクリックします。

参照

- PEAP を使用する場合は、「■ PEAP を使用する場合」に進んでください。EAP-TLS を使用する場合は、「■ EAP-TLS を使用する場合」に進んでください。

■ PEAP を使用する場合

4 ［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

5 ［EAP タイプ］で［PEAP］を選択します。

6 ［EAP ユーザ］にユーザー名を入力します。

7 ［EAP パスワード］にパスワードを入力します。

8 ［サーバを認証する］をチェックします。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制限
付録
索引

9 ［CA 証明書のインポート］をクリックします。

メモ

- ［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバーに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

10 CA 証明書のファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバーのサーバー証明書の発行元認証局の証明書です。
- インポートできるファイル形式は PEM または DER 形式です。

CA 証明書が本機にインポートされます。

11 「送信」をクリックします。

12 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

操作パネルに待機画面が表示されたら、本機の電源を切ります。

参照

- 本機の電源の切り方はセットアップ編「電源を切る」をご覧ください。
- 「■本機を認証スイッチに接続する」に進みます。

■EAP-TLS を使用する場合

4 ［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

5 ［EAP タイプ］で［EAP-TLS］を選択します。

6 ［EAP ユーザ］にユーザー名を入力します。

7 ［SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用しない］をチェックします。

メモ

- 通常は［SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する］にチェックしないでください。

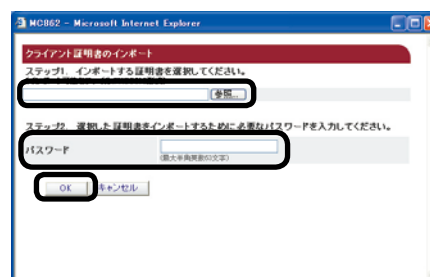
8 ［クライアント証明書のインポート］をクリックします。

「クライアント証明書のインポート」画面が表示されます。

9 クライアント証明書のファイル名を入力します。

メモ

- インポートできる証明書ファイルの形式は PKCS#12 です。

10 クライアント証明書のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

クライアント証明書が本機にインポートされます。

11 ［サーバを認証する］をチェックします。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録と設定
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー・アクセス制限
付録
索引

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

12 ［CA 証明書のインポート］をクリックします。

メモ

- ［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
  ［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバーに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

13 CA 証明書のファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバーのサーバー証明書の発行元認証局の証明書です。
- インポートできるファイル形式は PEM または DER 形式です。

CA 証明書が本機にインポートされます。

14「送信」をクリックします。

15 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

操作パネルに待機画面が表示されたら、本機の電源を切ります。

参照

- 本機の電源の切り方はセットアップ編「電源を切る」をご覧ください。
- 「■本機を認証スイッチに接続する」に進みます。

■本機を認証スイッチに接続する

メモ

- 本機の電源が切れていることを確認してください。

1 イーサネットケーブルを本機のネットワークインターフェースコネクターに差し込みます。

2 イーサネットケーブルを認証スイッチの認証ポートに差し込みます。

3 本機の電源スイッチの On（｜）を押します

4 操作パネルに待機画面と表示したことを確認します。

5 本機の IP アドレス等をお使いの環境に従って設定します。

LDAP サーバーを設定する

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」(P.315) をご覧ください。

2 [管理者設定] - [ネットワーク管理] - [LDAP サーバ設定] タブをクリックします。

3 「サーバ設定」で LDAP サーバーの設定をします。

(1) 「LDAP サーバ」に、LDAP サーバーのドメイン名または IP アドレスを設定します。

(2) 「ポート番号」に LDAP サーバーのポート番号を設定します。

(3) 「タイムアウト」に、LDAP サーバーからの検索応答を待つためのタイムアウト時間を設定します。

(4) 「最大エントリ数」に、LDAP サーバーから取得する検索結果の最大件数を設定します。

メモ

- 検索結果が「最大エントリ数」以上だった場合は、検索結果として最大エントリ数分までが表示されます。ただし、検索内容によっては最大エントリ数分表示されない時（名前にヒットしたが、そのエントリにメールアドレスがない時など）があります。この場合は検索内容を絞り込んで再度検索してみてください。

(5) 「DN 名」に LDAP サーバーに接続するための BaseDN を設定します。

メモ

- LDAP サーバーの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

4 「属性」で、検索のための属性を設定します。

(1) 「名前 1 ～ 3」にユーザー名として検索する属性名を設定します。

メモ

- 初期値として「cn」「sn」「givenName」が設定されています。
- 「名前 1～3」の設定に関わらず、検索結果画面に表示されるのは属性「cn」の内容です。

(2) 「メールアドレス」にメールアドレスとして検索する属性名を設定します。

メモ

- 初期値として「mail」が設定されています。

(3) 検索条件を追加したい場合は、検索式を「追加フィルタ」に設定します。

5 「認証」で、LDAP サーバーにアクセスするための設定をします。

(1)「方法」で認証方法を選択します。

注

- 「Digest-MD5」を選択した場合、DNS サーバー設定が必要です。
  「Secure Protocol」を選択した場合、DNS サーバー設定とセキュアプロトコルサーバー設定が必要です。

もし、手順（1）で「Anonymous」以外を選択した場合は、以下の設定をします。

(2)「ユーザ ID」に LDAP サーバーにログインするためのユーザー ID を設定します。

(3)「パスワード」に LDAP サーバーにログインするためのパスワードを設定します。

6 「暗号化」で LDAP サーバーとの通信を暗号化するかどうかを設定します。

メモ

- 暗号化設定についてはネットワーク管理者とご相談ください。

7 「送信」をクリックします。

8 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

セキュアプロトコルを設定する

LDAP サーバーへの接続時などに、ケルベロスサーバーによる認証を行う機能に対応しています。

本機能を利用するためには SNTP サーバー設定、および DNS サーバー設定が必要です。

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［セキュアプロトコルサーバ設定］タブをクリックします。

3 「ドメイン」にユーザーの属するレルム名を設定します。

4 「送信」をクリックします。

5 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メール送信設定をする

スキャン To メール機能を使用するためには、本機にメール送信のための設定をしておく必要があります。

メール送信設定は、障害通知機能でも使用されます。「エラーをメールで通知する」（P.336）をご覧ください。

1 管理者としてログインします。

参照

● 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［Email］-［送信設定］タブをクリックします。

3 「ステップ 1」で「SMTP 送信」を「有効」に設定します。

4 「ステップ 2」で、送信に必要なアドレスを設定します 。

(1) 「SMTP サーバ」に、メールサーバーのドメイン名または IP アドレスを設定します。

(2) 「デバイス Email アドレス」に、装置に与えられたメールアドレスを設定します。

注

- 「SMTP サーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNS サーバーの設定が必要です。
- メールサーバーには装置からのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバーの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。
- Internet Explorer 7 を初期設定でご使用されている場合、送信テストを行うことができません。
  送信テストを行うためには、Internet Explorer 7 の設定を変更する必要があります。
  ［ツール］-［セキュリティーレベルのカスタマイズ］-［スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイトに許可する］を有効にしてください。

メモ

- スキャン To メール機能では、操作パネルの「スキャナ設定」-「メール設定」-「送信者」に設定されたメールアドレスが使用されます。

5 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ 3」で［SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。］をクリックします。

それ以外の場合は手順 10 へ進みます。

6 ［セキュリティ設定］をクリックします。

7 「SMTP ポート番号」でメールサーバーのポート番号を設定します。

8 「認証方式」でメールサーバーに接続するための認証方式を選択します。

メモ

- 「SMTP」を選択した場合は「SMTP-Auth」方式で認証します。 「POP」を選択した場合は「POP before SMTP」方式で認証します。

- 「SMTP」を選択した場合は以下の設定を行います。

(1) 「SMTP ユーザ ID」にメールサーバーに接続するためのユーザー ID を設定します。

(2) 「SMTP パスワード」にメールサーバーに接続するためのパスワードを設定します。

- 「POP」を選択した場合は以下の設定を行います。

(1) 「POP ユーザ ID」にメールサーバーに POP プロトコルで接続するためのユーザー ID を設定します。

(2) 「POP パスワード」にメールサーバーに POP プロトコルで接続するためのパスワードを設定します。

メモ

- 「付加情報設定」と「その他」の設定はスキャン To メール機能では使用されません。これらの設定は、メールによる障害通知機能で使用されます。

9 「OK」をクリックします。

10 「送信」をクリックします。

11 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

参照

- 手順 8 で認証方式として「POP」を選択していた場合は、「■ POP サーバーを設定する」に進みます。

■ POP サーバーを設定する

1 [Email] - [受信設定] タブをクリックします。

2 「POP サーバ名」に POP サーバーのドメイン名または IP アドレスを設定します。

3 「詳細」をクリックすることでさらに詳細を設定することができます。

4 「送信」をクリックします。

5 本機に設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

EtherTalk プリンター名を変更する（Macintosh）

EtherTalk の場合に、本機に識別しやすい名前を付けることができます。

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［EtherTalk］タブをクリックします。

3 ［EtherTalk プリンタ名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

注

- プリンター名は 32 文字以内の英数字で設定できます。
- プリンター名に（=:*@˜≈）などの記号は使用しないでください。

EtherTalk ゾーンを変更する（Macintosh）

複数の論理ゾーンで区切られている EtherTalk で、本機を現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

注

- 選択できるゾーンは同一セグメント内です。

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」（P.315）をご覧ください。

2 ［管理者設定］-［ネットワーク管理］-［EtherTalk］タブをクリックします。

3 ［EtherTalk ゾーン名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

PDF ファイルを印刷する

プリンタードライバーをインストールしていなくてもPDF ファイルを印刷できます。

Web ブラウザーからファイルを指定して本機に送信します。

! 注

- 印刷するファイルによっては、本機に増設メモリーが必要な場合があります。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Acrobat Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- 印刷ページ指定をして印刷を行った場合は本機での処理に時間がかかる場合があります。

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」(P.315)をご覧ください。

2 [ダイレクト印刷] タブをクリックします。

3 [Web 印刷] をクリックします。

4 「ステップ 1」で、印刷するファイルを指定します。

[参照] をクリックすると、ファイルダイアログでファイルを選択することができます。

5 「ステップ 2」で、印刷設定をします。

6 「ステップ 3」で、「印刷」をクリックします。

7 ファイル名と印刷設定を確認して、「OK」をクリックします。

メールに添付されたファイルを印刷する

本機が受信した電子メールに添付されているファイルを印刷します。本機では、POP/SMTP プロトコルでの受信が可能です。ただし、POP/SMTP を同時に動作させることはできません。

印刷できるファイルは PDF 形式と JPEG 形式のファイルです。

印刷するには、以下の電子メール受信の設定を行います。

注

- 印刷するファイルによっては、本機に増設メモリーが必要な場合があります。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Acrobat Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- メール本文は印刷しません。
- PDF 形式と JPEG 形式でないファイルが添付されていた場合、印刷しません。
- 添付できる最大ファイル数は 10 ファイルです。(PDF, JPEG 合せて)
- 1ファイルの上限サイズは 8M バイトです。(上限を超えた場合、そのメールの添付ファイルは受け捨てられます)

■ POP 受信の設定をする

1 管理者としてログインします。

参照

- 「管理者としてログインする」(P.315)をご覧ください。

2 [管理者設定] - [ネットワーク管理] タブをクリックします。

3 [Email] - [受信設定] をクリックします。

4 「ステップ 1」で、「POP3」を有効にして「ステップ 2 へ」を押します。

5 「ステップ 2」で、POP サーバーの設定をします。

(1) 「POP サーバ名」に、メールサーバーのドメイン名または IP アドレスを設定します。

メモ

- メールサーバーをドメイン名で設定する場合は、[ネットワーク] タブ - [TCP/IP] で DNS サーバーの設定が必要です。

(2) 「POP アカウント」に、メール受信用のアカウント名を設定します。

(3) 「POP パスワード」に、アカウントに対するパスワードを設定します。

6 「ステップ 3」で、メールサーバーからメールを取得する間隔を設定します。

7 「ステップ 4」で、そのほかの設定をします。

(1) 「POP ポート番号」でメールサーバーのポート番号を設定します。通常は初期設定のままお使いください。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定/レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制限
付録
索引

(2) お使いのメールサーバーが APOP プロトコルをサポートしている場合は、「APOP サポート」を［有効］に設定します。

注

- メールサーバーが APOP プロトコルをサポートしていない場合に、「APOP サポート」を［有効］に設定すると、メールの受信が正しく行われません。

メモ

- APOP プロトコルでは、パスワードを暗号化してメールサーバーに送信するため、より安全なメール受信が行われます。

(3) 「POP 暗号化方式」で「POP3S」、「STARTTLS」を選択することにより POP 通信を SSL 暗号化することができます。

注

- POP サーバーで SSL 暗号機能が未サポートな場合はメールの受信が正しく行われません。

8 「送信」をクリックします。

これで、本機が受信したメールの添付ファイルを印刷することができるようになります。

■ SMTP 受信の設定をする

参照

- 電子メールにファイルを添付する方法については、お使いの電子メールソフトのマニュアルをご覧ください。

1 お使いの電子メールソフトを起動します。

2 宛先に本機の電子メールアドレスを入力します。

メモ

- 件名と本文には何を入力してもかまいません。

3 印刷したいファイルを添付します。

4 「ステップ 1」で SMTP を有効にして「ステップ 2 へ」を押します。

5 「ステップ 2」で SMTP の設定をします。

(1) 「ドメインフィルタ」を「有効」にします。

メモ

- ドメインフィルタの設定で本機側で SMTP 受信したメールの「許可」または「拒否」が設定できます。特にフィルタを設定していない場合は「無効」にします。
- ドメインフィルタは POP 受信には適用されません。

(2) 「以下に設定したドメインからの Email を」を「許可」または「拒否」に設定します。

「ドメイン 1」～「ドメイン 5」で設定したドメイン名が設定された電子メールの印刷を設定できます。

メモ

- ドメインとはメールアドレスの「@」以下です。

注

- このドメインは電子メールの From に適用されます。

6 「SMTP 受信ポート番号」で SMTP ポート番号を設定します。通常は初期設定のままお使いください

7 「送信」をクリックします。

これで本機が受信したメールのファイルを印刷することが出来るようになります。

本機が電子メールを受信すると、添付された PDF ファイルが印刷されます。

メモ

- 電子メールを送信してから、本機がその電子メールを受信するまでにしばらく時間がかかることがあります。

8 ユーザー認証・アクセス制御

ユーザー認証・アクセス制御について

ユーザー認証・アクセス制御とは

管理者が許可したユーザーのみが、本機の操作やコンピューターからの印刷などをすることができ、以下のような長所があります。

- 不審な人物の使用がなくなり、情報の流出を防ぐことができる。
- 印刷を制限することで、不要なカラー印刷がなくなり、トナーや用紙の消費を抑えることができる。

管理者が許可したユーザーが本機の操作をするには、最初にタッチパネルから、ご自身の PIN または、ユーザー名とパスワードを入力します。またコンピューターから印刷するときは、ご自身の PIN または、ユーザー名とパスワードを入力し、印刷します。

メモ

- PIN とは、ユーザーに割り当てられた番号（Personal Identification Number）を表し、ユーザー ID と表記することもあります。

■ユーザー毎に制限できる操作

管理者は、ユーザー毎に、許可する操作を設定できます。設定できる操作は、以下の通りです。

- 印刷
- コピー
- カラー印刷
- カラーコピー
- ファクス送信
- スキャン To メール
- スキャン To USB メモリ
- スキャン To ネットワーク PC

ユーザー認証・アクセス制御の動作環境

- 本機がネットワークに接続されていること。
- ネットワーク上に、Configuration Tool をインストールしたコンピューターがあること。

参照

- Configuration Tool については、ユーティリティーソフトウェア編「Configuration Tool」をご覧ください。

PIN による認証

ここでは、PIN でユーザー認証を行うときの手順、操作を説明します。

PIN を登録する

ユーザーの登録は、管理者が「Configuration Tool」の「PIN マネージャー」で行います。

新規作成（PIN)アイコンをクリックし、ユーザーのPIN、許可する操作を登録します。

参照

● 詳しい手順は、ユーティリティーソフトウェア編「PIN を設定する」の「PIN を新規作成する」をご覧ください。

アクセス制御を有効にする

管理者はアクセス制御の設定をします。ここでは、操作パネルで設定する場合を説明します。

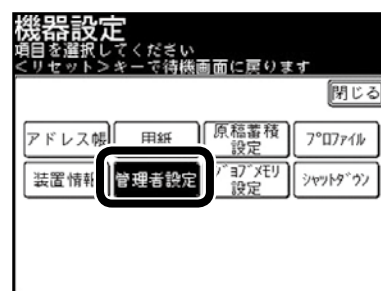
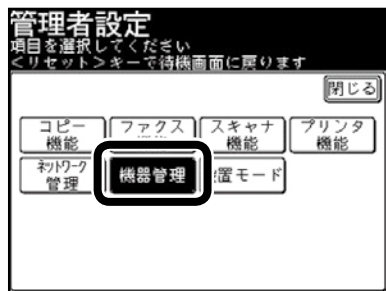
メモ

● 「Configuration Tool」の「Device Setting タブ」の「メニュー設定」でも設定できます。詳しくは、ユーティリティーソフトウェア編「Configuration Tool 」をご覧ください。

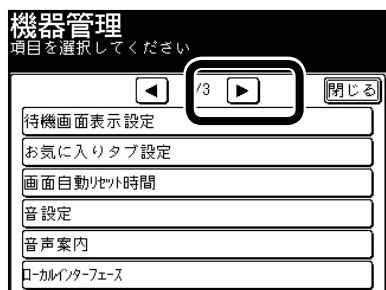
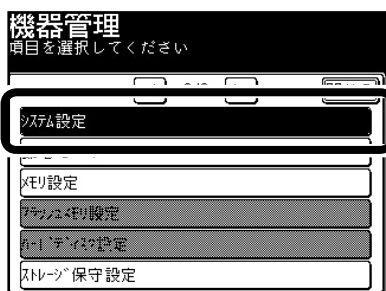
1 ＜機能設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

● 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］となっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［機器管理］画面になるので、［▶］を 1 回押します。

6 ［機器管理］画面の［2/3］を表示するので、［システム設定］を押します。

7 ［アクセス制御］を押します。

8 ［PIN］を押し、［確定］を押します。

メモ

- 無効：アクセス制御を無効にします。
- PIN：アクセス制御を有効にし、認証方法を PIN に設定します。
- ユーザ名 / パスワード：アクセス制御を有効にし、認証方法をユーザー名・パスワードに設定します。

9 ［閉じる］を数回押し、待機画面に戻ります。

コピー・ファクス送信・スキャンするとき

1 本機の操作パネルに、下のような画面を表示しているので、[PIN 番号]を押します。

メモ

- PIN 番号を登録していないときは、管理者の PIN 番号を入力すると、ログインできます。
- 管理者の PIN 番号：000000

2 テンキーから PIN を入力します。

3 [確定]を押します。

4 3 で入力した PIN 番号が表示されていることを確認し、[ログイン]を押します。

5 管理者の PIN 番号でログインした場合は、パスワード入力画面になるので、パスワードを入力し、[確定] を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］となっています。

6 待機画面を表示するので、コピー・ファクス送信・スキャンなどの行いたい操作をします。

メモ

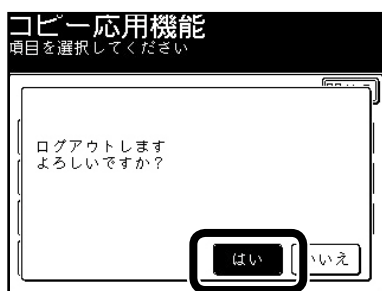
- 許可されていない操作のボタンは押せません。

7 操作が終わったら、[応用機能] を押します。

8 [ログアウト] を押します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定・登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

9 確認の画面を表示するので、［はい］を押します。

メモ

● 操作終了後、何もせずに一定時間が経過すると、自動的にログアウトします。

コンピューターから印刷するとき（Windows）

1 プリンタードライバーに PIN を設定します。

(1) コンピューターに「ジョブアカウンティングクライアント」をインストールし、ジョブアカウントモードを設定します。

参照

● 「ジョブアカウンティングクライアント」のインストールについては、ユーティリティーソフトウェア編「ユーティリティーをインストールする」をご覧ください。ジョブアカウントモードの設定方法は、ユーティリティーソフトウェア編「ジョブアカウントモードを変更する」をご覧ください。

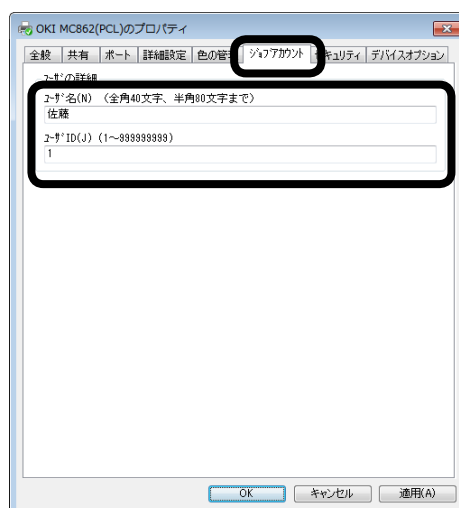
(2) ［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。

(3) ［OKI MC862（**）］アイコン（** は PS、PCL のいずれかを表します。）を右クリックし、［プリンターのプロパティ］＞［OKI MC862（**）］を選択します。

(4) ［ジョブアカウント］タブをクリックします。

メモ

● ［ジョブアカウント］タブが表示されないときは、ジョブアカウントモードが［タブ］モード 以外に設定されています。［タブ］モード以外の設定方法は、ユーティリティーソフトウェア編「プリントジョブアカウンティングクライアント」をご覧ください。

(5) ［ユーザ名］にユーザー名を、［ユーザ ID］に PIN を入力します。

(6) ［OK］をクリックします。

2 印刷したいファイルを開きます。

3 印刷するファイルを開きます。

4 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

5 手順 1 の（3）で選択したプリンタードライバーを選択し、[印刷] をクリックします。

コンピューターから印刷するとき (Mac OS X)

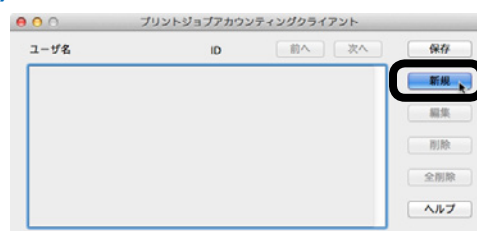
1 PIN を設定します。

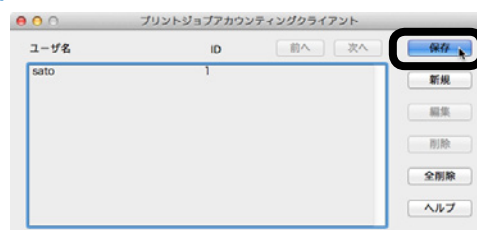
(1) コンピューターに「ジョブアカウンティングクライアント」をインストールします。

メモ

- インストールについては、ユーティリティーソフトウェア編「ユーティリティーをインストールする」をご覧ください。

(2) プリントジョブアカウンティングを起動します。

(3) [新規] をクリックします。

(4) [ユーザ名] にユーザー名を、[ジョブアカウント ID] に PIN を入力し、[保存] をクリックします。

(5) [保存] をクリックします。

2 印刷したいファイルを開きます。

3 本機を指定し、印刷します。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

コンピューターからファクス送信するとき（Windows）

1 プリンタードライバーに PIN を設定します。

(1) コンピューターに「ジョブアカウンティングクライアント」をインストールし、ジョブアカウントモードを設定します。

メモ

- インストールについては、ユーティリティーソフトウェア編「ユーティリティーをインストールする」をご覧ください。

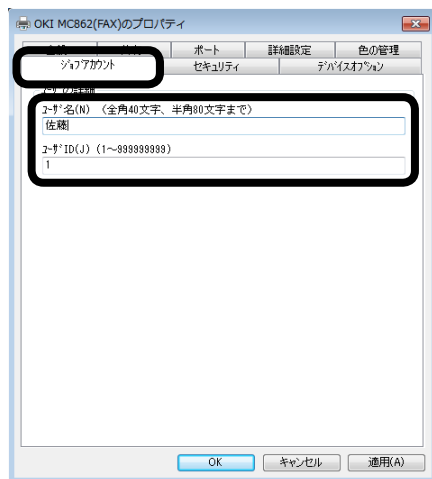
(2) ［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。

(3) ［OKI MC862（FAX）］アイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］＞［OKI MC862（**）］を選択します。

(4) ［ジョブアカウント］タブをクリックします。

メモ

- ［ジョブアカウント］タブが表示されないときは、ジョブアカウントモードが［タブ］モード 以外に設定されています。［タブ］モード以外の設定方法は、ユーティリティーソフトウェア編「ジョブアカウントモードを変更する」をご覧ください。

(5) ［ユーザ名］にユーザー名を、［ユーザ ID］に PIN を入力します。

(6) ［OK］をクリックします。

2 ファクス送信したいファイルを開きます。

3 ［ファイル］メニューの［ 印刷］を選択し、［OKI MC862（FAX）］を指定し､印刷します。

ユーザー名・パスワードによる認証

ここでは、ユーザー名 / パスワードでユーザー認証を行うときの手順、操作を説明します。

ユーザー名・パスワードを登録する

ユーザーの登録は、管理者が「Configuration Tool」の「PIN マネージャー」で行います。

新規作成（ユーザー）アイコンをクリックし、ユーザー名、パスワード、許可する操作などを登録します。

参照

- 詳しい手順は、ユーティリティーソフトウェア編「PIN を設定する」の「ユーザーを作成する」をご覧ください。

アクセス制御を有効にする

管理者はアクセス制御の設定をします。ここでは、操作パネルで設定する場合を説明します。

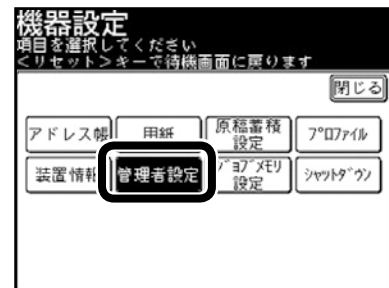
メモ

- 「Configuration Tool」の「Device Setting タブ」の「メニュー設定」でも設定できます。詳しくは、ユーティリティーソフトウェア編「Configuration Tool」をご覧ください。

1 ＜機能設定＞キーを押します。

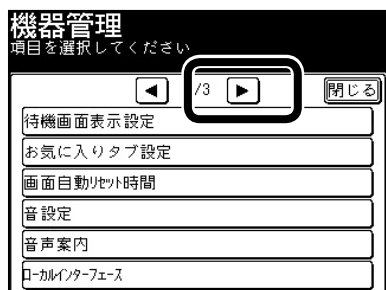
2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］となっています。

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

4 ［機器管理］を押します。

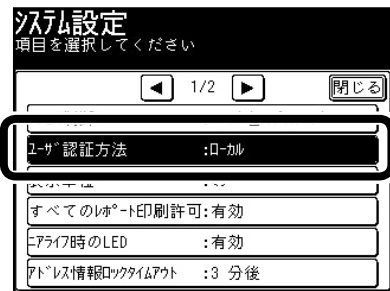
5 ［機器管理］画面になるので、［▶］を 1 回押します。

6 ［機器管理］画面の［2/3］を表示するので、［システム設定］を押します。

7 ［アクセス制御］を押します。

8 ［ユーザ名 / パスワード］を押し、［確定］を押します。

メモ

- 無効：アクセス制御を無効にします。
- PIN：アクセス制御を有効にし、認証方法を PIN に設定します。
- ユーザ名 / パスワード：アクセス制御を有効にし、認証方法をユーザー名・パスワードに設定します。

9 ［ユーザ認証方法］を押します。

10 ［ローカル］を押し、［確定］を押します。

メモ

- ローカル：ユーザー名 / パスワード認証に装置内のデータベースを使用します。
- LDAP：ユーザー名 / パスワード認証に LDAP サーバーを使用します。
- セキュアプロトコル：ユーザー名/パスワード認証にセキュアプロトコルサーバーを利用します。

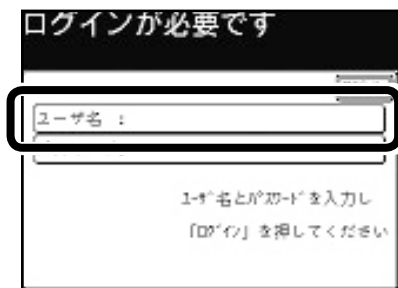
LDAP、セキュアプロトコルを選択した場合、それぞれのサーバーの設定方法については、「Web ブラウザー」(P.314)をご覧ください。

11 ［閉じる］を数回押し、待機画面に戻ります。

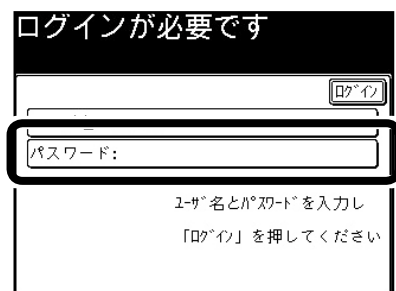
1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

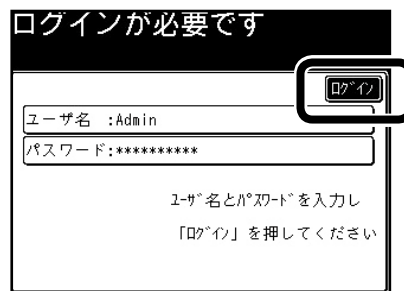
コピー・ファクス送信・スキャンするとき

1 本機の操作パネルに、下のような画面を表示しているので、[ユーザ名] を押します。

メモ

- PIN 番号を登録していないときは、管理者のユーザー名とパスワードを入力すると、ログインできます。
  管理者のユーザー名：Admin
  管理者の工場出荷時のパスワード：aaaaaa

2 ユーザー名入力画面になるので、ユーザー名を入力し、[確定] を押します。

3 [パスワード] を押します。

4 パスワード入力画面になるので、パスワードを入力し、[確定] を押します。

5 [ログイン] を押します。

6 待機画面を表示するので、コピー・ファクス送信・スキャンなどの行いたい操作をします。

メモ

- 許可されていない操作のボタンは押せません。

7 操作が終わったら、[応用機能] を押します。

8 [ログアウト] を押します。

9 確認の画面を表示するので、[はい] を押します。

メモ

- 操作終了後、何もせずに一定時間が経過すると、自動的にログアウトします。

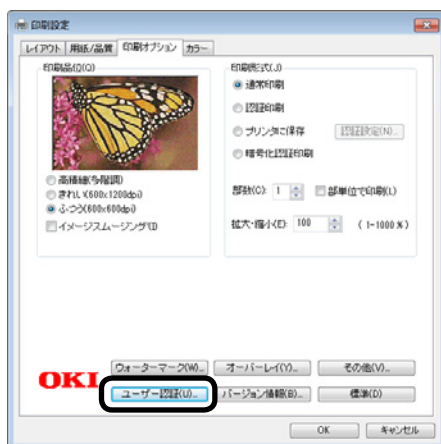
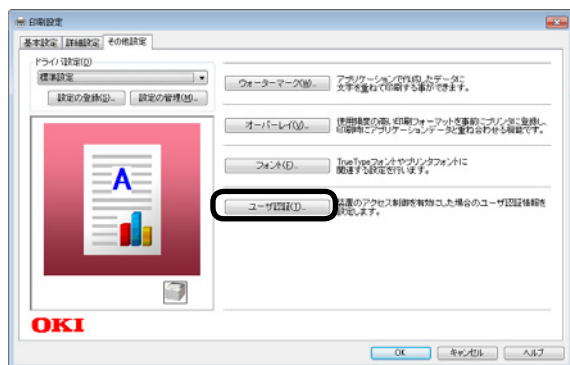
コンピューターから印刷するとき（Windows）

1 印刷したいファイルを開きます。

2 プリンタードライバーの設定をします。

(1) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(2) ［プリンタの選択］で［OKI MC862(**)］(** は PS または PCL を表します。）を選択し、［詳細設定］をクリックします。

(3) PS ドライバーをお使いの場合は、［印刷オプション］タブの［ユーザ認証］をクリックします。PCL ドライバーをお使いの場合は、［その他設定］タブの［ユーザ認証］をクリックします。

（Windows 7 PS ドライバーの画面）

（Windows 7 PCL ドライバーの画面）

(4) ［ユーザ認証を使用する］にチェックを付け、［ユーザ名］とパスワードを入力します。

メモ

- ［ログオン名を入力する］をクリックすると、［ユーザ名］に Windows のログオン名が自動的に入力されます。

(5) ［OK］を 2 回クリックします。

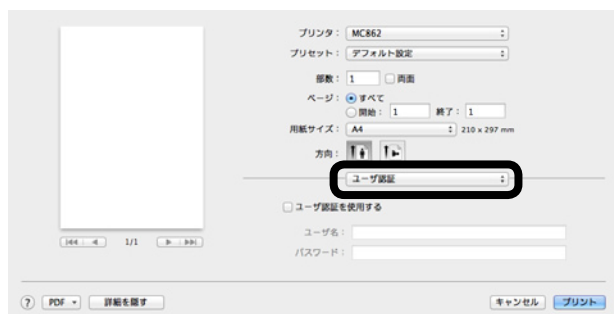
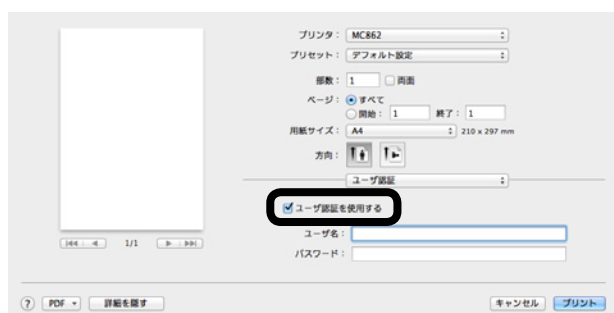
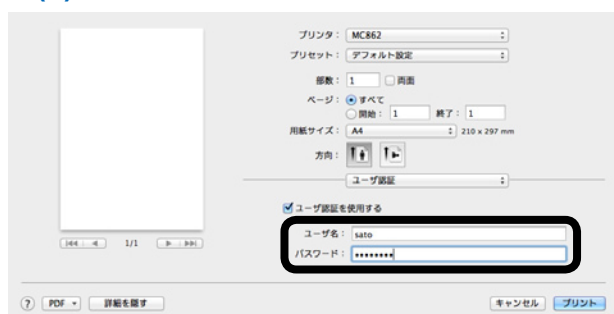
3 印刷します。

コンピューターから印刷するとき（Mac OS X）

1 印刷したいファイルを開きます。

2 プリンタードライバーの設定をします。

(1) ［ファイル］メニューの［プリント ...］を選択します。

(2) ［ユーザ認証］パネルを選択します。

(3) ［ユーザ認証を使用する］のチェックボックスをチェックします。

(4) ［ユーザ名］と［パスワード］を入力します。

3 ［プリント］をクリックし、印刷します。

コンピューターからファクス送信するとき（Windows）

1 ファクス送信したいファイルを開きます。

2 ファクスドライバーの設定をします。

(1) ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

(2) ［プリンタの選択］で［OKI MC862(FAX)］を選択し、［詳細設定］をクリックします。

(3) ［設定］タブの［ユーザ認証］をクリックします。

(4) ［ユーザ認証を使用する］にチェックを付け、［ユーザ名］とパスワードを入力します。

メモ

- ［ログオン名を入力する］をクリックすると、［ユーザ名］にWindows のログオン名が自動的に入力されます。

(5) ［OK］を 2 回クリックします。

3 印刷します。

付　録

操作パネルのメニュー項目一覧

- MP トレイ
  - カスタムサイズ
    - 幅（210mm/8.3inch）
    - 長さ（297mm/11.7inch）
  - 用紙種類（普通紙）
  - 用紙厚（普通紙）
- 印刷トレイ指定
  - ファクス
    - トレイ 1（ON）
    - トレイ 2（ON）
    - トレイ 3（ON）
    - MP トレイ（OFF）
  - コピー
    - トレイ 1（ON（優先））
    - トレイ 2（ON）
    - トレイ 3（ON）
    - MP トレイ（OFF）
- 両面最終ページ（白紙スキップ）

機器設定画面（[原稿蓄積設定]選択時）

- 蓄積
- 削除
- 印刷

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

機器設定画面（[プロファイル]選択時）
登録 / 変更
プロファイル名
プロトコル(CIFS)
対象 URL
ポート番号(445(CIFS))
FTP Passive モード(OFF)
ユーザ名
パスワード
ホスト側漢字コード(Shift-JIS)
CIFS 文字セット(UTF-16)
通信の暗号化(None/None)
ファイル名
画質
画質(文字 / 写真)
背景・裏写り除去(自動)
濃度(0)
解像度(200dpi)
読取サイズ(自動)
グレースケール(ON)
ファイル形式
カラー(PDF)
モノクロ(グレースケール)(PDF)
モノクロ(2 値)(PDF)
圧縮レベル
カラー(低)
モノクロ(グレースケール)(低)
モノクロ(2 値)(高(G4))
枠消去
設定(OFF)
消し幅(5mm/0.2inch)
ｾﾝﾀｰ消去
設定(OFF)
ｾﾝﾀｰ消し幅(1mm/0.1inch)
コントラスト(0)
色相調整(0)
彩度調整(0)
赤・緑・青色調整(0)
削除

機器設定画面([装置情報]選択時)
印刷カウンタ
印刷カウンタ
トレイ 1 ページカウント:
トレイ 2 ページカウント:
トレイ 3 ページカウント:
MP トレイページカウント:
A4/ レター換算カウンタ
カラーカウント:
モノクロカウント:
スキャナカウンタ
スキャンページ数累計
スキャンページ数
自動給紙スキャンページ数累計
自動給紙スキャンページ数
消耗品残量
ブラックドラム
シアンドラム
マゼンタドラム
イエロードラム
ベルト
定着器
ブラックトナー(n.nK)
シアントナー(n.nK)
マゼンタトナー(n.nK)
イエロートナー(n.nK)
システム情報
シリアル番号
管理番号
ロット番号
CUバージョン
PUバージョン
SIPバージョン
スキャナバージョン
メモリ容量
フラッシュメモリ情報
ネットワーク
IPv4アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス
MACアドレス
NICプログラムバージョン
IPv6アドレス(ローカル)
IPv6アドレス(グローバル)

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

機器設定画面（[管理者設定]選択時、ファクス機能）
送信初期値
画質（標準）
濃度（普通）
読取サイズ（自動）
継続読取（OFF）
発信元名（ON）
送信確認証（OFF）
メモリ送信（ON）
F コードボックス
登録 / 変更
親展ボックス
ボックス名
サブアドレス
パスワード
保存期間（00 日）
暗証番号
掲示板ボックス
ボックス名
サブアドレス
パスワード
受信禁止（OFF）
同時印刷（OFF）
上書き許可（OFF）
送信後原稿消去（OFF）
暗証番号
削除
セキュリティ機能
ID チェック送信（OFF）
同報宛先確認（ON）
ﾀﾞｲﾔﾙ2 度押し（OFF）
通信管理レポート自動印刷
設定（OFF）
時刻指定（OFF）
その他の設定
リダイヤル回数（3 回）
リダイヤル間隔（1 分）
ダイレクトメール防止
設定（OFF）
登録 / 変更
削除
呼出ベル回数（2 回）
ポーズ時間（3 秒）
超高画質解像度（400dpi）
受信縮小率（自動）
しきい値（24mm）
回転送信（ON）
ECM モード（ON）
プレフィクス（0000）
受信タイムスタンプ（OFF）
チェックメッセージ印刷（ON）

機器設定画面([管理者設定]選択時、スキャナ機能)

- スキャン初期値
  - 画質
    - 画質(文字 / 写真)
    - 背景・裏写り除去(自動)
  - 濃度(0)
  - 解像度(200dpi)
  - 読取サイズ(自動)
  - 継続読取(OFF)
  - 読取向き(上端)
  - グレースケール(OFF)
  - ファイル形式
    - カラー(PDF)
    - モノクロ(グレースケール)(PDF)
    - モノクロ(2 値)(PDF)
  - 圧縮レベル
    - カラー(低)
    - モノクロ(グレースケール)(低)
    - モノクロ(2 値)(高(G4))
  - 枠消去
    - 設定(OFF)
    - 消し幅(5mm/0.2inch)
  - ｾﾝﾀｰ消去
    - 設定(OFF)
    - ｾﾝﾀｰ消し幅(1mm/0.1inch)
  - コントラスト(0)
  - 色相調整(0)
  - 彩度調整(0)
  - 赤・緑・青色調整(0)
- メール設定
  - ファイル名
    - ファイル名
  - メール編集定型文
    - 件名編集
    - 本文編集
  - 送信者 / 返信先
    - 送信者
    - 返信先
  - 同報宛先確認(ON)
- USB メモリ設定
  - ファイル名
    - ファイル名

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能の設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

機器設定画面([管理者設定]選択時、プリンタ機能)

- 印刷メニュー
  - ﾄﾚｲ構成
    - 給紙トレイ(トレイ 1)
    - 自動トレイ切替(ON)
    - トレイ選択順序(下方向)
    - MP トレイ使い方(使用しない)
    - 用紙チェック(有効)
  - 印刷設定
    - コピー枚数(1)
    - 両面印刷(OFF)
    - とじ方(横とじ)
    - 解像度(600DPI)
    - トナーセーブモード(OFF)
    - モノクロ印刷速度(自動)
    - 印刷方向(縦方向)
    - 1 ページ行数(64 行)
    - 編集サイズ(カセットサイズ)
    - 用紙幅(210mm/8.3inch)
    - 用紙長さ(297mm/11.7inch)
  - 印刷補正
    - ﾏﾆｭｱﾙﾀｲﾑｱｳﾄ(60 秒)
    - ﾀｲﾑｱｳﾄ印刷(40 秒)
    - ﾄﾅｰ不足時の印刷(継続)
    - ｼﾞｬﾑﾘｶﾊﾞｰ(有効)
    - 普通紙ブラック設定(0)
    - 普通紙カラー設定(0)
    - OHP ブラック設定(0)
    - OHP カラー設定(0)
    - SMR 設定(0)
    - BG 設定(0)
  - 印刷位置補正
    - X 補正(0mm)
    - Y 補正(0mm)
    - 両面印刷 X 補正(0mm)
    - 両面印刷 Y 補正(0mm)
  - ドラムクリーニング(OFF)
  - ヘキサダンプ(OFF)

▼ 次ページへ続く

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

機器設定画面([管理者設定]選択時、ネットワーク管理)
ﾈｯﾄﾜｰｸ設定
TCP/IP(有効)
IP バージョン(IPv4)
NetBEUI(無効)
NetBIOS over TCP(有効)
NetWare(有効)
EtherTalk(有効)
フレームタイプ(自動)
IPｱﾄﾞﾚｽ設定(自動)
IPv4ｱﾄﾞﾚｽ(192.168.100.100)
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ(255.255.255.0)
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ(0.0.0.0)
Web(有効)
Telnet(無効)
FTP(無効)
IPSec(無効)
SNMP(有効)
ネットワークの規模(普通)
ハブとの接続(自動)
ﾈｯﾄﾜｰｸPS- プロトコル(RAW)
出荷時設定に戻す
実行
メールサーバ設定
SMTPｻｰﾊﾞ
SMTPﾎﾟｰﾄ(25)
SMTP 送信暗号化方式(None)
IP アドレスまたは、サーバ名
POP3ｻｰﾊﾞ
IP アドレスまたは、サーバ名
POP3ﾎﾟｰﾄ(110)
POP 暗号化方式(None)
認証方法(無し)
SMTP ユーザ ID
ユーザ ID
SMTP パスワード
パスワード
POP ユーザ ID
ユーザ ID
POP パスワード
パスワード
LDAP サーバ設定
ｻｰﾊﾞ設定
LDAPｻｰﾊﾞ
IP アドレスまたは、サーバ名
ﾎﾟｰﾄ番号(389)
ﾀｲﾑｱｳﾄ(30 秒)
最大ｴﾝﾄﾘ数(100 エントリ)
DN 名
属性
名前 1
名前検索条件 1(cn)
名前 2
名前検索条件 2(sn)
名前 3
名前検索条件 3(givenName)
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ
メールアドレス検索条件(mail)
追加ﾌｨﾙﾀ
追加設定
認証
方法(Anonymous)
ﾕｰｻﾞ ID
ﾕｰｻﾞ ID
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
暗号化(None)
セキュアプロトコルサーバ設定
ドメイン名
ドメイン名

機器設定画面（[管理者設定]選択時、機器管理）

- 待機画面表示設定
  - コピー画面
    - 1. 画質
    - 2. 濃度
    - 3. トレイ
    - 4. 拡大 / 縮小
    - 5. ソート
  - ファクス画面
    - 1. 短縮送信
    - 2. 画質
    - 3. 濃度
    - 4. リダイヤル
    - 5. オフフック
  - スキャナ画面
    - ネットワーク PC
      - 1. 画質
      - 2. 濃度
      - 3. 解像度
      - 4. 読取サイズ
      - 5. ファイル名
    - メール
      - 1. 宛先指定
      - 2. 画質
      - 3. 濃度
      - 4. 解像度
      - 5. 読取サイズ
    - USB メモリ
      - 1. 画質
      - 2. 濃度
      - 3. 解像度
      - 4. 読取サイズ
      - 5. ファイル名
  - ﾃﾞﾌｫﾙﾄモード（コピー）
- お気に入りタブ設定
  - ファクス宛先表
  - メール宛先表
- 画面自動ﾘｾｯﾄ時間
  - コピー画面
    - リセット時間（3 分）
    - 読取終了後にリセット（OFF）
  - ファクス画面
    - リセット時間（3 分）
  - スキャナ画面
    - リセット時間（5 分）
    - 読取終了後にリセット（OFF）
- 音設定
  - ブザー音量（中）
  - キータッチ音量（中）
  - キータッチ音色
    - ファクス（低音）
    - コピー（低音）
    - スキャナ（低音）
  - 呼出ブザー音（OFF）
  - 動作完了音量（中）
  - 動作完了音
    - コピー完了（タイプ 1）
    - ファクス送信完了（タイプ 1）
    - ファクス受信完了（タイプ 1）
    - ファクス受信印刷完了（タイプ 1）
    - メール送信完了（タイプ 1）
    - レポート印刷完了（タイプ 1）
    - 印刷完了（タイプ 1）
    - ガラス面読取完了（タイプ 1）
  - 紙づまりエラー音（ON）

▼ 次ページへ続く

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

音声案内
操作案内モード(手動)
操作案内音量(中)
エラー解除案内音量(中)
お知らせガイダンス音量(中)
ローカルインターフェース
USB メニュー
USB(有効)
ソフトリセット(無効)
SPEED(480Mbps)
USB PS- プロトコル(RAW)
オフライン受信(無効)
シリアルナンバー(有効)
セントロメニュー
セントロ(有効)
双方向セントロ(有効)
ECP(有効)
ACK 幅(狭い)
ACK/BUSY タイミング(ACK IN BUSY)
I-PRIME(無効)
セントロPS-プロトコル(ASCII)
オフライン受信(無効)
ｼｽﾃﾑ設定
ｱｸｾｽ制御(無効)
ユーザ認証方法(ローカル)
表示単位(ﾐﾘ)
すべてのﾚﾎﾟｰﾄ印刷許可(無効)
ニアライフ時の LED(有効)
ニアライフ時のステータス(有効)
ｱﾄﾞﾚｽ情報ﾛｯｸﾀｲﾑｱｳﾄ(3(分))
USB メモリインターフェース(有効)
節電モード
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ(ON)
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ移行時間(5 分)
ﾒﾓﾘ設定
受信ﾊﾞｯﾌｧサイズ(自動)
リソースセーブエリア(OFF)
フラッシュメモリ設定
初期化
実行
ハードディスク設定
初期化
実行
フォーマット(PCL)
ストレージ保守設定
ファイルシステムチェック
実行
セクタチェック
実行
ハードディスクデータ消去
実行
初期化の制限(有効)
暗号化設定
ジョブ制限(無効)
言語保守設定
初期化
実行
管理者パスワード
新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ/ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの再入力
設定値初期化
実行
ジョブログ消去
実行

機器設定画面([管理者設定]選択時、設置モード)

- 時刻設定(2012/1/1 00:00)
- タイムゾーン(+09：00)
- ダイヤル種別(ﾀﾞｲﾔﾙ20)
- ファクス受信モード(ﾌｧｸｽ待機)
- ダイヤルトーン検出(ON)
- ビジートーン検出(ON)
- 回線モニタ(OFF)
- 発信元名登録 / 変更
  - 発信元名 1
  - 発信元名 2
  - 発信元名 3
- 標準発信元名(発信元名 1)
- 自機電話番号
- TTIカレンダータイプ(西暦_月_日(曜日))
- スーパー G3(ON)
- ミラーキャリッジ搬送用モード
  - 実行
- 個人情報消去
  - 実行

機器設定画面([ジョブメモリ設定]選択時)

- 登録
- 削除
- 実行速度(普通)
- タイトル変更

機器設定画面([シャットダウン]選択時)

- シャットダウン
  - 実行

コピー待機画面
応用機能
集約
原稿枚数(OFF)
トレイ(ﾄﾚｲ1)
配置(並び替え)(横並び)
リピート
リピート回数(OFF)
トレイ(ﾄﾚｲ1)
ページ分割
原稿のとじ(OFF)
トレイ(自動)
とじしろ
設定(OFF)
左幅(表面)(0mm/0inch)
上幅(表面)(0mm/0inch)
左幅(裏面)(0mm/0inch)
上幅(裏面)(0mm/0inch)
枠消去
設定(OFF)
消し幅(5mm/0.2inch)
ｾﾝﾀｰ消去
設定(OFF)
ｾﾝﾀｰ消し幅(1mm/0.1inch)
両面
ｺﾋﾟｰ方法(OFF)
とじ位置、原稿の閉じ(左右とじ)
ﾐｯｸｽ原稿(OFF)
読取サイズ(自動)
継続読取(OFF)
コントラスト(0)
色相調整(0)
彩度調整(0)
赤・緑・青色調整(0)
画質
画質(文字 / 写真)
背景・裏写り除去(自動)
濃度(0)
トレイ(自動)
拡大 / 縮小(100%)
ソート(ON)

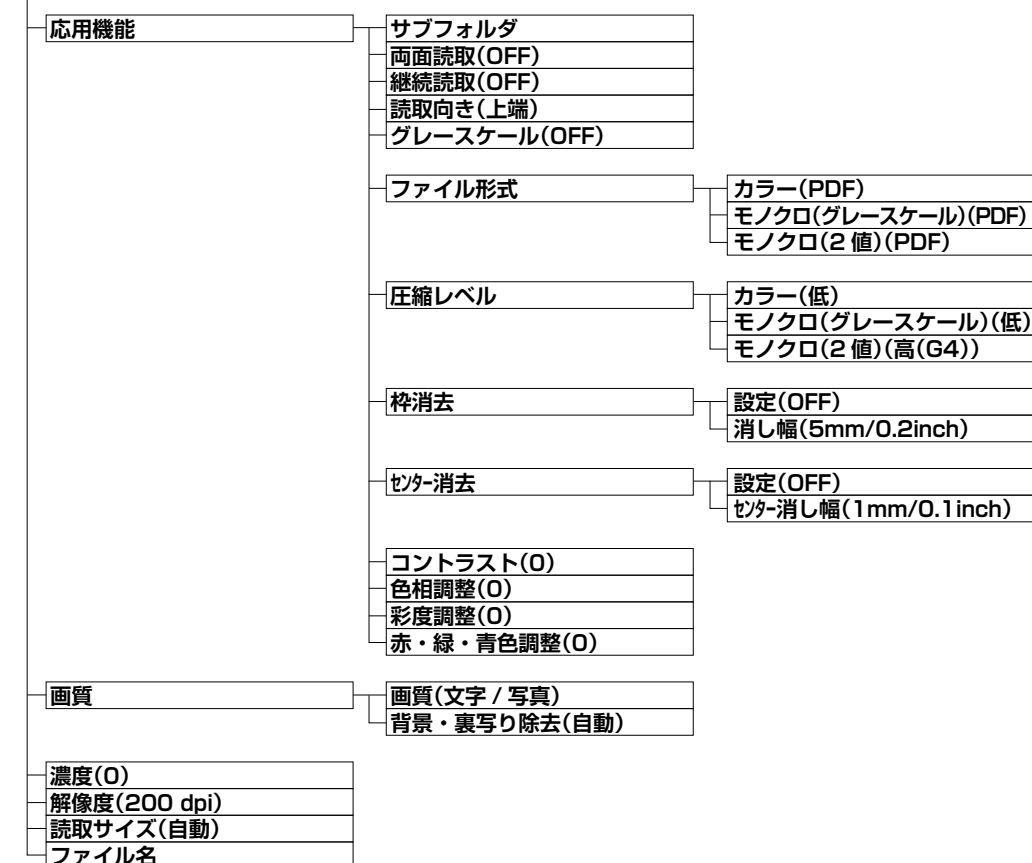
ファクス待機画面(オンフック状態)

応用機能

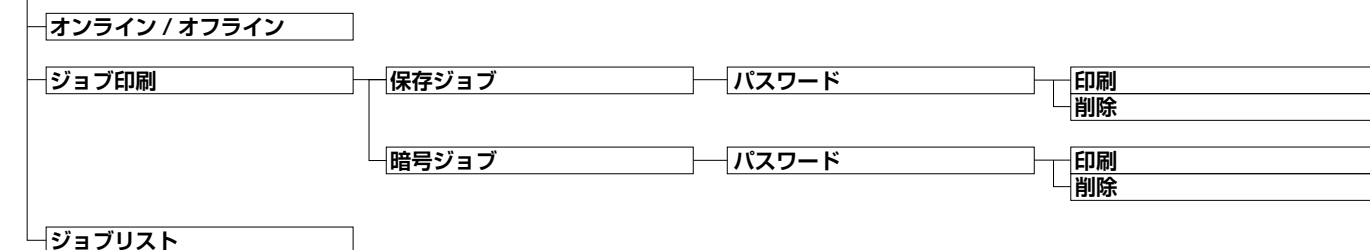
短縮送信
画質(標準)
濃度(普通)
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ
ｵﾌﾌｯｸ

スキャナ待機画面(スキャナメニュー選択画面)
メール
USB メモリ
ローカル PC
ネットワーク PC
リモート PC
スキャナ待機画面(メール選択時)
応用機能
返信先
メール編集
件名
本文(固定文)
件名新規
件名選択
本文選択
ファイル名
両面読取(OFF)
継続読取(OFF)
読取向き(上端)
グレースケール(OFF)
ファイル形式
カラー(PDF)
モノクロ(グレースケール)(PDF)
モノクロ(2 値)(PDF)
圧縮レベル
カラー(低)
モノクロ(グレースケール)(低)
モノクロ(2 値)(高(G4))
枠消去
設定(OFF)
消し幅(5mm/0.2inch)
ｾﾝﾀｰ消去
設定(OFF)
ｾﾝﾀｰ消し幅(1mm/0.1inch)
コントラスト(0)
色相調整(0)
彩度調整(0)
赤・緑・青色調整(0)
宛先指定
アドレス帳
直接入力
メール送信履歴
グループ送信
LDAP
画質
画質(文字 / 写真)
背景・裏写り除去(自動)
濃度(0)
解像度(200 dpi)
読取サイズ(自動)

スキャナ待機画面(ローカル PC 選択時)

- アプリケーション
- フォルダ
- メール
- PC-FAX

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

スキャナ待機画面(ネットワーク PC 選択時)

プリンタ待機画面

プリントジョブアカウンティングの使用について

注

- オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。
- 本機がプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、機器設定印刷で「JobAccounting : ON」と印刷されます。「機器設定」（P.301）をご覧ください。
- 読取サイズがハーフレターでスキャンした場合は、ログの原稿サイズにはステートメントと表示されます。
- アクセス制御が無効の状態で本機のログの取得を開始すると、自動的にアクセス制御が有効になります（プリンターの追加時に［使用制限は使用しないで、ログのみ取得する］にチェックを付けなかった場合のみ）。アクセス制御の設定（PIN もしくはユーザー）は前回の設定（未設定時は PIN）になります。
- 本機が取得状態の場合は、アクセス制御やユーザー認証方法の設定を変更することはできません。
- 本機ではログフル時の操作は［古いログを削除する］になります。
- ユーザー ID が 1900000000 のジョブは装置が起動したジョブを表します。

使用可能なユーザー ID 数・ログ数

工場出荷時の状態で登録可能なユーザー ID の数と保存可能なログの数は以下の通りです。ログの内容によっては、少なくなる場合があります。

登録可能ユーザー ID 数	保存可能ログ数
5000ID	約 5000 ログ

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

仕様

基本仕様

型式	N34225C
CPU	PowerPC750 プロセッサ (500MHz)
RAM 容量	512MB(最大 768MB)
装置重量 *4	MC852dn/MC862dn: 約 68kg MC862dn-T　　　　: 約 96kg
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	動作時：最大 1300W、平均 700W(25℃)
	待機時：平均 160W(25℃)
	節電モード時：25W 以下 電源オフ時には電力は消費されません。
突入電流	80A 以下 (25℃)
使用環境条件	動作時：10 ～ 32℃ /20 ～ 80%RH(最高湿球温度 25℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
	停止時：0 ～ 43℃ /10 ～ 90%RH(最高湿球温度 26.8℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
外部インターフェース	USB (Hi-Speed USB をサポート)、100BASE-TX/10BASE-T
表示	グラフィック LCD パネル（5.8 インチ QVGA 320dots x 240dots)
対応 OS	Windows 7/Windows Vista/XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/ Windows Server 2003 日本語版 Mac OS X 10.3.9 ～ 10.7 日本語版 詳しくは動作環境をご覧ください。

印刷部仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード) を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600 ドット / インチ (LED ヘッド) 600 × 600dpi/600 × 1200dpi/600×600dpi×2 bit(印刷解像度)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の 4 色
印刷言語	PostScript3 エミュレーション、PCL5c エミュレーション
印刷速度 *1	カラー： MC862 26 ページ / 分（普通紙、A4 コピーモード時) 9.5 ページ / 分（121g/m² (104Kg）以上の厚紙・郵便はがき・ラベル紙) 22 ページ / 分（両面印刷時：普通紙、A4 時) MC852 22 ページ / 分（普通紙、A4 コピーモード時) 9.5 ページ / 分（121g/m² (104Kg）以上の厚紙・郵便はがき・ラベル紙) 19 ページ / 分（両面印刷時：普通紙、A4 時) モノクロ： 34 ページ / 分（普通紙、A4 コピーモード時) 9.5 ページ / 分（121g/m² (104kg）以上の厚紙・郵便はがき・ラベル紙) 23 ページ / 分（両面印刷時：普通紙、A4 時)
用紙サイズ *2	A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、エグゼクティブ、タブロイド、カスタム、はがき、往復はがき、封筒、インデックスカード
用紙種類 *2	普通紙 (55 ～ 172kg)、郵便はがき、封筒、ラベル紙、OHP フィルム
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、MP トレイによる自動給紙と手差給紙 増設トレイユニット（トレイ 2、トレイ 3）（オプション）による自動給紙
給紙容量	用紙カセット：普通紙 320 枚 /64g/m² (連量 55kg)　総厚 30mm 以下 MP トレイ　：普通紙 110 枚 /64g/m² (連量 55kg)　総厚 10mm 以下 はがき 40 枚、封筒 10 枚 / 坪量 85g/m²
排出方法 *2	フェイスアップ (表排出)/ フェイスダウン (裏排出)
排出容量 *3	フェイスアップ：約 110 枚 /64g/m² (連量 55kg) フェイスダウン：約 270 枚 /64g/m² (連量 55kg)
印刷保証範囲	用紙の端から 6.35mm 以上 (封筒などの特殊な用紙は除く)
印刷精度	書き出し位置精度± 2mm　用紙の斜行± 1mm/100mm 画像伸縮± 1mm/100mm(連量 82g/m² (70kg) の場合)
ウォームアップ時間	電源投入後 90 秒以内 (25℃) *5
平均印刷枚数	10,000 枚 / 月
印刷品質保証条件	温度 10℃時　湿度 30 ～ 73%RH、温度 32℃時　湿度 30 ～ 54%RH、 湿度 30%RH 時　温度 10 ～ 32℃、湿度 80%RH 時　温度 10 ～ 27℃、 カラー印刷時　温度 17 ～ 27℃、湿度 50 ～ 70%RH
消耗品・メンテナンスユニット	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット、給紙ローラセット
ユニット寿命	5 年または 60 万枚（A4 横)

*1 用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。

*2 用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。

*3 はがき、往復はがきのフェイスアップの最大排出容量は 10 枚です。

*4 装置重量には、消耗品も含んでいます。

*5 濃度補正を含みません。

スキャナー部仕様

スキャナータイプ	自動原稿送り装置 (ADF) 付きフラットベッドスキャナー
イメージセンサー	カラー CCD（R, G, B 3Line)
ADF 原稿用紙厚さ	52 ～ 105g/m²
ADF 原稿トレイ容量	100 枚（80g/m²）A4/ レター 30 枚 A3、B4、タブロイド、リーガル（14"） 50 枚（80g/m² 以外）A4/ レター、B5、A5、ハーフレター
可能読取幅	原稿台　：最大 297mm ADF　　：最大幅 297mm　最小原稿 128.5 x 148.5mm
読取速度	最大 32 ページ / 分 (300dpi, モノクロモード , A4 片面)
ユニット寿命	原稿台　：5 年または 300,000 回スキャン ADF　　：5 年または 120,000 ページスキャン （80,000 ページスキャン後に給紙ローラーとパッドを交換した場合）
蛍光灯寿命	1,000 時間（累積点灯）

ファクス部仕様

互換性	ITU-T　スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR JBIG
通信速度（最大）	33600 bps（自動フォールバック）
原稿サイズ	自動検出　：A3、A4、A5、B4、B5 読取サイズ設定　：A3、A4、A5、B4、B5、タブロイド、リーガル (14")、レター、ハーフレター
電送時間	約 2 秒 *1
代行受信件数	最大 250 件
蓄積枚数	最大 1,024 枚 *2
走査線密度	主走査　：　8 ドット / mm
	副走査　：　3.85 本 / mm（標準）
	：　7.7 本 / mm（高画質）
	：　15.4 本 / mm（超高画質）
適用回線	PSTN（公衆回線網）
回線接続方式	通信コネクター　(RJ-11)
網制御機能	自動及び手動
選択信号方式	PB/DP　(10/20PPS)　ソフトウェア切り替え
直流抵抗	最大約 240 Ω
最大収容回線数	1

*1 A4 判 700 字程度の原稿 1 枚を標準的画質（8 ドット ×3.85 本 /mm）で高速モードで送った時の電送時間です（MMR圧縮時）。これは、画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含みません。実際は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

*2 A4 判 700 字程度の原稿 1 枚を標準的画質（8 ドット ×3.85 本 /mm）で蓄積した場合です（MMR圧縮時）。

コピー仕様

項　目	仕　様
原稿サイズ	自動検出　：A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5 読取サイズ設定　：A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5、レター、レター、タブロイド、リーガル(14")、ハーフレター
ファーストコピータイム	カラー： MC862：14.5 秒（普通紙、A4、トレイ 1、デフォルトコピーモード時） MC852：16 秒（普通紙、A4、トレイ 1、デフォルトコピーモード時） モノクロ： 13.0 秒（普通紙、A4、トレイ 1、デフォルトコピーモード時）
連続コピー速度	カラー： MC862：26 ページ / 分（普通紙、A4、デフォルトコピーモード時） MC852：22 ページ / 分（普通紙、A4、デフォルトコピーモード時） モノクロ： 34 ページ / 分（普通紙、A4、デフォルトコピーモード時）
コピー部数	1 ～ 999 部

USB インターフェース仕様

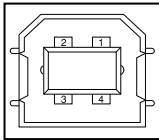
● 基本仕様
USB（Hi-Speed USB をサポート）

● コネクター
B レセプタクル (メス) アップストリームポート

● ケーブル
5m 以下の USB2.0 仕様のケーブル（2m 以下を推奨）
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

● 伝送モード
フルスピード (最大 12Mbps ± 0.25%)
ハイスピード (最大 480Mbps ± 0.05%)

● 電力制御
セルフパワーデバイス

● コネクターピン配列

● インターフェース信号

	信号名	機　　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

ネットワークインターフェース仕様

● 基本仕様

ネットワークプロトコル

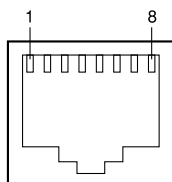
- ● TCP/IP 関連
- ● NetWare 関連
- ● EtherTalk 関連
- ● NetBEUI 関連

● コネクター

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

● ケーブル

RJ-45 コネクター付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5 推奨）

● コネクターピン配列

● インターフェース信号

ピン No.	信号名	方　向	機　　能
1	TxD+	FROM PRINTER	送信データ＋
2	TxD-	FROM PRINTER	送信データ -
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ＋
4	–	–	使用していません。
5	–	–	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ -
7	–	–	使用していません。
8	–	–	使用していません。

パラレルインターフェース仕様

● 基本仕様

IEEEstd1284 -1994 準拠パラレルインターフェース

● コネクター

プリンター側　36 極レセプタクル (メス)　57RE-40360-830B-D29 型 (第一電子工業製または相当品)

ケーブル側　　36 極プラグ (オス)　57FE-30360 型 (第一電子工業製または相当品)

● ケーブル

1.8m 以下の IEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品（シールドされているケーブル線を使用してください。）

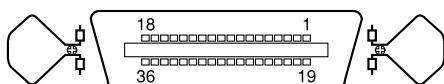
● 伝送モード

コンパチブル／ニブル／ ECP

● インターフェースレベル

ローレベル　　＋ 0.0 ～＋ 0.8V

ハイレベル　　＋ 2.4 ～＋ 5.0V

● コネクターピン配列

● インターフェース信号

ピン No.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。後縁でデータを読み込みます。
2 ～ 9	DATA 1 ～ DATA 8	Bi-direction	8 ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”、ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンターがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインターフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	–	–	使用していません。
16	GND	–	信号グランド
17	FG	–	シャーシグランド
18	＋ 5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19 ～ 30	GND	–	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンターが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンターがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	–	信号グランド
34	–	–	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンター内部で 3.3K Ωで +5V にプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

! 注

● カッコ内はニブルモードの信号名です。

● コンパチブルモードの機能のみ説明しています。

● 米国電気電子技術者協会が規定する IEEEstd1284-1994 のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピューターやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

フォントサンプル（PostScript3 エミュレーションモード）

■日本語 2 書体

- Macintosh、Mac OS X では使用できません。

平成角ゴシック体TMW5
株式会社 沖データ

平成明朝体TMW3
株式会社 沖データ

■欧文 136 書体

- OS によって使用できる書体に制限があります。
- Mac OS X では使用できません。

AlbertusMT
AlbertusMT-Italic
AlbertusMT-Light

AntiqueOlive-Roman
AntiqueOlive-Italic
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Compact

Apple-Chancery

ArialMT
Arial-ItalicMT
Arial-BoldMT
Arial-BoldItalicMT

AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique

Bodoni
Bodoni-Italic
Bodoni-Bold
Bodoni-BoldItalic
Bodoni-Poster
Bodoni-PosterCompressed

Bookman-Light
Bookman-LightItalic
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic

Candid

Chicago

Clarendon
Clarendon-Bold
Clarendon-Light

CooperBlack
CooperBlack-Italic
Copperplate-ThirtyThreeBC
Copperplate-ThirtyTwoBC

Coronet-Regular

Courier
Courier-Oblique
Courier-Bold
Courier-BoldOblique

Eurostile
Eurostile-Bold
Eurostile-ExtendedTwo
Eurostile-BoldExtendedTwo

Geneva

GillSans-Light
GillSans-LightItalic
GillSans
GillSans-Italic
GillSans-Bold
GillSans-BoldItalic
GillSans-ExtraBold
GillSans-Condensed
GillSans-BoldCondensed

Goudy
Goudy-Italic
Goudy-Bold
Goudy-BoldItalic
Goudy-ExtraBold

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定／レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

Helvetica
Helvetica-Oblique
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique

Helvetica-Condensed
Helvetica-Condensed-Oblique
Helvetica-Condensed-Bold
Helvetica-Condensed-BoldObl
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique

HoeflerText-Regular
HoeflerText-Italic
HoeflerText-Black
HoeflerText-BlackItalic
HoeflerText-Ornaments

JoannaMT
JoannaMT-Italic
JoannaMT-Bold
JoannaMT-BoldItalic

LetterGothic
LetterGothic-Slanted
LetterGothic-Bold
LetterGothic-BoldSlanted

LubalinGraph-Book
LubalinGraph-BookOblique
LubalinGraph-Demi
LubalinGraph-DemiOblique

Marigold

Monaco

MonaLisa-Recut

NewCenturySchlbk-Roman
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic

NewYork

Optima
Optima-Italic
Optima-Bold
Optima-BoldItalic

Oxford

Palatino-Roman
Palatino-Italic
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic

StempelGaramond-Roman
StempelGaramond-Italic
StempelGaramond-Bold
StempelGaramond-BoldItalic

Symbol ΑΘΥΙΧΚΒΡΟΩΝ

Taffy

Times-Roman
Times-Italic
Times-Bold
Times-BoldItalic

TimesNewRomanPSMT
TimesNewRomanPS-ItalicMT
TimesNewRomanPS-BoldMT
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT

Univers-Light
Univers-LightOblique
Univers
Univers-Oblique
Univers-Bold
Univers-BoldOblique
Univers-Condensed
Univers-CondensedOblique
Univers-CondensedBold
Univers-CondensedBoldOblique
Univers-Extended
Univers-ExtendedObl
Univers-BoldExt
Univers-BoldExtObl

Wingdings-Regular

Wingdings2
⓪①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

Wingdings3
←→↑↓↖↗↙↘⇔↕▲▼△

ZapfChancery-MediumItalic

ZapfDingbats

フォントサンプル（PCL エミュレーションモード）

! 注

- Macintosh 環境では使用できません。

■日本語 4 書体

平成明朝	平成角ゴシック
株式会社　沖データ	株式会社　沖データ

P平成明朝	P平成角ゴシック
株式会社　沖データ	株式会社　沖データ

■欧文 91 書体

! 注

- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar Codes、Line Printer は Windows 環境では使用できません。
- ビットマップフォントと USPS POSTNET Bar Codes は、固定サイズです。

● Scalable Font（87 書体）

No.		No.	
000	Courier	019	Univers Bold Condensed
001	Courier Bold	020	Univers Medium Condensed Italic
002	Courier Italic	021	Univers Bold Condensed Italic
003	Courier Bold Italic	022	Antique Olive
004	CG Times	023	Antique Olive Bold
005	CG Times Bold	024	Antique Olive Italic
006	CG Times Italic	025	Garamond Antiqua
007	CG Times Bold Italic	026	Garamond Halbfett
008	CG Omega	027	Garamond Kursiv
009	CG Omega Bold	028	Garamond Kursiv Halbfett
010	CG Omega Italic	029	Marigold
011	CG Omega Bold Italic	030	Albertus Medium
012	Coronet	031	Albertus Extra Bold
013	Clarendon Condensed	032	Letter Gothic
014	Univers Medium	033	Letter Gothic Bold
015	Univers Bold	034	Letter Gothic Italic
016	Univers Medium Italic	035	Arial
017	Univers Bold Italic	036	Arial Bold
018	Univers Medium Condensed	037	Arial Italic

No.		No.	
038	Arial Bold Italic	063	New Century Schoolbook Roman
039	Times New	064	New Century Schoolbook Bold
040	Times New Bold	065	New Century Schoolbook Italic
041	Times New Italic	066	New Century Schoolbook Bold Italic
042	Times New Bold Italic	067	Palatino Roman
043	ITC Avant Garde Gothic Book	068	Palatino Bold
044	ITC Avant Garde Gothic Demi	069	Palatino Italic
045	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique	070	Palatino Bold Italic
046	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique	071	Times Roman
047	ITC Bookman Light	072	Times Bold
048	ITC Bookman Demi	073	Times Italic
049	ITC Bookman Light Italic	074	Times Bold Italic
050	ITC Bookman Demi Italic	075	ITC Zapf Chancery Medium Italic
051	CourierPS	076	Symbol
052	CourierPS Bold	077	SymbolPS
053	CourierPS Oblique	078	Wingdings
054	CourierPS Bold Oblique	079	ITC Zapf Dingbats
055	Helvetica	080	Koufi
056	Helvetica Bold	081	Koufi Bold
057	Helvetica Oblique	082	Naskh
058	Helvetica Bold Oblique	083	Naskh Bold
059	Helvetica Narrow	084	Ryadh
060	Helvetica Narrow Bold	085	Ryadh Bold
061	Helvetica Narrow Oblique	086	OKI-OCRB
062	Helvetica Narrow Bold Oblique		

● ビットマップ フォント（3 書体）

No.

087 Line Printer
ABCDEfghij12345

088 OCR-A
ABCDEfghij12345

089 OCR-B
ABCDEfghij12345

● USPS POSTNET Bar Codes

No.

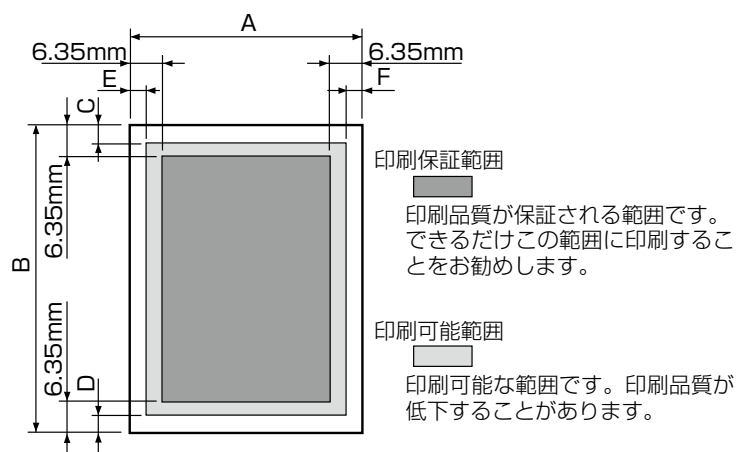
090 USPS POSTNET Bar Codes

印刷範囲と印刷精度（PostScript3/PCL エミュレーションモード）

プリンタードライバーの印刷範囲は次のとおりです。

実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

注

- 印刷精度は、書き出し位置 ± 2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（82g/m^2（連量 70kg）の場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は± 2.5mm です。

単位 : mm

用紙サイズ	幅	長さ	PS プリンタードライバー 上余白	PS 下余白	PS 左余白	PS 右余白	PCL プリンタードライバー (Windows) 上余白	PCL 下余白	PCL 左余白	PCL 右余白
	A	B	C	D	E	F	C	D	E	F
A3	297	420	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B4	257	364	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13 インチ）	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13.5 インチ）	215.9	342.9	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14 インチ）	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	64 ～ 297	148 ～ 1,200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（長形３号）	125	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（洋形０号）	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（洋形４号）	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（角形２号）	240	332	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（角形３号）	216	277	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C4	229	324	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
タブロイド	279.4	431.8	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
インデックスカード	76.2	127	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23

文字コード表（PostScript3 エミュレーションモード）

■ 欧文標準

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	"	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	"	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

■ Symbol

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	φ	γ	η	ι	ϕ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	~	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

■ Wingdings-Regular

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	✋	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	⚪	🞆	🞈	◉	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮱	⮲	⮳	⮴	⮵	⮶	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬁	⬀	⬃	⬂	🢬	🢭	🗶	✔	🗷	🗹	⊞

■ ZapfDingbats

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8	❨	❩	❪	❫	❬	❭	❮	❯	❰	❱	❲	❳	❴	❵		
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

文字コード表（PCL エミュレーションモード）

！注

● アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

■シンボルセット

WIN3.1J
PC-8
PC-8 Dan/Nor
PC-8 TK
PC-775
PC-850
PC-852
PC-855
PC-857 TK
PC-858
PC-864L/A
PC-866
PC-869
PC-1004
Pi Font
Plska Mazvia
PS Math
PS Text
Roman-8
Roman-9
Roman Ext
Sebro Croat1
Sebro Croat2
Spanish
Ukrainian
VN Int'l
VN Math
VN US
Win 3.0
Win 3.1 Blt
Win 3.1 Cyr
Win 3.1 Grk
Win 3.1 Heb
Win 3.1 L1
Win 3.1 L2
Win 3.1 L5
Wingdings
Dingbats MS
Symbol
OCR-A
OCR-B
HP ZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSZIP
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
Kamenicky
Legal
Math-8
MC Text
MS Publish
PC Ext D/N
PC Ext US
PC Set1
PC Set2 D/N
PC Set2 US
Bulgarian
CWI Hung
DeskTop
German
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-737
Greek-928
Hebrew NC
Hebrew OC
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
ISO Dutch
ISO L1
ISO L2
ISO L5
ISO L6
ISO L9

■PCL 平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			“	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			‘	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

■ Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	φ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			*	:	ϑ	Ζ	ϕ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊂	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			↑	…	⊄	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			←	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

■ Wingdings

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				📁	🖎	🏱	♊	□	⓪	❺	▪	⌖	🕙	🙖	🡪	⇨
1			🖉	📂	✌	✈	♋	❑	①	❻	○	⌖	🕚	🙑	🡩	⇧
2			✂	📄	👌	☼	♌	❒	②	❼	⭕	✧	🕛	🙐	🡫	⇩
3			✁	🗏	👍	💧	♍	⬧	③	❽	🞆	⌑	⮰	🙓	🡬	⬄
4			👓	🗐	👎	❄	♎	⧫	④	❾	🞈	⍰	⮱	🙒	🡭	⇳
5			🕭	🗄	☜	🕆	♏	◆	⑤	❿	◉	✪	⮲	⌫	🡯	⬁
6			🕮	⌛	☞	✞	♐	❖	⑥	🙢	◎	✰	⮳	⌦	🡮	⬀
7			🕯	🖮	☝	🕈	♑	⬥	⑦	🙠	▪	🕐	⮴	⮘	🡸	⬃
8			🕿	🖰	☟	✠	♒	⌧	⑧	🙡	◻	🕑	⮵	⮚	🡺	⬂
9			✆	🖲	🖐	✡	♓	⍓	⑨	🙣	🟂	🕒	⮶	⮙	🡹	▭
A			🖂	🖳	☺	☪	🙰	⌘	⑩	🙞	✦	🕓	⮷	⮛	🡻	▫
B			🖃	🖴	😐	☯	🙵	❀	⓿	🙜	★	🕔	🙪	⮈	🡼	🗶
C			📪	🖫	☹	ॐ	●	✿	❶	🙝	✶	🕕	🙫	⮊	🡽	✔
D			📫	🖬	💣	☸	🔾	❝	❷	🙟	✴	🕖	🙕	⮉	🡿	🗷
E			📬	✇	☠	♈	■	❞	❸	·	✹	🕗	🙔	⮋	🡾	🗹
F			📭	✍	🏳	♉	□		❹	•	✵	🕘	🙗	🡨	⇦	Windows logo

外形寸法

平面図

側面図

MC862dn-T, オプション装着時

平面図

側面図

アルファベット

A

B

D

E

F

I

L

M

O

P

S

T

U

1 いろいろなプリントのしかた
2 いろいろなコピーのしかた
3 いろいろなファクスのしかた
4 いろいろなスキャンのしかた
5 よく使う機能や設定の登録
6 カラー調整
7 機能設定レポート印刷
8 ユーザー認証・アクセス制御
付録
索引

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

わ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは 0570-055-654)

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

発行日 2012年 8月
45346501EE Rev1